

# 関根細ヶ沢遺跡

一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査(その3)報告書

— 第2分冊 —

2015.3

国 土 交 通 省  
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

## 関根細ヶ沢遺跡

一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査(その3)報告書

第2分冊 二〇一五・三

国 土 交 通 省  
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



# 関根細ヶ沢遺跡

一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査(その3)報告書

— 第2分冊 —

2015.3

国 土 交 通 省  
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団



表8 1区土坑計測値表

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破片 須=須恵器, 土=土師器	備考
47	78区L7	不明	78×63・13	鉄滓,フイゴ羽口	206・208坑→47坑,土器片
48	78区M10	円形	89×88・30		
49	78区N10	楕円形	150×77・32		206坑→49坑
50	78区M10	楕円形	100×85・44		
201	78区M10	円形	54×53・25		二段
202	78区O11	不整形	75×74・22		覆土にAs-B含む,1面
203	78区O11	円形	47×41・9		覆土にAs-B含む,1面
204	78区M10	不整形	100×71・33	土,須	
205	78区P12	不明	径69以上・12		灰,土器2片
206	78区N11	隅丸長方形	192×132・52	須	206坑→49坑
207	78区N9	楕円形か	121以上×79・35	須	17住→207坑
208	78区L7	不整形	65×63・11		208坑→47坑,208坑→1焼土
209	78区M9	不整形	247×170・99		277・280坑→209坑
210	78区M8	楕円形か	105×75以上・22	土,須	
271	78区M8	円形か	89×70以上・24	土	
273	78区M9	略楕円形	99×86・51	土	279坑→273坑
274	78区L8	隅丸長方形	144×62・98		1面,二段,22住→274坑
276	78区L7	不明	径48以上・35		壁断面深さ67
277	78区N9	不整形	74×58以上・29		277坑→209坑
278	78区N12	不整形	141×145・41		土器は25住か
279	78区M8	略円形	100×97・63		279坑→273坑
280	78区M9	不整形	138×109・67		280坑→209坑,二段
281	78区M9	不整形	85以上×83・54	土	281土坑→280土坑→35溝
282	78区N13	不整形	61×57以上・19		1面,100住→282坑→21溝
283	78区N13	不整形	99×58以上・27		1面,99住→283坑→41溝
284	78区M13	不整形	83×79以上・24		285坑→284坑
285	78区N13	不整形	79×65以上・51		285坑→284坑

表9 2区土坑計測値表

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破片 須=須恵器, 土=土師器	備考
1	78区O14	略円形	92×91・24		
2	78区N16	不整形	137×123・47		3坑→2坑
3	78区N16	円形か	91×40以上・22		3坑→2坑
4	78区N17	不整形	51×45・22		8住→4坑
5	78区N17	略楕円形	139×122・64		二段,8住→5坑
6	78区N17 ~O17	略楕円形	179×135・45	須,灰釉	3溝→10坑→6坑
7	78区N15	不整形	121以上×108・8	須,羽口	7坑→1住
8	78区O14	不明	94×29以上・25	土,須	南壁,3溝→8坑
9	78区N14	不明	90×39以上・27	石2個	南壁,3溝→9坑
10	78区N17	不明	82×47以上・10		3溝→10坑→6坑
15	78区N16	略円形	92×88・23	須,緑釉	3溝→15坑
16	78区N15	不整形	138×120・39		21坑→16坑
17	78区N16	不整形	110×76以上・34		17坑→3溝
18	78区O14	楕円形	106×94・47	土,須,鉄製品, 石2個	2住カマド下位
19	78区N18	不整形	72×61・14	石,鍛造はく片, 炭化物	4住→19坑,炭化物
20	78区M17	不整形	148×77以上・21	土,須,灰釉	9住→20坑
21	78区N15	不整形	128×98・37	須	21坑→16坑
22	78区N14	楕円形か	73×57・27		南壁
23	78区M17 ~N17	略楕円形	88×75・18	須	4住→23坑

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破片 須=須恵器, 土=土師器	備考
24	78区N15	不整形	64×52以上・28	土,須	24坑→3溝
25	78区N16	略楕円形	157×115・13	須	8住→25坑
26	78区M16	楕円形か	70以上×87・22		26坑→6住・8住
27	88区O1	略円形	117×114・32	須	
28	78区O20 ~88区O1	不整形	80×72・32	須	
29	78区N20	不整形	212×179・54	土,灰釉	3溝→29坑
30	88区O1	不整形	122以上×89・20	須	42坑→30坑
31	88区N1	楕円形	88×64・22	土器片1	3溝→31坑
32	78区N20 ~88区N1	不明	104×40以上・14		
33	78区O19	不明	138以上×54以上・11		33坑→4豎→10住
34	78区O20	不明	51以上×32以上・13		34坑→13住
35	78区N18	長方形か	234以上×75以上・24	須,灰釉	35坑→5住
36	78区N18	不整形	106×87・28	土,須,黒色,緑釉	15住→36坑,二段
37	78区N19	楕円形	119×105・16		39坑→37坑,14住→37坑
38	78区N18	不明	59以上×32以上・12		39坑→38坑→5住→3溝
39	78区N19	不明	80×71以上・24		二段,39坑→38坑→5住→3溝,39坑→37坑
40	78区N19	不整形	109×72・41		14住→40坑→37坑,15住→40坑
41	78区N19	略楕円形	83×74・21		15住→41坑
42	88区O1	不明	130×32以上・43		42坑→30坑
43	78区N18	略楕円形	121×76・32	須	43坑→15住
44	78区N19 ~20	不整形	166×96以上・79	須,灰釉	44坑→10・14住

表10 3区土坑計測値表

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破片 須=須恵器, 土=土師器	備考
11	78区I17	長方形か	186×153以上・26	砥石	12・13坑→11坑
12	78区H17	不整形	75×66・38	土,須	12・13坑→11坑
13	78区H17	不整形	85以上×77・28	土	12・13坑→11坑
14	78区J18	略円形	137×132・51	鉄製品1	11住→14坑

表11 4区土坑計測値表

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破片 須=須恵器, 土=土師器	備考
51	77区S3	円形	63×60・17		
52	77区S3	円形	103×99・23		
53	77区T4	楕円形	150×121・33		
54	77区T4	楕円形	113×92・36		
55	77区T4	楕円形	103×90・22	土,須	
56	78区A2	円形	51×49・8		
57	78区A2	楕円形	75×64・18		
58	78区A3	楕円形	82×73・25		
59	77区T3	円形	113×112・32		
60	78区A6	円形	98×96・30	土,須	
61	77区S6	円形	102×92・50		
62	77区S6	楕円形	126×99・37		
63	78区B3	不整形	76×50・41		
64	78区B4	不整形	100×72・30		
65	78区C3	楕円形	128×100・18	土,須	
66	78区B4	不整形	79×63・15		
67	78区B4	円形	116×112・35		
68	78区A5	楕円形	96×85・13		
69	78区A6	楕円形	84×50・36		
70	78区A6	不整形	76×45・24	土,須	
71	78区A6	楕円形	109×94・25		71坑→108坑
72	77区T5	不整形	99×64・52		
73	77区R6	楕円形	119×110・28		

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破片 須=須恵器, 土=土師器	備考
74	77区R6	円形	65×64・15		
75	77区T4	不整形	97×85・41	土,須	
76	77区T8	楕円形	90×72・31	土,須	76坑→20P
77	77区T8	楕円形	78×68・32		
78	78区B8	円形	89×86・25		
79	78区B8	楕円形	70×46・15		
80	78区A9	楕円形	96×75・30	土,須	
81	78区B9	楕円形	123×67・22		
82	78区B9	不整形	88×74・20		
83	77区T8	不整形	107×95・38	土,須	
84	77区T8	不整形	56×30・27		
85	77区T8	楕円形	88×59・26	土,須	
86	78区B9	不整形	129×88・38	土,須	
87	78区B9	楕円形	102×83・56	土,須	
88	78区B9	楕円形	61×53・19		
89	78区B8	不整形	76×57・36		
90	78区C8	楕円形	108×93・10		
91	78区B8	楕円形	68×50・23		
92	77区R3	楕円形	64×53・19		
93	77区R2	楕円形	66×56・26	土,須	
94	77区Q3	楕円形	51×44・38		
95	77区T5	不整形	76×70・17		
96	78区C10	円形	88×86・47		97坑→96坑
97	78区C10	—	96×—・26		97坑→96・98坑
98	78区C10	楕円形	94×80・37		97坑→98坑
99	78区B8	隅丸長方形	162×52・12	土,須	
100	78区B7	不整形	80×60・42	土,須	
101	77区T4	楕円形	130×120・24		
102	77区T5	楕円形	137×99・44	土,須	103坑→102坑
103	77区T5	楕円形	157×100・14		103坑→102坑
104	77区R1	楕円形	174×85・43	土,須	
105	77区R2	楕円形	117×88・36	黒色土器	
106	77区Q2	楕円形	117×93・26		
107	67区T20	長方形	248×60・13	土,須	
108	78区A6	楕円形	108×96・46	土,須	71坑→108坑
109	77区T5	円形	69×66・25		
110	68区A19	長方形か	—×56・47	土,須	
111	78区I9	円形	130×124・36	土,須	
112	78区I9	—	93×—・12		
113	78区I8	楕円形	228×136・35	土,須	
114	78区I7	円形	111×109・46	土,須	
115	78区I7	楕円形	81×76・13		
116	78区H6	楕円形	110×82・20	土,須	
117	78区G6	円形	126×120・13		
118	78区F6	隅丸長方形	128×94・34	土,須	
119	78区G6	楕円形	110×77・16		
120	78区F7	不整形	75×60・11		
121	78区I8	円形	80×75・21		
122	78区H10	楕円形	133×112・60	土,須	
123	78区H10	楕円形	127×114・20	土,須	
124	78区H10	円形	58×53・20	土,須	
125	78区H11	不整形	75×50・7		
126	78区H11	隅丸長方形	89×68・18		
127	78区J11	楕円形	138×92・21	土,須,羽口	
128	78区J11	—	80×—・18	土,須	
129	78区J11	楕円形	74×63・33		
130	78区K10	不整形	118×97・44	土,須	66P→130坑
131	78区B1	円形	99×98・49	土,須	131坑→17溝
132	78区B1	楕円形	108×68・17		132坑→138坑→17溝
133	77区S7	円形	90×85・29	土,須	
134	77区S8	楕円形	100×76・40		
135	77区S8	楕円形か	85×65・17	土,須	
136	78区F10	隅丸長方形	114×87・37	土,須	
137	78区H11	—	—×60・9		
138	78区B1	楕円形	86×70・46		132坑→138坑→17溝
139	78区F5	楕円形	99×72・27	土,須,刀子	
140	78区I6	円形	80×74・32	土,須	
141	78区I9	隅丸長方形	110×76・20	土,須	
142	78区A1	円形	88×82・38		
143	78区B2	円形	82×80・33		
144	78区B3	楕円形	110×97・27		
145	78区B4	—	80×—・33	土,須	145坑→146坑

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破片 須=須恵器, 土=土師器	備考
146	78区B4	円形	106×101・44	土,須	145坑→146坑
147	77区T7	隅丸長方形	180×73・28	土,須	
148	78区E4	楕円形	149×110・16		
150	78区F5	楕円形	100×82・14		
151	78区G8	—	—×100・24	土,須	
152	78区A1	不整形	162×118・24	土,須,灰釉	
153	78区A2	楕円形	160×103・46	土,須,灰釉	
154	78区A1	円形	110×104・35	土,須	155坑→154坑
155	78区A1	円形か	60×—・34	土,須	155坑→154(159)坑
156	78区A1	楕円形	100×87・29	土,須	157坑→156坑
157	78区A1	円形か	75×—・23		156坑→157坑
158	78区A1	楕円形	88×65・39		
159	78区A1	楕円形か	—×100・26		
160	78区A1	楕円形	125×97・28		
161	78区B2	楕円形	134×92・23	土,須	
162	78区B2	楕円形	168×103・32		
149	78区G7	隅丸長方形	472×115・51	土,須	
163	78区I13	不整形	—×100・60		
164	78区J10	円形	104×101・32		
165	78区J10	隅丸長方形	303×165・45		76坑→165坑
166	78区J9	—	84×—・32		
168	78区H5	楕円形	112×88・23	土,須	169坑→168坑→145住
169	78区H5	円形	106×102・46	須	169坑→168坑
170	78区J6	円形	112×97・20	土,須,釘	154坑→170坑
171	78区H6	隅丸長方形	155×110・80	須	172坑→171坑→143住
172	78区H6	隅丸長方形	165×130・72	須	172坑→171坑,172坑→144住
173	78区F4	円形	180×174・39	灰釉	39住→173坑
286	78区A1	円形	146×140・33	土	
287	78区A1	楕円形	85×62・32		288坑→287坑
288	78区A1	楕円形	88×70・36		288坑→287坑
289	77区T2	円形	99×91・23		1鍛冶→289坑
290	77区T2	円形	76×70・16		1鍛冶→290坑
291	78区A2	円形	60×57・63		
292	78区A2	円形	97×93・32	須	
293	78区A1	円形	46×45・60		
294	78区A1	円形	67×61・27		
295	78区A1	円形	85×76・23		
296	68区A20	楕円形	120×90・50		
297	67区T19	円形	64×55・22	土,須	
298	68区A20	隅丸長方形か	—×88・26	土,須	
299	68区A20	隅丸長方形	156×106・38	須	
300	68区A19	楕円形	88×70・21		
355	77区T1	円形	62×55・21		
356	77区T2	円形	93×90・21	土,須	
357	77区T2	円形	120×106・44	土,須	1鍛冶→357坑
360	68区B20	円形	86×75・16		
361	78区A3	隅丸長方形	210×140・35	須	
362	78区A1	隅丸長方形	139×138・33		
363	78区A1	隅丸長方形	206×120・29	土	363坑→392坑
365	78区A3	楕円形	200×114・40		
381	78区J7	—	132×—・49		炭化材・炭化物・石出土
382	78区I7	円形	65×60・25		
383	78区J14	不整形	124×100・11	土	製鉄関連遺構(鍛冶工房)
384	78区J14	—	70×—・16		384坑→385坑
385	78区J14	—	122×—・29	土,須	75住・384坑→385坑
386	78区I12	—	—×85・34		
387	78区F3	楕円形	99×85・38	須	431坑→387坑
388	78区H11	隅丸長方形	290×104・29		
389	78区J13	不整形	96×60・35		
390	78区K13	楕円形	120×75・23		
391	78区I9	隅丸長方形	214×185・41		
392	78区H8	円形	83×81・27	土	363坑→392坑
393	78区H7	楕円形	192×115・32		
394	78区I7	隅丸長方形	480×115・31	須,緑釉	

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破片 須=須恵器, 土=土師器	備考
395	78区K12	—	210×-・33	土,須	
396	78区K13	—	-×58・56	土,須	72住→396坑
397	78区J10	楕円形	126×85・33		
398	78区I7	楕円形	143×74・35		
399	78区H9	楕円形	230×200・60	須	79住→399坑
400	78区F7	不整形	424×321・80	土,須,灰釉	
401	77区S4	円形	99×95・24		
402	77区T5	楕円形	100×87・22		
403	77区T2	楕円形	185×138・39	土,須	151住→403坑
404	77区R6	円形	99×98・45	須	
405	77区T5	楕円形	108×97・50		
406	77区T5	円形	87×84・40		
407	78区A4	円形	85×79・23		
408	77区T3	楕円形	130×105・45		
409	78区C8	不整形	226×178・23		
410	77区R6	不整形	440×-・50	須	410坑→42住
411	77区T5	楕円形	141×107・30	須	
412	77区T5	楕円形	86×77・23		
413	77区T6	楕円形	90×85・23		413坑→414坑
414	77区T6	楕円形	118×104・21		413坑→414坑
415	77区S4	—	-×100・25		415坑→51住
416	77区S4	—	-×90・9		416坑→51住
417	77区T5	長方形	245×214・30	須	417坑→11竪
418	77区T6	楕円形	150×110・30		
419	77区T5	楕円形	110×90・25	土,須	419坑→11竪
420	77区S5	楕円形	156×104・25	須	
421	77区T7	—	-×170・29	土	12竪→421坑
422	77区T9	—	-×220・44	土,須	
423	77区S5	円形	98×95・40		
424	77区T6	楕円形	140×125・41		39溝→424坑→47住
425	77区S1	円形	86×76・20	須	6住→425坑
426	77区S3	不整形	84×70・54		
427	77区T8	不整形	323×222・60	土,須	427坑→60住
429	77区A3	隅丸長方形か	220×-・48	須	429坑→151住
430	78区H5	不整形	220×160・40	土,須	148住→430坑
431	78区F3	円形	83×77・42		431坑→387坑
432	78区G3	—	137×-・40	須	
433	78区H4	楕円形	57×43・31		
434	78区H4	楕円形	118×97・24	土,須	
435	78区H4	—	100×-・30	土	
436	78区J6	楕円形	116×96・43	須	
437	78区A3	円形	72×67・33		
438	78区A3	不整形	-×111・33	須	438坑→151住
440	78区J6	楕円形か	160×-・35	土,須	445坑→440坑→27住
442	78区I9	円形	114×112・59	須	
445	78区J6	円形	91×85・57	須	445坑→440坑
446	78区G4	楕円形	128×100・80	須	
447	78区G5	—	-×82・44	土,須	148住→447坑
450	67区T19	—	98×-・33	土	52住→450坑
451	77区S1	円形	57×52・32	土,須	451坑→155住
452	68区C1	円形	88×85・66	須	
453	77区S1	隅丸長方形	175×76・46		453坑→155住
443	78区F9	円形	56×50・43		
444	78区I14	円形	112×107・30		遺物1点。30746

表12 5区1面土坑計測値表

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破片 須=須恵器, 土=土師器	備考
181	67区N16	円形	58×56・24		
182	67区L17	長方形か	59×80以上・20		182坑→196坑
183	67区L17	略楕円形	82以上×76・19		183坑→195坑
184	67区L17	不整形	130×104・34		
185	67区K～L17	略楕円形	143×128・17		
186	67区L15	円形	95×90・53		
187	67区L14	円形	125×117・67		二段
188	67区L～M14	略円形	99×95・64		
189	67区M12	略円形	99×97・38		
190	67区L12	楕円形	68×53・16		

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破片 須=須恵器, 土=土師器	備考
191	67区L11	略円形	72×71・23		
192	67区K16	楕円形	113×68・28		
193	67区J16	不整形	89×80・17		
194	67区J16	不整形	70×46・8		
195	67区K17	不整形	235×187・31		196坑→195坑
196	67区L17	長方形か	83×21以上・31		182坑→196坑→31溝

表13 5区2面土坑計測値表

番号	グリッド すべて67区	形状	長×短・深cm	破片 須=須恵器, 土=土師器	備考
174	M14	不整形	144×135・61		344坑→?174坑 No.1
175	M14	楕円形か	推定177× 120・55		175坑→130住 No.1
177	N15	不整形	116×99・74		119住→177坑→233・301 坑
178	P15	略円形	97×87・52		137住→178坑
179	L14	不整形	98×95・20		131住→179坑
180	K15	長方形か	120×44以上		125住→180坑
197	S18～ T18	不整形	207×188・23	鉄製品か	322坑→197坑
198	S18	不整形	143×108・42		三段
199	R17	不整形	80×67・16		二段
200	P18	不整形	127×107・11		
211	O18	不整形	85×72・22	鉄製品・椀	
212	O18	略円形	91×84・22		
213	N18	略円形	82×75・25		
214	O17	不整形	114×91・31		
215	O17	楕円形	108×85・13		104住→215坑
216	O17	不整形	94×82・30		
217	O17	略円形	80×78・23		
218	P17	不整形	105×80・16		218坑→219坑
219	P17	略円形	77×73・14		218坑→219坑
220	P17	隅丸長方形	241×150・49		
221	P17	略円形	80×76・21		
222	P17	方形か	89×60以上・11		222坑→223坑→103P
223	P17	隅丸長方形	236×100・38		224坑→223坑→103P
224	P16	隅丸長方形	160×135・33		224坑→223坑→103P
225	R17	不整形	72×65・29		103住→225坑
226	Q16	不整形	105×93・24		103住→226坑
227	P16	略円形	93×86・22		
228	P16	不整形	79×77・24		
229	O15～ O16	楕円形	120×105・13		111住→229坑
230	O16	台形	168×166・9		
231	O16	不整形	182以上× 145・29		231坑→264坑
232	N16	略楕円形	123×106・33		
233	N15	略楕円形	106×95・40		119住→177坑→233坑
234	M17	略楕円形	132×90・44		
235	M17	不整形	68×67・9		
236	M17	不整形	75×75・10		
237	M16～ M17	不整形	92×84・48		
238	M16～ M17	略長方形	146×124・39		
239	M16	不整形	115×96・43		
240	M16	隅丸長方形	130×108・50		
241	M16	略円形	64×60・16		
242	M16	略円形	96×90・25		
243	L17	不整形	81×77・9		
244	L16	略楕円形	105×68・32		
245	Q18	不整形	101×100・16		
246	M15	不整形	101×87以上・ 34		246坑→317坑
247	L16	不整形	58×58・18		
248	L16	略楕円形	127×101・46		134住→248坑
249	K16	隅丸長方形	119×83・22		

番号	グリッド すべて67 区	形状	長×短・深cm	破 須=須恵器, 土=土師器	備考
250	L15	不整形	99×93・46		309坑→250坑
251	M13	楕円形	154×80・19		北側二段
252	K15	不整形	72×54以上・ 16		252坑→31溝
253	K15	不整形	80×40以上・ 13		253坑→31溝
254	J18	円形	55×53・17		
255	J18	不整形	97×97・17		
256	J17～ J18	略楕円形	109×88・28		
257	K17	略円形	73×71・9		
258	K17	楕円形	122×94・11		
259	K16	不整形	80×77・21		
260	J16	不整形	114×92・21		
261	J17	略円形	115×115・16		
262	I15	略円形	98×92・48		93住→262坑→?176坑
263	K14	楕円形	76×66・48		135住→263坑→31溝
264	O16～ O17	隅丸長方形	154×99・64		231坑→264坑
265	R18	略楕円形	100×61・17		
266	Q16	不整形	60×55・18		
267	O19	長方形か	76以上×53・ 47		北側は調査区外
268	M17	楕円形か	132以上×72・ 31		268坑→269坑→270坑
269	M17	楕円形か	133×59・35	土器No.1	268坑→269坑→270坑
270	M17	不整形	84×75・32		268坑→269坑→270坑
301	N15	隅丸長方形	97×82・8		119住→177坑→301坑
302	N15	略楕円形	103×79・20		121住→302坑
303	N15	不整形	99×86・10		121住→13畠→303坑
304	M15	略楕円形	120×85・58		121住→304坑
305	O14	略円形	107×103・29		112住→305坑
306	N14	不整形	84×71・37		120住→306坑
307	N13	楕円形	80×65・30		
308	N13	不整形	100×63・34		
309	L15	隅丸長方形	107×94・52		309坑→250坑
310	L15	不整形	89×88・41		
311	M14	楕円形	161×118・46		311坑→?174坑
312	M13～ M14	楕円形	164×81・16		
313	K14	不整形	158×103・14		135住→313坑, 底面灰層, 石・炭化物出土 No.1,2
314	L12	円形	102×98・37		127住→314坑
315	O18	楕円形	122×79・25		104住→315坑
316	P19	不整形	94×80・23		107住→316坑
317	M15	不整形	129×104・63		246坑→317坑
318	N17	不整形	152×115・28		105住→318坑
319	N17～ N18	略長方形	206×169・20		320坑→319坑
320	N18	長方形か	98×65以上・ 20		320坑→319坑
321	R17	不整形	66×63以上・ 14		321坑→103住
322	T18	楕円形	106×87・45		322坑→197坑
323	O18～ O19	略楕円形	203×114・18		
324	N16	不整形	99×89・59		324坑→105住
325	K16	台形	119×82・29		325坑→185坑
326	L17	推定楕円形	85×60・27		114住→326坑
327	N16	不整形	76以上×76・ 45		328坑→327坑→105P
328	N16	不整形	85×53以上・ 26		328坑→327坑→105P
329	N16	不整形	124×61・22		329坑→327坑→105P
330	L16	66×63・ 11			330坑→331坑
331	L16	43×37・ 6			330坑→331坑
332	L17	不整形	81×46・24		
333	O16	不整形	77×43・34		
334	K16	不整形	91×85・39		334坑→134住
335	P18	不整形	86×76以上・ 49		107住→335坑

番号	グリッド すべて67 区	形状	長×短・深cm	破 須=須恵器, 土=土師器	備考
336	N15	不整形	90×73・23		121住→336坑
337	N15	不整形	120×102・55		119住→337坑
338	Q15	不整形	116×108・15		136住→338坑
339	Q15	不整形	112×69・35		136住→340坑→339坑
340	Q15	方形か	200×130以上・ 22		136住→340坑→339坑
341	I16	不整形	104×76・37		二段,126住→341坑
342	M15	不整形	90×88・44		121住→342坑
343	P15	楕円形か	123×80以上・ 28		137住→343坑
344	M14	不整形	170×166・24		121住→344坑
345	K15	不整形	78×42以上・ 21		345坑→31溝
346	L16	不整形	88×71・49		134住→347坑→346坑
347	L16	不整形	106×105・59		134住→347坑→346坑
348	K13	不整形	109×108・88		128住→348坑
349	L15	略円形	112×111・79		133住→349坑
350	L15	不整形	88×44以上・ 13		350坑→133住

表14 1区ピット計測値表

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破 須=須恵器, 土=土師器	備考
7	不明				写真あり,2区所属 11/28se
8	78区M10	楕円形	39×32・13		
9	78区M10	不整形	35×29・37		
10	78区N10	楕円形	50×44・52		
11	78区M9	不整形	38×38・16		もと71P

表15 2区ピット計測値表

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破 須=須恵器, 土=土師器	備考
1	78区O15	略円形	20×18・20		
2	78区O16	楕円形	20×15・17		
3	78区O17	不整形	22×20・20		
4	78区N17	楕円形	46×39・27		二段
5	78区O16	不整形	52×46・34		
6	78区N17	略楕円形	41×38・45		
7	78区N18	円形	36×35・5	土器片2	5住→7P

表16 3区ピット計測値表

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破 須=須恵器, 土=土師器	備考
11	78区H17	楕円形か	58以上×47・ 35		11P→7溝

表17 4区ピット計測値表

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破 須=須恵器, 土=土師器	備考
12	77区T5	円形	44×40・21		
13	78区A7	円形	40×40・10		
14	78区A7	楕円形	54×39・16		
15	78区A7	円形	38×37・16		
16	78区A7	楕円形	38×28・16		
17	78区A7	不整形	56×51・21		
18	78区A5	円形	39×33・38		
19	78区B5	楕円形	57×30・27		
20	77区T8	円形	39×38・12		
21	77区T8	楕円形	40×30・27		83坑→21P
22	78区A9	円形か	34×32・14		
23	77区T8	楕円形	56×50・29		
24	77区T9	不整形	54×43・16		
25	77区T8	円形	37×33・11		
26	77区T9	不整形	50×37・18		
27	77区T9	不整形	60×35・16		
28	78区A9	楕円形	38×30・20		
29	78区B9	不整形	72×48・21		
30	78区B7	方形	29×28・13		

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破片 須=須恵器, 土=土師器	備考
31	78区B7	円形	35×33・14		
32	77区T5	不整形	44×35・14		遺物1点
33	78区A7	楕円形	48×40・47		
34	78区C7	円形	27×26・13		
35	78区C7	円形	29×28・15		
36	78区B7	楕円形	62×32・19		
37	78区A7	円形	44×40・15		
38	78区A7	円形	35×32・20	須	
39	78区A6	楕円形	63×46・21		
40	78区B6	楕円形	37×29・15		
41	78区B6	楕円形	50×38・15		
42	78区A6	楕円形	53×26・16		
43	77区T6	不整形	36×33・14		
44	77区T6	不整形	37×30・15		
45	78区A5	楕円形	59×41・14		
46	77区T4	楕円形	64×39・20		
47	77区T3	楕円形	75×36・35		
48	77区R3	楕円形	42×35・45		
49	77区T4	楕円形	38×26・15		
50	78区A4	楕円形	52×40・18		
51	77区T4	不整形	52×32・19		
52	78区A4	楕円形	24×20・10		
53	78区A4	楕円形	40×→17		
54	78区A4	楕円形	40×29・13		
55	78区B3	円形	34×33・12		
56	78区C3	円形	32×30・12		
57	78区C3	円形	30×29・20		
58	78区A2	楕円形	59×43・21		
59	77区T1	楕円形	50×38・21		
60	67区R20	楕円形	35×31・46		
61	77区R1	円形	29×28・20	土	
62	77区Q1	円形	44×42・18		
63	77区T2	楕円形	60×25・22		
64	78区A3	楕円形か	40×→51		
66	78区K10	楕円形か	37×→45		66P→130坑
67	78区I9	楕円形か	55×38・25		
72	78区I11	円形	34×30・20		
73	78区H11	円形	46×44・13		
74	78区H11	円形	35×31・50		
75	78区H11	楕円形	32×23・23		
78	78区H10	楕円形	55×46・21		
79	78区I10	楕円形	88×66・73		79P→28住か
121	77区T9	円形	40×35・10	土、須、灰釉	

表18 5区1面ピット計測値表

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破片 須=須恵器, 土=土師器	備考
101	67区K16	不整形	36×31・18		185坑→101ピット
102	67区K11	略円形	26×25・16		

表19 5区2面ピット計測値表

番号	グリッド	形状	長×短・深cm	破片 須=須恵器, 土=土師器	備考
103	P17	不整形	48×34以上・6		224坑→223坑→103P
104	67区O17	略円形	43×40・50		
105	67区N16	不整形	47×40・33		328坑→327坑→105P
106	67区O17	略円形	53×50・52		二段
107	67区N17	略円形	29×32・24		
108	67区M17	不整形	35×33・49		
109	67区N17	略円形	33×30・34		
110	67区M17	円形	38×37・24		
111	67区M17	略円形	42×37・52		
112	67区L16	円形	30×28・13		
113	67区K16	不整形	56×46・26		二段
114	67区K16	不整形	28×26・27		
115	67区J16	略円形	43×43・38		
116	67区K15	不整形	46×36以上・46		116P→31溝
117	67区O17	円形	37×36・26		
118	L15	円形	22×20・28		
119	J13	不整形	39×38・30		
120	67区L13	不整形	27×26・39		

表20 4区3面水田区画計測表

形状はL = 2または3辺確認

□ = 4辺確認を表す 計測面積はプランメーターを使用

番号	法量				形状	備考
	長(m)	短(m)	計算面積(m <sup>2</sup> )	計測面積(m <sup>2</sup> )		
1	—	—	—	検出 1.04	L	調査北東端部
2	1.4	—	—	検出 0.83	L	
3	—	—	—	検出 0.59	L	
4	2.8	0.9	2.52	2.59	□	
5	1.0	0.9	0.90	0.90	□	
6	1.0	1.0	1.00	0.98	□	
7	1.6	0.9	1.44	1.41	□	
8	0.9	0.7	0.63	0.64	□	
9	—	—	—	検出 2.14	L	調査区北東端部
10	1.5	0.8	1.20	1.20	□	
11	1.6	1.0	1.60	1.62	□	
12	2.6	1.2	3.12	3.01	□	
13	2.5	1.1	2.75	2.78	□	
14	—	—	—	検出 2.64	L	
15	2.2	1.0	2.20	3.37	□	
16	1.8	1.2	2.16	2.16	□	
17	2.5	1.3	3.25	3.33	□	
18	2.6	1.2	3.12	3.17	□	
19	—	1.0	—	検出 2.06	L	
20	—	1.0	—	検出 1.98	L	
21	—	1.1	—	検出 1.84	L	
22	1.6	1.2	1.92	1.92	□	
23	1.7	1.3	2.21	2.27	□	
24	2.0	1.5	3.00	2.88	□	
25	—	1.2	—	検出 1.78	L	
26	3.8	0.6	2.28	2.45	□	
27	1.6	1.4	2.24	2.11	□	
28	1.4	1.2	1.68	1.63	□	
29	2.1	1.1	2.31	2.45	□	
30	1.3	—	—	検出 1.04	L	
31	3.2	1.6	5.12	4.10	□	
32	—	1.2	—	検出 1.87	L	
33	—	—	—	検出 0.38	L	調査区北東端部
34	—	0.9	—	検出 1.71	L	
35	2.0	1.0	2.00	2.02	□	
36	1.1	0.7	0.77	0.78	□	
37	2.1	1.5	3.15	2.02	□	
38	—	—	—	検出 0.77	L	
39	1.8	1.0	1.80	1.89	□	
40	1.6	1.0	1.60	1.71	□	
41	1.3	0.8	1.04	1.06	□	
42	1.2	—	—	検出 10.40	L	
43	1.5	1.2	1.80	1.71	□	
44	1.5	1.0	1.50	1.50	□	
45	1.8	1.0	1.80	1.74	□	
46	1.5	1.2	1.80	1.89	□	
47	1.5	1.2	1.80	1.76	□	
48	—	—	—	検出 1.23	L	
49	1.4	1.0	1.40	1.47	□	
50	1.9	1.0	1.90	1.87	□	
51	1.4	1.2	1.68	1.66	□	
52	1.3	1.2	1.56	1.57	□	
53	2.3	1.7	3.91	2.96	□	
54	—	1.5	—	検出 3.17	L	
55	1.4	1.3	1.82	1.76	□	
56	2.0	1.2	2.40	2.50	□	
57	1.8	1.3	2.34	2.37	□	
58	2.1	1.2	2.52	2.54	□	
59	2.0	1.4	2.80	2.99	□	
60	1.1	0.9	0.99	0.69	□	
61	2.8	1.8	5.04	5.01	□	
62	1.2	1.1	1.32	1.34	□	
63	1.3	0.9	1.17	1.17	□	
64	1.4	1.4	1.96	1.90	□	



番号	法量				形状	備考
	長(m)	短(m)	計算面積(m <sup>2</sup> )	計測面積(m <sup>2</sup> )		
65	2.0	1.4	2.80	2.82	□	
66	1.5	1.3	1.95	2.02	□	
67	1.7	1.2	2.04	2.05	□	
68	1.5	1.4	2.10	1.90	□	
69	1.3	1.1	1.43	1.39	□	
70	1.7	0.9	1.53	1.04	□	
71	1.6	1.2	1.92	1.94	□	
72	1.5	1.0	1.50	1.70	□	
73	1.4	1.1	1.54	1.49	□	
74	1.3	1.0	1.30	1.38	□	
75	1.3	0.9	1.17	1.17	□	
76	1.4	1.3	1.82	1.89	□	
77	1.5	1.3	1.95	1.97	□	
78	1.7	1.3	2.21	2.11	□	
79	1.9	1.1	2.09	2.10	□	
80	2.6	1.0	2.60	2.75	□	
81	1.5	0.8	1.20	1.10	□	
82	2.3	0.9	2.07	2.18	□	
83	1.1	1.0	1.10	1.07	□	
84	1.6	1.2	1.92	1.90	□	
85	1.7	1.2	2.04	2.13	□	
86	1.4	1.4	1.96	1.94	□	
87	1.5	1.4	2.10	2.14	□	
88	2.2	1.3	2.86	2.90	□	
89	2.4	1.4	3.36	3.26	□	
90	1.5	0.7	1.05	0.98	□	
91	0.9	0.7	0.63	0.61	□	
92	3.3	0.7	2.31	2.34	□	
93	1.7	0.9	1.53	1.58	□	
94	1.2	1.2	1.44	1.42	□	
95	1.6	1.5	2.40	2.46	□	
96	2.3	1.5	3.45	3.52	□	
97	—	1.1	—	検出 2.46	⊥	
98	—	1.2	—	検出 3.04	⊥	
99	2.7	1.2	3.24	3.41	□	
100	1.6	1.1	1.76	1.78	□	
101	1.7	1.1	1.87	1.87	□	
102	2.9	1.3	3.77	3.82	□	
103	1.5	1.5	2.25	2.24	□	
104	1.6	1.2	1.95	1.95	□	
105	1.7	1.1	1.87	1.82	□	
106	1.7	1.1	1.87	1.97	□	
107	1.5	1.0	1.50	1.54	□	
108	2.1	1.0	2.10	2.16	□	
109	1.1	1.0	1.10	1.07	□	
110	1.6	1.1	1.76	1.76	□	
111	2.8	1.6	4.48	3.30	□	
112	1.1	0.9	0.99	1.02	□	
113	2.9	1.0	2.90	2.80	□	
114	1.3	1.2	1.56	1.63	□	
115	1.6	1.1	1.76	1.74	□	
116	1.7	0.9	1.53	1.49	□	
117	1.1	0.9	0.99	0.94	□	
118	1.6	0.6	0.96	0.94	□	
119	9.4	1.3	12.22	11.94	□	
120	1.9	1.0	1.90	1.87	□	
121	1.6	1.4	2.24	2.19	□	
122	—	1.3	—	検出 4.00	⊥	
123	—	1.0	—	検出 2.67	⊥	
124	2.1	1.1	2.31	2.34	□	
125	7.3	1.2	8.76	10.78	□	
126	2.3	1.1	2.53	2.61	□	
127	2.1	0.9	1.89	1.97	□	
128	1.6	1.3	2.08	2.13	□	
129	2.4	1.2	2.88	2.58	□	
130	1.6	1.1	1.76	1.76	□	
131	1.1	0.6	0.66	0.69	□	
132	1.4	1.0	1.40	1.34	□	

番号	法量				形状	備考
	長(m)	短(m)	計算面積(m <sup>2</sup> )	計測面積(m <sup>2</sup> )		
133	1.2	1.0	1.20	1.12	□	
134	1.6	1.4	2.38	2.30	□	
135	1.6	1.4	2.38	2.35	□	
136	1.5	1.2	1.80	1.82	□	
137	1.4	1.3	1.82	1.81	□	
138	3.3	1.7	5.61	5.73	□	
139	4.0	1.9	7.60	4.34	□	
140	—	—	—	検出 0.14	⊥	調査区西端部
141	6.1	0.8	4.88	検出 3.95	⊥	調査区西端部
142	1.2	0.7	0.84	0.94	□	
143	2.3	1.1	2.53	2.51	□	
144	1.8	1.2	2.16	2.13	□	
145	—	1.5	—	検出 3.44	⊥	
146	—	1.6	—	検出 2.75	⊥	
147	1.8	1.5	2.70	2.77	□	
148	2.0	1.4	2.80	2.94	□	
149	2.2	1.4	3.08	3.17	□	
150	2.1	1.6	3.36	3.33	□	
151	3.2	1.0	3.20	3.36	□	
152	2.0	0.9	1.80	1.89	□	
153	2.5	1.1	2.75	2.86	□	
154	1.7	1.1	1.87	1.92	□	
155	1.7	1.2	2.04	2.06	□	
156	1.5	1.4	2.10	2.18	□	
157	—	—	—	検出 3.01	⊥	
158	—	1.3	—	検出 4.38	⊥	
159	1.8	1.3	2.34	2.35	□	
160	2.1	1.4	2.94	3.02	□	
161	2.2	0.9	1.98	2.02	□	
162	2.1	1.2	2.52	2.58	□	
163	1.9	1.2	2.28	2.29	□	
164	1.3	1.1	1.43	1.44	□	
165	1.3	1.1	1.43	1.34	□	
166	—	0.7	—	検出 1.79	⊥	
167	—	0.9	—	検出 1.84	⊥	
168	2.0	1.0	2.00	1.95	□	
169	2.4	1.0	2.40	2.42	□	
170	1.0	0.8	0.80	0.83	□	
171	1.0	0.9	0.90	0.91	□	
172	1.0	0.8	0.80	0.80	□	
173	0.9	0.6	0.54	0.56	□	
174	—	0.9	—	検出 1.26	⊥	
175	—	0.8	—	検出 1.34	⊥	
176	2.4	1.7	4.08	4.00	□	
177	—	1.3	—	検出 2.78	⊥	
178	—	1.1	—	検出 4.88	⊥	
179	2.4	0.6	1.44	1.50	□	
180	6.6	0.9	5.94	6.59	□	
181	2.2	1.3	2.86	3.07	□	
182	3.6	1.3	4.68	4.72	□	
183	2.0	1.4	2.80	2.90	□	
184	2.3	1.3	2.99	2.91	□	
185	1.9	0.9	1.71	1.84	□	
186	—	1.2	—	検出 1.81	⊥	
187	—	1.3	—	検出 2.64	⊥	
188	1.8	1.4	2.52	2.59	□	
189	2.4	1.3	3.12	3.23	□	
190	1.7	1.3	2.21	2.27	□	
191	1.9	1.2	2.28	2.24	□	
192	1.7	1.2	2.04	2.06	□	
193	—	1.2	—	検出 2.37	⊥	
194	—	1.3	—	検出 3.07	⊥	
195	1.9	1.3	2.47	2.43	□	
196	1.7	0.8	1.36	1.34	□	
197	—	—	—	検出 2.99	⊥	
198	1.4	1.2	1.68	1.71	□	
199	2.0	1.2	2.40	2.56	□	
200	1.9	1.2	2.28	2.35	□	

## 遺構計測表

番号	法量				形状	備考
	長(m)	短(m)	計算面積(m <sup>2</sup> )	計測面積(m <sup>2</sup> )		
201	2.9	1.4	4.06	4.20	□	
202	2.0	1.5	3.00	3.10	□	
203	1.7	1.5	2.55	2.54	□	
204	2.3	2.0	4.60	4.51	□	
205	1.7	1.6	2.72	2.70	□	
206	2.8	1.6	4.48	4.35	□	
207	2.8	1.6	4.48	4.59	□	
208	2.9	1.6	4.64	4.80	□	
209	2.6	1.6	4.16	4.14	□	
210	1.4	1.3	1.82	1.82	□	
211	1.8	1.4	2.52	2.46	□	
212	1.8	1.5	2.70	2.75	□	
213	—	1.9	—	検出 5.12	└	
214	—	1.3	—	検出 2.86	└	
215	1.6	1.0	1.60	1.54	□	
216	2.3	0.7	1.61	1.71	□	
217	1.5	1.4	2.10	2.02	□	
218	2.1	1.0	2.10	2.24	□	
219	2.3	1.4	3.22	3.22	□	
220	2.2	1.2	2.64	2.72	□	
221	1.8	1.1	1.98	2.02	□	
222	2.5	1.1	2.75	2.75	□	
223	1.5	1.1	1.65	1.65	□	
224	1.9	1.0	1.90	1.94	□	
225	1.3	1.0	1.30	1.20	□	
226	—	1.1	—	検出 2.69	└	調査区西端部
227	1.1	1.0	1.10	1.20	□	
228	—	1.0	—	検出 1.79	└	
229	—	0.7	—	検出 0.85	└	
230	1.0	0.5	0.50	0.57	□	
231	1.0	0.9	0.90	0.83	□	
232	1.7	1.0	1.70	1.50	□	
233	—	0.6	—	検出 1.04	└	
234	—	0.9	—	検出 1.18	└	
235	7.1	1.0	7.10	7.09	□	
236	2.1	1.3	2.73	2.77	□	
237	2.2	1.3	2.86	2.94	□	
238	1.5	1.4	2.10	2.21	□	
239	1.6	1.5	2.40	2.38	□	
240	1.8	1.4	2.52	2.48	□	
241	2.5	1.3	3.25	3.38	□	
242	2.2	1.5	3.30	3.42	□	
243	4.8	1.5	7.20	7.30	□	
244	3.5	2.3	8.05	7.94	□	
245	2.2	1.9	4.18	4.19	□	
246	2.1	1.6	3.36	3.44	□	
247	2.0	1.7	3.40	3.41	□	
248	2.6	1.7	4.42	4.32	□	
249	1.6	1.5	2.40	2.45	□	
250	1.4	1.3	1.82	1.89	□	
251	2.9	1.2	3.48	3.74	□	
252	1.6	1.2	1.92	1.89	□	
253	1.3	1.0	1.30	1.31	□	
254	—	1.1	—	検出 4.59	└	
255	—	1.2	—	検出 6.13	└	
256	—	—	—	検出 0.69	└	調査区西端部
257	3.6	1.0	3.60	検出 3.86	└	調査区西端部
258	2.4	0.9	2.16	2.19	□	
259	1.6	0.6	0.96	1.01	□	
260	2.9	0.7	2.03	1.98	□	
261	—	1.0	—	検出 4.74	└	
262	—	1.2	—	検出 4.85	└	
263	2.7	1.6	4.32	4.54	□	
264	5.9	2.0	11.80	11.98	□	
265	2.6	2.4	6.24	6.14	□	
266	6.9	2.8	19.32	19.31	□	
267	4.6	1.9	8.74	9.15	□	
268	—	1.3	—	検出 2.80	└	

番号	法量				形状	備考
	長(m)	短(m)	計算面積(m <sup>2</sup> )	計測面積(m <sup>2</sup> )		
269	1.9	1.6	3.04	3.10	□	
270	5.1	1.1	5.61	5.52	□	
271	2.9	1.1	3.19	3.10	□	
272	3.2	1.3	4.16	4.02	□	
273	2.5	1.1	2.75	2.80	□	
274	4.0	1.3	5.20	5.31	□	
275	5.5	1.4	7.70	7.71	□	
276	—	—	—	検出 2.16	└	
277	1.7	1.6	2.72	2.77	□	
278	—	1.6	—	検出 2.72	└	
279	—	0.8	—	検出 4.24	└	
280	—	1.2	—	検出 3.42	└	
281	—	1.3	—	検出 2.37	└	
282	1.6	1.4	2.24	2.21	□	
283	2.0	1.4	2.80	2.90	□	
284	3.7	1.3	4.81	4.86	□	
285	2.1	1.5	3.15	3.17	□	
286	—	1.4	—	検出 2.99	└	
287	2.7	1.4	3.78	3.84	□	
288	—	1.3	—	検出 4.62	└	
289	—	1.3	—	検出 4.64	└	
290	—	1.2	—	検出 5.70	└	
291	2.9	2.2	7.25	7.31	□	
292	5.3	1.3	6.89	7.22	□	
293	4.6	1.7	7.82	7.74	□	
294	2.0	1.6	3.20	3.23	□	
295	1.7	1.5	2.55	2.59	□	
296	2.0	1.9	3.80	3.62	□	
297	—	2.0	—	検出 19.79	└	
298	4.9	4.7	23.03	20.75	□	
299	6.7	1.5	10.05	10.45	□	
300	7.6	2.3	17.48	17.91	□	
301	4.6	1.6	7.36	7.97	□	
302	—	0.6	—	検出 1.02	└	
303	8.2	1.2	9.84	9.68	□	
304	3.0	1.4	4.20	4.29	□	
305	1.3	1.2	1.56	1.52	□	
306	4.4	1.3	5.72	5.66	□	
307	—	—	—	検出 9.89	└	調査区南東端部
308	1.6	—	—	検出 1.82	└	
309	1.2	1.1	1.32	1.34	□	
310	1.2	1.1	1.32	1.34	□	
311	3.4	1.4	4.76	4.90	□	
312	6.2	1.3	8.06	8.16	□	
313	—	1.5	—	検出 6.72	└	調査区南東端部
314	—	1.5	—	検出 5.57	└	調査区西端部
315	4.6	1.4	6.44	6.32	□	
316	1.6	1.1	1.76	1.76	□	
317	1.0	0.9	0.90	0.93	□	
318	7.6	1.1	8.36	9.06	□	
319	3.8	1.8	6.84	6.94	□	
320	3.7	2.1	7.77	7.73	□	
321	2.7	1.5	4.05	4.00	□	
322	3.0	1.5	4.50	4.66	□	
323	2.1	1.9	3.99	4.08	□	
324	5.1	1.9	9.69	9.79	□	
325	2.5	2.1	5.25	5.50	□	
326	—	1.2	—	検出 3.30	└	調査区南東端部
327	7.8	1.9	14.82	14.41	□	
328	2.1	1.9	3.99	3.98	□	
329	1.9	1.9	3.61	3.71	□	
330	—	1.6	—	検出 4.48	└	
331	—	—	—	検出 0.38	└	調査区西端部
332	2.9	1.2	3.48	検出 3.65	└	調査区西端部
333	2.0	1.1	2.20	2.13	□	
334	1.7	1.3	2.21	2.16	□	
335	1.3	1.3	1.69	1.57	□	
336	2.4	1.4	3.36	3.41	□	

番号	法量				形状	備考
	長(m)	短(m)	計算面積(m <sup>2</sup> )	計測面積(m <sup>2</sup> )		
337	5.3	1.6	8.48	9.04	□	
338	7.3	2.0	14.60	15.28	□	
339	8.2	1.6	13.12	12.26	□	
340	1.2	1.1	1.32	1.28	□	
341	—	0.5	—	検出 2.05	└	
342	—	1.1	—	検出 1.47	└	調査区西端部
343	4.4	1.2	5.28	5.44	□	
344	4.3	2.1	9.03	9.97	□	
345	4.7	1.3	6.11	6.27	□	
346	6.8	1.4	9.52	9.74	□	
347	—	—	—	検出 3.71	└	
348	—	1.5	—	検出 7.28	└	
349	—	—	—	検出 0.24	└	調査区北東端部
350	—	1.1	—	検出 1.10	└	調査区北東端部
351	0.8	—	—	検出 0.54	└	調査区北東端部
352	—	—	—	検出 0.66	└	調査区北東端部
353	1.2	—	—	検出 0.91	└	
354	1.0	—	—	検出 0.78	└	
a	8.1	4.3	34.83	15.02	□	
b	—	1.2	—	検出 33.60	└	
c	29.0	0.9	26.10	27.91	□	
d	28.0	1.3	36.40	44.30	□	
e	—	1.4	—	検出 17.25	└	
f	—	1.5	—	検出 28.10	└	
g	—	1.4	—	検出 13.71	└	
h	—	1.0	—	検出 25.20	└	
i	—	—	—	検出 12.48	└	調査区南西端部

番号	法量				形状	備考
	長(m)	短(m)	計算面積(m <sup>2</sup> )	計測面積(m <sup>2</sup> )		
34	3.7	1.6	5.92		□	
35	3.4	1.5	5.1		□	
36	1.5	1.5	2.25		□	
37	3.4	1.5	5.1		□	
38					└	
39					└	
40	10.1	1.0	10.1		└	北隅欠
41	4.0	1.5	6		□	
42	2.2	1.3	2.86		□	
43	2.7	1.3	3.51		□	
44	4.2	1.3	5.46		□	
45	2.3	1.8	4.14		□	
46	4.0	1.5	6		□	
47	4.7	1.2	5.64		□	
48					└	
49					└	
50	2.4	1.3	3.12		□	
51	4.5	1.5	6.75		□	
52	3.1	1.8	5.58		□	
53	2.5	1.5	3.75		□	
54	3.4	2.0	6.8		□	
55	2.3	1.4	3.22		□	
56	2.7	1.3	3.51		□	
57	1.8	1.6	2.88		□	
58	4.0	2.0	8		□	
59					└	
60					└	
61	1.8	1.5	2.7		□	
62	1.7	1.6	2.72		□	
63	3.1	1.5	4.65		□	
64	1.9	1.7	3.23		□	
65	2.5	1.6	4		□	
66	3.2	1.9	6.08		□	
67	2.4	1.3	3.12		□	
68	1.5	1.2	1.8		□	
69	2.7	1.8	4.86		□	
70	1.9	1.8	3.42		□	
71	3.3	1.3	4.29		□	
72					└	
73	2.2	1.3	2.86		□	
74	1.8	1.6	2.88		□	
75	1.7	1.6	2.72		□	
76	2.0	1.6	3.2		□	
77					└	
78					└	
79	1.5	1.3	1.95		□	
80	1.9	1.4	2.66		□	
81	1.9	2.4	4.56		□	
82	2.0	1.4	2.8		□	
83	5.7	1.5	8.55		□	
84	1.8	1.4	2.52		□	
85	1.5	1.3	1.95		□	
86	2.5	1.3	3.25		□	
87	1.8	1.3	2.34		□	
88					└	
89	1.9	0.8	1.52		□	
90	2.9	0.8	2.32		□	
91	1.8	0.8	1.44		□	
92	6.5	1.1	7.15		□	
93	4.0	0.9	3.6		□	

表21 5区3面水田区画計測表

番号	法量				形状	備考
	長(m)	短(m)	計算面積(m <sup>2</sup> )	計測面積(m <sup>2</sup> )		
1					└	
2					└	
3					└	
4					└	
5					└	
6					└	
7	1.6	1.1	1.76		□	
8	4.9	1.5	7.35		□	
9	2.3	1.3	2.99		□	
10	4.6	1.5	6.9		□	
11	3.3	1.6	5.28		□	
12	6.8	1.3	8.84		□	
13	2.3	1.3	2.99		□	
14	5.9	1.3	7.67		□	
15	2.5	1.6	4		□	
16	7.6	1.5	11.4		□	
17	1.4	1.1	1.54		□	
18	9.5	1.6	15.2		□	
19					└	
20	2.4	1.5	3.6		□	
21	5.4	2.0	10.8		□	
22	1.7	1.9	3.23		□	
23	4.7	1.5	7.05		□	
24	4.2	1.5	6.3		□	
25	1.7	1.1	1.87		□	
26	4.4	1.6	7.04		□	
27	4.8	1.5	7.2		□	
28					└	
29	2.3	1.3	2.99		□	
30	2.6	1.5	3.9		□	
31	2.4	1.6	3.84		□	
32	1.7	1.4	2.38		□	
33	4.3	1.5	6.45		□	

非掲載遺物一覧

番号	法量				形状	備考
	長(m)	短(m)	計算面積(m <sup>2</sup> )	計測面積(m <sup>2</sup> )		
94	1.8	1.1	1.98		□	
95	2.1	0.8	1.68		□	
96					└	
97					└	
98					└	
99					└	
100	4.1	2.1	8.61		□	
101	5.2	1.3	3.38		□	三角形
102					└	
103					└	

□のみ 計算面積計=363.05㎡  
水田枚数=79枚  
平均面積=4.596㎡

□のみ 短=114.3m  
水田枚数79枚  
平均長さ=1.447m

□のみ 長=252.8m  
水田枚数79枚  
平均長さ=3.2m

表 22 非掲載遺物一覧(重さ) g

( )は他の遺構

区	遺構名・出土位置		土師器				須恵器				灰釉陶器	埴輪
			大	中	小	不明	大	中	小	不明		
1	17	住居	930	100	220	50	660		200			
1	17・19	住居	100	80	210	10	50		80	10	10	
1	18	住居	60									
1	19	住居	600		40		200	80		10		
1	20	住居	890	40	170	10	270	60	250	10	10	
1	22	住居				10				10		
1	23	住居	80							10		
1	24	住居	880		40		150	20	120	10		
1	25	住居	390		60	30	120		180			
1	98	住居	180	60	20	10			90		20	
1	99	住居						10		20		150
1	100	住居	220		50	10	260	10	390			
1	26	溝	870	70	110	40	110	190	2,540	10	40	
1	27	溝	180	50	10		190		1,800	20	10	
1	47	土坑	10									
1	204	土坑			10				10			
1	205	土坑						40				
1	206	土坑						10				
1	207	土坑	1,520				490		50			
1	208	土坑					30		30			
1	278	土坑							40	30		
1	209	土坑	490		40	20	110		190			
1	210	土坑	80	20			30					
1	271	土坑	30			10						
1	273	土坑	30			10						
1	275	土坑							20			
1	276	土坑	50									
1	281	土坑							10			
1	282	土坑				30						
1	283	土坑	30						20			
1	285	土坑			10		50		30			
1	21	溝				30						
1	35	溝							40			
1	272	土坑					40		60			
1	40	溝	50						50	30		
1	41	溝					50					
1	6	竪穴	60			10	50		110			
1	1	墓坑			10				30			
1	8	ピット	30									
1	9	ピット				10						
1	L-8	グリッド	450		60	230	50		450		70	
1	L-9	グリッド	40		10	20			100	10	10	
1	M-8	グリッド	50		10		30		110	30	20	
1	M-9	グリッド	90						80	10		
1	N-10	グリッド							30		10	
4	68A-19	グリッド	100				120		260	10	40	

区	遺構名・出土位置		土師器				須恵器				灰釉陶器	埴輪	
			大	中	小	不明	大	中	小	不明			
4	67R-20	グリッド	80							50		30	
4	67P-20	グリッド								50			
4	67O-20	グリッド	410		20								
4	68B-19	グリッド		30						20			
4	68B-20	グリッド	310							10	10		
4	68A-20	グリッド	100			10	270			30			
4	77R-1	グリッド	360				290			110		30	
4	77R-2	グリッド	390			20	140			60		5	
4	77R-3	グリッド	110							30			240
4	77R-4	グリッド	360							70			50
4	77R-5	グリッド	190							80		5	
4	77R-6	グリッド	160				50	30					
1		表探	90				490			380		50	
1	2面	一括	890				410			1,050	80	40	130
2	1	住居	380			100	170			400		2	
2	2	住居	240							50			
2	3	住居	160				300	140	660	80	10		
2	4	住居	70				20		70				
2	5	住居	820				210	30	210		10		
2	6	住居	300		2		420	100	1,100	90	30		
2	7	住居	50		1				20				
2	8	住居	550				460		1,570	100	80		
2	8・9	住居	520				310		500	150	2		
2	9	住居	1,170				3		340		3		
2	10	住居	1,120		1		590		1,120	130	70	170	
2	13	住居					20		210	10			
2	14	住居	150		10	30	420					5	
2	15	住居	100				440		370	5	30		
2	1	竪穴					50		100		10		
2	2	竪穴					90		20				
2	3	竪穴	10				380		80		30		
2	4	竪穴	250		1		320		100		2		
2	5	竪穴	10						1				
2	1	溝			10		30		30				
2	2	溝	20				20		920				
2	3	溝	90		10	30	560		1,182		50		
2	2	土坑	30		20		40		70				
2	3	土坑	40										
2	5	土坑	20				30		20				
2	6	土坑					100				10		
2	7	土坑					20						
2	8	土坑	20		1					10			
2	10	土坑					20		40				
2	15	土坑					50		50		緑1		
2	16	土坑	20		2		10		150				
2	17	土坑					50		1				

区	遺構名・出土位置		土師器				須恵器				灰軸 陶器	埴輪
			大	中	小	不明	大	中	小	不明		
2	18	土坑						20				
2	19	土坑						50				
2	20	土坑	30			10		20		5		
2	21	土坑						30				
2	21・22	土坑			2			290				
2	23	土坑				70						
2	24	土坑	50		10			40				
2	25	土坑						10				
2	27	土坑						140				
2	28	土坑						150		10		
2	29	土坑	310							30		
2	30	土坑				30		50				
2	35	土坑				90				1		
2	36	土坑	460		1	150		120		緑10		
2	37	土坑	20									
2	43	土坑				30						
2	44	土坑						40				
2	2	河道	30			10	10	50				
2	2面	一括	460			200	520	1,490		30		
2	N-7	グリッド	50		10		10	50				
2	0-15	グリッド	120		10			150				
2	0-16	グリッド	2		2		110	200		10		
2	0-17	グリッド					250	50				
2		一括	450		500	50	1,080		500	50		
3	11	住居	1,190				120	850				
3	12	住居	300		10			810		10		
3	4	溝	290				210	100				50
3	5	溝					160	10				
3	7	溝						100				
3	8	溝	250				170	590		10		
3	12	土坑	20					60				
3	13	土坑	40									
3	14	土坑	350					50		10		
3		一括	130				20	200				
4	21	住居						40			870	
4	26	住居	850				310	470				
4	27	住居	150			30	130	270		1		
4	28	住居	480	50	10		330	570	70	10		
4	29	住居	70							30		
4	30	住居	290				120	270	50		200	
4	31	住居	550				540	210		1		
4	32	住居	620					10			70	
4	33	住居	70	50	20			200				
4	34	住居	1,650		10		270	120		10	50	
4	35	住居	770					100				
4	36	住居	190				100	110				
4	37	住居	270		10		660	150				
4	38	住居	810		10		650	50				
4	40	住居	1,000				100	90	400	30		
4	41	住居	2,990				150	140			270	
4	42	住居	160				2,280	400		20		
4	43	住居	50				70	120				
4	44	住居	1,960				70	210			190	
4	45	住居	370				50	40	80			
4	46	住居	450				1,810	480		5		
4	47	住居	620				1,100	440				
4	48	住居	1,080	50			520	670		50		
4	49	住居	50				520	50				
4	50	住居	520				400	70		20	80	
4	51	住居	1,170				210	300				
4	52	住居	1,200		30		830	170	40	30		

区	遺構名・出土位置		土師器				須恵器				灰軸 陶器	埴輪
			大	中	小	不明	大	中	小	不明		
4	53	住居	20					820		170	50	
4	54	住居	710					870		470	30	
4	55	住居	690					2,440		220		
4	56	住居	630					600		120	30	
4	57	住居	780			20		280		120	20	90
4	57	住居	780			20		280		120	20	90
4	58	住居	2,310			10		180		290	1	20
4	59	住居	1,380					1,030		520		
4	60	住居						1,150		20		
4	61	住居						600		30		
4	62	住居	210			20		220		20		
4	63	住居	150					1,192		1,010	50	
4	64	住居	50							10	10	20
4	65	住居	600					1,260				
4	66	住居	250					120		40		
4	67	住居	30					580		230		
4	68	住居	150					120		20		
4	69	住居	180							80		
4	70	住居	150							20		
4	71	住居	540					340		160	10	
4	72	住居	70					1,090		170		
4	73	住居						2,260		560	210	50
4	74	住居						610		290		
4	75	住居	540					620	100	700		
4	76	住居	310							220		
4	77	住居	2,010					660		590	150	550
4	78	住居						1,170		90	40	60
4	78・79	住居	1,130					550		150	50	
4	79	住居	440					370		660	2	
4	81	住居	360					870		140		
4	82	住居	260							90	2	
4	83	住居	510					60				
4	84	住居	2,150					280		550	20	50
4	85	住居	510					160		160		
4	87	住居	640			150		1,340		880	50	
4	89	住居	200					250		30		
4	90	住居	20					170		10		
4	91	住居						540		230		
4	139	住居	2,020					1,600		600	10	
4	140	住居	1,000					950		240	1	
4	141	住居	580					800		270		
4	142	住居	2,070					150		120		
4	143	住居	3,510					3,220		1,800	50	
4	144	住居	2,660					850		330	1	30
4	145	住居	850			10		170		310	70	
4	146	住居	160					270		170		
4	147	住居						10		30		
4	148	住居	150					320		50	2	
4	149	住居	730					540		460		
4	150	住居	580					270		380		
4	151	住居	1,510					170		250	31	
4	152	住居	180					50		130		
4	153	住居	50					340		10		
4	154	住居	100					70		50		
4	155	住居	160									
4	55	土坑	130							5		
4	60	土坑	10							2		
4	65	土坑	50							30		
4	70	土坑	10									
4	74	土坑								20		
4	75	土坑	300							20		

非掲載遺物一覧

区	遺構名・出土位置		土師器				須恵器				灰釉陶器	埴輪
			大	中	小	不明	大	中	小	不明		
4	76	土坑	10					10				
4	80	土坑				30		50				
4	83	土坑	10					1				
4	85	土坑						20				
4	86	土坑	70					50				
4	87	土坑						10				
4	93	土坑	1									
4	99	土坑	30			70						
4	100	土坑	40									
4	102	土坑	100									
4	104	土坑	10									
4	107	土坑						1				
4	108	土坑						10				
4	110	土坑				20		30				
4	111	土坑	90					10				
4	113	土坑	230		1	1	1	1				
4	114	土坑	50									
4	116	土坑	20									
4	118	土坑	20									
4	122	土坑						1				
4	123	土坑	2					20				
4	124	土坑				20						
4	127	土坑	30					1				
4	128	土坑	30					110				
4	130	土坑	10									
4	131	土坑			1			10				
4	133	土坑				30						
4	135	土坑	30					20				
4	136	土坑	30									
4	139	土坑	20									
4	140	土坑			10							
4	141	土坑	20									
4	145	土坑			20							
4	146	土坑	50									
4	147	土坑	10									
4	149	土坑	90		80	90	1					
4	151	土坑				60						
4	152・153	土坑	190			30		70		1		
4	154	土坑			20							
4	156	土坑	20					10				
4	155	土坑	160					20				
4	161	土坑				100		20				
4	163	土坑						40		1		
4	165	土坑				120		10				
4	168	土坑	20					30				
4	169	土坑				40		20				
4	170	土坑	10					30				
4	171	土坑						10				
4	172	土坑						10				
4	173	土坑								10		
4	286	土坑	10									
4	292	土坑				30						
4	297	土坑	50		1			10				
4	298	土坑	90					10				
4	345	土坑	50					1				
4	353	土坑	10			20						
4	356	土坑	70					10				
4	357	土坑	100			20		1				
4	361	土坑						20				
4	363	土坑	10		1							
4	364	土坑	120									

区	遺構名・出土位置		土師器				須恵器				灰釉陶器	埴輪
			大	中	小	不明	大	中	小	不明		
4	383	土坑						2		20		
4	385	土坑	10							30	10	
4	387	土坑						20		10		
4	394	土坑						20		10		
4	395	土坑	10							40		
4	396	土坑	10							10		
4	398	土坑						90		10		
4	399	土坑							20			
4	400	土坑	220					260	10	150	10	
4	403	土坑	10							10		
4	404	土坑						50				
4	410	土坑						10				
4	411	土坑						20				
4	417	土坑						20		20		
4	419	土坑	440							10		
4	420	土坑						20				
4	421	土坑	780									
4	422	土坑	740							130		
4	425	土坑						20				
4	427	土坑						1,160		180	20	
4	430	土坑	120							10		
4	432	土坑						30				
4	434	土坑	10									
4	435	土坑	20									
4	436	土坑						670		10		
4	438	土坑								10		
4	440	土坑	20					150		60		
4	441	土坑						80		10		
4	442	土坑						30				
4	445	土坑						50		2		
4	446	土坑						50				
4	447	土坑	130					70		2		
4	448	土坑	10									
4	450	土坑	20									
4	451	土坑						10		20		
4	452	土坑								40		
4	7	竪穴	150					30		60		
4	10	竪穴	50							40		
4	11	竪穴	860							231		
4	12	竪穴						1,950		790		
4	13	竪穴	50					70		20		
4	11	溝	90					20		10		
4	12	溝	20							10		
4	13	溝	60					20		10	5	
4	14	溝						50		10		
4	15	溝	30							10		
4	16	溝	430					860		460	80	250
4	17	溝						200		50	10	
4	18	溝	70									
4	19	溝						10				
4	20	溝	20							20		
4	21	溝	10							10		
4	23	溝	50							10		30
4	24	溝	80					30		20		
4	25	溝						1,790		370	10	
4	26	溝	220							530		
4	27	溝	400					390	30	550	20	
4	28	溝	230					90		50		
4	29	溝	1,240					480		550		
4	39	溝	50					20		170	5	
4	45	溝	70					110		280		

区	遺構名・出土位置	土師器				須恵器				灰軸 陶器	埴輪
		大	中	小	不明	大	中	小	不明		
4	1	河道	270			1,250		970		1	170
4	1	製鉄炉	690			50		330	30		70
4	2	製鉄炉	400		70	370		600	50	20	
4	3	製鉄炉				30			10		
4	1	鍛冶工房				950		600	530		
4	38	ビット						5			
4	61	ビット			10						
4	121	ビット	30					20		1	
4	4	畠						20			
4		水田(3面)	50								
4	1	石列	330								
4	1	不明	20								
4	3	不明						70			
4	1	集石(3面)	4,640		10	570					
4		確認面(1面)	420			50		50			
4		一括(2面)	8,160			2,370		3,090		510	400
4	78区	一括(2面)								110	
4	67区	一括(2面)	480			180		280		30	
4	78A-1	(2面)	790		10	110		230			
4	78A-2	(2面)	500	5		20		170		5	
4	78A-3	(2面)	130			60		20			
4	78A-4	(2面)	160			20		50		20	
4	78A-5	(2面)	80					20			
4	78A-6	(2面)	200		20	80	20	40			
4	78A-7	(2面)	130		20			70		1	
4	78A-8	(2面)	180			30		40		1	
4	78A-9	(2面)	710	20	20	280		240		10	
4	78B-1	(2面)	370			60		170			
4	78B-2	(2面)	300			20		130		10	80
4	78B-4	(2面)	220					70			
4	78B-5	(2面)	30					1			
4	78B-6	(2面)	40			20		30			
4	78B-7	(2面)	150			10		10			
4	78B-8	(2面)	150			200		80			
4	78C-1	(2面)				70		30			
4	78C-2	(2面)				10		5			
4	78C-3	(2面)	100					10			20
4	78C-4	(2面)				80				10	
4	78C-6	(2面)	5					10			
4	78C-7	(2面)	10					30			
4	78C-8	(2面)								10	
4	78C-9	(2面)	70								
4	78D-8	(2面)	20			10		10			
4	78D-10	(2面)				110		40			
4	78D-12		30			70		1			
4	78D-13	(2面)	1			5		70			
4	78E-4	(2面)	20			40		5		20	
4	78E-5	(2面)	100		10	40		10			
4	78E-6	(2面)	60		10	20		20			40
4	78E-9	(2面)	5								
4	78E-10	(2面)				5		5			
4	78E-11	(2面)	30								
4	78E-12	(2面)						10			
4	78E-13	(2面)	30								
4	78F-4	(2面)	370		5			200			
4	78F-5	(2面)	340		5	60		50			
4	78F-6	(2面)	210		20	20		180			
4	78F-7	(2面)	50			50	60	30			
4	78F-8	(2面)	90			40					
4	78F-12	(2面)	10								
4	78C-4	(2面)	150			110		70			

区	遺構名・出土位置	土師器				須恵器				灰軸 陶器	埴輪	
		大	中	小	不明	大	中	小	不明			
4	78C-5	(2面)	610					210		240		
4	78C-6	(2面)	150					190		230		
4	78C-7	(2面)	20					130		10		
4	78C-8	(2面)	580					60		40		
4	78C-9	(2面)	410					150		200	1	50
4	78C-10	(2面)							1			
4	78H-5	(2面)	810					310		140		
4	78H-6	(2面)	700					220		310		10
4	78H-7	(2面)	450					260		120		
4	78H-8	(2面)	250					480		30		
4	78H-9	(2面)	40					120		350	1	90
4	78H-10	(2面)	120					10		50		
4	78H-11	(2面)	180					60				
4	78I-6	(2面)	350					230		150	1	
4	78I-7	(2面)	650					220		280	60	
4	78I-8	(2面)	330					160		300	1	
4	78I-9	(2面)	260					180		140	30	50
4	78I-10	(2面)	160					10		50	20	70
4	78I-11	(2面)	220					140		10		
4	78I-12	(2面)	150					120		40		
4	78I-13	(2面)	10							30		
4	78I-14	(2面)	10					20				
4	78J-6	(2面)	20					80				
4	78J-7	(2面)	680					10		350		
4	78J-8	(2面)	310					100		110	10	
4	78J-9	(2面)	160					50		160		
4	78J-10	(2面)	190	10				130		170		20
4	78J-11	(2面)	50					150		10		
4	78J-12	(2面)						20		70		
4	78J-13	(2面)	180					10		810	1	
4	78J-14	(2面)	270					340	20	350		
4	78K-13	(2面)	80							40		
4	78K-14	(2面)	190					100		10		
4	770-1	(2面)	110					50		200		
4	770-2	(2面)	90					200				
4	77P-1	(2面)	300					240		20	10	110
4	77P-2	(2面)	200					50		70		
4	77P-3	(2面)	70					50		160		70
4	77P-4	(2面)	20					20				
4	67P-20	(2面)	120					50		100		30
4	77Q-1	(2面)	20					50				
4	77Q-2	(2面)	50							80	10	
4	77Q-3	(2面)	150							20		100
4	77Q-4	(2面)	230					20		50		20
4	77Q-5	(2面)	290							10		
4	77Q-6	(2面)	20					100		10		50
4	77S-1	(2面)	430					50		450	20	
4	77S-2	(2面)	390							70		90
4	77S-3	(2面)	730					10				
4	77S-4	(2面)	620							80		100
4	77S-5	(2面)	540					40		50		
4	77S-6	(2面)	100					10		20	20	110
4	77S-7	(2面)	40					10		210	10	
4	77S-8	(2面)	210					2		90	120	
4	67S-19	(2面)	20							40	10	
4	67S-20	(2面)	180					40		70	110	10
4		東壁トレンチ	180					170		240	1	
4		南西壁トレンチ	180					120	50	10		30
4	77T-1	グリッド	460					10		40		
4	77T-2	グリッド	220					110		100		
4	77T-3	グリッド	130					80		60		20

非掲載遺物一覧

区	遺構名・出土位置		土師器				須恵器				灰軸 陶器	埴輪
			大	中	小	不明	大	中	小	不明		
4	77T-4	グリッド	60				20		20			
4	77T-5	グリッド	420				20		20		10	
4	77T-6	グリッド	90						30			
4	77T-7	グリッド	180				250		340		20	
4	77T-8	グリッド	250				10		10			
4	77T-9	グリッド	50						100			
4	67T-18	グリッド							40			
4	67T-19	グリッド	60						10			
4	67T-20	グリッド	170						30		10	
4		2面一括	180		50		220		200			
4		3面表探	740		20		420	50	340		1	150
4	78区	表探	880	50	30				720		30	100
5	(92)	住居					200		1			
5	93	住居	530				240		50			
5	94	住居							10			
5	95	住居	210				70		50			
5	(96)	住居	170				30		70			
5	97	住居							20			
5	101	住居	30									
5	102	住居	30				30		20			
5	103	住居	990				10		60			
5	104	住居					850		430		30	70
5	105	住居	50	20	10				70			
5	106	住居					70		50		5	
5	107	住居	430		10		260	50	180		10	20
5	109	住居	1,400				620		360		80	
5	111	住居	10						110		1	
5	112	住居	520				550		690		50	
5	113	住居	630				630		180		10	
5	114	住居	220						10			
5	118	住居	1,830				780		70		40	
5	119	住居	250				400		30		10	
5	120	住居	150				30		30			10
5	121	住居	100				300		420			
5	122	住居	600						450			
5	(123)	住居	70						40			
5	124	住居	300		20		170		50			
5	125	住居	250		20		230		80			
5	126	住居	880				70		130			
5	127	住居	30				230		10			
5	128	住居	1,170				800		600		20	
5	129	住居	150				560		60			
5	130	住居			5		820		250			
5	131	住居					90		80			
5	132	住居	220				50		140			
5	133	住居	330				30		140			
5	134	住居	150				100		100		1	
5	135	住居	380				270		70			
5	136	住居	890				120		70			
5	137	住居	50				170		200			
5	138	住居					200		20			
5	174	土坑	20									
5	175	土坑							10			
5	(176)	土坑	10				290		30			
5	179	土坑	10				250		50			
5	183	土坑	5									
5	184	土坑							10		10	
5	185	土坑	5						20			
5	186	土坑					20					
5	187	土坑	40				200	10				
5	188	土坑					10					

区	遺構名・出土位置		土師器				須恵器				灰軸 陶器	埴輪	
			大	中	小	不明	大	中	小	不明			
5	195	土坑									5		
5	197	土坑							20	50	10		
5	212	土坑							130		10		
5	214	土坑	30								40		
5	215	土坑	20								10		5
5	216	土坑	10										
5	217	土坑	10								5		
5	218	土坑	10										
5	220	土坑	20								10		10
5	222	土坑	10					10			10		
5	223	土坑	20								20		
5	224	土坑	20										
5	225	土坑									30		
5	229	土坑	50										
5	232	土坑											1
5	233	土坑	50								10		
5	234	土坑	30										
5	241	土坑	20										
5	242	土坑	100										
5	246	土坑	70						50		10		
5	258	土坑							20				
5	262	土坑							230				
5	263	土坑	90						50				
5	304	土坑	10						20				
5	308	土坑									10		
5	309	土坑							10				
5	309	土坑							10				
5	313	土坑	10						50		10		
5	318	土坑	20										
5	319	土坑									10		
5	322	土坑									10		
5	323	土坑	20										
5	324	土坑									10		
5	327	土坑	10										
5	341	土坑	10										
5	344	土坑	40								10		
5	347	土坑									20		
5	349	土坑	40								10		
5	8	竪穴	20						50	10	60		
5	8	畠									20		1
5	3	河道	70						5	80	70		
5	31	溝	150							130	20		
5	33	溝									10	20	
5	I-15	グリッド									10		270
5	J-14	グリッド	140							230	30		
5	R-16	グリッド	10										
5		表探	30							320	20		
5		1面一括	20							130	90		10
5		2面一括	3,400						1,890	1,590			150 420
5		3面一括									20		



表23 遺物観察表

1区  
17住居

No.	挿図 PL.No.	種類	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1	第35図 PL.154	須恵器 杯	東壁際+7 3/4	口底 8.8 6.0	高 2.0	粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩滅。
2	第35図 PL.154	須恵器 杯	床直 1/2	口底 9.5 4.8	高 2.2	粗砂粒・角閃石/酸 化焰/にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩滅。
3	第35図 PL.154	白磁 碗	掘り方覆土 口縁部片	口底 16.0	高	精選/還元焰/灰白	口縁部は外側が肥厚。玉縁をなす。太宰府分類。白磁碗IV類。11C後半～12C前半(12C後半まで一定量出土)。	
4	第35図 PL.154	青磁 碗	掘り方覆土 口縁部片	口底	高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形。太宰府分類。越州窯系青磁碗II類8C末～10C中頃。青磁としては胎土は粗く釉の発色は悪い。	
5	第35図	土師器か 羽釜	掘り方+8 口縁～胴部上位 片	口底 22.0	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/良好/にぶい 黄橙	口縁部は横ナデ。鏝部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は鏝部直下にナデの部分を残す。内面は横位のヘラナデ。	
6	第35図 PL.154	石製品 砥石	床直 完形	長幅 9.5 4.7	厚重 2.6 133.4	砥沢石	四面使用。裏面側底面に深い刃ならし傷が縦位に延びる。小口部両端には粗い磨き整形が残る。	切り砥石
7	第35図 PL.154	鉄製品 不詳	覆土 破片	長幅 (3.1) 0.6	厚重 0.5 1.24		断面ほぼ正方形棒状の鉄製品で錆化が著しく本体は空洞化し詳細は不明。	
8	第35図 PL.154	鉄製品 不詳	覆土 破片	長幅 3.0 0.7	厚重 0.5 1.38		断面ほぼ正方形棒状の鉄製品で錆化が著しく本体は空洞化し詳細は不明。	

## 17・19住居

No.	挿図 PL.No.	種類	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
9	第35図	灰釉 碗	覆土 口縁部片	口底 14.2	高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。内面の先端直下に沈線が巡る。内外面に施釉。	虎溪山1号窯式期。
10	第35図	灰釉 碗	覆土 口縁下半～高台 部片	口底	高台 6.6	精選・黒色鋳物粒 少/還元焰/灰白	ロクロ整形(回転方向不明)。高台部は付高台。内面に施釉、刷毛塗るか。	虎溪山1号窯式期。

## 18住居

No.	挿図 PL.No.	種類	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
11	第35図 PL.154	須恵器 杯	北西隅床直 底部一部欠	口底 9.4 5.9	高 2.5	粗砂粒・角閃石/酸 化焰/にぶい黄橙	底部の切り離しは粗雑。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	

## 19住居

No.	挿図 PL.No.	種類	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考		
12	第35図 PL.154	須恵器 杯	覆土 口縁部片	口底 9.8	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	内面に油煙付着、残存。	
13	第35図	須恵器 杯	貯蔵穴+11 1/4	口底 7.7 4.3	高 2.3	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(左回転)。	底部回転糸切り後、無調整。	器面は摩滅。
14	第35図 PL.154	須恵器 杯	掘り方+6 2/3	口底 11.4 6.3	高 4.3	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	内面の一部に炭素吸着。	
15	第35図	須恵器 杯	覆土 口縁部片	口底 13.8	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/浅黄 橙	ロクロ整形(右回転)。		
16	第35図	灰釉 壺	覆土 胴部片	口底	高	白色・黒色鋳物粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。外面は回転ヘラ削り。外面に施釉。		
17	第35図	土師器 羽釜	掘り方+9 口縁～胴部上位 片	口底 22.0	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/良好/ 灰褐	口縁部は横ナデ。鏝部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は斜位のヘラ削り。鏝部直下にナデの部分を残す。	被熱。炭素吸着。	
18	第35図	土師器 甕	カマド+7 口縁～胴部片	口底 29.2	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位のヘラナデ。輪積み痕を多数残す。内面は斜横位のヘラナデ。	器面に炭素吸着。被熱。	
19	第35図	土師器か 甕	南壁際+7 胴下位～底部 1/3	口底 12.4	高孔 5.6	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	平底の底部は中央に直径5.6cmの焼成前穿孔を配す。胴部外面は縦位のヘラナデ。最下位は斜横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	器面に炭素吸着。	
20	第35図 PL.154	石製品 砥石	東壁際床直 下端側欠損	長幅 (11.2) 5.8	厚重 2.1 146.9	砥沢石	四面使用。各面ともよく使い込まれ研ぎ減る。背面側底面に横位線条痕が残る。	切り砥石	

## 20住居

No.	挿図 PL.No.	種類	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
21	第35図 PL.154	須恵器 杯	覆土 口縁一部欠	口底 8.3 4.6	高 2.0	粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
22	第35図	灰釉 段皿	掘り方覆土 口縁部片	口底 11.4	高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。	虎溪山1号窯式期以降。
23	第35図	土師器 羽釜	床直 口縁～胴部上位 片	口底 17.7	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰/ 褐	口縁部は横ナデ。鏝部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面はヘラナデか。内面は横位のヘラナデ。	
24	第35図 PL.154	礫石器 磨石?	床直 完形	長幅 4.7 4.4	厚重 3.5 108.3	変質安山岩	背面側に弱い摩耗面がある。磨石としては小形に過ぎ、詳細は不明。	略円礫
25	第35図 PL.154	鉄製品 小刀	北東隅+13 完形	長幅 19.0 2.5	厚重 1.6 85.76		棟・刃側ともに大きく関を持つ小刀で、刃部に対して茎が短く劣化前破損の可能性あり。	

## 22住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
26	第36図 PL.154	須恵器 杯	掘り方覆土 1/2	口 底	7.9 4.5	高	2.3 粗砂粒少/酸化焰/ 橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
27	第36図	須恵器 杯	床直 底部片	口 底	6.0	高	粗砂粒/酸化焰/灰 黄褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩滅。口 縁部の割れ口 摩耗。旧事で あれば杯の底 部を円板状に 二次調整した 可能性もある。
28	第36図 PL.154	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	6.5 1.8	厚 重	1.3 19.91	管状の鉄製品で、薄い鉄板を丸めて形作られるが合わせ目は密着せず隙間が開く、両端部も凹み平滑ではない。	

## 23住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
29	第36図 PL.154	須恵器 杯	床直 口縁一部欠	口 底	9.7 5.8	高	2.3 粗砂粒少/酸化焰/ 灰白	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。底部の切り離しは著しく粗雑。	器面摩滅。
30	第36図 PL.154	須恵器 杯	+7 口縁一部欠	口 底	12.8 6.4	高	3.2 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/明赤 褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	内面摩滅。
31	第36図	須恵器 碗	床直 底～高台部片	口 底		高 台	7.0 粗砂粒・赤黒色粘 土粒・角閃石/酸化 焰/浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
32	PL.154	土製品 羽口	掘り方覆土 破片	長 短	7.5 5.6	厚 重	3.3 90.4	羽口先端部破片。先端部は黒・灰黒色でガラス化・発泡する。外径66mm、孔径25mm。	

## 24住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
33	第36図	須恵器 杯	覆土 口縁～底部1/3	口 底	10.3 6.0	高	1.8 粗砂粒/酸化焰/浅 黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	

## 25住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
34	第36図	須恵器 杯	床直 1/3	口 底	9.3 4.8	高	1.9 粗砂粒・角閃石/酸 化焰/浅黄橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩滅。
35	第36図 PL.154	須恵器 碗	西壁際-8 1/2	口 底	13.3 7.1	高 台	5.3 粗砂粒・角閃石・雲 母/酸化焰/灰黄	ロクロ整形(左回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面摩滅。
36	第36図	須恵器 碗	床直 下半部	口 底		高 台	7.8 粗砂粒・軽石少/酸 化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(左回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面は破損後 被熱、摩滅。
37	第36図	灰釉 壺	+8 胴部片	口 底		高		精選/還元焰/灰白 ロクロ整形(左回転)。外面に回転ヘラ削り。	
38	第36図 PL.154	土師器 甕	床直、278坑+4 口縁～底部1/3	口 底	27.5 14.8	高	27.3 粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/良好/ 明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位の、最下位のみ横位のヘラ削り。内面の頸部寄りには横位の、その下位は縦位のヘラナデ。以下は摩滅。	器面は被熱、 炭素吸着。
39	第36図	土師器 甕	床直、278坑 口縁～胴部下位 片	口 底	30.8	高		粗砂粒・軽石/良好/ 赤褐 口縁部は横ナデ。胴部外面はナデ後、ナデに近い縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱、内面は 摩滅。
40	第36図 PL.154	土師器 甕	床直・覆土 口縁～胴部中位 1/2	口 底	30.8	高		粗砂粒・軽石/良好/ 赤褐 口縁部は横ナデ。胴部外面の口縁部直下にわずかにナデ。それ以下は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	使用時だけで なく破砕後も 被熱か。
41	第36図 PL.154	土師器 甕	床直 胴下位～底部	口 底	15.0	高		粗砂粒/酸化焰/に ぶい褐 胴部外面は斜縦位にヘラ削り。内面は斜横位にハケ目。底部外面は砂底。	器面に炭素吸 着。
42	第36図 PL.154	埴輪 形象	床直 基部片	口 底		高		粗砂粒・赤黒色粘 土粒/窯害焼成/橙 上位に向かって直径を細くすることから器材埴輪の基部の可能性が考えられる。外面は縦ハケ(7本/1cm)後、断面台形の突帯を貼付。その後、周縁部に横ナデを施す。内面は縦位のナデ。	器面やや摩滅。
43	第36図 PL.154	石製品 砥石	東壁際床直 下端側欠損	長 幅	(6.5) (3.4)	厚 重	(1.2) 40.0	砥沢石 四面使用。初期の砥石が柱状を呈するとすれば、相当に使い込んだということだろう。小口部上端を磨き整形。	切り砥石

## 98住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
44	第37図 PL.155	黒色土器 碗	床直 口縁一部欠	口 底	15.8	高 台	5.5 7.3 粗砂粒/酸化焰/明 黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。口縁部外面に横位のヘラ磨き。内面は口縁部に横位の、底部に一定方向のヘラ磨き。	内面の一部に 炭素吸着。黒 色処理か。
45	第37図 PL.155	須恵器 碗	貯蔵穴+25 2/3	口 底	15.6	高 台	7.2 8.8 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
46	第37図	灰釉 碗	覆土 底～高台部片	口 底		高 台	5.5	黒色鈹物粒/還元 焰/灰白 ロクロ整形(回転方向不明)。高台部は付高台。	内面の摩耗顕 著。二次利用 か。大原2号 窯式期。

## 99住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
47	第37図 PL.155	鉄製品 釘	覆土 破片	長幅	(2.7) 0.5	厚重 1.03		断面正方形の角釘破片。頭部分は角形で終わり折り返し等の構造は見られず、先端は劣化破損する。	
48	第37図	鉄製品 釘	覆土 破片	長幅	(2.2) 0.6	厚重 0.78		断面正方形の角釘破片。頭部分は角形で終わり折り返し等の構造は見られず、先端は劣化破損する。	

## 100住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
49	第37図 PL.155	須恵器 杯	掘り方床直 1/2	口底	8.4 5.0	高 1.7	粗砂粒・角閃石・軽石/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
50	第37図	須恵器 杯	掘り方床直 1/4	口底	8.1 4.8	高 1.9	粗砂粒/酸化焰/灰黄	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	炭素吸着。
51	第37図	須恵器 杯	床直 2/3	口底	8.6 4.8	高 2.5	粗砂粒・軽石多/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	被熱の為、変色。
52	第37図 PL.155	須恵器 杯	掘り方床直 2/3	口底	8.9 4.9	高 2.8	粗砂粒・軽石/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
53	第37図 PL.155	須恵器 椀	カマド燃焼部 口縁一部欠	口底	10.9 5.7	高台 4.5	粗砂粒/酸化焰/にぶい橙	器形はやや歪んでいる。ロクロ整形。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。
54	第37図 PL.155	土製品 羽口	床直 破片	長短	4.3 7.7	厚重 153.1	7.8	羽口先端部のみ破片。先端部黒色で一部ガラス化・発泡する。外径78mm孔径25mm挿入角度計測不可。	(1区製鉄炉か)
55	PL.155	土製品 羽口	覆土 破片	長短	8.4 5.3	厚重 88.6	3.5	羽口破片、全体に橙色でガラス化・発泡は見られない。破片小さく外径、孔径計測不可。	

## 6竪穴

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
56	第37図	黒色土器 椀	覆土 口縁下位～高台部片	口底		高台 5.8	細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転か)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面はへら磨き。	内面は黒色処理。外面にも炭素吸着。
57	第37図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口底	13.6	高	粗砂粒少/酸化焰/浅黄	ロクロ整形(右回転)。	

## 1墓坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
58	第37図 PL.155	須恵器 杯	+26 口縁一部欠	口底	9.1 4.6	高 2.8	粗砂粒・赤黒色粘土粒・軽石/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
59	第37図	須恵器 杯	覆土 1/2	口底	12.2 5.4	高 4.2	粗砂粒/酸化焰/黄橙	ロクロ整形(右回転と考えられる)。底部回転糸切り後、無調整。	器面は摩耗。

## 26溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
60	第37図 PL.155	須恵器 杯	覆土 2/3	口底	9.3 4.8	高 2.5	粗砂粒・赤黒色粘土粒・軽石/酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
61	第37図 PL.155	須恵器 杯	覆土 1/2	口底	9.6 5.0	高 2.8	粗砂粒・軽石/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
62	第37図	須恵器 杯	覆土 口縁下半～底部1/2	口底		高 4.0	粗砂粒/酸化焰/明黄褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
63	第37図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口底	16.3	高	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(左回転か)。	
64	第37図 PL.155	須恵器 椀	+47 口縁部1/2	口底	15.8	高	粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。	被熱の為か器面摩滅。
65	第37図	須恵器 椀	+32 下半部片	口底		高台 8.0	粗砂粒多/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
66	第37図	須恵器 椀	覆土 口縁下半～高台部片	口底		高台 6.7	粗砂粒/酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	口縁部外面に粉殻。圧痕か。
67	第37図 PL.155	須恵器 椀	覆土 下半部片	口底	10.3	高	粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。足高の高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
68	第37図 PL.155	須恵器 椀	+60 底～高台部片	口底		高台 8.1	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	底部外面へら状工具による線刻「□」。
69	第37図	灰釉 椀	覆土 口縁部片	口底	13.8	高	黒色鉍物粒少/還元焰/灰白	ロクロ整形(左回転か)。内面に釉が残存。漬け掛けか。	内面やや摩耗。大原2号窯式期。
70	第37図	灰釉 椀	覆土 下半部	口底		高台 9.0	黒色鉍物粒少/還元焰/灰白	ロクロ整形(回転方向不明)。高台部は底部切り離し後の付高台。	内面磨耗顕著。二次利用か。器面に煤付着。大原2号窯式期。

## 1区観察表

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
71	第37図 PL.155	須恵器 鉢	覆土 4/5	口底 27.4 13.4	高 16.2	粗砂粒・赤黒色粘土粒・軽石/酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形か。口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。最下位のみ横位にヘラ削り。	内面下半は被熱の為か摩滅顕著。
72	第37図	須恵器 壺	覆土 胴下位～高台部	口底	高	黒色鈹物粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形。低い高台部を貼付。	焼成が不具合で別固体が融着。外面に自然釉。
73	第37図 PL.155	鉄製品 紡錘車	覆土 紡輪・完形	長幅 4.4 4.3	厚重 0.9 17.11		紡錘車の棒輪。4×4.1cmほぼ円形の棒輪で錆に厚く覆われる本体の厚さは0.2cm程と見られる、中央に0.4cmの孔があるが紡軸は見られず糸等の痕跡も認められない。	

## 27溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
74	第38図	黒色土器 碗	+15 口縁部1/4	口底 14.0	高	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。内面は横位のヘラ磨きの上に斜位のヘラ磨きを重ねる。外面の口縁部上位にも横位のヘラ磨き。	
75	第38図 PL.155	須恵器 杯	+53 口縁一部欠	口底 9.4 4.7	高 2.6	粗砂粒・軽石/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
76	第38図 PL.155	須恵器 杯	覆土 2/3	口底 10.8 5.6	高 3.1	粗砂粒・軽石/酸化焰/にぶい黄橙	底部の切り離しは粗雑。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
77	第38図	須恵器 杯	覆土 底部1/2	口底 6.0	高	粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
78	第38図 PL.155	須恵器 碗	+58 口縁一部欠	口底 9.8	高台 6.3	粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
79	第38図	須恵器 碗	+19 2/3	口底 11.0	高台 6.2	粗砂粒・軽石/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。
80	第38図 PL.155	須恵器 碗	床直 3/4	口底 11.5	高台 7.1	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	底部外面にヘラ状工具による線刻「十」か。
81	第38図	須恵器 碗	+32 下半部	口底	高台 9.1	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部糸切り後の付高台。粗雑な貼付後、周縁部にナデ調整。	
82	第38図 PL.155	土師器 不明	覆土 破片	口底	高厚 2.5	粗砂粒・軽石/酸化焰/にぶい黄橙	全体形状は不明。断面が薄い蒲鉾形を呈する。焼成前穿孔の直径1.3cmの孔が貫通する。	
83	第38図 PL.155	土師器 不明	覆土 破片	口底	高	粗砂粒・軽石/良好/にぶい黄橙	断面蒲鉾状の一端が弧状に屈折している。器面はナデ調整。	天地左右不明。
84	第38図 PL.155	鉄製品 不詳	覆土 破片	長幅 3.9 3.5	厚重 1.1 6.47		不定形の板状の鉄製品で、一部の形状は破損によると見られるが、その後の錆化により本来形状との識別は困難で詳細は不明。	

## 40溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
85	第38図 PL.155	須恵器 杯	+19 口縁一部欠	口底 9.3 4.6	高 3.1	粗砂粒・軽石・赤黒色粘土粒/酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
86	第38図	須恵器 碗	+28 底～高台部	口底	高台 8.7	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。

## 1 焼土

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
87	第38図 PL.155	須恵器 杯	東確認面 完形	口底 8.4 5.0	高 2.2	小礫・粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	底部の切り離しは粗雑。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
88	第38図 PL.155	須恵器 碗	東確認面 高台部3/4欠	口底 9.5 4.9	高台 4.2 4.9	粗砂粒/酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	外面は口縁部下位、底部に炭素吸着。
89	第38図 PL.155	鉄製品 刀子	2面 破片	長幅 (3.0) 1.1	厚重 0.7 3.55		刀子破片、全体を厚く錆が覆い本体は空洞化するが、断面形状X線観察から刀子の刃部分の破片と見られる。断面三角形で平面形は長方形で幅はほとんど変わらず一端は破損後錆し他端は劣化による破損と見られる。	

## 47土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
90	第38図	灰釉 碗	+12 底～高台部片	口底	高台 6.0	精選・細砂粒少/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転ヘラ削り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	内面磨耗。碗に転用。墨痕付着か。大原2号窯時期。
91	第38図 PL.156	土製品 羽口	床直 1/2	長短 12.2 9.9	厚重 6.0 428.8		羽口の半裁破片、基部はラッパ状に広がる。先端部上面に酸化土砂付着。基部外径100mm外径80mm孔径25mm挿入角度105°。	(1区製鉄か)
92	第38図 PL.156	土製品 羽口	床直 1/2	長短 12.5 8.4	厚重 5.2 297.5		羽口の半裁1/3破片で先端を欠く。基部はラッパ状に急激に広がる。先端側は流れる様に筋状に溶融。基部外径105mm外径85mm孔径23mm挿入角度94°。先端部の一部に磁着(滓)有り。	(1区製鉄か)

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
93	第38図 PL.156	土製品 羽口	床直 完形	長 短	13.0 10.0	厚 重	10.6 830.5	ほぼ完形の羽口。基部はラッパ状に急激に広がる。先端は溶融ガラス化し孔は2/3程閉塞する。先端部上面から左面にかけて酸化土砂が付着する。基部外径106mm基部孔径36mm外径80mm孔径25mm挿入角度103°。	(1区製鉄炉か)
94	第38図 PL.156	炉壁 中段上半	覆土 破片	長 短	7.0 3.4	厚 重	3.0 39.2	表面はガラス化・発泡し一部酸化土砂が覆う。下面には植物痕の空洞が見られる。	(1区製鉄炉か)
95	PL.156	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	7.6 6.0	厚 重	3.6 106.4	羽口基部片で基部で僅かに広がる形状を持つ。小破片のため外径、孔径計測不可。	
96	PL.156	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	5.1 5.4	厚 重	3.4 60.3	羽口先端部破片。先端部は黒色でガラス化。破片小さく外径計測不可、先端部孔径25mm。	L-9
97	PL.156	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	3.9 6.1	厚 重	3.9 55.3	羽口基部片。灰黒色で破片小さく外径、孔径計測不可。	L-9
98	PL.156	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	9.1 7.4	厚 重	4.8 144.4	羽口先端部破片。先端全体に黒から灰黒色でガラス化し孔先端を閉塞しつつある状態。破断面を含め一部に酸化土砂が付着する。外径計測不可、先端部孔径23mm。	L-8
99	PL.156	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	6.5 5.4	厚 重	3.7 50.4	先端部破片。先端黒色でガラス化・発泡し一部を酸化土砂が付着する。外径、孔径計測不可。	L-9

#### 205土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
100	第39図	須恵器 杯	床直 1/3	口 底	9.8 5.2	高	2.3	粗砂粒/酸化焰/灰 黄褐	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。 器面は摩耗。

#### 206土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
101	第39図	須恵器 杯	覆土 1/2	口 底	9.2 3.8	高	2.4	粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。

#### 207土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
102	第39図	須恵器 杯	+14 口縁部3/4欠	口 底	8.0 4.6	高	1.5	粗砂粒/酸化焰/灰 黄褐	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。 器面摩耗。炭素吸着。
103	第39図	須恵器 杯	覆土 1/3	口 底	10.4 6.6	高		粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。
104	第39図 PL.156	土師器 甕	+12 口縁～胴部下位 1/3	口 底	29.8	高		粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/良好/に ぶい褐	口縁部は横ナデ。頸部に指頭圧痕。胴部外面は上半部がナ デ後に斜横位のヘラナデ。下半部が縦位のヘラ削り。内面 は斜横位の横ナデ。 被熱。炭素吸着。内面下半 部は摩滅。
105	第39図	土師器 甕	+12 口縁～胴部下位 1/3	口 底	27.8	高		粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデ後に縦位のヘラ削り。内 面は横位の横ナデ。 器面に炭素吸着後、被熱か 。
106	第39図	土師器 羽釜か	床直 口縁～胴部上位 片	口 底	33.0	高		粗砂粒・軽石/良好 /赤褐	口縁部は横ナデ。鏝部を粗雑に貼付後、周縁部に横ナデ。 内面は横位のナデ。 被熱の為、内 面摩滅。

#### 210土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
107	第39図	須恵器 甕	覆土 口縁部片	口 底	23.2	高		粗砂粒/角閃石/酸 化焰/明黄褐	紐づくり後、ロクロ整形。

#### 273土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
108	第39図	須恵器 杯	覆土 1/2	口 底	6.9 4.0	高	1.2	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。 器面は摩耗。

#### 278土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
109	第39図 PL.156	須恵器 杯	覆土 1/2	口 底	9.8 5.2	高	3.0	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰/ 浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
110	第39図	土師器 甕	覆土 胴下位～底部 1/4	口 底	17.0	高		粗砂粒・軽石/良好 /赤褐	胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部 外面は砂底。 炭素吸着。

#### 遺構外の出土遺物

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
111	第40図 PL.156	白磁 碗	L-9-12 口縁部片	口 底		高		精選/還元焰/灰白	外面に幅広の陽刻鑄連弁文。太宰付分類:白磁碗X I-4類 10C後半～11C中頃。
112	第40図 PL.156	須恵器 杯	L-8-25 口縁部片	口 底		高		粗砂粒/酸化焰か/ 灰	ロクロ整形(回転方向不明)。内面を中心に鉄滓付着。坩堝 として使用されたと考えられる。
113	第40図 PL.156	緑釉 壺	N-10 頸部片	口 底		高		精選・白色粘土/還 元焰/灰白	釉剥落。 器面摩滅。
114	第40図	灰釉 壺か	L-82 底部片	口 底	15.2	高		精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。胴部は回転ヘラ削り。高台部は断面 台形の付高台。

## 1区観察表

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
115	第40図 PL.156	須恵器 椀	表採 1/2	口 底	15.0	高 台	5.8 7.6	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着、摩滅。
116	第40図	須恵器 椀	表採 1/2(高台部欠)	口 底	13.4	高		粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。現状は欠損。	内面はやや摩 耗。
117	第40図 PL.156	鉄製品 鎌	L-8 完形	長 幅	11.8	厚 重	1.1 22.77		錆化が著しい鉄鎌で根部断面はレンズ型だが稜は不明瞭。茎との境に一周めぐる段を有し茎先端は劣化破損する。	
118	第40図 PL.156	鉄製品 不詳	N-10 破片	長 幅	(5.3) 0.9	厚 重	0.9 5.40		断面ほぼ円形の棒状鉄製品破片。錆化が著しく内部空洞化、端部に向かい徐々に細くなる、紡錘車の紡軸の可能性も有るが詳細は不明。	
119	第40図 PL.156	鉄製品 釘	N-10 破片	長 幅	(3.0) 0.9	厚 重	0.7 2.71		断面正方形で角釘破片で一端は劣化破損する。錆化が著しく内部は空洞化し詳細は不明。	
120	第40図 PL.156	鉄製品 不詳	N-10 破片	長 幅	(2.4) 0.7	厚 重	0.6 1.68		断面ほぼ円形の棒状鉄製品破片。錆化が著しく内部空洞化、端部に向かい徐々に細くなる、紡錘車の紡軸の可能性も有るが詳細は不明。	
121	第40図 PL.156	鉄製品 不詳	N-10 破片	長 幅	(3.3) 0.5	厚 重	0.3 1.14		断面ほぼ円形の棒状鉄製品破片。錆化が著しく内部空洞化、端部に向かい徐々に細くなる、紡錘車の紡軸の可能性も有るが詳細は不明。	
122	第40図 PL.156	鉄製品 不詳	N-10 破片	長 幅	(2.4) 0.3	厚 重	0.2 0.55		断面ほぼ円形の棒状鉄製品破片。錆化が著しく内部空洞化、端部に向かい徐々に細くなる、紡錘車の紡軸の可能性も有るが詳細は不明。	
123	第40図 PL.156	鉄製品 刀か	M-10 破片	長 幅	(9.0) 2.7	厚 重	1.1 40.3		断面狭い三角形の鉄製品破片で両端とも劣化破損する。関等は認められないが刀の破片と見られる。	
124	第40図 PL.156	鉄製品 不詳	L-8 破片	長 幅	3.7 1.9	厚 重	0.9 6.91		錆化が著しく内部空洞、長方形の板状鉄製品で一端は劣化破損する。	
125	第40図	鉄製品 鎌	L-8 完形	長 幅	14.5 2.7	厚 重	0.8 44.22		先が急に曲がる鉄鎌、柄装着部は端部2cm程を急角度に折り曲げる、柄の木質等の痕跡は確認できない。刃先は尖らずコ字形。	

2区  
1住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
126	第71図 PL.156	須恵器 杯	床直 1/2	口底 8.4 5.2	高 1.6	粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。 被熱の為か器 面摩耗。
127	第71図 PL.156	黒色土器 椀	掘り方床直 底部	口底	高台 6.0	細砂粒/酸化焰/暗 黄灰	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。高台部外面はへら磨き。内面 もへら磨きと考えられるが単位は把握できない。 内外面は黒色 処理。
128	第71図	須恵器 椀	掘り方床直 口縁中位~高台 部	口底	高台 6.3	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/浅黄 橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 粗雑な貼付後、周縁部にナデ調整。
129	第71図 PL.156	土製品 羽口	掘り方-8 破片	長短 7.8 6.7	厚重 3.5 149.1		羽口基部破片。基部はほとんど広がらずに寸胴形。先端側 は灰色に変色しその先は欠く。表面および孔内面に2mm前 後の植物痕が凹みとして見られる。外径85mm孔径25mm挿入 角度計測不可。
130	第71図 PL.156	鉄製品 不詳	掘り方覆土 破片	長幅 4.1 1.0	厚重 0.8 3.17		不定形に折れ曲がる棒状鉄製品で、一端は1.5cm程がつぶ れたループ状に折り返るが全体を厚く錆が覆い詳細は不 明。
131	第71図 PL.156	鉄製品 不詳	掘り方覆土 破片	長幅 2.3 0.5	厚重 0.4 1.30		棒状の鉄製品、錆化により詳細形状不明。

2住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
132	第71図	土師器 甕	カマド燃焼部 口縁~胴部上位 片	口底 21.6	高	粗砂粒・軽石/良好 /にぶい赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のへらナデ。内面は横位 のへらナデ。 器面被熱、摩 滅。
133	第71図 PL.156	土製品 羽口	南西隅床直 破片	長短 10.6 5.7	厚重 3.6 162.5		羽口基部破片。先端側でガラス化黒色光沢を持つ。孔内面 および破断面に1~2mmの植物痕が見られる。外径72mm孔 径21mm挿入角度98°。

3住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
134	第71図 PL.156	黒色土器 椀	南西隅+10 口縁一部欠	口底 10.0	高台 4.4 5.7	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。内面は底部の中心から放射状 に幅広いへら磨き。 内面黒色処理。
135	第71図 PL.156	黒色土器 椀	南東隅+33 1/3	口底 15.0	高台 5.1 8.0	粗砂粒/酸化焰/浅 黄	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。外面はへら削りの上にナデを 重ねているか。内面は口縁部・底部ともにへら磨き。 内面は黒色処 理。外面にも 炭素吸着。
136	第71図 PL.156	須恵器 杯	床直・掘り方 口縁一部欠	口底 8.4 5.7	高 2.1	粗砂粒・赤黒色粘 土粒少/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
137	第71図	須恵器 杯	+37 1/4	口底 9.3 4.2	高 2.7	粗砂粒/良好/黄灰	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。 器面は炭素吸 着、黒色味。
138	第71図 PL.157	須恵器 椀	+7 完形	口底 11.7	高台 5.3 6.6	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。
139	第71図 PL.157	須恵器 椀	南東隅+33 1/2	口底 14.6	高台 5.4 8.0	粗砂粒・軽石/酸化 焰/灰黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。 器面は炭素吸 着。内面摩耗。
140	第71図 PL.157	須恵器 椀	+19 2/3	口底 14.4	高台 6.3 8.4	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/浅黄 橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。
141	第71図 PL.157	灰釉 椀	+26 口縁一部欠	口底 12.3	高台 5.1 6.4	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は付高台。貼付後、外面の口 縁部最下位に回転へら削り。施釉は内外面に刷毛塗り。 被熱か。高台 部内面から底 部外面は摩耗 顕著。硯に転 用か。虎溪山 1号窯式期。
142	第71図 PL.157	土師器 羽釜	カマド燃焼部 1/2	口底 17.8 9.7	高 17.3	粗砂粒・赤黒色粘 土粒多/酸化焰/橙	口縁部は横ナデ。鑿部の貼付は粗雑。その後、周縁部に横 ナデ。胴部外面は縦位のへら削り。内面は横位のへらナデ。 被熱。炭素吸 着。
143	第71図 PL.157	鉄製品 鏃	床直 完形	長幅 12.3 1.8	厚重 1.1 15.35		錆化が著しい鉄鏃で根部断面はレンズ型だが稜は不明瞭。 細身で浅い腸削りを持つ、茎との境に一周めぐる段を有し 茎へ移行する。
144	第71図 PL.157	鉄製品 不詳	+17 破片	長幅 (7.3) 0.7	厚重 0.5 4.4		断面狭い長方形の細板状の鉄製品で一端はへら状に細くな るが刃部の様な形態は持たない、他端は破損・錆化する。

4住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
145	第71図 PL.157	灰釉 椀	カマド焚口 1/3	口底 14.2	高台 5.1 6.4	白色鋳物粒/還元 焰/灰白	ロクロ整形(左回転)。高台部は底部回転へら削り後の付高 台。内外面に施釉。漬け掛けか。 大原2号窯式 期。
146	第71図	灰釉 瓶か	+8 口縁片	口底	高	白色・黒色鋳物粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。内外面に施釉。
147	第71図	須恵器 羽釜	カマド煙道部 口縁~胴部片	口底 20.0	高	粗砂粒/還元焰・や や軟質/灰	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。鑿部を貼付後、周縁部 にナデ調整。 器面に炭素吸 着。内面やや 摩滅。
148	第71図 PL.157	鉄製品 不詳	床直 破片	長幅 5.8 3.3	厚重 0.8 9.7		狭台形の板状鉄製品で一端部近くと中央近くの二か所で浅 く折れ曲がる。

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
149	第71図 PL.157	鉄製品 釘	+21 完形	長 幅	8.2 0.9	厚 重	1.0 10.6	断面正方形の鉄釘で、頭部分は斜めに細くなるが折り返し等は見られない、先近くでねじれ折れ曲がる。木質等の痕跡は見られない。	

## 5住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
150	第72図	須恵器 椀	+13 1/4	口 底	11.8 5.4	高	4.6	粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着、摩滅。
151	第72図	灰釉 壺	覆土 破片	口 底		高		黒色鈹物粒少/還元焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(回転方向不明)。外面に釉。	
152	第72図	須恵器 羽釜	南東隅床直 口縁～胴部中位 片	口 底	19.2	高		粗砂粒・角閃石/酸化焰/灰白	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面に工具による刺突痕。	
153	第72図	須恵器 羽釜	カマド覆土 口縁～胴部中位 片	口 底	19.8	高		粗砂粒・角閃石/酸化焰/にぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形。罅部貼付後、胴部外面に斜縦位のヘラ削り。	被熱、摩滅。
154	第72図	土師器か 羽釜	カマド燃焼部 胴下位～底部 1/3	口 底	9.4	高		粗砂粒・赤黒色粘土粒/還元焰・軟質/灰白	胴部外面は縦位のヘラ削り。最下位は斜横位、横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
155	第72図	土師器 羽釜	カマド燃焼部 胴下位～底部	口 底	9.2	高		粗砂粒/良好/にぶい黄橙	胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は斜横位のヘラナデ。	破損後、被熱か。

## 6住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
156	第72図 PL.157	黒色土器 椀	床直 口縁下位～高台 部	口 底		高 台	7.6	粗砂粒・軽石/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面は底部の中心から放射状に幅広いヘラ磨き。	内面は黒色処理。外面にも炭素吸着。
157	第72図	黒色土器か 椀	+8 口縁下位～高台 部	口 底		高 台	6.9	粗砂粒・軽石/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面の底部中央から放射状にヘラ磨き。	内面黒色処理後、被熱の為、炭素の吸着失われたか。外面炭素吸着。
158	第72図	黒色土器 椀	+7 1/4	口 底	9.8	高 台	4.5 5.5	粗砂粒少/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転か)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面はヘラ磨き。底部中央に茎を向けた連華文状のモチーフを4単位配す。	内面黒色処理。外面の口縁部一部にも炭素吸着。器面摩滅。
159	第72図 PL.157	須恵器 杯	床直 完形	口 底	9.5 4.7	高	3.2	粗砂粒・軽石/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
160	第72図 PL.157	須恵器 杯	掘り方覆土 1/3	口 底	10.2 5.2	高	2.9	粗砂粒・角閃石・雲母/酸化焰/明黄褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩滅。
161	第72図 PL.157	須恵器 杯	+6 1/2	口 底	12.8 6.0	高	5.1	粗砂粒・角閃石・雲母/酸化焰/明黄褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩滅。
162	第72図 PL.157	須恵器 椀	+6 口縁・高台一部 欠	口 底	10.6 6.6	高	4.8	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面の一部に炭素吸着。
163	第72図 PL.157	須恵器 椀	床直 完形	口 底	10.1 5.7	高 台	4.6 5.7	粗砂粒・赤色粘土粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
164	第72図	須恵器 椀	+6 口縁下位～高台 部	口 底		高 台	5.9	粗砂粒・軽石/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
165	第72図 PL.157	須恵器 椀	床直 2/3	口 底	14.8 8.6	高	6.6	粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
166	第72図 PL.157	灰釉 皿	床直 1/4	口 底	12.1 6.4	高	2.5	黒色鈹物粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形(右回転)。高台部は低く断面三角形。底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内外面に施釉。	内面やや摩耗。虎溪山1号窯式期。
167	第72図 PL.157	灰釉 椀	床直 口縁～高台部 片	口 底	15.6 7.4	高	5.1	黒色鈹物粒/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は付高台。内外面に施釉。	内面磨耗。大原2号窯式期。
168	第72図	灰釉 椀	覆土 口縁部片	口 底	13.8	高		黒色鈹物粒少/還元焰/灰白	ロクロ整形(左回転か)。内外面に施釉。	光ヶ丘1号～大原2号窯式期。
169	第72図	灰釉 椀	覆土 口縁部片	口 底	15.8	高		精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。	光ヶ丘1号～大原2号窯式期。
170	第72図 PL.157	緑釉 皿	+7 口縁一部欠	口 底	12.1 6.5	高 台	2.1 6.5	精選・白色粘土/還元焰/灰黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は断面三角形。底部切り離し後の付高台。内外面、全てに施釉。	器面摩滅。釉剥落。
171	第72図 PL.157	緑釉 椀	床直 口縁一部欠	口 底	11.9 6.1	高 台	4.5 6.1	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は断面三角形。底部切り離し後の付高台。内外面、底部外面にも施釉。	器面摩耗。釉剥落。
172	第72図 PL.157	土製品 羽口	覆土 1/4	長 短	12.9 7.5	厚 重	4.3 298.7		羽口半裁破片。基部は僅かに広がるがほぼ寸胴に近い形状。破断面には2～5mmの幅広い植物痕跡が、孔内面には1～2mm幅狭い植物痕が溝状に見られる。先端側はガラス化・発泡する先端は欠く。外径84mm孔径20mm挿入角度84°。	



## 7住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
173	第72図	須恵器 椀	覆土 高台部片	口 底	6.0	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は付高台。	
174	第72図	須恵器 椀	覆土 底部片	口 底		高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	

## 8住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
175	第73図	黒色土器 椀	覆土 口縁下半～高台 部	口 底		高 7.3	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転か)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。内面は口縁部に斜横位の、底 部に一定方向のヘラ磨き。	内面黒色処理 。外面に炭素 吸着。器面摩 滅。
176	第73図 PL.157	須恵器 杯	床直 完形	口 底	10.4 4.8	高	3.0 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	底部外面はや や摩滅。
177	第73図	須恵器 杯	床直 1/3	口 底	10.4 5.2	高	2.8 粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰 /にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
178	第73図	須恵器 杯	覆土 1/3	口 底	9.2 4.8	高	2.2 粗砂粒/酸化焰/浅 黄	ロクロ整形(左回転)。底部は回転糸切りか。	底部外面摩滅。 口縁部の一部 に炭素吸着。
179	第73図	須恵器 杯	覆土 1/2	口 底	10.0 4.6	高	2.9 粗砂粒・角閃石・雲 母/酸化焰/浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	底部の切り離 し粗雑。
180	第73図 PL.157	須恵器 杯	床直 2/3	口 底	10.4 5.2	高	3.1 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
181	第73図 PL.157	須恵器 杯	床直 3/4	口 底	10.5 4.5	高	3.2 粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面の一部に 炭素吸着。
182	第73図	須恵器 杯	貯蔵穴床直 1/3	口 底	11.0 4.6	高	3.8 粗砂粒・角閃石・雲 母/酸化焰/灰黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
183	第73図 PL.157	須恵器 杯	床直 3/4	口 底	13.5 5.6	高	4.5 小礫・粗砂粒・雲母 /酸化焰/明黄褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩滅。
184	第73図 PL.158	須恵器 杯	掘り方床直 完形	口 底	10.9 4.7	高	3.3 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/明黄 褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
185	第73図	須恵器 杯	カマド掘り方 1/4	口 底	11.4 5.6	高	2.9 粗砂粒・角閃石・雲 母/酸化焰/灰黄褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。黒色味。
186	第73図	須恵器 椀	カマド焚口部 2/3	口 底	11.4	高 6.4	4.5 粗砂粒・軽石/酸化 焰/灰黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は断面三角形で薄い。底部回 転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸 着。
187	第73図	須恵器 椀	貯蔵穴床直 2/3	口 底	12.2	高 7.2	5.2 粗砂粒・軽石・角閃 石/酸化焰/にぶい 橙	ロクロ整形。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、 周縁部にナデ調整。	
188	第73図	須恵器 椀	覆土 口縁下半～高台 部	口 底		高 6.2	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	
189	第73図 PL.158	須恵器 椀	貯蔵穴床直 2/3	口 底	15.2	高 8.2	6.3 粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰 /にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	被熱か。
190	第73図 PL.158	須恵器 椀	貯蔵穴床直 1/2	口 底	16.8	高 8.2	6.3 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/明黄 褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	被熱か。
191	第73図	須恵器 椀	床直 口縁下位～高台 部上半	口 底		高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、 周縁部にナデ調整。	器面やや摩滅。
192	第73図 PL.158	須恵器 椀	床直 口縁下位～高台 部	口 底		高 6.9	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	底部中央に焼 成前の穿孔。
193	第73図 PL.158	灰釉 皿	西壁際+8 1/2	口 底	11.8	高 6.2	2.5 精選/還元焰/灰白 6.2	ロクロ整形(右回転)。高台部は外面側が削がれ、明瞭な稜 を持つ。底部回転ヘラ削り後の付高台。内外面に施釉。	内面磨耗。 光ヶ丘1号～ 大原2号窯式 期。
194	第73図	灰釉 椀	床直 口縁部片	口 底	14.4	高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(左回転か)。内面の先端直下に沈線が巡る。内 外面施釉。	虎溪山1号窯 式期。
195	第73図	緑釉 椀か	掘り方覆土 口縁部片	口 底	9.8	高	精選・灰色粘土/還 元焰/初-7灰	ロクロ整形(右回転か)。内外面に施釉。	東海産。9世 紀後半。
196	第73図 PL.158	須恵器 鉢	カマド燃焼部 2/3	口 底	25.2 11.9	高	13.0 粗砂粒・灰黒色粘 土粒・軽石/酸化焰 /浅黄	紐づくり後、ロクロ整形。体部外面下半にヘラ削り、ヘラ ナデ。	外面下半部に 炭素吸着。内 面摩滅。
197	第73図	土製品 土錘	覆土 破片	長 幅	4.8 3.3	孔 重	0.7 粗砂粒/酸化焰/還 元焰きみ/黄灰 31.24	大型品。外面はナデ調整。直径0.7mmの孔が貫通している。	
198	PL.158	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	4.2 6.3	厚 重	3.3 83.9	羽口先端近くの破片。先端側は灰から灰黒色でガラス化・ 発泡表面一部に酸化土砂が付着。先端部外径70mm、孔径計 測不可。	

## 8・9住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
199	第73図	須恵器 杯	覆土 1/3	口 底	9.6 6.0	高 2.2	粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	被熱か。
200	第73図	須恵器 杯	覆土 口縁下半～底部片	口 底	5.8	高	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面やや炭素吸着。

## 9住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
201	第73図	須恵器 椀	カマド燃焼部 口縁下半～高台部片	口 底		高台 7.1	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。口縁部内面は中央から放射状のヘラ磨き。	
202	第73図	須恵器 杯	覆土 破片	口 底	9.9 5.9	高 2.0	粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰/灰黄	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	被熱。
203	第73図	須恵器 杯	覆土 口縁下半～底部片	口 底	6.6	高	粗砂粒・角閃石/酸化焰/灰黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩滅。内面に黒色の付着物。

## 10住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
204	第74図 PL.158	須恵器 杯	掘り方覆土 3/4	口 底	9.8 5.0	高 3.3	粗砂粒/酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
205	第74図	須恵器 杯	掘り方覆土 1/2	口 底	9.4 4.6	高 2.5	粗砂粒・軽石/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
206	第74図	須恵器 杯	掘り方覆土 口縁部1/3	口 底	11.2	高	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	器面摩滅。
207	第74図	須恵器 椀	覆土 口縁下位～高台部	口 底		高台 5.8	粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
208	第74図	灰釉 椀	カマド覆土 口縁部片	口 底	11.9	高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。口縁部先端の外側がわずかに肥厚する。中位には回転ヘラ削り。内外面に施釉。	丸石2号窯式期。
209	第74図	灰釉 椀	覆土 口縁部片	口 底	13.8	高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(左回転か)。施釉は漬け掛け。	大原2号窯式期。
210	第74図	須恵器 羽釜	掘り方-21 口縁部片	口 底	19.2	高	粗砂粒・軽石/還元焰/軟質/灰白	ロクロ整形(右回転)。罅部は胴部を整形後に貼付。	炭素吸着。
211	第74図 PL.158	土師器 釜	掘り方-14 体下位～底部片	口 底		高	粗砂粒・軽石/良好/橙	平底の本体とこれを支える脚部の基部である。外面は丁寧なナデ。内面は横位のヘラ磨き。	

## 13住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
212	第74図 PL.158	須恵器 杯	床直 完形	口 底	8.6 6.0	高 1.9	粗砂粒少/酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
213	第74図	須恵器 杯	床直 底部片	口 底	5.1	高	粗砂粒/酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
214	第74図	須恵器 杯	覆土 口縁部片	口 底	18.6	高	粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	

## 14住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
215	第74図	須恵器 椀	カマド燃焼部 1/3	口 底	13.2 6.7	高台 5.6 6.7	粗砂粒・軽石少/酸化焰/明赤褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部に横ナデ。	内面磨耗。
216	第74図 PL.158	須恵器 椀	床直・覆土 2/3	口 底	14.4 8.0	高台 6.7 8.0	粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	被熱の為に器面摩滅。
217	第74図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口 底	13.6	高	粗砂粒・軽石/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。	器面に炭素吸着。
218	第74図	須恵器 椀	掘り方-8 口縁下位～高台部	口 底		高台 6.4	粗砂粒・軽石/酸化焰/黄灰	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面炭素吸着。
219	第74図	須恵器 椀	貯蔵穴床直 口縁下位～高台部	口 底		高台 7.7	粗砂粒/酸化焰/灰黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	内面炭素吸着。
220	第74図	須恵器 椀	貯蔵穴+6 底～高台部	口 底		高台 7.6	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	内面磨耗。
221	第74図 PL.158	須恵器か 羽釜	カマド燃焼部 底部1/2欠	口 底	14.7 12.1	高 13.8	粗砂粒・軽石・赤黒色粘土粒/酸化焰/にぶい褐	紐づくり後、ロクロ整形。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。底部外面もヘラ削り。	器面に炭素吸着。
222	第74図 PL.158	土師器 羽釜	カマド燃焼部 口縁～胴部下位 1/3	口 底	24.1	高	粗砂粒・軽石・赤黒色粘土粒多/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、胴部外面の罅部直下に横位のヘラ削り。以下は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。器面に炭素吸着。

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
223	第74図	土師器 羽釜	カマド燃焼部 口縁～胴部上位 片	口 底	28.4	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/良好/にぶい 橙	口縁部は横ナデ。鏝部貼付後、胴部外面に縦位のヘラ削り。 内面は横位のヘラナデ。	
224	第74図	土師器 甕か	カマド燃焼部 胴下位～底部	口 底	14.9	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石・角閃石 /良好/橙	胴部外面最下位は横位の、これより上は縦位のヘラ削り。 内面は横位のヘラナデ。	器面炭素吸着。
225	第74図	須恵器 甕	カマド燃焼部 口縁～頸部片	口 底		高	白色鈹物粒/還元 焰/灰	紐づくり後、ロクロ整形。外面は沈線により区画され、そ の上に波状文が配される。	裏面の一部摩 耗。割れ口の一 部は二次調 整が施され平 滑になっている。
226	第74図 PL.158	土製品 羽口	カマド燃焼部 完形	長 短	16.9 9.3	厚 重	9.4 1353.2	両端ともほぼ同径の寸胴な羽口。先端はガラス化が顕著で 黒色光沢を持つ。その反対側端部も灰黒色でガラス化・発 泡する。再利用により両端を使用した可能性あり。外径91 mm孔径26mm×21mm(楕円形)挿入角度89°。	カマド支脚

#### 15住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
227	第75図 PL.158	須恵器 杯	+24 1/2	口 底	9.2 5.4	高	2.3 粗砂粒少/酸化焰/ 灰白	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面の一部に 炭素吸着。
228	第75図 PL.158	須恵器 椀	南壁際-4 口縁一部欠	口 底	14.9	高	5.8 粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	
229	第75図 PL.158	須恵器 椀	床直 4/5	口 底	14.6 8.5	高	5.5 粗砂粒/酸化焰/灰 白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	
230	第75図	灰釉 壺	覆土 肩部片	口 底		高	粗砂粒少/0/灰黄	ロクロ整形。外面は回転ヘラ削り。外面に施釉。	
231	第75図	土師器 甕	床直 口縁～胴部上位 片	口 底	19.2	高	粗砂粒・軽石/良好 /にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面に縦位のヘラ削り。頸部との間 にナデの部分を残す。内面は横位のヘラナデ。	外面に煤付着。
232	第75図	土師器 羽釜	床直 胴中位～底部片	口 底	11.4	高	粗砂粒多・赤黒色 粘土粒/良好/にぶ い橙	胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は斜横位・横位のヘラナ デ。	
233	第75図 PL.158	鉄製品 刀子	覆土 1/4	長 幅	7.5 2.0	厚 重	1.1 9.16	錆化が著しく脆弱な刀子。棟・刃側共に関を持つが刃は関 近くで劣化破損する。茎を錆化した木質が覆う。柄は二枚 の板(広葉樹散孔材)をあわせて作られている、また茎の端 部では茎の周りに巻かれていたとみられる植物痕が廻る。	
234	第75図 PL.158	鉄製品 鎌	覆土 3/4	長 幅	9.0 1.6	厚 重	0.6 8.74	細身の鉄鎌で先端は劣化破損する。根部分の断面はレンズ 状だが劣化のため稜は不明瞭。茎との境に一周めぐる段が 有る。	

#### 1 竪穴

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
235	第75図 PL.158	須恵器 杯	床直 1/2	口 底	14.1 6.4	高	4.8 粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。外面摩滅。 被熱め。
236	第75図	須恵器 杯	床直 1/3	口 底	14.6 6.6	高	3.4 粗砂粒/酸化焰/に ぶい褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。摩耗。
237	第75図 PL.158	鉄製品 釘	床直 破片	長 幅	(3.5) 0.7	厚 重	0.7 1.3	断面正方形で小型の鉄釘と見られる。頭側は角型で終わる。	

#### 3 竪穴

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
238	第75図 PL.158	須恵器 杯	+17 完形	口 底	8.1 5.3	高	2.0 粗砂粒・角閃石/酸 化焰/灰白	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面やや摩滅。

#### 4 竪穴

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
239	第75図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口 底	12.0	高	粗砂粒/還元焰・や や軟質/灰黄	ロクロ整形(右回転)。	
240	第75図	土師器 甕	覆土 口縁部片	口 底	20.0	高	粗砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ。胴部外面に横位のヘラ削り。内面は横位 のヘラナデ。	
241	第75図	土師器 甕	床直・覆土 胴～底部	口 底	4.8	高	粗砂粒/良好/にぶ い赤褐	胴部外面に斜縦位のヘラ削り。内面は斜横位のヘラナデ。	外面に炭素吸 着。
242	第75図	須恵器 甕	床直・覆土 胴下位～底部片	口 底	12.5	高	粗砂粒/還元焰・酸 化焰/灰黄	紐づくり後、ロクロ整形か。胴部外面は横位のヘラ削り。 内面は横位にヘラナデ。	
243	第75図 PL.158	鉄製品 ノコギリ	床直 破片	長 幅	7.5 2.5	厚 重	0.4 14.37	幅2.5cmで刃ピッチ3.5mm程のノコギリ破片。先端は丸く、 他端は破損後錆化する。刃は錆化により形状は不明瞭だが、 交互に左右に曲がりアサリを形成することが確認できる。	

#### 1 溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
244	第76図	須恵器 椀	+8 底～高台部上位	口 底		高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	器面はやや炭 素吸着。

## 2溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
245	第76図	黒色土器 椀	覆土 底～高台部	口 底		高台 7.9	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。内面は口縁部に横位の、底部に一定方向のヘラ磨き。	内面黒色処理。
246	第76図	須恵器 杯	覆土 口縁部片	口 底	9.0	高	細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。	
247	第76図	須恵器 椀	覆土 底～高台部片	口 底		高台 8.8	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	

## 3溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
248	第76図 PL.159	須恵器 椀	+11 口縁一部欠	口 底	10.0	高台 3.7 5.4	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。口縁部外面は横位のヘラ磨き。図示部分は工具の広担面を当てた磨き。内面は口縁部は横位を基本に、底面は規則性の乏しいヘラ磨き。	内面黒色処理。その上に油分を含む黒色の付着物。外面も炭素吸着。一部は油煙か。
249	第76図 PL.159	須恵器 杯	覆土 1/3	口 底	9.7 4.0	高 3.2	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
250	第76図	須恵器 杯	覆土 2/3	口 底	10.0 5.0	高 3.3	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰 /灰白	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
251	第76図	須恵器 杯	覆土 口縁下位～底部	口 底	3.3	高	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩滅。
252	第76図	須恵器 杯	覆土 口縁下位～底部	口 底	4.4	高	細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩耗。
253	第76図 PL.159	須恵器 椀	覆土 2/3。台部欠	口 底	15.7	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	高台部欠損後も使用か。
254	第76図	須恵器 椀	覆土 口縁上位～高台部	口 底		高台 6.5	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形(右回転)。高台部は粗雑な回転糸切り後の付高台。粗雑な貼付後、周縁部にナデ調整。	
255	第76図	須恵器 椀	覆土 口縁下半～高台部片	口 底		高台 6.9	粗砂粒・軽石・角閃 石/還元焰・軟質/ 灰黄	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。	
256	第76図	須恵器 椀	覆土 口縁下位～高台部1/3	口 底		高台 8.8	粗砂粒・赤黒色粘 土粒多/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部に横ナデ。	
257	第76図	須恵器 椀	+2 底～高台部	口 底		高台 9.2	粗砂粒・軽石/還元 焰・軟質/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	高台部内面に炭素吸着。
258	第76図	須恵器 椀	+11・覆土 底～高台部	口 底		高台 9.0	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/黄 橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。	内面はやや摩耗。
259	第76図	須恵器 椀	覆土 底～高台部1/2	口 底		高台 9.1	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/還元焰・軟質/ 灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	内面はやや摩耗。
260	第76図	須恵器 椀	覆土 底～高台部片	口 底		高台 9.5	粗砂粒/酸化焰/灰 白	ロクロ整形(右回転)。足高の高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
261	第76図 PL.159	灰釉 椀	+9・覆土 2/3	口 底	12.2 6.2	高 3.8	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。施釉は漬け掛け。	大原2号窯式期。
262	第76図	灰釉 段皿	覆土 口縁部片	口 底	11.0	高	精選ややザラつく/ 還元焰/浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。施釉は漬け掛けか。	大原2号または虎溪山1号窯式期。
263	第76図	須恵器 壺か	覆土 胴下位～高台部1/4	口 底		高台 9.4	白色鉱物粒/還元 焰/黄灰	ロクロ整形(左回転か)。胴部外面は回転ヘラ削り。	内面の一部に釉付着。
264	第76図	須恵器 羽釜	+26 口縁部片	口 底	18.0	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。	
265	第76図	須恵器 甌	+8、8住 胴下位～底部	口 底	25.0	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形。胴部外面は縦位のナデに近いヘラ削り。	胴部内面は摩滅。
266	第76図 PL.159	鉄製品 釘	+4 3/4	長 幅	5.8 0.7	厚 重	0.7 3.14	断面ほぼ正方形の角釘で頭はそのままの字に折り曲げて終わる。先端は細くなるが端部は劣化破損する。	
267	第76図 PL.159	鉄製品 刀子	+13 3/4	長 幅	13.3 2.2	厚 重	1.0 33.9	大型の刀子で、棟・刃側ともに閔を持つ。刃先端側は左に折れ破損錆化する。茎は急に細くなるとともに薄くなり端部で斜め三角形で終わる。柄の木質等は確認できない。	

## 6土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
268	第77図	須恵器 椀	覆土 口縁下半～高台部	口 底		高台 9.0	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	高台部内面は炭素吸着。

## 7土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
269	PL.159	土製品 羽口	+18 破片	長 短	4.8 4.3	厚 重	3.4 57.9	羽口先端部破片。先端は黒灰色で発砲。小破片のため外径、孔径計測不可。	

## 16土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
270	第77図 PL.159	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	3.4 1.7	厚 重	0.8 8.95	断面長方形で端部は撥型に広がる、他端に向かい急に幅を減じ端部ではやや丸みを持つ形状が認められるが、全体に硬いさ錆に覆われ本体は脆弱なため詳細な形状は不明。	
271	PL.159	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	6.5 4.1	厚 重	2.4 39.7	大型の羽口破片と見られるが、小破片のため外径、孔径計測不可。	

## 19土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
272	第77図 PL.159	礫石器 台石	床直 破片	長 幅	(21.9) (30.9)	厚 重	12.3 7850.0	粗粒輝石安山岩	背面側に鉄錆が付着するほか、裏面側礫面・中央付近が激しく敲打されている。

## 21土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
273	第77図	須恵器 杯	+25 1/3	口 底	10.5 4.7	高 重	3.7	粗砂粒・軽石・角閃石/酸化焰/にぶい黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。

## 29土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
274	第77図	須恵器 杯	覆土 1/3	口 底	8.0 4.8	高 重	1.8	粗砂粒/酸化焰/浅黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
275	第77図	須恵器 椀	覆土 口縁下半～高台部	口 底		高 台	7.3	粗砂粒・赤黒色粘土粒・軽石・角閃石/酸化焰/にぶい黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。

## 36土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
276	第77図 PL.159	黒色土器 椀	床直 口縁一部欠	口 底	8.9 4.9	高 重	3.6	粗砂粒・軽石/酸化焰/灰黄褐	ロクロ整形(左回転か)。高台部は付高台。口縁部外面は横位のへら磨き。内面は口縁部に横位の、底部に一定方向のへら磨き。
277	第77図	須恵器 杯	覆土 1/2	口 底	9.2 5.2	高 重	2.0	粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。

## 43土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
278	第77図 PL.159	須恵器 椀	+20 4/5	口 底	14.0 8.0	高 重	5.3	粗砂粒・軽石/酸化焰/黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。

## 44土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
279	第77図	灰釉 皿	覆土 底～高台部1/2	口 底	6.8	高 重		精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は低く断面三角形。底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面に施釉。重ね焼き痕。
280	第77図 PL.159	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	2.6 1.1	厚 重	0.4 1.62		断面ほぼ正方形の角釘。先端から1cmはほぼ直角におり曲り、頭部は折り返し等の構造は見られず角形で終わる。

## 7ピット

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
281	第77図 PL.159	灰釉 椀	床直 1/3	口 底	13.2 6.4	高 重	3.9	黒色鋳物粒少/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は低い。底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面全面に施釉。

## 遺構外出土遺物

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
282	第77図 PL.159	白磁 碗	0-15 口縁部片	口 底		高 重		黒色鋳物粒/還元焰/灰白	口縁部先端は外側が肥厚する。太宰府分類:白磁碗IV類。11C後半～12C前半(12C後半まで一定量出土)。
283	第77図 PL.159	黒色土器 椀	2面 底～高台部片	口 底		高 台	6.8	粗砂粒/酸化焰/灰黄褐	ロクロ整形(右回転か)。内面はへら磨き。
284	第77図 PL.159	黒色土器 椀	2面 底～高台部片	口 底		高 台	6.8	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転か)。内面はへら磨き。
285	PL.159	土製品 羽口	2面 破片	長 短	7.2 4.4	厚 重	3.5 61.3		羽口小破片で外径・孔径計測不可。
286	PL.159	土製品 羽口	0-15 破片	長 短	7.8 5.9	厚 重	3.2 106.8		羽口先端部破片。先端は黒から赤黒色で発泡。小破片のため外径、孔径計測不可。
287	PL.159	土製品 羽口	表採 破片	長 短	5.3 4.8	厚 重	2.0 34.2		羽口の破片と見られるが、使用破片のため外径、孔径計測不可。

3区  
11住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
288	第85図	須恵器 杯	覆土 1/4	口 底	9.2 5.6	高	2.0	細砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整と考えられる。	器面摩滅。
289	第85図	土師器 甕	カマド焚口部 口縁～胴部上位 片	口 底	23.8	高		粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。外面に粘土の凹凸。胴部外面は2方向からのハケ目。内面は横位のヘラナデ。	
290	第85図 PL.159	鉄製品 刀子	+8 3/4	長 幅	11.7 2.0	厚 重	1.1 14.94		刃が非常に細く刃端は波打つ刀子で棟側に明瞭な関を持つ。刃側に関は見られないが研ぎ減りにより消失している可能性も有る。茎は細く長いが端部は劣化破損する。	

## 12住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
291	第85図 PL.159	須恵器 杯	+8 2/3	口 底	9.6 4.6	高	1.9	粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に黒色の 付着物。
292	第85図	須恵器 杯	+7 1/4	口 底	15.0 6.0	高	4.6	粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩滅。鉄 分付着。
293	第85図	須恵器 椀	+11 口縁部片	口 底	18.0	高		粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(左回転)。高台部は付け高台であるが剥落。底部は回転糸切り。	器面やや摩滅。
294	第85図	灰釉 長頸壺	+7 口縁部片	口 底	14.8	高		黒色鉍物粒/還元 焰/灰白	ロクロ整形(左回転)。内外面施釉。	
295	第85図 PL.159	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	1.48 0.9	厚 重	1.0 0.56		断面正方形の角棒状鉄製品で一端はコ字状に終わり他端は劣化破損する、角釘の破片と見られる。	
296	第85図	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	0.9 0.5	厚 重	0.3 0.2		断面狭三角形の鉄製品小破片で一端は薄く三角に尖り他端は劣化破損する。鉍先端または小刀子先端か。	
297	第85図 PL.159	銅製品 銭貨	床直 完形	長 幅	2.4 2.4	厚 重	0.12 1.87		祥符通宝、外縁・文字・郭とも彫深く明瞭だが、表面が脆弱なため外縁と郭の一部が破損する。	

## 4溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
298	第85図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口 底	15.0	高		粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は付高台。剥落。	

## 5溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
299	第85図	土師器 杯	覆土 口縁部片	口 底	20.8	高		粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	被熱か。

## 8溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
300	第85図	灰釉 椀	覆土 高台部1/2	口 底	7.2	高		黒色鉍物粒/還元 焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転ヘラ削り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面に重ね焼き痕。	内面の高台部 端部は摩耗顕 著。硯に転用 か。光ヶ丘1 号～大原2号 窯時期。
301	第85図	灰釉 甕	底面 肩部片	口 底		高		細砂粒少/還元焰/ 黄灰	ロクロ整形(右回転)。外面に回転ヘラ削りを施すか判明困難。外面に施釉。	
302	第85図 PL.159	土師器 羽釜	底面 1/3	口 底	14.8 14.0	高	11.9	粗砂粒・軽石/酸化 焰/褐	小径で平底。口縁部先端直下に平面三日月状の把手が付く(一対と考えられる)。口縁部は横ナデの後にヘラ削りを重ねる。胴部外面は斜縦位に粗雑なヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	器面に炭素吸 着。内面上位 に黒色の付着 物。

## 11土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
303	第85図 PL.159	石製品 砥石	+13 下端側欠損	長 幅	(10.0) 5.7	厚 重	5.4 349.6	砥沢石	三面使用?裏面側を除く各面を砥面として使用、初期の砥面が背面側と右側面に残されている。左側面は破損面を砥面としたもので、部分的に線条痕が残る。	切り砥石

## 14土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
304	第85図 PL.159	鉄製品 鎌	覆土 1/2	長 幅	(3.8) 1.2	厚 重	1.2 5.76		先端部が劣化破損する鉄鎌と見られる破片。全体に錆化が著しく本体は空洞化し内部は脆弱なため詳細は不明であるが、両端に関状に段を持ち茎に移行し茎は1.5cmで終わるが破損後に錆化した可能性も有る。	
305	第85図 PL.159	鉄製品 不詳	+17 破片	長 幅	5.0 1.8	厚 重	0.8 7.8		狭台形の板状鉄製品で断面は丸みをもつ長方形。一端はコ字に終わり他端では八字形に急に幅が狭くなりその先で劣化破損する。	

## 11ピット

No.	挿 図 PL.No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
306	第85図 PL.159	鉄製品 鎌	覆土 1/2	長 幅	6.9 2.3	厚 重	1.1 17.10		断面狭三角形で三日月型の鉄鎌と見られる破片。全体を厚く錆が覆い内部は脆弱で詳細は不明であるが、柄装着部分は破損し錆化したと考えられる。

## 遺構外出土遺物

No.	挿 図 PL.No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
307	PL.159	土製品 羽口	2面 破片	長 短	3.7 3.4	厚 重	1.3 13.9		羽口先端近くの破片。先端側は灰黒色でガラス化。小破片のため外径、孔径計測不可。

4区  
21住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
308	第273図 PL.160	須恵器 杯	カマド焼部 3/4	口 底	9.4 5.5	高 2.1	粗砂粒/酸化焰/明 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。被熱か。
309	第273図 PL.160	埴輪 円筒か	カマド焼部 中位1/4	口 底		高	粗砂粒・角閃石・軽 石/宍窯焼成/にぶ い橙	断面台形の突帯が2条巡り、その間に円形と考えられる透 孔を配する。外面は縦ハケ(8本/1cm)後、突帯貼付。周 縁部に横ナデ。内面は縦方向のハケ目の上にナデを重ねる。	
310	第273図 PL.160	埴輪 円筒	カマド焼部 基底部1/4	口 底	24.0	高	小礫・粗砂粒/宍窯 焼成/橙	大径。外面は縦ハケ(5本/1cm)。内面は下端基部の粘土 板製作時の整形痕。これより上は縦位のナデ。ハケ目。	
311	第273図	埴輪 円筒	カマド焼部 胴部破片	口 底		高	粗砂粒/宍窯焼成/ にぶい橙	外面は縦ハケ(6本/1cm)。断面台形の突帯貼付後、周縁 部に横ナデ。内面は縦位のナデの上に一部縦ハケを重ねる。	
312	第273図	埴輪 円筒	カマド焼部 胴部破片	口 底		高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/軽石/宍窯焼成/明 黄橙	断面三角形の突出度の低い突帯2条が見られる。下位突帯 に接して円形の透孔が配される。外面は縦ハケ(7本/1cm )。内面はナデの上に縦位のハケ目。	
313	第273図	埴輪 形象	カマド壁際 破片	口 底		高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/宍窯焼成/橙	外面は縦ハケ(6本/1cm)の上に断面台形の突帯をめぐら し、周縁部に横ナデを施す。内面は縦位にヘラナデ。下段 に透孔が配される。	
314	第273図 PL.160	埴輪 形象	カマド壁際 基底部破片	口 底	13.0	高	粗砂粒/宍窯焼成/ にぶい橙	小径であることから器財埴輪等の基部下端と考えられる。 外面は縦ハケ(4本/1cm)。内面は縦位のナデ。下位に粘 土板製作時の製作板の木目が残る。	器面に黒色の 付着物。

## 26住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
315	第273図 PL.160	須恵器 杯	床直 完形	口 底	9.5 6.2	高 1.9	粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面の広範囲 に煤付着。
316	第273図	須恵器 椀	床直 底～高台部	口 底		高 7.8	細砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。	
317	第273図	灰釉 椀	覆土 口縁部片	口 底	17.0	高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。内外面施釉。	大原2号窯式 期か。
318	第273図 PL.160	土師器 釜	覆土 脚部片	口 底		高	粗砂粒/良好/にぶ い橙	本体を支える脚部上位の破片である。中実の棒状部分に本 体との接合部分の隙間を埋める粘土が添えられる。器面は 丁寧なナデ。	
319	第273図 PL.160	石製品 砥石	床直 上端側欠損	長 幅	(19.0) 8.6	厚 重 9.2 1910.3	粗粒輝石安山岩	四面使用。各面ともよく使い込まれ研ぎ減る。右側面に斜 め方向の刃ならし傷が残る。	礫砥石?
320	第273図 PL.160	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	5.5 1.8	厚 重 0.7 8.81		撥型の薄い板状鉄製品で、莖の形状に似るが端部はやや薄 くなる。	
321	第273図 PL.160	土製品 羽口	北東隅床直 破片	長 短	5.0 3.0	厚 重 3.4 38.2		羽口破片。破断面には幅1mm前後の植物痕の凹みが多数み られる。現存する破片では、ガラス化・発泡は見られない。 外径76mm孔径26mm挿入角度計測不可。	(製鉄炉周辺 鍛冶工房)
322	PL.160	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	7.0 4.9	厚 重 2.3 56.6		羽口先端部片。先端部表面は黒灰色でガラス化・発泡。破 断面には1～3mm程の植物痕の空洞が孔の方向に沿って見 られる。破片小さく外径、孔径計測不可。	

## 27住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
323	第274図 PL.160	黒色土器 椀	南東隅+9 口縁一部欠	口 底	9.8	高 台 3.9 5.1	粗砂粒少/酸化焰/ 黒	ロクロ整形(右回転か)。高台部は付高台。口縁部外面は横 位のヘラ磨き。内面は口縁部に横位の、底部に一定方向の ヘラ磨き。	内外面とも黒 色処理。口縁 部先端の内面 に油煙付着。
324	第274図 PL.160	須恵器 杯	東壁際+28 3/4	口 底	14.2 7.1	高	3.9 粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部は粗雑な回転糸切り後、無調整。	摩滅。
325	第274図	須恵器 甕	覆土 胴部片	口 底		高	白色鈹物粒/還元焰/ 灰	紐づくり後、叩き整形。外面は平行叩き目。内面は当て具痕。	内面の摩耗頭 著。二次利用 か。
326	第274図 PL.160	土師器 甕	カマド焼部 口縁～底部下位 1/3	口 底	22.5	高	粗砂粒・軽石・灰黒 色粘土粒/良好/暗 褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位に数回に分けてヘラ削り。 内面は横位のヘラナデ。下位に一部、縦位のヘラナデ。	外面に炭素吸 着。内面の中 位以下は摩滅。
327	第274図 PL.160	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	9.9 6.4	厚 重 3.6 125.7		羽口先端側破片。先端部はガラス化・発泡し孔端部を覆う ように溶ける。表面および孔内面に植物痕の凹みが溝状に 見られるが頻度は低い。外径70mm孔径26mm挿入角度96°。	(製鉄炉周辺 鍛冶工房)
328	PL.160	土製品 羽口	カマド壁際 破片	長 短	8.0 5.8	厚 重 2.7 81.2		羽口小破片で基部・先端部を欠く。外径82mm、孔径22mm。	

## 28住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
329	第274図 PL.160	須恵器 杯	周溝底面 2/3	口 底	9.8 5.7	高 2.5	粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
330	第274図 PL.160	須恵器 杯	カマド壁際 1/2	口 底	10.0 6.2	高 2.4	粗砂粒・角閃石/酸 化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
331	第274図	須恵器 杯	カマド壁際 1/4	口 底	14.8 6.0	高 4.1	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
332	第274図 PL.160	須恵器 杯	カマド+12 口縁・底部一部 欠	口 底	13.5 5.9	高 4.8	粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	破損後、炭素 吸着あるいは 被熱。



No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
333	第274図	緑釉 椀	掘り方覆土 口縁下位～底部 片	口 底		高	精選・灰色粘土/還 元焰/黄灰	ロクロ整形(右回転か)。高台部は付高台。内外面に施釉。	東海産。 10世紀代。
334	第274図 PL.160	土師器 羽釜	カマド焼部 3/4	口 底	30.0 12.0	高	27.1 粗砂粒多・軽石・ 赤黒色粘土粒/良 好/赤褐	口縁部は横ナデ。鈔部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は上半部がナデの上に縦位のヘラナデ。下半部は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	器面は炭素吸着。内面の一部に黒色の付着物。下半部は摩滅。
335	第274図 PL.160	鉄製品 釘	カマド前+6 破片	長 幅	(5.0) 0.9	厚 重	0.9 4.8	断面正方形の鉄製品で、両端とも破損するため全体形状は不明。木質等の痕跡は見られない。	
336	第274図 PL.160	鉄製品 釘	床直 破片	長 幅	(4.1) 0.7	厚 重	0.7 2.4	断面正方形の鉄製品で、緩やかに細くなるが両端とも破損するため全体形状は不明。木質等の痕跡は見られない。	
337	第274図 PL.160	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	(6.0) 1.1	厚 重	1.0 9.2	断面正方形の鉄製品で、僅かに細くなるが両端とも破損するため全体形状は不明。木質等の痕跡は見られない。	
338	PL.160	土製品 羽口	掘り方覆土 破片	長 短	7.6 4.4	厚 重	2.7 54.6	羽口先端近くの破片。先端側は灰黒色で発泡。破片小さく外径、孔径計測不可。	

### 29住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
339	第275図 PL.161	黒色土器 杯	東壁際床直 完形	口 底	9.3 5.6	高	2.9 細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。内面は斜横位のヘラ磨き。	内面は黒色処理。外面の口縁部先端にも炭素吸着、黒色。
340	第275図	須恵器 杯	東壁際+34 口縁下半～底部	口 底	6.5	高	粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩滅。
341	第275図	灰釉 皿	覆土 破片	口 底	13.2	高 台	2.5 6.8 黒色鈹物粒/還元 焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は低く付高台。施釉は漬け掛け。	内面の摩耗は顕著。硯に転用か。窯式期。
342	第275図	灰釉 皿か	覆土 口縁下位～高台 部片	口 底		高 台	7.0 黒色鈹物粒少/還元 焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面に施釉。	被熱か。高台部端部摩耗。大原2号窯式期。
343	第275図	須恵器 小型甕	覆土 口縁部片	口 底	16.0	高	粗砂粒/酸化焰/灰 黄	ロクロ整形(右回転)。	器面炭素吸着。
344	第275図 PL.161	土師器 甕	カマド焼部 口縁～胴部中位 1/2	口 底	22.2	高	粗砂粒・軽石/良好 /褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。上位に一部ナデの部分を残す。内面は横位のヘラナデ。	器面に炭素吸着。破碎後被熱。
345	第275図	土師器 甕か 羽釜か	南東隅床直 胴下位～底部	口 底	10.7	高	粗砂粒・軽石/良好 /にぶい赤褐	胴部外面は斜縦位の、最下位は斜横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。底部外面は砂底をヘラ削り。	器面被熱。
346	第275図 PL.161	礫石器 敲石?	カマド+10 完形	長 幅	21.6 13.6	厚 重	3.0 2426.7 粗粒輝石安山岩	小口部両端・右辺エッジに敲打痕が残る。裏面側が広く煤ける。	扁平楕円礫
347	第275図 PL.161	石製品 砥石?	覆土 破片	長 幅	(12.5) (10.2)	厚 重	(5.3) 1131.7 粗粒輝石安山岩	背面側が光沢面が広がり、これに伴う線条痕が残る。	礫砥石?
348	第275図 PL.161	礫石器 台石	カマド焚口 1/2	長 幅	30.9 (24.0)	厚 重	(13.2) 13850.0 粗粒輝石安山岩	背面側に敲打痕、鉄錆が付着、被熱剥落面を覆う。裏面側の礫面にも鉄錆が付着する。	大形楕円礫
349	第275図 PL.161	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	(6.7) 1.9	厚 重	1.8 24.7	断面正方形の鉄製品で、頭部分はコの字形に終わる、他端は劣化破損するため不明。木質等の痕跡は見られない。	
350	第275図 PL.161	鉄滓 流動滓	床直 破片	長 短	18.3 15.5	厚 重	10.5 2792.0	大型の流動滓で表面は皺状で凹凸が有り、ブロック状の炉壁片や滓の破片を含み重厚。下面に溝滓又は孔滓らしき形状有り。	(4区製鉄炉 周辺)
351	PL.161	鉄滓 流動滓	カマド+4 破片	長 短	20.1 17.4	厚 重	8.9 2927.0	表面黒色から一部赤黒色で重厚。下面はブロック状に橙色・褐色の土が付着する。	カマド掘方
352	PL.161	土製品 羽口	カマド焚口部 破片	長 短	5.4 6.4	厚 重	4.2 78.6	羽口先端近くの破片。先端側は黒から黒灰色でガラス化・発泡。破片小さく外径計測不可。先端部孔径28mm。	

### 30住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
353	第275図 PL.160	須恵器 杯	カマド床直 3/4	口 底	13.9 7.4	高	4.3 粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩滅。鉄分凝集。

### 31住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
361	第276図 PL.161	須恵器 杯	カマド覆土 3/4	口 底	9.2 5.7	高	2.6 粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰/ にぶい黄橙	器形は歪んでいる。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
362	第276図	須恵器 杯	床直 1/3	口 底	9.8 5.0	高	3.0 細砂粒/酸化焰/灰 白	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩滅。
363	第276図	須恵器 杯	覆土 1/4	口 底	10.4 4.8	高	2.7 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	内面の一部に煤吸着。
364	第276図	須恵器 杯	カマド覆土 1/2	口 底	10.2 7.0	高	1.7 細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	内面に炭素吸着。

## 4区観察表

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
365	第276図 PL.161	須恵器 椀	カマド+13 口縁部1/2欠	口 底	15.0 6.6	高 5.3	粗砂粒・雲母/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(左回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	内面磨耗。外面の一部に炭素吸着。
366	第276図	灰釉 椀	覆土 口縁部片	口 底	12.0	高	黒色鉱物粒少/還元 焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。内外面施釉。刷毛塗り。	虎溪山1号窯式期。
367	第276図 PL.161	須恵器 鉢	カマド壁際 1/3	口 底	24.6 11.0	高 15.3	粗砂粒・軽石・角閃 石・赤黒色粘土粒/ 酸化焰/橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。胴部外面下位は斜位にヘラ削り。	被熱。
368	第276図	土師器 羽釜	貯蔵穴+15 口縁～胴部中位 片	口 底	24.6	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/良好/にぶい 黄橙	口縁部は横ナデ。輪積み痕を残す。罅部貼付後、胴部外面をヘラ削り。最上位は横位、以下は縦位。内面は横位のヘラナデ。	外面炭素吸着。内面被熱の為、摩滅。
369	第276図	土師器 羽釜	カマド覆土 口縁～胴部上位 片	口 底	25.4	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒少/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。輪積み痕を残す。罅部貼付後、胴部外面をヘラ削り。最上位は横位、以下は縦位。内面は横位のヘラナデ。罅部欠損後も割れ口を調整、継続して使用している。	被熱。内面やや摩滅。
370	第276図 PL.161	金属製品 不詳	東壁際+17 破片	長 幅	5.3 4.0	厚 重 0.8 15.83		厚さ0.8mm程の銅板を切断して作られた金属製品で、表面には直径1.9mm厚さ3mm程の半球ドーム状の部品が裏面のリベット状の部品により取り付けられている。そのドーム状部品の輪郭ギリギリかくれる位置に一方2.5mm程の円孔が開いている。表側の縁は丸みを持ち面取りをされている。	
371	第276図 PL.161	土製品 羽口	貯蔵穴 1/2	長 短	10.8 8.3	厚 重 9.2 486.1		羽口破片で基部から先端に向かい寸胴な形状。先端側は破損するが一部にガラス化・発泡した表面が観察される。基部端に植物圧痕とともに指紋と見られる痕跡がのこる。外径92mm孔径26mm挿入角度88°。	(1号鍛冶工房周辺)
372	第276図 PL.161	土製品 羽口	床直 破片	長 短	106 5.7	厚 重 4.0 180.6		羽口破片で基部から先端に向かい寸胴な形状。外径75mm孔径25mm挿入角度93°。	(1号鍛冶工房周辺)

## 32住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
354	第275図	緑釉 皿	掘り方覆土 口縁部片	口 底	11.6	高	精選・白色粘土/還元 焰/浅黄	ロクロ整形(回転方向不明)。内外面に施釉。	
355	第275図	須恵器 瓶か	覆土 胴部片	口 底		高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。外面は回転ヘラ削り。	
356	第275図	土師器 甕	覆土 口縁～胴部上位 片	口 底	24.4	高	粗砂粒/酸化焰/明 赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位にヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。	内面やや摩滅。

## 33住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
357	第275図	土師器 小型台付甕	北東隅+30 台部欠損	口 底	12.0	高	粗砂粒少・細砂粒/ 良好/にぶい褐	脚台部欠損。口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位にヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	外面は広範囲に煤付着。内面は黒色に変色した部分あり。

## 34住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
358	第275図 PL.160	須恵器 杯	カマド床直 3/4	口 底	8.0 4.0	高 1.6	粗砂粒/酸化焰/灰 白	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	被熱。
359	第275図	須恵器 杯	覆土 1/3	口 底	15.0 7.6	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面の一部に煤付着。
360	第275図	灰釉 段皿	覆土 口縁下位～高台 部片	口 底		高 台 7.6	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。口縁部最下位は回転ヘラ削り。高台は付高台。	大原2号窯式期。

## 35住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
373	第276図	須恵器 杯	覆土 口縁部片	口 底	8.0	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(回転方向不明)。	
374	第276図	土師器 小型甕	カマド燃焼部 口縁～胴部下位 片	口 底	18.1	高	粗砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面上位・中位は丁寧なナデ。下位は斜位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	器面被熱。内面摩滅。

## 36住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
375	第276図 PL.161	須恵器 杯	床直 口縁一部欠	口 底	10.2 4.7	高 2.8	粗砂粒・角閃石・雲 母/酸化焰/にぶい 橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	被熱。
376	第276図 PL.161	須恵器 椀	覆土 口縁部1/3欠	口 底	10.3 6.5	高 4.4	粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。
377	第276図 PL.161	須恵器 椀	+20 完形	口 底	10.9 6.6	高 4.9	粗砂粒・角閃石・軽 石/酸化焰/浅黄橙	器形は大きく歪む。ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に煤付着。

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
378	第276図	須恵器 椀	+15 口縁下半～高台 部上位	口 底		高	粗砂粒多/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	内面炭素吸着。
379	第276図 PL.161	須恵器 羽釜	カマド+6 口縁～胴部下位 3/4	口 底	21.7	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/褐	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部を貼付後、周縁部 に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。	被熱。器面に 炭素吸着。

#### 37住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
380	第277図	須恵器 杯	カマド覆土 口縁下位～底部	口 底	5.0	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。	
381	第277図	須恵器 椀	床直 1/2	口 底	14.6 8.6	高	5.8 粗砂粒・角閃石/酸 化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	器面摩滅。	
382	第277図	須恵器 椀	カマド覆土 口縁部1/2	口 底	15.0	高	粗砂粒・軽石少/酸 化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	器面に炭素吸 着。	
383	第277図	灰釉 壺	東壁際+16 口縁部片	口 底	20.8	高	黒色鈹物粒/還元焰 /灰白	ロクロ整形(回転方向不明)。内外面施釉。		
384	第277図 PL.161	土師器 羽釜	+10 口縁～胴部下位 1/2	口 底	23.0	高	粗砂粒・軽石/良好 /橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面 は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。内面は 摩滅。	
385	第277図	須恵器か 羽釜	床直 口縁～胴部中位 片	口 底	23.7	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部を貼付後、周縁部 に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。	器面被熱。炭 素吸着。	
386	第277図 PL.161	鉄製品 不詳	+17 破片	長 幅	5.5 4.4	厚 重	0.7 10.69		不定形の板状の鉄製品で、一部の形状は破損によると見ら れるが、その後の錆化により本来形状との識別は困難で詳 細は不明。	

#### 38住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
394	第278図	黒色土器 椀	床直 1/3	口 底	14.4	高 台	5.9 粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	6.4 ロクロ整形(右回転か)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。内面の口縁部は横位に、底部 は一定方向にヘラ磨き。	内面黒色処理。
395	第278図 PL.162	須恵器 杯	+8 口縁一部欠	口 底	9.1 4.3	高	3.4 粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。口縁部 下半は砂粒が動くほど強いナデ。	被熱か。炭素 吸着。底部外 面は摩滅。
396	第278図 PL.162	須恵器 椀	床直 口縁1/3欠	口 底	11.3 5.7	高	4.3 粗砂粒/酸化焰/灰 黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸 着。
397	第278図 PL.162	須恵器 椀	カマド左袖部 2/3	口 底	15.0 8.7	高	6.3 粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸 着。
398	第278図	緑釉 皿	覆土 口縁部片	口 底	11.8	高	精選・灰色粘土/還 元焰/にぶい褐	ロクロ整形(右回転か)。内外面に施釉。	東海産。 10世紀代。
399	第278図	灰釉 椀	カマド左袖部 1/4	口 底	12.6	高 台	3.9 黒色・白色鈹物粒/ 還元焰/灰	7.4 ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転ヘラ削り後の後の 付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内外面に施釉。漬け 掛け。	大原2号窯式 期。
400	第278図 PL.162	土師器 小型壺	床直 胴部一部欠	口 底	14.8 8.4	高	15.3 粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上下に縦位のヘラ削り。内面 は横位のヘラナデ。	
401	第278図 PL.162	土師器 羽釜	+43 口縁～胴部中位 1/2	口 底	23.3	高	粗砂粒・軽石/良好 /橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面 は斜位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	器面やや炭素 吸着。
402	第278図 PL.162	土師器か 羽釜	+45 口縁～胴部上位 1/3	口 底	26.9	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/良好/ にぶい橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面 は縦位にヘラ削り後、一部斜横位にヘラナデ。内面は横位 のヘラナデ。	
403	第278図	土師器 羽釜	+18 口縁～胴部上位 片	口 底	25.8	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/良好/にぶい 黄橙	口縁部は横ナデ。罅部を貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外 面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	器面被熱。
404	第278図	須恵器 羽釜	+50 口縁～胴部中位 1/4	口 底	23.8	高	粗砂粒/酸化焰/灰 褐	紐づくり後、ロクロ整形。罅部を貼付後、胴部外面に縦位 のヘラ削り。内面の胴部上位・中位にヘラナデ。	炭素吸着。
405	第278図	須恵器 羽釜	+52 口縁～胴部中位 1/4	口 底	23.6	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰 /にぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部を貼付後、周縁部 に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面の一部にヘラ ナデか。	内面摩滅。
406	第278図	須恵器 羽釜	床直 口縁～胴部中位 片	口 底	23.7	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部を貼付後、周縁部 に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。	器面被熱。炭 素吸着。
407	第278図 PL.162	須恵器 甌	+30 胴下位～裾部1/3	口 底	27.0	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石・角閃石 /酸化焰/にぶい黄 橙	紐作り後、ロクロ整形と考えられる。右回転。	内面炭素吸着。

#### 40住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
387	第277図 PL.162	須恵器 杯	床直 完形	口 底	8.2 4.7	高	2.1 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/明黄 褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
388	第277図 PL.162	須恵器 杯	床直 口縁一部欠	口底 7.9 4.8	高 1.9	粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰/明黄褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
389	第277図	須恵器 杯	覆土 口縁部1/5	口底 13.6	高	粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。器面炭素吸着。
390	第277図 PL.162	白磁 碗	床直 口縁部片	口底 15.4	高	精選/還元焰/灰白	太宰府分類:白磁碗1-2a類か。口縁部直口。体部内湾。残存部無文。胎土精良で乳白色。8C末~10C中頃。10C後半以降は減少する。
391	第277図 PL.162	金属製品 不詳	床直 破片	長幅 8.2 2.0	厚重 1.5 31.98		銅を含む金属が溶けた塊で、一部に幅1mm高さ3mm程の直線的なひだ状の隆起が見られる。本体から脱落した掛金具の可能性もある。
392	第277図 PL.162	金属製品 観音像	西壁際+15 完形	長幅 6.2 1.8	厚重 1.8 42.23		サビの状態から銅製と見られる立ち姿の像で、表面には金メッキの痕跡は認められない。劣化が進み顔・腹部・腕・台座等の突出では表面が錆ごと剥落し手の表現・持ち物は不明。台座基部は凹凸が著しく自立せず、また基部を調整した痕跡も認められない。台座の右側面から横に直径3mm長さ18mmの棒状突出部が有る。胸部と膝部分の後方二か所に直径2mmの突出が見られるが2~4mm程で劣化破損する。
393	第277図 PL.162	鉄製品 不詳	西壁際+9 完形	長幅 7.5 3.5	高重 4.0 96.9		椀型の鉄製品。厚さ0.2cm径7.5~7.3のゆがんだ円形で底は厚くやや内側に窪む。

## 41住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
408	第279図 PL.163	須恵器 杯	+21 口縁一部欠	口底 9.0 5.5	高 1.9	細砂粒/酸化焰/明赤褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
409	第279図 PL.163	須恵器 杯	+6 口縁一部欠	口底 9.7 5.0	高 2.7	粗砂粒・角閃石/酸化焰/淡黄	平面は長円形。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
410	第279図	須恵器 杯	覆土 1/3	口底 14.4 6.3	高 3.5	粗砂粒少/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。底部の切り離しはやや粗雑。
411	第279図 PL.163	灰釉 椀	覆土、48住 1/3	口底 16.4	高台 6.9 8.6	粗砂粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形(右回転)。口縁部下半部は回転ヘラ削り。高台部は足高の付高台。内面に施釉。
412	第279図 PL.163	土師器 甕	床直 口縁~胴部上半 片	口底 23.6	高	粗砂粒・赤黒色粘土粒・軽石/良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は単位がとれないほど丁寧なナデ。内面は斜横位のヘラナデ。
413	第279図 PL.163	土師器 把手付甕	床直 口縁~胴部下位 1/3	口底 23.9	高	粗砂粒・軽石・赤黒色粘土粒/良好/灰褐	口縁部直下に平面三日月形の把手が付く。一対か。口縁部は横ナデ。胴部は斜縦のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。

## 42住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
414	第279図	須恵器 椀	カマド左壁 口縁部1/4	口底 15.7	高	粗砂粒・角閃石/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。器面摩耗。
415	第279図	土師器 甕	覆土 口縁~胴部下位 1/4	口底 29.2	高	粗砂粒/酸化焰/褐	口縁部は横ナデ。胴部上位はナデ、中位はヘラ削り後、一部にヘラナデ。下位はヘラナデか。内面は横位のヘラナデ。
416	第279図	土師器 羽釜	カマド右壁 口縁~胴部上位 片	口底 27.0	高	粗砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面はナデ・横位のナデ後、ナデに近い縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。
417	第279図	須恵器か 羽釜	覆土 口縁~胴部上位 1/4	口底 24.6	高	粗砂粒・軽石・赤黒色粘土粒/酸化焰/にぶい橙	紐づくり後、ロクロ整形。罅部貼付後、周縁部にナデ調整。内面は一部に横位のナデ。
418	第279図 PL.163	鉄製品 不詳	覆土 破片	長幅 3.2 1.6	厚重 0.3 3.31		厚さ0.2cmで不定形板状の鉄製品、錆化の状況から鑄造鉄製品の破片の可能性が有る。

## 43住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
419	第279図	黒色土器 椀	覆土 口縁部片	口底 13.4	高	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転か)。内面は横位のヘラ磨き。
420	第279図	土師器 甕・羽釜か	床直 胴下位~底部	口底 6.0	高	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	胴部外面は縦位のヘラ削り。器面に炭素吸着。

## 44住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
421	第279図 PL.163	須恵器 杯	カマド燃焼部 完形	口底 7.9 4.9	高 2.2	細砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。
422	第279図 PL.163	須恵器 杯	カマド燃焼部 口縁一部欠	口底 8.8 4.8	高 2.0	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。
423	第279図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口底 16.6	高	粗砂粒/酸化焰/灰	ロクロ整形(回転方向不明)。
424	第279図	土師器 甕	床直 口縁部片	口底 26.2	高	粗砂粒・軽石/良好/褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。

## 45住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
425	第280図	黒色土器 椀	覆土 底部のみ	口 底		高 台 7.0	粗砂粒・軽石/酸化 焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後周縁部にナデ調整。内面はヘラ磨き。	内面黒色処理。 外面にも炭素 吸着。
426	第280図 PL.163	須恵器 椀	床直 3/4(高台部先端 欠損)	口 底	15.6	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面の一部に 炭素吸着。
427	第280図	須恵器 椀	カマド床直 口縁下位～底部	口 底	7.0	高	粗砂粒・軽石・角閃 石/酸化焰/浅黄橙	高台部は剥落。ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。	
428	第280図	須恵器 羽釜	床直 口縁～胴部上位 片	口 底	24.8	高	粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部貼付後、周縁部にナデ調整。胴部外面は縦位にヘラ削り。	429と同一個 体か。
429	第280図	須恵器 羽釜	床直 口縁～胴部上位 片	口 底	24.0	高	粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部貼付後、周縁部にナデ調整。胴部外面は縦位にヘラ削り。	428と同一個 体か。

## 46住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
430	第280図 PL.163	土師器か 椀	カマド左壁 口縁一部欠	口 底	14.5	高 台 5.7 7.8	粗砂粒/良好/明黄 褐	口縁部は横ナデ。下半部にヘラ削り。高台部は付高台。	
431	第280図	黒色土器 椀	カマド右壁際 底～高台部	口 底		高 台 6.8	粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。底部内面は縦横、斜位に規則性のないヘラ磨き。	内面黒色処理 か。
432	第280図 PL.163	須恵器 杯	床直 口縁一部欠	口 底	8.8 5.2	高 2.6	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。
433	第280図 PL.163	須恵器 杯	床直 口縁一部欠	口 底	9.5 6.5	高 2.6	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
434	第280図	須恵器 杯	床直 1/3	口 底	9.4 7.8	高 2.1	粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	器形は大きく歪む。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
435	第280図 PL.163	須恵器 椀	床直 口縁1/3欠	口 底	10.3	高 台 4.5 5.9	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	口縁部内面に 炭素吸着。
436	第280図	須恵器 椀	南壁際+7 口縁部片	口 底	12.3	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/灰褐	ロクロ整形(右回転)。	内面に炭素吸 着。
437	第280図	須恵器 椀	カマド燃焼部 底～高台部	口 底		高 台 13.7	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	足高の高台部。ロクロ整形(右回転)。	器面に炭素吸 着。
438	第280図 PL.163	灰釉 段皿	東壁際床直 口縁一部欠	口 底	10.3	高 台 2.0 5.2	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は低く断面三角形。底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部に横ナデ。施釉。刷毛掛け。	虎溪山1号窯 式期。
439	第280図	土師器 甕	西壁際+8 口縁～胴部上位 片	口 底	21.4	高	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位にヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
440	第280図	土師器 甕・甗か	カマド燃焼部 胴部片	口 底	22.0	高	粗砂粒/良好/灰黄 褐	胴部外面は縦位のヘラ削り後、横位のヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。底部は羽釜の胴部を途中で切断し二次加工を施して作られたものか。	
441		石製品 砥石	覆土 完形	長 幅	5.4 3.2	厚 重 1.5 30.1	砥沢石	四面使用。表裏面とも激しく研ぎ減る。上下両端の小口部は破損後、丁寧に磨き整形されている。	切り砥石

## 47住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
442	第280図 PL.163	須恵器 杯	床直 完形	口 底	9.2 4.8	高 2.5	粗砂粒・軽石/酸化 焰/灰黄褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。
443	第280図 PL.163	須恵器 杯	西壁際+6 完形	口 底	9.9 5.2	高 2.6	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
444	第280図 PL.163	須恵器 耳皿	床直 口縁一部欠	口 底		高 台 4.4 5.8	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸 着。底部中央 に0.7cmの焼 成前の穿孔。
445	第280図	須恵器 椀	床直 口縁下半～高台 部片	口 底		高 台 9.1	粗砂粒・雲母/酸化 焰/にぶい褐	ロクロ整形(右回転)。足高の高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	内面黒色処理 か。
446	第280図	須恵器 壺か	覆土 高台部片	口 底		高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(左回転か)。高台部は付高台。	器面はやや炭 素吸着。
447	第280図 PL.163	須恵器 羽釜	床直 口縁部片	口 底	21.8	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転と考えられる)。罅部貼付後、胴部外面は縦位のヘラ削り。	外面に炭素吸 着。
448	第280図 PL.163	鉄製品 茎	覆土 破片	長 幅	3.7 0.9	厚 重 0.7 2.6		断面長方形でゆるくSの字状に曲がる鉄製品。関等の構造は見られないが刀子茎の可能性が考えられる。	

## 48住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
449	第281図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口 底	14.7	高	粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。	

4区観察表

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
450	第281図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口 底		高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	
451	第281図	須恵器 椀	覆土 口縁下位～底部	口 底		高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。高台部先端を欠損後も二次利用か。
452	第281図	須恵器 椀	覆土 底～高台部	口 底		高台	6.7 粗砂粒/酸化焰/オ リーブ黒	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	外面に炭素吸着。
453	第281図	須恵器 椀	覆土 底～高台部	口 底		高台	6.8 粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	
454	第281図	灰釉 段皿	覆土 口縁部片	口 底	13.8	高	粗砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形(回転方向不明)。内外面に釉。	光ヶ丘1号～大原2号窯式期。
455	第281図	灰釉 皿か	覆土 口縁部片	口 底	13.2	高	黒色鉾物粒/還元焰 /灰黄	ロクロ整形(右回転か)。施釉は内外面に漬け掛け。	大原2号または虎溪山1号窯式期。
456	第281図	灰釉 椀	覆土 口縁部片	口 底	14.8	高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転か)。口縁部下位に回転ヘラ削り。外面に施釉。	虎溪山1号窯式期。
457	第281図 PL.163	須恵器 転用硯	覆土 破片	口 底		高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰 /にぶい黄橙	裏の胴部破片を二次利用している。割れ口を研磨し再調整している。内面全面を使用面としており、朱墨が残る。外面も平滑になっている。	
458	第281図	土製品 不明	覆土 破片	長	10.0	厚	5.4 粗砂粒・軽石/良好 /にぶい赤褐	全体の形状は不明。板状品の一部か。角は丸みをもって側面に移行する。器面には指ナデが施される。	胎土中にスサを多量に含む。器面に炭素吸着。一部に黒色の付着物。煤か。天地左右不明。
459	第281図	土製品 不明	覆土 破片	長	8.7	厚	4.9 粗砂粒・軽石/良好 /にぶい褐	観察内容は458と同じ。同一個体か。	
460	第281図 PL.163	鉄製品 刀子	覆土 完形	長 幅	6.3 1.3	厚 重	0.7 3.73	棟・刃ともになだらかな関を持つ小型の刀子。茎細身で端部細くとがり気味。刃は三角形で短く研ぎ減りと見られる。	
461	第281図 PL.163	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	3.5 0.5	厚 重	0.4 1.46	断面長方形で細い板状の鉄製品で一端は三角で尖り気味、刀子の茎か。	
462	第281図 PL.163	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	205 0.7	厚 重	0.6 1.28	断面長方形で細い板状の鉄製品で一端は劣化破損、他端はなだらかに細くなる。刀子の茎か。	
463	PL.163	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	4.9 5.1	厚 重	2.1 31.9	羽口先端近くの破片。先端側は黒灰色でガラス化・発泡。破片小さく外径・孔径計測不可。	

49住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
464	第281図 PL.163	黒色土器 椀	覆土 口縁部片	口 底	12.6	高	粗砂粒/酸化焰か/ 黒	ロクロ整形(右回転)。内面の底部に一定方向のヘラ磨き後、口縁部に横位のヘラ磨き。	内面黒色処理。外面にも炭素吸着。黒色味。
465	第281図	須恵器 杯	床直 口縁一部欠	口 底	8.9 2.4	高	2.5 粗砂粒・赤色粘土 粒少/酸化焰/灰黄 褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸着。
466	第281図 PL.163	須恵器 椀	覆土 2/3	口 底	10.5	高台	4.1 5.5 粗砂粒・軽石少/酸 化焰/灰褐	器形は歪んでいる。ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。
467	第281図	土師器 羽釜	覆土 口縁～胴部上位 片	口 底	20.8	高	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は縦位にヘラ削り。上位にナデ部分を残す。内面は横位のヘラナデ。	内面やや炭素吸着。

50住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
468	第281図	須恵器 杯	覆土 1/3	口 底	14.3 7.3	高	4.9 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩滅。
469	第281図	灰釉 皿	+6、10 1/3	口 底	12.4	高	2.4 6.1 黒色鉾物粒少/還 元焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は低く断面三角形。底部切り離し後の付高台。内面の口縁部に施釉。	虎溪山1号窯式期。
470	第281図	土師器 甕	カマド 口縁～胴部片	口 底	22.0	高	粗砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ。外面には指頭圧痕が連続する。胴部外面は横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
471	第281図 PL.163	鉄製品 紡錘車	覆土 紡輪完形	長 幅	3.5 3.5	厚 重	0.5 10.81	直径3.5cm厚さ0.2の紡錘車紡輪。中央には0.5mmの円孔があくが紡軸は残っていない。	

51住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
472	第282図 PL.163	須恵器 杯	+9 3/4	口 底	7.8 4.0	高	1.9 粗砂粒少/酸化焰/ 明黄褐	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面の一部に炭素吸着。
473	第282図	須恵器 杯	覆土 1/4	口 底	8.0 5.0	高	2.1 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
474	第282図	須恵器 杯	覆土 1/4	口 底	9.0 5.6	高	粗砂粒少/酸化焰/ 橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
475	第282図	土師器 甕	床直 口縁~胴部上位 1/4	口底 32.2 高	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデに近い横位・縦位のヘラ 削り。頸部直下にヘラナデ。内面は斜横位のヘラナデ。	器面に炭素吸 着。
476	第282図 PL.163	埴輪 形象	床直 本体下~基部上 位	口底 高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/窖窯焼 成/橙	小径の本体最下位から基部上位の残存である。両者は断面 台形の突帯で区分され基部には横幅4.3cmの小孔が一對配 されている。外面には縦ハケ(5本/1cm)。内面は縦位の ナデ。	外面の一部に 器面摩滅。
477	第282図 PL.163	埴輪 形象	+13 基部下半	口底 13.5 高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/窖窯焼成/橙	基部下半部の残存である形状はやや傾斜している。残存部 上位に透孔の一部が残存する。外面に縦ハケ(8本/1cm)。 内面は縦位のナデ。	
478	PL.163	土製品 羽口	覆土 破片	長短 5.4 厚 5.0 重	2.8 53.5	羽口基部と見られる破片だが、端部表面灰黒色でガラス化・ 発泡が見られる。外径、孔径計測不可。	

#### 52住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
479	第282図	須恵器 杯	覆土 1/4	口底 8.6 高 5.0	1.8 粗砂粒/酸化焰/灰 黄	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
480	第282図	須恵器 椀	床直 1/2	口底 14.8 高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰 /にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸 着。
481	第282図	土師器 甕	掘り方 口縁部片	口底 17.8 高	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	内外面とも横ナデ。	
482	第282図 PL.164	石製品 砥石	覆土 完形	長幅 6.2 厚 3.6 重	1.3 25.4 砥沢石	四面使用。上端側に径6mmの孔を両側穿孔する。本来的 には掘り砥石として使用されたものだろうが、孔は部分的に 研ぎ減り変形、激しく使い込まれている。	切り砥石

#### 53住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
483	第282図 PL.164	黒色土器 椀	+7 1/3	口底 13.8 高 台	4.0 粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙 7.4	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。内面は口縁部には横位の、底 部には一定方向のヘラ磨き。	内面黒色処理。
484	第282図	須恵器 椀	貯蔵穴+4 口縁部片	口底 14.4 高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。内面は横位のヘラ磨き。	
485	第282図	黒色土器 椀	+7 口縁下半~高台 部1/2	口底 高 台	8.0 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。内面は口縁部に横位の、底部 に一定方向のヘラ磨き。	
486	第282図	須恵器 椀	床直 口縁下半~高台 部	口底 高 台	8.4 粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	内面やや摩滅。
487	第282図 PL.164	緑釉 段皿	覆土 1/4	口底 12.2 高 台	2.8 精選・白色粘土/還 元焰/灰白 6.8	ロクロ整形(右回転)。高台部は付高台。内外面に施釉。	東海産。10世 紀前半。
488	第282図	灰釉 椀	貯蔵穴+4 口縁下半~高台 部	口底 高 台	9.0 精選/還元焰/灰	ロクロ整形(右回転)。口縁部最下位に回転ヘラ削り。高 台部は付高台。内面に重ね焼きあり。	虎溪山1号窯 式期。
489	第282図	灰釉 長頸壺	北壁際+10 口縁~頸部片	口底 18.4 高	白色鈹物粒少/還元 焰/灰	ロクロ整形(右回転)。	
490	第282図 PL.164	土師器 羽釜	+8 口縁~胴部上位 片	口底 23.0 高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/良好/にぶい 黄橙	銜部貼付後、周縁部に横ナデ。その後、口縁部に横ナデ。 胴部外面は斜位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	

#### 54住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
494	第283図 PL.164	須恵器 杯	床直 完形	口底 8.8 高 5.9	2.1 粗砂粒少/酸化焰/ 橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面やや摩滅。
495	第283図 PL.164	須恵器 杯	北壁際床直 完形	口底 9.6 高 5.1	2.7 粗砂粒・軽石少/酸 化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
496	第283図 PL.164	須恵器 耳皿	東壁際+9 1/2	口底 高 台	3.8 粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙 4.8	ロクロ整形(右回転)。口縁部内外面はヘラ磨き。高台部は 底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
497	第283図 PL.164	須恵器 椀	東壁際床直 完形	口底 13.9 高 台	6.1 粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙 7.9	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	
498	第283図	須恵器 鉢	南壁際+8 口縁~体部片	口底 19.6 高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。体部外面は回転ヘラ 削り。	
499	第283図	須恵器 羽釜	カマド 口縁~胴部中位 片	口底 23.0 高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形。銜部貼付後、胴部外面に縦位の ヘラ削り。内面は上位、中位にナデ調整。	被熱、炭素吸 着。
500	第283図	土師器 羽釜	床直・カマド 上半部破片	口底 19.8 高	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。銜部貼付後、胴部外面に縦位のヘラ削り。 内面は横位のヘラナデ。	器面に炭素吸 着。
501	第283図 PL.164	須恵器 転用碗	床直 完形か	口底 高	黒色鈹物粒/還元焰 /灰白	甕の胴部破片を二次利用している。割れ口の調整は殆どな されていない。内面のほぼ全面が磨面。裏面の一部も摩耗 により叩き目がきえている部分がある。	
502	第283図 PL.164	鉄製品 釘	覆土 破片	長幅 2.9 厚 0.9 重	0.5 2.31	断面0.4×0.3cm角の角釘で先端側は破損、頭はやや斜め角 形で終わる。	

## 55住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
503	第283図 PL.164	黒色土器か 椀	貯蔵穴+4 2/3	口底 14.4 8.4	高 6.6	粗砂粒・軽石/酸化 焰/明赤褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。口縁部先端は横位のナデ。内面は口縁部には横位に、底部には複数方向のヘラ磨き。	内面は黒色処理か。外面にも炭素吸着。
504	第283図 PL.164	黒色土器 椀	覆土 1/3	口底 14.6	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。口縁部内面は横位のヘラ磨き、底部には格子目状のヘラ磨き。高台部先端は欠損。	内面は黒色処理。外面にも炭素吸着。
505	第283図	須恵器 杯	西壁際床直 3/4	口底 10.5 5.4	高 2.9	粗砂粒多/酸化焰/ 浅黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面の広範囲に炭素吸着。
506	第283図 PL.164	須恵器 椀	床直・覆土 3/4	口底 10.7 7.3	高 5.8	粗砂粒・軽石/酸化 焰/灰黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。
507	第283図 PL.164	須恵器 羽釜	カマド焚口部 口縁～胴部中位 1/3	口底 22.0	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰/ 灰黄褐	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。	
508	第283図	須恵器 羽釜	床直 口縁～胴部上位 片	口底 22.4	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部は胴部整形後の貼付。その後、周縁部にナデ調整。	
509	第283図	須恵器 羽釜	カマド燃焼部 口縁～胴部上位 片	口底 21.2	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部は胴部整形後の貼付。その後、周縁部にナデ調整。	

## 56住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
491	第282図 PL.164	須恵器 杯	カマド覆土 3/4	口底 8.8 4.4	高 2.0	粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
492	第282図	須恵器 杯	覆土 底部片	口底 4.4	高	粗砂粒/酸化焰/浅 黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	内面やや摩耗。
493	第282図 PL.164	土師器 小型甕か	カマド壁際 口縁～胴部片	口底 18.0	高	粗砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は波打っている。口縁部は横ナデ。胴部上位は丁寧なナデ。中位は縦位にナデに近いヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱の為、炭素吸着。

## 57住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
510	第284図	須恵器 杯	覆土 1/4	口底 8.2 5.2	高 1.4	細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
511	第284図	須恵器 椀	掘り方覆土 口縁部1/2	口底 16.0	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	
512	第284図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口底 15.0	高	粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転か)。	
513	第284図	須恵器 椀	覆土 底～高台部	口底	高台 6.8	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
514	第284図	灰釉 皿	+8 1/4	口底 12.0 6.0	高 2.4	白色鈹物粒少/還元 焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は低く、底部切り離し後の付高台。施釉は内外面に刷毛塗りか。	黒笹90号窯式期。
515	第284図 PL.164	土製品 有孔円板か	覆土 完形	口底	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/灰黄	杯底部の破片を再利用したものと考えられる。焼成後、直径約0.5cmの貫通した穿孔1孔と、内面から穿孔途中までの孔の合計2孔が見られる。杯はロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
516	第284図 PL.164	鉄製品 刀子	+18 3/4	長幅 9.6 1.9	厚重 0.4 17.31		棟側に大きな関を持つ刀子で先端側2cm程で左に大きくねじ曲がり端部は破損する。残存する茎は1cm程で先は劣化破損する。	

## 58住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
517	第284図 PL.164	須恵器 杯	南壁際+9 完形	口底 8.8 4.9	高 2.1	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
518	第284図	土師器 甕	床直 口縁～胴部上位 片	口底 26.5	高	粗砂粒/良好/褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位のヘラナデ。内面は斜横位のヘラナデ。	器面は被熱。炭素吸着。

## 59住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
519	第284図 PL.164	須恵器 杯	南東隅床直 完形	口底 9.9 4.7	高 3.3	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
520	第284図 PL.164	須恵器 杯	南東隅床直 口縁一部欠	口底 10.0 4.3	高 2.8	粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
521	第284図	須恵器 杯	南東隅床直 口縁下半～底部 1/2	口底 5.2	高	粗砂粒・軽石多/酸 化焰/にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸着。
522	第284図	灰釉 段皿	カマド覆土 口縁部片	口底 14.6	高	精選/還元焰/灰黄	ロクロ整形(回転方向不明)。外面最下位に回転ヘラ削り。内外面施釉。	窯式期。



No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
523	第284図 PL.164	須恵器 羽釜	東壁際床直 口縁～胴部中位 片	口 底	23.0	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰/ 橙	紐づくり後、ロクロ整形。罅部貼付後、胴部外面に縦位の ヘラ削り。	外面に炭素吸 着。
524	PL.164	土製品 羽口	+24 破片	長 短	8.8 5.6	厚 重	3.3 117.8	先端部片。先端側表面は灰黒色ガラス化・発泡し一部表面 を酸化土砂が覆う。外径78mm、孔径計測不可。	
525	PL.164	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	4.8 3.1	厚 重	3.2 39.1	表面灰黒色でガラス化・発泡一部に酸化土砂が付着。下部 断面に3×5mmのワラ状の植物痕が見られる。小破片で外 径、孔径計測不可。	

### 60住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
531	第285図 PL.165	黒色土器 椀	+13 口縁一部欠	口 底	13.7	高 台	5.7 6.3	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰/ 浅黄	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。口縁部の外面上半は横位のヘ ラ磨き。内面は口縁部に斜横位の、底部に一定方向のヘラ 磨き。	内面黒色処理。 被熱の為、残 存不良。
532	第285図	須恵器 杯	+7 1/2	口 底	7.8 4.9	高	2.1	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
533	第285図	須恵器 杯	覆土 1/3	口 底	9.6 6.6	高	2.1	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。
534	第285図	須恵器 杯	覆土 1/2	口 底	9.0 5.8	高	2.3	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
535	第285図 PL.165	須恵器 椀	+19 1/2	口 底	13.7	高 台	5.1 8.3	粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	内面磨耗。
536	第285図 PL.165	須恵器 皿	北壁際床直 口縁一部欠	口 底	11.0	高 台	4.4 7.4	粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	器形は大きく歪んでいる。ロクロ整形(右回転)。高台部は 底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
537	第285図 PL.165	須恵器 椀	床直 完形	口 底	14.7	高 台	6.0 8.0	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/明黄 褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	
538	第285図 PL.165	須恵器 椀	床直 完形	口 底	14.3	高 台	5.5 8.3	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰/ にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	器面やや摩滅。
539	第285図	須恵器 椀	+18 口縁・台部一部 欠	口 底	14.8	高 台	8.6 8.6	粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部に強いナデ調整。口縁部下位にはヘラ削り も加えられたか。	
540	第285図 PL.165	須恵器 椀	+20 1/4	口 底	14.2 7.8	高	7.3	粗砂粒/酸化焰/暗 褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸 着。黒色味。
541	第285図 PL.165	須恵器 椀	床直 口縁～高台部上 位3/4	口 底	14.6	高		粗砂粒・軽石多・角 閃石/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	
542	第285図 PL.165	須恵器 椀	+17 口縁1/3・高台部 下位欠	口 底	14.1	高		粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	内面炭素吸着。 摩耗。
543	第285図 PL.165	須恵器 椀	床直 高台下位・口縁 一部欠	口 底	14.4	高		粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	内面磨耗。
544	第285図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口 底	14.2	高		粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	
545	第285図	灰釉 椀	カマド焚口 口縁部片	口 底	14.7	高		精選・黒色鈹物粒 少/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。口縁部下半に回転ヘラ削り。内外 面に施釉。	大原2号窯式 期。
546	第285図 PL.165	土師器 甕	+7 口縁～胴部下位 片	口 底	23.2	高		粗砂粒・軽石/良好 /にぶい褐	器形は歪んでおり、図示した形から胴部が変更される可能 性あり。口縁部は横ナデ。胴部外面上位は斜縦位の、中位 以下は横位のヘラ削り。内面は横位の粗いヘラナデ。	器面は被熱。 炭素吸着。内 面摩滅。
547	第285図 PL.165	土師器 羽釜	+10 口縁～胴部1/3	口 底	24.6	高		粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/良好/ 橙	口縁部は横ナデ。罅部は整形・貼付とも粗雑。貼付後、胴 部外面に縦位のヘラ削り。内面は斜横位のヘラナデ。一部 はこの上にナデ。	被熱。器面に 炭素吸着。
548	第285図	土師器 羽釜	+11 口縁～胴部上位 片	口 底	26.0	高		粗砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。罅部を貼付後、外面は口縁部下半にヘラ 削り。胴部は縦位後、横位にヘラ削りを重ねる。内面は横 位のヘラナデ。	被熱。
549	第285図 PL.165	土師器 羽釜	+7 口縁～胴部下位 1/4	口 底	23.0	高		粗砂粒・軽石・角閃 石・赤黒色粘土粒/ 良好/灰褐	口縁部は横ナデ。罅部は粗雑な貼付後、周縁部に横ナデ。 その後、縦位にヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	器面に炭素吸 着。内面摩滅。
550	第285図	土師器 羽釜	+11 口縁～胴部上位 片	口 底	21.2	高		粗砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。罅部を貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外 面はナデ後、斜位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
551	第285図 PL.165	石製品 紡錘車	西壁際床直 紡輪完形	径 厚	5.2 1.0	重	46.9	蛇紋岩	背面側は全面に線条痕が付き光沢を欠いているが、裏面側 は軸穴孔周辺に光沢面が残る。背面側軸穴孔の左に線刻が 施される。軸穴孔は径8mmを測る。	板状。

### 61住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
552	第286図	黒色土器 椀	覆土 1/3	口 底	14.2	高 台	5.4 7.0	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。内面の底部は一定方向。口縁 部は横位のヘラ磨き。	内面黒色処理。
553	第286図 PL.164	須恵器 杯	覆土 口縁一部欠	口 底	9.2 5.6	高	1.6	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	炭素やや吸着。

## 4区観察表

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
554	第286図 PL.164	須恵器 杯	床直 完形	口底 9.5 6.1	高 2.2	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	口縁部の一部 に炭素吸着。
555	第286図 PL.164	須恵器 杯	床直 口縁一部欠	口底 14.3 7.0	高 4.3	粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に黒色の 付着物。
556	第286図	須恵器 杯	西壁際+16 1/3	口底 14.2 6.1	高 4.5	粗砂粒・雲母/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。
557	第286図	土師器 甕	覆土 口縁～胴部上位 片	口底 23.4	高	粗砂粒・軽石/良好 /にぶい赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラナデ。内面は斜位 のヘラナデ。	被熱。

## 62住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
569	第287図 PL.165	須恵器 杯	床直 完形	口底 8.5 4.0	高 2.3	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
570	第287図 PL.165	須恵器 椀	カマド焚口 口縁部1/3	口底 11.8	高	粗砂粒・角閃石・雲 母/酸化焰/浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。	口縁部外面に 墨書「□□」。
571	第287図	須恵器 椀	カマド焚口 1/3	口底 15.3 9.7	高 5.5	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰 /橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸 着。
572	第287図	須恵器 椀	床直 3/4。高台部下位 欠	口底 13.6	高	粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	被熱。
573	第287図 PL.165	須恵器 椀	床直 口縁下半～高台 部片	口底	高台 7.4	粗砂粒・軽石・雲母 /酸化焰/にぶい黄 橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸 着。
574	第287図 PL.165	須恵器 羽釜	カマド燃焼部 口縁～胴部下位 片	口底 22.8	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰 /にぶい橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部貼付後、周縁部に 横ナデ。その後、胴部外面に縦位のヘラ削り。	器面に炭素吸 着。内面下位 は摩滅。
575	第287図	須恵器 羽釜	カマド壁+23 口縁～胴部中位 片	口底 24.6	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部を貼付後、周縁部 に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。	内面被熱のため 摩滅。

## 63住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
558	第286図	黒色土器 椀	覆土 口縁部片	口底 13.4	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄褐	ロクロ整形(右回転)。外面は口縁部中位以上と内面全面に 横位のヘラ磨き。	内面黒色処 理。外面一部 に炭素吸着。
559	第286図 PL.165	須恵器 皿	覆土 1/4	口底 11.4 6.8	高 2.5	粗砂粒/酸化焰/に ぶい褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に黒色の 付着物。やや 摩耗。
560	第286図	須恵器 杯	掘り方覆土 1/3	口底 9.9 4.8	高 2.3	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	底部外面は摩 滅。
561	第286図	須恵器 杯	+36 3/4	口底 9.7 4.9	高 3.4	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
562	第286図	須恵器 椀	覆土 口縁～高台部上 位1/3	口底 14.1	高	粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸 着。
563	第286図	須恵器 椀	覆土 口縁下半～高台 部	口底	高台 6.6	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸 着。
564	第286図 PL.165	土師器か 羽釜	カマド壁+10 口縁～胴部下位 1/3	口底 25.0	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/良好/ にぶい橙	口縁部は横ナデ。罅部を貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外 面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	器面炭素吸着。 破砕後に被熱 か。
565	第286図	須恵器 羽釜	カマド燃焼部 口縁～胴部上位 片	口底 20.2	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい褐	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部貼付後、胴部外面 に縦位のヘラ削り。	器面に炭素吸 着。
566	第286図	須恵器 羽釜	+8 口縁～胴部上位 片	口底 21.4	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部貼付後、胴部外面 に縦位のヘラ削り。	胴部外面に炭 素吸着。
567	第286図	土師器か 羽釜	+17 胴下位～底部 1/2	口底 7.0	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/良好/にぶい 橙	胴部外面に縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	外面炭素吸着。 破砕後に被熱
568	第286図 PL.165	鉄製品 鎌	+32 3/4	長幅 12.3 3.2	厚重 0.8 33.02		中央付近でくの字に曲がる鉄鎌。柄装着部は劣化破損し構 造不明。断面は狭三角形で破損部断面は中央でやや膨らむ 形状を示すがこれは錆化による変形と考えられる。	

## 64住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
576	第287図 PL.166	須恵器 杯	覆土 口縁一部欠	口底 9.8 5.4	高 2.6	粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面一部に炭 素吸着。
577	第287図	須恵器 椀	床直 底～高台部	口底	高台 6.0	軽石/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	

## 65住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考		
578	第287図 PL.166	須恵器 椀	床直 3/4	口 底	13.3 6.2	高 5.0	粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰/にぶい黄橙	器形は大きく歪んでいる。ロクロ整形(右回転)。高台部は低い断面三角形。底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面摩滅。
579	第287図 PL.166	須恵器 椀	床直 1/4	口 底	17.8 8.8	高 6.9	小礫・粗砂粒/酸化焰/にぶい褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	被熱の為に炭素吸着。煤付着。器面摩滅。
580	第287図 PL.166	土師器 甕	床直 口縁～胴部下 1/2	口 底	19.0	高	粗砂粒/良好/明褐	口縁部は横ナデ。胴部外面上位は横位のヘラ削り。中位・下位は斜縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	内面胴部下半はやや摩滅。
581	第287図	土師器 甕	床直 口縁～胴部中位	口 底	27.8	高	粗砂粒/良好/暗褐	残存部分から口径、頸部径を割り出して測図。器形が大きく歪み、横断面が長円形となっている可能性あり。口縁部は横ナデ。胴部外面の上位は横位、中位は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
582	第287図 PL.166	須恵器 羽釜	床直 3/4	口 底	18.3 6.3	高 24.2	粗砂粒・赤黒色粘土粒/還元焰/灰黄褐	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部は貼付後、周縁部に横ナデ。胴部上半はロクロ目を残すが、下半は斜位のヘラ削りを重ねる。	被熱。器面に炭素吸着。
583	第287図 PL.166	鉄製品 不詳	覆土 完形	長 幅	14.5 1.7	厚 重 30.18	1.6	最大断面0.5cmの角棒状の鉄製品。両端に向かい角のまま細くなる、一端は釘先状に細くどがるが他端は細くなりながら端部は0.3cm程の角形で終わる。	

## 66住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考		
584	第288図 PL.166	須恵器 杯	カマド前床直 1/3	口 底	13.6 6.0	高 4.0	粗砂粒/角閃石/酸化焰/灰	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	口縁部外面に墨書「口」。
585	第288図 PL.166	須恵器 椀	床直 口縁～底部3/4	口 底	14.6	高	粗砂粒・赤黒色粘土粒/還元焰/灰黄	器形は歪んでいる。ロクロ整形(右回転)。高台部は付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。底部は回転糸切りであるが、底部を薄くしすぎたため、再度切り直している。	
586	第288図	須恵器 椀	カマド前+6 口縁下位～高台部	口 底	6.3	高	粗砂粒/酸化焰/浅黄	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面摩滅。
587	第288図 PL.166	土師器 甕	カマド前床直 口縁～胴部下位 3/4	口 底	19.8	高	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面の上位・中位は斜横位のヘラ削り。下位は斜位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	外面の広い範囲に煤付着。器面摩滅。
588	第288図	土師器 甕	覆土 胴下位～底部1/3	口 底	4.6	高	粗砂粒少・細砂粒/良好/にぶい褐	胴部外面は斜縦位に数回に分けてヘラ削り。内面は斜位にヘラナデ。	

## 67住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考		
589	第288図 PL.166	黒色土器 椀	床直 口縁部欠	口 底	高 6.2	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面の底部中央から放射状にヘラ磨き。	内面黒色処理。外面にも炭素吸着。	
590	第288図	須恵器 杯	床直 口縁下位～高台部	口 底	5.4	高	粗砂粒・軽石/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
591	第288図	須恵器 椀	覆土 底～高台部	口 底	6.2	高	粗砂粒・軽石/酸化焰/灰黄	ロクロ整形(右回転)。高台部は低く端部を整形し、作り出している。周縁部にナデ調整。	
592	第288図 PL.166	須恵器 椀	床直 3/4	口 底	14.2 9.4	高 6.1	粗砂粒・軽石・赤黒色粘土粒少/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面の広い範囲に炭素吸着。
593	第288図 PL.166	灰釉 皿	床直 1/3	口 底	14.2 7.5	高 2.5	精選・黒色鉱物粒/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は低く断面三角形。底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。口縁部先端の内外面に施釉。	大原2号窯式期か。
594	第288図	灰釉 椀	覆土 口縁部片	口 底	15.0	高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転か)。外面は回転ヘラ削り。内面は先端直下に沈線が巡る。内外面に施釉。	虎溪山1号窯式期。

## 68住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考		
526	第284図	土師器 甕	カマド覆土 口縁～胴部上位 片	口 底	24.6	高	粗砂粒/良好/褐	外面は口縁部に指ナデ。胴部にヘラナデ。内面は口縁部に横ナデ。胴部に横位のヘラナデ。	
527	第284図	土師器 甕	1カマド左壁 口縁～胴部下位 1/4	口 底	30.0	高	粗砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部上位・中位にナデ。下位にヘラナデ・ヘラ削り。内面は斜横位のヘラナデ。	外面被熱。炭素吸着。内面胴部中位以下は摩滅。
528	第284図	土師器 甕	掘り方覆土 胴下位～底部1/2	口 底	9.0	高	粗砂粒/良好/にぶい橙	胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のナデ。	

## 69住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考		
529	第284図	須恵器 杯	掘り方覆土 底部	口 底	4.8	高	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	

## 70住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高				
530	第284図	土師器 甕	覆土 口縁～胴部上位 片	口底	19.6	高	粗砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位・横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。

## 71住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高				
595	第288図	須恵器 椀	+7 口縁下位～高台 部	口底	6.6	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面はヘラ磨き。	
596	第288図	須恵器 椀か	覆土 口縁部片	口底	17.0	高	粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)か。	
597	第288図	須恵器 椀	床直 口縁下位～高台 部	口底	8.0	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
598	第288図 PL.166	灰釉 椀	+29 1/4	口底	14.0 7.6	高	4.9 精選・白色鈹物粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。口縁部先端の内外面に施釉。	大原2号窯式 期。
599	第288図 PL.166	須恵器 壺	東壁際+25 胴中位～底部	口底	9.8	高	粗砂粒/還元焰/灰 白	高台部は低く華奢。ロクロ整形(左回転)か。胴部最下位に回転ヘラ削り。	外面に自然釉 付着。
600	第288図 PL.166	須恵器 鉢	床直 1/4	口底	19.6 11.8	高	13.5 粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。胴部外面下位は斜横位に、それ以上は斜縦位のヘラ削り。	
601	第288図 PL.166	土師器 甕	床直 1/4	口底	24.4 22.4	高	14.4 粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/良好/ 橙	胴部の途中で切断し、甕としたもの。切断面は丁寧に二次調整を施し平滑な面が作られている。1ヶ所1.5cmの幅で上方に繰り返された部分がある。甕としての整形は口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	外面に炭素吸 着。内面下半 は摩滅。
602	第288図 PL.166	土師器 羽釜	床直 口縁～胴部下位 1/2	口底	20.4	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/良好/ 橙	口縁部は横ナデ。粗雑に鑿部を貼付した後、胴部外面に縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。内面摩 滅。
603	第288図	土師器 甕	床直・覆土 胴下位～底部1/2	口底	9.0	高	粗砂粒・角閃石/良 好/にぶい橙	胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のナデ。	内面摩滅。外 面の一部に炭 素吸着。

## 72住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高				
604	第289図 PL.167	須恵器 杯	東壁際床直 1/2	口底	8.4 4.6	高	1.9 粗砂粒小/酸化焰/ 橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
605	第289図 PL.167	須恵器 杯	カマド左壁 1/2	口底	8.3 4.0	高	1.9 粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
606	第289図	須恵器 椀	カマド壁際 口縁下位～高台 部	口底		高台	6.8 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は付高台。	器面摩滅。
607	第289図 PL.167	土師器 甕	カマド燃焼部 口縁～胴部下位 1/3	口底	23.6 6.2	高	28.3 粗砂粒・軽石/良好/ にぶい赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は数回に分けて縦位のヘラ削り。最下位は横位のヘラナデ。上位にナデの部分を残す。内面は横位のヘラナデ。底部は砂底。	器面に炭素吸 着。被熱。内 面中位は摩滅。

## 73住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
				口底	高				
622	第290図	黒色土器 椀	覆土 台部のみ	口底		高台	6.6 粗砂粒・軽石/酸化 焰/浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部に横ナデ。内面はヘラ磨き。	黒色処理後、 被熱か。内面 に炭素吸着見 られない。
623	第290図	黒色土器 椀	床直 底～台部	口底		高台	9.0 粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面はヘラ磨き。	内面黒色処理、 外面にも炭素 吸着。
624	第290図 PL.167	須恵器 杯	南東隅+16 完形	口底	9.1 5.5	高	2.4 粗砂粒少・赤黒色 粘土粒少/酸化焰/ 浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
625	第290図	須恵器 杯	+18 口縁下位～底部 片	口底	5.5	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
626	第290図 PL.167	須恵器 椀	床直 1/3	口底	13.4	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・角閃石/酸化 焰/浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
627	第290図 PL.167	土師器 甕	カマド壁+17 口縁～胴部上位 片	口底	20.8	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデの上に縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
628	第290図	土師器 か 羽釜	カマド壁+25 口縁部片	口底	28.7	高	粗砂粒少/良好/に ぶい褐	口縁部は横ナデ。鑿部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は横位のヘラナデか。内面は横位のヘラナデ。	
629	第290図 PL.167	鉄製品 不詳	床直 破片	長幅	4.0 0.7	厚重	0.7 4.5	断面0.4cm程の角棒状で両端ともやや丸みを持つ角形で終わる。木質等は見られない。	
630	第290図 PL.167	鉄製品 不詳	覆土 破片	長幅	3.5 1.0	厚重	0.9 4.0	断面0.5cm程の角棒状で中ほどで浅くくの字に曲がる。両端ともやや丸みを持つ角形で終わる。木質等は見られない。	

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
631	第290図 PL.167	土製品 羽口	カマド燃焼部 3/4	長 短	12.7 9.2	厚 重	10.2 928.2		羽口先端側破片。表面には食物痕の細かい凹み溝状に見られる。先端部は一部ガラス化する。外径92mm孔径30mm（先端部孔径27mm）挿入角度101°孔は羽口の中心から大きくずれている。	支脚 （製鉄炉周辺 鍛冶工房）
632	PL.167	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	4.4 4.6	厚 重	2.7 36.1		羽口先端近くの破片。先端側は灰黒色でガラス化・発泡しその上に一部酸化土砂が付着する。外径、孔径計測不可。	

74住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
633	第290図 PL.167	須恵器 杯	東壁際+20 口縁一部欠	口 底	11.2 5.0	高	3.7	粗砂粒・赤黒色粘土粒・軽石/酸化焰/明黄褐色	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	底部外面はやや摩滅。
634	第290図 PL.167	須恵器 椀	床直 1/3	口 底	15.7 9.0	高	7.9	粗砂粒・軽石・赤黒色粘土粒/還元焰/軟質/灰黄	ロクロ整形(右回転)。足高の高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	内面の一部に炭素吸着。
635	第290図	須恵器 椀	掘り方-18 口縁下位～台部	口 底		高 台	8.7	粗砂粒/酸化焰/浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	やや炭素吸着。
636	第290図	緑釉 椀	覆土 口縁部片	口 底	15.8	高		精選・灰色粘土/還元焰/灰黄褐色	ロクロ整形(右回転か)。内外面施釉。	
637	第290図	灰釉 椀	覆土 口縁下位～高台部片	口 底		高 台	7.7	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は付高台。	内面やや摩耗。10世紀代か。

75住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
608	第289図	須恵器 杯	+27 1/3	口 底	9.3 6.4	高	2.0	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
609	第289図	須恵器 杯	+21 1/3	口 底	8.9 6.0	高	2.6	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
610	第289図	須恵器 杯	床直 1/3	口 底	9.0 5.0	高	2.9	粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面はやや摩滅。
611	第289図 PL.167	須恵器 杯	+18 完形	口 底	9.3 5.7	高	2.9	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	内面やや摩耗。
612	第289図 PL.167	須恵器 杯	床直 1/3	口 底	9.6 4.0	高	2.9	粗砂粒・軽石/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸着。
613	第289図 PL.167	須恵器 杯	床直 口縁一部欠	口 底	9.5 4.6	高	2.7	粗砂粒/酸化焰/明黄褐色	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に鉄分凝着。
614	第289図 PL.167	須恵器 杯	掘り方-20 完形	口 底	9.8 4.9	高	3.4	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	器形は大きく歪んでいる。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
615	第289図 PL.167	須恵器 椀	南壁際+28 口縁1/2欠	口 底	10.8 6.5	高	4.9	粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。高台部にヘラのあたった痕跡あり。	外面に黒色の付着物。
616	第289図	須恵器 椀	+22 1/3	口 底	14.8	高		粗砂粒・軽石/酸化焰/黒褐色	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。黒色味。
617	第289図	須恵器 椀	覆土 下半部	口 底		高 台	8.1	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に黒色の付着物。
618	第289図	灰釉 甕	+10 胴部片	口 底		高		精選・黒色鋳物粒少/還元焰/灰黄	ロクロ整形(右回転)。外面下位に回転ヘラ削りか。	10世紀代。
619	第289図 PL.167	土師器 甕	床直 上半部1/2	口 底	15.6	高		粗砂粒/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	外面に煤付着。内面に炭素吸着。
620	第289図 PL.167	土師器 羽釜	床直・覆土 口縁～胴部下位 1/2	口 底	22.0	高		粗砂粒・赤黒色粘土粒/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は上位に横位のナデを残す。以下中位から下位は斜位のヘラ削り。下位は横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。一部に鉄分凝集。
621	第289図	須恵器 羽釜	床直 口縁～胴部上位 1/4	口 底	27.2	高		粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰/にぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。胴部外面は中位寄りに縦位のヘラ削り。	被熱。

76住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
638	第290図	黒色土器 杯	覆土 口縁部片	口 底	10.4	高		粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	内面黒色処理。外面の一部炭素吸着。
639	第290図	須恵器 杯	掘り方覆土 1/4	口 底	11.3 6.2	高	2.6	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転か)。底部回転糸切り後、無調整。	
640	第290図	須恵器 杯	床直 1/4	口 底	10.8 5.6	高	3.2	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転か)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸着。摩滅。
641	第290図 PL.167	緑釉 段皿	床直 1/4	口 底	15.4	高 台	8.2	精選・白色粘土/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。口縁部下位に回転ヘラ削り。高台部は付高台。内外面に施釉。	器面摩滅。釉剥落。
642	第290図	緑釉 椀	覆土 口縁部片	口 底	14.0	高		精選・灰色粘土/還元焰/灰オリーブ	ロクロ整形(回転方向不明)。内外面に施釉。	先端被熱か。東海産。9世紀後半。

## 4区観察表

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
643	第290図 PL.167	灰釉 椀	覆土 口縁下位～高台 部	口 底	高 台	6.5	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部ナデ調整後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内外面に施釉。刷毛塗りか。	内面磨耗顕著。硯に転用。墨痕か。光ヶ丘1号窯式期。
644	第290図	須恵器 羽釜	床直・掘り方 口縁～胴部上片	口 底	18.0 高		粗砂粒・赤黒色粘土粒・軽石/酸化焰/橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。鏝部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。	

## 77住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
645	第291図	黒色土器 椀	覆土 口縁下位～高台 部	口 底	高 台	7.8	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面の底部中央から放射状にヘラ磨き。	内面に黒色処理。
646	第291図	須恵器 杯	覆土 1/4	口 底	9.6 高 4.8	3.4	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面やや炭素吸着。
647	第291図	須恵器 杯	1カマド覆土 口縁部片	口 底	15.0 高		粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(回転方向不明)。	被熱か。炭素吸着。
648	第291図	灰釉 壺	+9 底～高台部片	口 底	16.0 高		精選/還元焰/灰白	紐づくり後、ロクロ整形か。高台部は断面台形で低い。胴部外面はヘラ削り。ヘラナデ。	10世紀代。
649	第291図	須恵器 壺か	南壁際+12 肩部1/3	口 底	高		粗砂粒・赤黒色粘土粒/還元焰・軟質/灰黄	紐づくり後、ロクロ整形(左回転か)。残存部下端は弱いヘラ削り。把手が付くが欠損している。一箇所か。	被熱のため器面摩滅。
650	第291図 PL.168	須恵器 甕	+16 胴下位～高台部 1/2	口 底	13.4 高		粗砂粒・赤黒色粘土粒/還元焰・軟質/にぶい黄褐	紐づくり後、ロクロ整形。胴部外面の最下位には横位のヘラ削り。高台部は断面台形の低いもの。底部はヘラ削り。	器面に炭素吸着。内面磨耗、摩滅。
651	第291図	埴輪 円筒か	掘り方覆土 胴～基部片	口 底	17.0 高		粗砂粒・赤黒色粘土粒/窯突焼成/橙	基底部の長さ8.5cm。外面は縦ハケ(5本/1cm)後、断面台形の突帯貼付。周縁部に横ナデ。内面は横位・斜位のナデ。	
652	PL.168	石製品 砥石	カマド焚口部 上半部破損	長 幅	(12.7) 厚 8.0 重	(7.9) 760.0	粗粒輝石安山岩	各面ともよく使い込まれ研ぎ減る。上端側破損面は弱く磨滅しており、破損後も使用された可能性がある。	多面体砥石
653	PL.168	礫石器 敲石	カマド焚口部 完形	長 幅	28.0 厚 10.6 重	7.6 3446.3	ひん岩	下端側小口部に敲打痕が残る。背面側に火バネ?して礫面が剥落する。	棒状礫
654	PL.168	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	5.5 厚 5.9 重	3.1 63.3		基部片。基部外径94mm、基部孔径25mm。	床下土坑2

## 78住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
655	第291図	黒色土器 椀	掘り方-15 底～高台部	口 底	高 台	7.0	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面はヘラ磨き。	内面に黒色処理。
656	第291図	須恵器 杯	覆土 口縁部片	口 底	12.0 高		粗砂粒・軽石/酸化 焰/灰黄	ロクロ整形(右回転)。	器面やや炭素吸着。
657	第291図	須恵器 椀	+6 口縁下位～高台 部	口 底	高 台	6.0	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。
658	第291図	須恵器 椀	+18 口縁下位～高台 部	口 底	高 台	6.9	粗砂粒・軽石/酸化 焰/浅黄	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。
659	第291図	灰釉 椀	床直 口縁下位～高台 部片	口 底	高 台	8.6	精選・黒色鈹物粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転か)。外面は口縁部下位に回転ヘラ削り。高台部は付高台。	大原2号窯式期。
660	第291図	灰釉 椀	床直 口縁下位～高台 部	口 底	高 台	8.2	精選・黒色鈹物粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転か)。口縁部最下位にヘラ削り。高台部には底部回転ヘラ削り後の付高台。	大原2号窯式期。
661	第291図	須恵器 椀	床直 口縁下位～高台 部上半	口 底	高		粗砂粒・赤黒色粘土粒・軽石/酸化焰/にぶい褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面摩滅。
662	第291図 PL.168	土師器 甕	-9 胴下半～底部 1/2	口 底	12.0 高		粗砂粒・赤黒色粘土粒・軽石/良好/にぶい橙	甕の胴部を途中で切断し、甕としたもの。外面は斜位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	器面に炭素吸着。内面摩滅。
663	第291図 PL.168	石製品 砥石	+6 体部破片	長 幅	(9.0) 厚 4.3 重	3.9 207.6	砥沢石	四面使用。残存部は著しく被熱、これによる破損したものとみられる。	切り砥石
664		石製品 砥石	覆土 破片	長 幅	(5.2) 厚 4.5 重	(1.4) 37.4	砥沢石	砥石の背面破片。被熱して煤ける。	切り砥石

## 79住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
665	第292図	黒色土器 椀	貯蔵穴+14 1/3.台部欠	口 底	12.0 高 7.1		粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面はヘラ磨き。	内面に黒色処理。
666	第292図	須恵器 杯	覆土 1/3	口 底	8.5 高 5.1	2.1	粗砂粒少/酸化焰/ 浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
667	第292図	須恵器 杯	床直 1/4	口 底	11.2 高 4.6	3.3	粗砂粒・軽石/酸化 焰/灰黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面の一部に炭素吸着。
668	第292図	須恵器 杯	+7 3/4	口 底	11.4 高 6.4	5.0	粗砂粒・軽石/還元 焰・酸化焰きみ・軟質/灰白	底部の切り離しが粗雑なため底面凸面上をなす。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
669	第292図 PL.168	鉄製品 不詳	覆土 3/4	長 幅	9.2 1.1	厚 重	0.5 6.59	3/4	断面薄いかまぼこ型の細い板状鉄製品で一端では丸味有る面を外側にして半円形に曲がる。両端とも劣化破損で①②とも同一個体と見られるが直接接合できない。
670	第292図 PL.168	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	7.2 1.2	厚 重	1.0 5.92	破片	断面薄いかまぼこ型の細い板状鉄製品。両端とも劣化破損で①②とも同一個体と見られるが直接接合できない。

#### 81住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
671	第292図 PL.168	須恵器 杯	カマド掘り方 3/4	口 底	15.7 6.9	高	4.4	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩耗。
672	第292図	須恵器 杯	床直 口縁中位以下 1/2	口 底	4.9	高		粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
673	第292図	須恵器 椀	掘り方覆土 口縁下位～高台 部	口 底		高 台	7.8	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	内面磨耗。
674	第292図	灰釉 椀	掘り方覆土 口縁下位～高台 部1/2	口 底		高 台	7.0	精選・ザラつく/選 元焰/灰黄	ロクロ整形(右回転)。高台部には底部回転ヘラ削り後の付高台。周縁部にナデ調整。内面に重ね焼き痕。施釉は漬け掛け。	大原2号窯式 期。
675	第292図 PL.168	土師器 羽釜	カマド燃焼部 口縁～胴部下半 1/2	口 底	24.6	高		粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、胴部外面に縦位のヘラナデ。内面に斜横位のヘラナデ。	器面に炭素吸 着。黒色味。
676	第292図 PL.168	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	2.9 1.1	厚 重	1.0 4.0		断面0.4cm程の角棒状で両端とも角形で終わる。錆化が著しく本体は脆弱で木質等は見られない。	
677	第292図 PL.168	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	5.8 2.6	厚 重	1.3 19.16		厚さ0.4cm程の鑄造鉄製品破片で、全周とも不定形な割れで劣化ひび割れるため本体形状は不明。	
678	PL.168	炉壁 中段	覆土 破片	長 短	2.4 3.2	厚 重	1.3 7.7		小破片、表面灰黒色でガラス化・発泡。破断面を含め一部酸化土砂が覆う。	
679	PL.168	炉壁 中段	カマド覆土 破片	長 短	6.7 7.7	厚 重	4.9 103.3		表面灰黒色でガラス化・発泡、上面の一部が酸化土砂に覆われその部分は磁着有り。	
680	PL.168	鉄滓 炉内滓	覆土 破片	長 短		厚 重	497.8		炉内滓破片の集まりで、一部にメタル反応有。重量は一括重量。	一括写真

#### 82住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
681	第292図	須恵器 椀	+8 1/3	口 底	11.0	高 台	4.9 6.0	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
682	第292図	緑釉 椀	掘り方覆土 高台部片	口 底		高 台	8.4	精選・灰色粘土・橙 色粘土・白色鉱物 粒/還元焰/橙	ロクロ整形(回転方向不明)。高台部は本体と素地の異なる粘土を貼付。内外面施釉。	東海産。 10世紀後半。

#### 83住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
683	第292図	須恵器 杯	掘り方覆土 1/3	口 底	10.6 5.2	高	2.9	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	内面炭素吸着。
684	第292図	須恵器 椀	掘り方覆土 口縁部片	口 底	15.4	高		粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。	内面摩滅。
685	第292図 PL.168	土師器 羽釜	カマド燃焼部 口縁～胴部中位 1/3	口 底	28.4	高		粗砂粒・軽石/良好 /にぶい橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は斜位のヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。	被熱、炭素吸 着。

#### 84住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
686	第293図 PL.169	須恵器 杯	カマド燃焼部 完形	口 底	8.2 4.1	高	2.1	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面やや炭素 吸着。
687	第293図 PL.169	須恵器 杯	南東隅床直 1/3	口 底	13.0 6.2	高	4.2	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。
688	第293図	土師器 甕	カマド燃焼部 口縁～胴部中位	口 底	31.0	高		粗砂粒/良好/に ぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は丁寧なナデの上に不定方向のヘラナデを重ねる。内面は横位のヘラナデ。	器面の一部に 炭素吸着。被 熱の為に炭素 吸着。
689	第293図 PL.169	土師器 羽釜	カマド煙道部 口縁～胴部下半 1/3	口 底	23.0	高		粗砂粒・軽石/良好 /にぶい褐	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は斜横位のヘラ削り。上位にナデの部分を残す。内面は斜横位のヘラナデ。	外面被熱、炭 素吸着。内面 下位は摩滅。
690	第293図	土師器 羽釜	北西隅-20 口縁部片	口 底	22.6	高		粗砂粒/良好/橙	外面の口縁部は横ナデ。罅部貼付後、胴部に斜横位のヘラ削り。内面は斜横位のヘラナデ。	
691	第293図	須恵器 甕	南東隅+7 胴下位～底端部 片	口 底	25.2	高		粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/に ぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形。	
692	第293図 PL.169	礫石器 敲石	床直 完形	長 幅	8.7 5.9	厚 重	5.8 339.4	粗粒輝石安山岩	上端側小口部が激しく敲打され、これに伴う衝撃剝離痕があるほか、浅いU字状の工具痕が残る。	垂円礫
693	第293図 PL.169	石製品 砥石	4/5	長 幅	(32.0) 20.3	厚 重	14.7 11300.0	粗粒輝石安山岩	右辺エッジが砥面として激しく使い込まれ、平坦面が形成されている。このほか、背面側にも摩耗面があり、砥面として使用されたことが明らかである。	礫砥石？

4区観察表

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
694	PL.169	礫石器 敲石?	完形	長幅 20.3	厚 9.4	重 7.4 2079.5	粗粒輝石安山岩	小口部両端に弱い敲打痕が残る。	棒状礫
695		礫石器 敲石	完形	長幅 11.3	厚 9.6	重 4.6 710.6	粗粒輝石安山岩	小口部両端・側縁に敲打痕が残る。被熱して弱く煤ける。	扁平楕円礫
696		礫石器 敲石?	破片	長幅 (12.6)	厚 (10.2)	重 (7.2) 1194.6	粗粒輝石安山岩	被熱破損礫を再利用したもので、側縁に敲打痕が残る。	楕円礫
697		礫石器 敲石?	完形	長幅 11.9	厚 6.9	重 6.5 855.3	粗粒輝石安山岩	小口部上端・側縁に弱い敲打痕が残る。	楕円礫
698	第293図 PL.169	炉壁 中段下半	+13 破片	長 11.2	厚 10.2	重 4.3 238.1		炉壁破片表面はガラス化・発泡する。下側表面に酸化土砂が附着。	掘り方(4区 製鉄炉周辺)
699	第293図 PL.169	土製品 羽口	+12 破片	長 5.9	短 6.5	厚 3.1 重 76.1		羽口先端破片。先端部上面および先端部はガラス化・発泡する。破断面に細かい植物痕の凹みが多くみられる。外径84孔径26挿入角度計測不可。	(製鉄炉周辺 鍛冶工房)
700	第293図 PL.169	土製品 羽口	覆土 破片	長 8.6	短 5.6	厚 2.6 重 110.0		羽口破片で先端を欠く。表面はガラス化・発泡し黒色一部褐色。外径90mm孔径計測不挿入角度100°。	(4区製鉄炉 周辺)
701	PL.169	土製品 羽口	覆土 破片	長 6.0	短 5.3	厚 2.7 重 48.4		羽口先端よりの小破片。先端側表面は灰黒色で僅かに発泡。破片小さく外径、孔径計測不可。	
702	PL.169	土製品 羽口	床直 破片	長 8.1	短 9.4	厚 5.0 重 150.6		羽口先端破片。上面黒・灰色でガラス化・発泡。破片小さく外径、孔径計測不可。	
703	PL.169	鉄滓 椀形鍛冶滓 (中)	床直 破片	長 10.2	短 6.4	厚 4.1 重 253.2		表面に錆化した植物体が厚く層状に附着。ほぼ全面に磁着有り。	
704	PL.169	鉄滓 椀形鍛冶滓 (小)	床直 破片	長 8.7	短 6.2	厚 3.3 重 177.8		上面に炭を含む酸化土砂が附着、下面には錆化した植物体が附着する。ほぼ全面に磁着有り。	
705	PL.169	鉄滓 椀形鍛冶滓 (中)	+8 破片	長 9.1	短 6.7	厚 5.1 重 279.7		上面・下面・破断面を含め、全体を酸化土砂および錆化した植物体が覆う。おもに下面に磁着有り。	
706	PL.169	鉄滓 椀形鍛冶滓 (小)	床直 破片	長 7.0	短 5.7	厚 4.3 重 142.0		上面・下面・破断面を含め、全体を酸化土砂および錆化した植物体が覆う。ほぼ全面に磁着有り。	
707	PL.169	鉄滓 炉内滓	南壁際床直 破片	長 5.4	短 5.1	厚 4.3 重 169.3		表面黒色で、全体を薄く酸化土砂が覆い重厚。下面に炉床土らしきものが附着。断面形状より孔滓か。	
708	PL.169	鉄滓 流動滓	床直 破片	長 7.9	短 7.0	厚 3.1 重 204.6		表面黒灰色で一部を酸化土砂が覆う。	
709	PL.169	鉄滓 流動滓	覆土 破片	長 7.6	短 9.7	厚 3.9 重 242.4		表面黒色で一部皺状、下面は凹凸多く土砂の附着は少ない。	
710	PL.169	鉄滓 流動滓	床直 破片	長 8.0	短 6.2	厚 4.3 重 169.6		表面黒色で一部皺状、下面は凹凸多くブロック状に灰褐色土砂が附着する。	
711		鉄滓 鉄塊系遺物	覆土 破片	長 短	厚 重	6609		一括資料で、ほとんどは破片全体を酸化土砂が覆う。一部メタル反応が有り放射割れを生じる物有り。重量は一括重量。	床直 一括写真
712		鉄滓 流動滓	覆土 破片	長 短	厚 重	2856.3		流動滓破片一括資料。表面黒から黒褐色で一部破片表面には酸化土砂が附着する。下面には薄褐色から灰褐色の土が少ブロック所に附着する。	一括写真
713		炉壁	覆土 破片	長 短	厚 重	359.3		炉壁小破片の一括資料で表面は灰黒色でガラス化・発泡し軽軟。橙色で植物痕を含む炉壁内部の破片も含む。	一括写真 No.31・57・ 58・80・82・ 84・111・112・ 114・119・ 覆 土一括

85住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
714	第293図	須恵器 杯	覆土 底部片	口 底	5.8	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転さ切り後、無調整。	内面磨耗、外 面摩滅。
715	第293図	土師器 鉢か	-29・掘り方 口縁～胴部上位 1/4	口 底	24.0	高	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
716	第293図 PL.168	礫石器 敲石	土坑2 完形	長幅 11.1	厚 9.0	重 5.2 747.8	粗粒輝石安山岩	下端側小口部に敲打痕がある。被熱してヒビ割れ、表裏面とも煤ける。	楕円礫
717	PL.168	礫石器 敲石?	土坑2 +15 完形	長幅 29.0	厚 11.0	重 8.7 2924.8	粗粒輝石安山岩	上端側小口部に敲打痕が残る。被熱して煤ける。	棒状礫
718	PL.168	土製品 羽口	床直 破片	長 4.7	短 4.0	厚 2.6 重 36.5		羽口基部片。小破片で外径、孔径計測不可。	
719	PL.168	土製品 羽口	+12 破片	長 4.9	短 3.6	厚 2.1 重 24.3		羽口先端近くの破片。先端側表面黒色ガラス化・発泡し一部酸化土砂附着。破片小さく外径、孔径計測不可。	
720	PL.168	炉壁 中段	土坑2 破片	長 7.2	短 5.1	厚 1.8 重 26.5		表面は灰色平坦で微小発泡有り。下面は灰青色で植物痕が見られる。	
721	PL.168	鉄滓 炉内滓	土坑1 破片	長 4.2	短 4.8	厚 3.1 重 50.1		炉内滓破片で、表面黒から黒褐色、破断面を含め一部に酸化土砂が附着する。上面に工具痕らしき痕跡あり。	
722	PL.168	鉄滓 流動滓	覆土 破片	長 3.5	短 3.9	厚 2.7 重 34.0		流動滓破片で破断面を含め一部酸化土砂に覆われる。酸化土砂中に広葉樹材の炭片および錆化した植物体が残る。	掘り方
723	PL.168	鉄滓 流動滓	覆土 破片	長 3.5	短 3.6	厚 2.1 重 43.5		流動滓破片で、一部酸化土砂に覆われる。	



## 87住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
724	第294図 PL.169	須恵器 杯	+15 3/4	口 底	9.7 5.4	高	2.2 粗砂粒/酸化焰/灰 黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	坩堝として利用されたと考えられ、内面は被熱し流動滓状の付着物・土砂が全面に付着する。外面にも島状の付着物。
725	第294図 PL.169	須恵器 杯	+7 完形	口 底	8.7 4.5	高	2.2 粗砂粒/酸化焰/に ぶい褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸着。黒色。
726	第294図 PL.169	須恵器 杯	+18 2/3	口 底	9.5 5.5	高	2.3 粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	底部内面に鉄滓付着。周囲の器面灰白色に変色。
727	第294図	須恵器 杯	覆土 1/4	口 底	9.8 5.4	高	2.2 粗砂粒少/酸化焰/ 暗灰黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸着。
728	第294図	須恵器 杯	覆土 1/4	口 底	9.4 6.2	高	1.8 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸着。
729	第294図	須恵器 杯	覆土 1/4	口 底	9.6 6.6	高	2.4 粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
730	第294図 PL.169	須恵器 椀	+13 3/4	口 底	9.8 6.4	高	4.0 粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナゲ調整。	器面に炭素吸着。
731	第294図	須恵器 椀	掘り方覆土 口縁部片	口 底	14.4	高	粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	
732	第294図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口 底	16.4	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい赤褐	ロクロ整形(右回転)。	
733	第294図	須恵器 椀	カマド燃烧部 高台部	口 底		高台	7.9 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナゲ調整。	内面に炭素吸着。
734	第294図 PL.169	緑釉 椀	+15、81・73住 口縁～高台部1/3	口 底	17.8	高台	6.5 精選・灰色粘土/選 8.2 元焰/灰オリープ	ロクロ整形(右回転か)。高台部は輪高台。底部切り離し後の付高台。内外面全て施釉。	東海産。 10世紀後半。
735	第294図 PL.169	土師器 甕	+10 口縁～胴部中位 1/4	口 底	25.4	高	粗砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のナデに近いヘラ削り。頸部との間にナデの部分を幅広く残す。内面は横位のヘラナデ。	被熱。器面に炭素吸着。
736	第294図	土師器 甕	床直 口縁～胴部上位 片	口 底	30.0	高	粗砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は丁寧なナデの後に縦位にヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	器面の一部に炭素吸着。
737	第294図	土師器 羽釜	+20 口縁～胴部上位 片	口 底	30.0	高	粗砂粒/酸化焰/灰 褐	口縁部は横ナデ。胴部は斜横位のヘラナデ。鏝部は胴部整形後に貼付。内面は横位のヘラナデ。	外面に煤付着。
738	第294図	須恵器か 甕	覆土 底部端1/4	口 底	24.6	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい橙	紐づくり後、ロクロ整形か。	
739	第294図 PL.169	土製品 羽口	+7 3/4	長 短	11.6 7.9	厚 重	8.3 540.5	羽口先端側破片。先端部はガラス化・発泡し孔の端部を僅かに狭める。表面には植物痕の細かい凹みが溝上に見られ他破断面では1～2mmの孔として観察される。外径77mm孔径25mm挿入角度99°。	(製鉄炉周辺 鍛冶工房)
740	第294図 PL.169	土製品 羽口	+22 1/2	長 短	14.4 8.4	厚 重	8.4 452.5	羽口破片で基部を欠く。先端から6cm程でガラス化・発泡し上面には酸化土砂が付着する。外径75mm孔径30mm挿入角度120°。先端部の一部に磁着部有り。	(4区製鉄炉 周辺)
741	第294図 PL.169	鉄製品 鎌	北西隅+39 3/4	長 幅	10.8 2.5	厚 重	1.2 18.18	長方形で先端に向け薄くなる鉄鎌で、茎との境に一周する形でやや丸みのある段を持つ。茎は徐々に細くなり先端はとがり気味で途中で浅くくの字に曲がる。矢柄の痕跡は確認できない。	
742	第294図 PL.169	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	3.5 1.2	厚 重	0.9 5.53	断面長方形の厚板状の鉄製品で、両端とも角型で錆におおわれるが破損の可能性も有る。	
743	第294図 PL.169	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	2.4 0.6	厚 重	0.6 1.21	断面0.3cm角の釘で先端に向け急にとがる。頭側は短く角形で錆びにおおわれるが破損の可能性も有る。	
744	第294図 PL.169	鉄製品 刀子	覆土 1/2	長 幅	9.0 1.6	厚 重	0.9 6.66	断面狭三角形の板状で刀子の刃部分破片と見られるが一端は劣化破損し闊・茎等の形状は確認できない。	
745	第294図 PL.169	鉄製品 刀子	覆土 1/3	長 幅	5.8 0.7	厚 重	0.3 7.62	断面狭三角形の板状で刀子の刃部分破片と見られるが、闊等は見られず角形に終わり破損の可能性が有る。	
746	第294図 PL.169	鉄製品 刀子	+14 1/3	長 幅	9.3 1.9	厚 重	1.2 12.7	棟側に明瞭な闊を持つ刀子。刃は2cm程で劣化破損する。茎は細長く端に向かい細くなるが端部は劣化破損する。	
747	第295図 PL.169	鉄製品 不詳	床直 破片	長 幅	7.4 3.2	厚 重	0.9 16.06	幅3cm厚さ0.3cmの幅広い板状の部分から幅を減じ端部では幅0.7厚さ0.3cmの狭板状に変わる鉄製品で幅狭くなった部分でねじれる様に曲がる。一番幅の広い部分に二つの孔が有る、この穴の縁は同じ方向へ凹み釘等を打ち込まれた可能性あり。	
748	第295図 PL.170	鉄製品 釘	+13 破片	長 幅	3.8 0.8	厚 重	0.8 3.1	断面0.4cmの角釘で先に向かい緩やかに細くなるが端部は尖らない。頭側は斜めに曲がるが折り曲げ等の形態はなく、木質等の付着も見られない。	
749	第295図 PL.170	鉄製品 釘	覆土 完形	長 幅	5.6 1.1	厚 重	1.0 4.53	断面0.3cm角の角釘で先に向かい細くなり尖る。頭部はねじれやや斜めに曲がられる。木質等の付着は確認できない。	
750	第295図 PL.170	鉄製品 釘	覆土 完形	長 幅	4.8 0.8	厚 重	0.8 3.00	断面0.25cmの角釘で、頭部0.5cm程を直角に折り曲げる。先端部は細くなり尖る。	

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
751	第295図 PL.170	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	3.5 1.1	厚 重	1.0 3.10	断面0.3cm角の角釘で頭部0.4cmは直角に曲がる、先側は劣化破損する。	
752	第295図 PL.170	鉄製品 釘	覆土 完形	長 幅	3.6 1.0	厚 重	1.1 1.76	断面0.3cm角の角釘で頭部0.4cmは直角に曲がる、先側は徐々に細くなり尖る。	
753	第295図 PL.170	鉄製品 釘	覆土 完形	長 幅	4.4 1.0	厚 重	0.9 2.76	断面0.3×0.2cm角の角釘で頭はやや肥大するが折り曲げは確認できない、先端に向かい徐々に細くなり尖る。頭から1.6cmより釘先端まで木質(広葉樹・散孔材)が残存、釘先端は木口に打ち込まれている。	
754	第295図 PL.170	鉄製品 釘	東壁際+36 完形	長 幅	4.8 0.7	厚 重	0.8 2.22	断面0.3cm角の角釘で先に向かい細くなり尖る。頭側は角形で終わるが破損の可能性が有る。頭側に木質等の付着が見られる。	
755	第295図 PL.170	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	4.8 0.1	厚 重	0.9 3.38	断面0.2cm角の角釘で一端は細くとがり、他端はやや曲がり角形で終わる。	
756	第295図 PL.170	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	3.8 0.7	厚 重	0.7 2.0	断面0.2cm角の角釘で一端は細くとがり、他端はやや曲がり角形で終わる。	
757	第295図 PL.170	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	3.1 0.7	厚 重	0.7 1.79	断面0.3cm角の角釘で頭部0.4cmは膨らむが折り曲げ等は確認できない、先側は徐々に細くなり劣化破損する。	
758	第295図 PL.170	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	2.5 1.0	厚 重	0.9 1.30	断面0.3cm角の角釘で、先端に向け徐々に細くなり端部は僅か劣化破損する。頭部は角形で終わる。	
759	第295図 PL.170	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	2.0 1.1	厚 重	0.7 1.22	断面0.4cm角の角釘で、先端に向け徐々に細くなり端部は僅か劣化破損する。頭部は角形で終わる。	
760	第295図 PL.170	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	2.9 0.9	厚 重	0.7 1.06	断面0.3cm角の角釘で先に向け徐々に細くなり尖る。頭側は劣化破損する、木質等は見られない。	
761	第295図 PL.170	鉄製品 釘	+10 破片	長 幅	3.5 0.65	厚 重	0.6 1.38	断面0.3cm角の角釘破片で先に向かい細くなり尖る。頭側は劣化破損し不明。木質等の付着も見られない。	
762	第295図 PL.170	鉄製品 釘	+16 破片	長 幅	16.1 1.1	厚 重	1.2 7.9	断面0.5cm程の角棒状で中ほどで浅く曲がる。先端に向かい細くなり端部は尖る。頭側は劣化破損し形態不明。木質等は見られない。	
763	第295図 PL.170	鉄製品 釘	+21 破片	長 幅	7.5 1.0	厚 重	1.3 11.52	断面0.5cm程の角棒状で中ほどで浅くくの字に曲がる。先端に向かい細くなり端部は尖る。頭側は劣化破損し形態不明。木質等は見られない。	
764	第295図 PL.170	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	3.7 1.2	厚 重	1.1 3.72	断面0.2cm角の角釘で一端で急に曲がり劣化破損する。他端は真っ直ぐなまま劣化破損する。	
765	第295図 PL.170	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	3.0 1.1	厚 重	1.1 5.52	断面0.4×0.3cm角の角釘でJ字形にゆるく曲がる。頭は角形で終わる。	
766	第295図 PL.170	鉄製品 不詳	+10 破片	長 幅	2.0 0.6	厚 重	0.6 1.2	断面0.4cm程の角型で中央で緩やかに曲がる、両端とも細くとがる。木質等の付着は見られない。	
767	第295図 PL.170	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	2.3 1.1	厚 重	0.8 3.43	断面0.6×0.4cm角で長方形の鉄製品、両端とも角形で終わり特別の形状は見られない。	
768	第295図 PL.170	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	3.0 1.2	厚 重	1.2 15.28	断面0.7×0.4cm角で急に細くなり尖る、他端は劣化破損する。	
769	第295図 PL.170	金属製品 不詳	覆土 破片	長 幅	3.7 1.2	厚 重	1.1 9.01	銅錆色で断面楕円形不定形の銅滓状遺物で表面一部には水酸化鉄が付着する。	
770	第295図 PL.170	金属製品 不詳	+17 破片	長 幅	3.5 1.7	厚 重	0.6 7.31	錆から銅を含むと見られる金属が溶けた塊で、断面はつぶれた円形だが一面はやや平坦で何かに接していたと面と考えられる。銅滓または本体から脱落した鑄掛金属の可能性もある。	
771	第295図 PL.170	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	2.3 2.2	厚 重	0.4 3.02	厚さ0.2cmで四角形の鉄製品。一辺は縁に沿って0.2cm程折れ曲がる。	
772	第295図 PL.170	鉄製品 不詳	+10 破片	長 幅	14.7 1.5	厚 重	1.4 37.14	断面0.8×0.3cmの角棒状の鉄製品で、一端へ向かいやや細くなり先端は丸みを持ち尖らない。他端もやや細くなるが閔等は見られず端部は劣化破損する。劣化が著しく本体は脆弱なため詳細構造は不明だが工具の可能性が有る。	
773	第295図 PL.170	鉄製品 不詳	東壁際+33 破片	長 幅	10.2 1.1	厚 重	0.8 9.59	断面やや丸みを持つ角型で、中ほどでくの字に曲がる。両端とも丸みを持ち尖らない。木質等の付着も見られない。	
774	第295図 PL.170	鉄製品 不詳	+9 完形	長 幅	18.8 3.1	厚 重	3.2 267.89	直径2.2cm厚さ0.3の管状鉄製品で内部は空洞。錆に取り込まれる形で複数の炭化物(広葉樹・散孔材)が付着するが鉄製品と直接の関係は確認できない。	
775	第295図 PL.170	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	3.2 2.3	厚 重	1.2 8.6	錆化が著しく本体は脆弱、断面長方形で環形の鉄製品で一か所は僅かに空きC形となる。	
776	第295図 PL.170	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	2.8 2.3	厚 重	1.0 10.31	錆化が著しく本体は脆弱、断面長方形で環形の鉄製品。	
777	第295図 PL.170	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	5.0 3.2	厚 重	3.2 37.04	直径2.5および3cmの二枚の円形鉄板の中央を貫く形で0.3cm角の角棒で繋いだ鉄製品。二枚の円板の間は2.3cm程の間隔が有るがこの間に木質等の存在は確認できない。一方の円盤は孔周囲が外側にめくられるように反り返っている。	
778	第295図 PL.170	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	3.3 2.3	厚 重	1.3 16.24	長方形厚い板状の鉄製品、全体を厚い錆が覆い本来形状は不明。	
779	第295図 PL.170	鉄滓 鉄塊系遺物	覆土 破片	長 短	3.8 2.8	厚 重	3.1 44.8	全体に酸化土砂付着、全面磁着でメタル反応有、中心部より多数の放射割れが有り、破断面には錆化した植物痕が見られる。	(4区製鉄炉 周辺)
780	第295図 PL.170	鉄滓 流動滓	覆土 破片	長 短	10.0 8.3	厚 重	3.2 309.3	表面黒色で皺状。下面は砂粒とともに酸化土砂が付着重厚。	(4区製鉄炉 周辺)
781	第295図 PL.170	炉壁 中段下半	カマド際+54 破片	長 短	20.2 14.8	厚 重	8.6 1006.8	表面一部に酸化土砂が厚く付着。広葉樹材の炭の痕跡が空洞として残る。表面近くは熔融ガラス化し発泡。内面には植物痕の細かい空洞が多数みられる。	(1号製鉄炉)

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
782	PL.170	炉壁 中段	覆土 破片	長 短	8.8 6.8	厚 重	5.5 170.9		炉壁破片で表面は灰黒色でガラス化・発泡し軽軟。内部から下面には植物痕の空洞が見られる一部は生かした植物体が残る。
783	PL.170	炉壁 中段	覆土 破片	長 短	6.2 7.8	厚 重	3.8 74.1		炉壁破片、表面灰黒色でガラス化・発泡し、表面の一部を酸化土砂が覆い磁着有り。下面には多数の植物痕の空洞が見られる。
784	PL.170	鉄滓 流動滓	覆土 破片	長 短	7.3 7.6	厚 重	4.2 317.2		流動滓破片で、表面黒色で破断面含め一部僅かに酸化土砂が付着する。下面は凹凸多く砂粒が付着する。
785	PL.170	鉄滓 流動滓	覆土 破片	長 短	5.7 7.9	厚 重	2.7 157.0		流動滓破片で、表面黒から黒褐色。下面は凹凸多く僅かに砂粒が付着する。
786	PL.170	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	5.9 7.2	厚 重	4.4 93.9		羽口先端近くの破片。先端側は灰黒色で僅かに発泡する。外径76mm、孔径28mm。
787	PL.170	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	6.0 3.5	厚 重	2.1 30.7		羽口小破片で外径、孔径計測不可。
788	PL.170	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	4.1 5.7	厚 重	4.4 62.3		羽口先端近くの破片。上面は灰黒色でガラス化一部に酸化土砂が付着する。外径、孔径計測不可。
789	PL.170	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	4.6 5.3	厚 重	3.1 46.6		羽口先端部片。灰黒色でガラス化。小破片で外径、孔径計測不可。
790	PL.170	土製品 羽口	カマド 燃焼部 破片	長 短	7.0 5.6	厚 重	2.5 64.1		羽口先端近くの破片、先端側は灰黒色でガラス化。外径76mm、孔径26mm。

### 89住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
791	第296図 PL.171	土師器 椀	覆土 3/4	口 底	14.0 高	台	6.0 7.4	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。下半部はヘラ削り後、これをナデ消す。内面はナデ。高台部は付高台。	口縁部内面に炭素吸着。
792	第296図 PL.171	須恵器 杯	覆土 完形	口 底	10.0 高	台	3.3 5.6	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	器形は大きく歪んでいる。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
793	第296図 PL.171	須恵器 椀	カマド 燃焼部 3/4	口 底	15.2 高	台	5.7 7.5	粗砂粒/酸化焰/灰 黄	ロクロ整形(左回転か)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。摩滅。
794	第296図	須恵器 椀	覆土 底～高台部	口 底	高	台	8.8	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
795	第296図	緑釉 椀か	カマド 覆土 口縁部片	口 底	15.8 高	台		精選・細砂粒少・灰 色粘土/還元焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(左回転か)。内外面に施釉。	近江産か(東海産ではない)。10世紀前半。
796	第296図 PL.171	土師器 甕	カマド 燃焼部 1/3	口 底	34.7 高	台	14.6	粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/良好/褐	器形は大きく歪み、横断面は長円形を呈する。口縁部は横ナデ。胴部外面は全体を数回に分けて斜縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	器面は炭素吸着。
797	第296図 PL.171	鉄製品 刀子	覆土 1/3	長 幅	3.9 1.3	厚 重	0.4 3.50		刀子破片で棟・刃側ともに関を持つ。刃先・茎ともに端部は劣化破損する。	

### 90住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
798	第296図	須恵器 杯	覆土・カマド 1/2	口 底	13.2 高	台	4.6 5.8	粗砂粒・軽石・角閃 石/酸化焰/灰黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面の一部に炭素吸着。

### 91住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
799	第296図 PL.170	黒色土器 椀	+19 1/3	口 底	14.5 高	台	5.6 6.8	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。口縁部外面は横位のヘラ磨き。内面は底部の中心から放射状にヘラ磨き。	器面は黒色処理後、被熱効。
800	第296図 PL.170	須恵器 杯	床直 3/4	口 底	10.2 高	台	2.9 4.2	粗砂粒/酸化焰/明 褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
801	第296図 PL.170	須恵器 杯	南壁際+16 完形	口 底	10.4 高	台	3.1 5.2	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面の一部に炭素吸着。
802	第296図 PL.170	須恵器 杯	+12 1/2	口 底	10.5 高	台	3.2 6.0	粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
803	第296図 PL.170	須恵器 椀	カマド 燃焼部 3/4(高台部先 端欠損)	口 底	14.8 高	台		粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	高台部先端の欠損後も使用か。
804	第296図	須恵器 椀	覆土・掘り方 口縁部片	口 底	15.8 高	台		粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/浅黄	ロクロ整形(右回転)。	
805	第296図 PL.170	灰釉 椀	北壁際床直 1/4	口 底	13.6 高	台	2.9 7.0	精選・黒色鈹物粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は断面三角形。底部回転糸切り後の付高台。口縁部先端は内外面に施釉。	器面摩耗。大原2号窯式期。
806	第296図 PL.170	灰釉 椀	+18 口縁部片	口 底	17.0 高	台		精選/還元焰/灰黄	ロクロ整形(右回転か)。内外面に施釉。	虎浜山1号窯式期。
807	第296図	灰釉 椀	掘り方覆土 口縁部片	口 底	14.8 高	台		精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。	器面摩耗。平滑。虎浜山1号窯式期。
808	第296図	灰釉 椀	覆土 口縁下位～高台 部片	口 底	高	台	8.4	精選/還元焰/灰黄	ロクロ整形(回転方向不明)。高台部は断面三日月形の付高台。	大原2号窯式期。

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
809	第296図 PL.170	土師器か 羽釜	カマド焼部 口縁～胴部上位 1/3	口 底	24.6 高	粗砂粒/良好/黒褐	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、胴部外面に縦位のヘラ削り。器面に炭素吸着。黒色味。煨か。
810	第296図	須恵器 羽釜	カマド焼部 口縁～胴部中位 片	口 底	25.0 高	粗砂粒/酸化焰/灰 褐	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部貼付後、胴部外面に縦位のヘラ削り。器面に炭素吸着。
811	第296図	須恵器 羽釜	床直・カマド 口縁部片1/4	口 底	25.0 高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部貼付後、胴部外面に縦位のヘラ削り。器面に炭素吸着。

## 139住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
812	第297図 PL.171	須恵器 杯	床直 完形	口 底	7.8 高 4.4	1.9 粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。
813	第297図 PL.171	須恵器 杯	床直 完形	口 底	7.6 高 4.8	2.0 粗砂粒少/酸化焰/ にぶい橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。口縁部器面やや炭素吸着。下に底部切り離し時の糸が当たる。
814	第297図 PL.171	須恵器 杯	覆土 3/4	口 底	7.9 高 4.3	2.0 粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。器面に炭素吸着。
815	第297図	須恵器 碗	+7 高台部片	口 底	高 台	8.8 粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。
816	第297図	灰釉 碗	覆土 口縁部片	口 底	11.9 高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(回転方向不明)。口縁部上半に内外面とも施釉。刷毛塗るか。10世紀代か。
817	第297図 PL.171	灰釉 長頸壺	床直 口縁～頸部1/2	口 底	19.5 高	精選/還元焰/灰白	先端に向かって大きく外反して立ち上がる。先端は短く直立する。紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。内外面とも施釉。10世紀代か。
818	第297図 PL.171	土師器 甕	カマド焚口部 口縁～胴部下位 1/3	口 底	24.9 高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/良好/ 黒褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は丁寧なナデ。下半部は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。器面に炭素吸着。
819	第297図 PL.171	鉄製品 刀子	覆土 破片	長 幅	3.0 厚 1.0 重	0.4 1.94	刀子先端より3cm程の破片で断面はやや厚めの狭三角形で劣化破損のため全体形状は不明。
820	第297図 PL.171	鉄製品 釘	+33 3/4	長 幅	6.9 厚 0.8 重	0.7 3.63	断面0.5cm角の角釘で頭は薄く広げるが折り曲げは無い、先に向かいわずかに細くなり途中で劣化破損する。

## 140住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
821	第297図	黒色土器 碗	カマド焼部 1/4	口 底	14.8 高 台	5.2 粗砂粒/酸化焰/黄 褐 7.0	ロクロ整形(右回転)。口縁部外面は横位のヘラ磨き。内面は底部中央から放射状にヘラ磨きか。単位は把握できない。内面黒色処理。外面の一部にも炭素吸着。
822	第297図 PL.171	須恵器 碗	貯蔵穴+10 口縁一部・高台 部2/3欠	口 底	14.0 高 台	5.5 粗砂粒・軽石少・赤 黒色粘土粒少/酸 化焰/黒褐 8.4	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にやや粗雑なナデ調整。器面に炭素吸着。
823	第297図 PL.171	灰釉 段皿	+20 口縁一部欠	口 底	10.0 高 台	2.1 精選/還元焰/灰白 5.3	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。内面の摩耗顕著。硯として転用されたものと考えられる。外面高台部内面から底部も摩耗。墨痕が認められる。大原2号窯式期。
824	第297図 PL.171	土師器 羽釜	カマド焼部 口縁～胴部下位 1/2。底部欠	口 底	24.4 高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/良好/にぶい 橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。器面に炭素吸着。破碎後被熱か。
825	第297図 PL.171	鉄製品 刀子	+15 1/3	長 幅	5.8 厚 1.3 重	0.5 3.7	先端を劣化破損により欠く刀子で棟・刃側ともになだらかな関を持つ、茎は細長く端部は劣化破損する。刃先はやや波打ち研ぎ減りと考えられる。
826	第297図 PL.171	鉄製品 釘	覆土 完形	長 幅	9.6 厚 1.5 重	1.5 25.09	断面0.6cm角の角釘で頭はやや薄く広げたのち緩やかに直角方向に折り曲げる。先端側はなだらかに細くなる。
827	第297図 PL.171	鉄製品 釘	カマド焼部 破片	長 幅	5.0 厚 2.8 重	2.5 31.99	断面0.6角の角釘で、頭は2.2cm程の犬釘状。先端へ向かいやや細くなるが3.7cm程でとがらず終わる。
828	第297図 PL.171	鉄製品 不詳	貯蔵穴 破片	長 幅	3.6 厚 3.3 重	1.4 22.64	厚さ1cm程で三角形の鉄製品。厚く錆に覆われ詳細は不明。

## 141住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
829	第298図	黒色土器 杯	覆土 口縁下半～底部 1/2	口 底	4.8 高	粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。内面炭素吸着。放射状にヘラ磨き。
830	第298図 PL.171	須恵器 杯	南西隅+20 完形	口 底	10.0 高 5.0	3.6 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。器面の一部に炭素吸着。
831	第298図 PL.171	須恵器 杯	床直 3/4	口 底	10.5 高 4.8	3.3 粗砂粒・軽石/酸化 焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。器面に炭素吸着。
832	第298図 PL.171	土師器 鉢	床直・貯蔵穴 3/4。底部欠	口 底	21.0 高 10.4	14.5 粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/良好/ にぶい褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。口縁部との間にナデの部分を残す。最下位は横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。被熱。
833	第298図 PL.171	石製品 砥石	覆土 上端部破片	長 幅	(4.9) 厚 (3.1) 重	(1.2) 21.8	砥石 四面使用。初期の砥石が柱状を呈するとすれば、相当に使い込んだということだろう。小口部上端を磨き整形するほか、下端側破損面に刃ならし傷が残る。切り砥石
834	第298図 PL.171	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	3.3 厚 1.9 重	0.4 2.92	厚さ0.1～0.2cmの薄い板状鉄製品で、やや丸い鉄製品を中央から折りたたんだ形状をしているが用途等は不明。

## 142住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
835	第298図 PL.172	須恵器 杯	南壁際床直 完形	口底 9.3 4.0	高 3.2	粗砂粒少/酸化焰/ 浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。内面はやや摩耗。
836	第298図 PL.172	須恵器 杯	南壁際床直 完形	口底 9.2 4.5	高 2.5	細砂粒/酸化焰/灰 白	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。内面はやや摩耗。
837	第298図 PL.172	須恵器 杯	床直 完形	口底 9.5 5.2	高 2.5	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
838	第298図 PL.172	須恵器 杯	覆土 完形	口底 9.0 5.4	高 2.4	細砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
839	第298図 PL.172	須恵器 杯	床直 完形	口底 9.8 4.7	高 2.2	細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。底部外面の中央に炭素吸着。
840	第298図 PL.172	須恵器 杯	カマド壁際 3/4	口底 9.6 4.4	高 2.7	細砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
841	第298図 PL.172	須恵器 杯	床直 完形	口底 9.3 5.2	高 2.1	粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
842	第298図 PL.172	須恵器 杯	覆土 3/4	口底 9.5 5.0	高 2.4	赤黒色粘土粒少/ 酸化焰/浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。器面摩滅。
843	第298図 PL.172	須恵器 杯	床直 完形	口底 10.0 5.0	高 2.4	粗砂粒/酸化焰/浅 黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。器面は広範囲に炭素吸着。
844	第298図 PL.172	須恵器 杯	カマド燃焼部 1/2	口底 13.2 5.0	高 3.8	粗砂粒小/酸化焰/ 橙	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。
845	第298図 PL.172	須恵器 杯	カマド燃焼部 完形	口底 8.8 4.3	高 1.9	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。底部中央に直径0.5cmの焼成後穿孔あり。一部に炭素吸着。
846	第298図	須恵器 椀	カマド右袖 底～高台部	口底	高台 7.4	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(左回転か)。高台部は付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。被熱。
847	第298図	土師器 羽釜	覆土、143住 口縁～胴部上位 片	口底	高 22.0	粗砂粒・軽石/酸化 焰/褐	ロクロ整形。罅部は華奢。貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は横位のヘラナデ。内面は斜横位のヘラナデ。炭素吸着。
848	第298図	土師器 羽釜	掘り方覆土 口縁～罅部片	口底	高 21.2	粗砂粒/酸化焰/橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。
849	第298図 PL.172	土製品 有孔円板	覆土、143住 完形	口底	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/浅黄 橙	杯の底部破片を再利用か。中央に焼成後の穿孔。杯の製作はロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。割れ口に二次調整の痕跡は見られない。
850	第298図 PL.172	鉄製品 不詳	+15 破片	長幅 20.8 1.0	厚重 22.12	1.0	断面0.5×0.4cm角の棒状で両端に向かい徐々に細くなり一端は尖るが他端は劣化破損する。

## 143住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
851	第299図 PL.172	土師器 椀	+7、142住 3/4	口底 14.0	高台 7.1	5.5 粗砂粒・軽石/良好 7.1 浅黄	口縁部先端は横ナデ。以下は横位のヘラ削り。高台部は付け高台。貼付後、周縁部にナデ調整。器面に炭素吸着。
852	第299図 PL.172	土師器 椀	南壁際+24 3/4	口底 15.2	高台 7.7	5.8 粗砂粒/良好/灰黄 7.7 褐	口縁部先端は横ナデ。高台部寄りに横位のヘラ削り。間にナデの部分を残す。高台部は付高台。器面に炭素吸着。
853	第299図 PL.172	須恵器 杯	+27・覆土 2/3	口底 9.6 6.5	高 2.8	粗砂粒・軽石/酸化 焰/黄灰	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。器面に炭素吸着。内面やや磨耗。
854	第299図 PL.172	須恵器 杯	床直 口縁一部欠	口底 10.9 6.1	高 3.3	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	重量あり。ロクロ整形(右回転)。底部手持ち糸切り後、無調整。器面に炭素吸着。内面磨耗。
855	第299図	須恵器 杯	カマド右袖+15 杯	口底 11.0 6.1	高 3.0	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。器面に炭素吸着。
856	第299図	須恵器 杯	覆土 1/4	口底 10.4 5.2	高 2.0	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
857	第299図	須恵器 椀	掘り方・カマド 1/2	口底	高台 11.1	4.5 粗砂粒・細砂粒/酸 6.2 化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。器面磨耗。
858	第299図	須恵器 椀	南壁際+24 1/3.口唇部欠	口底	高台 6.5	粗砂粒・軽石・雲母 /酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。器面に炭素吸着。
859	第299図	須恵器 椀	+28 口縁部1/3	口底 12.0	高 2.0	粗砂粒・軽石少/酸 化焰/明黄褐	ロクロ整形(右回転)。
860	第299図 PL.172	須恵器 椀	北東隅+10 口縁一部欠	口底 13.3	高台 8.1	5.2 粗砂粒多・赤黒色 8.1 粘土粒・軽石/酸化 焰/焼成不良/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。
861	第299図 PL.172	須恵器 椀	+28・覆土 1/2	口底 15.2	高台 8.2	5.9 粗砂粒・軽石・赤黒 8.2 色粘土粒/酸化焰/ にぶい黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。器面に炭素吸着。
862	第299図	須恵器 椀	カマド左壁 口縁部1/4	口底 14.4	高 2.0	粗砂粒・細砂粒/酸 化焰/にぶい黄褐	ロクロ整形(右回転)。
863	第299図	須恵器 椀	カマド左壁+24 口縁部1/4	口底 14.5	高 2.0	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。
864	第299図	須恵器 椀	+10 口縁部片	口底 14.8	高 2.0	粗砂粒・灰黒色粘 土粒/酸化焰/浅黄 橙	ロクロ整形(右回転)。
865	第299図 PL.172	灰釉 椀	+10・貯蔵穴、142 住 3/4	口底 15.2 7.3	高 7.0	黒色鉱物粒少/還元 焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内外面に施釉。内面に重ね焼き痕。器面磨耗。虎溪山1号窯式期。

No.	挿図 PL.No.	種類	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
866	第299図 PL.172	灰釉 椀	床直 1/3	口底 15.6 7.3	高 6.1	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。内面は口縁部先端直下に沈線が巡る。高台部は断面三日月形の付高台。内外面に施釉。	虎渓山1号窯式期。
867	第299図	灰釉 椀	掘り方覆土 破片	口底	高台 6.5	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。外面下位は回転ヘラ削り。高台部は断面三角形。高さを有する。底部はヘラ調整後の付高台。内外面に施釉。漬け掛けか。	内面に重ね焼き痕。虎渓山1号窯式期。
868	第299図	灰釉 椀	北壁際+30 1/3。底部欠	口底 15.2	高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。外面下位は回転ヘラ削り。内面は口縁部先端直下に沈線が巡る。内外面に施釉。	虎渓山1号窯式期。
869	第299図	灰釉 椀	北壁際+21 口縁部1/3	口底 15.9	高	精選・黒色鉍物粒少/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。外面下位は回転ヘラ削り。内面は口縁部先端直下に沈線が巡る。内外面に施釉。	虎渓山1号窯式期。
870	第299図	灰釉 壺	カマド燃焼部 胴下位~高台部片	口底	高台 15.2	精選・黒色鉍物粒少/還元焰/灰白	紐づくり後、ロクロ整形。外面は回転ヘラ削り。外面に釉の付着が見られる。	
871	第299図	土師器 羽釜	+26 口縁~胴部上位 1/4	口底 19.8	高	粗砂粒・赤黒色粘土粒/酸化焰か/黒褐	口縁部は横ナデ後、先端部に横位のヘラ削り。罅部は断面台形、粗雑な貼付。胴部外面は横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。器面に炭素吸着。
872	第299図	土師器 羽釜	掘り方覆土 口縁~胴部上位	口底 24.0	高	粗砂粒多/良好/にぶい褐	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、胴部外面は縦位のヘラ削り。その後、横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。炭素吸着。
873	第299図 PL.172	土師器 甕	東壁際+10 口縁~胴部下位 1/4	口底 25.6	高	粗砂粒・軽石/良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。罅部には1ヶ所、直径0.5cmの小孔が貫通する。胴部外面は上位から中位が斜位のヘラ削り後、一部に横位のヘラナデ。下位には横位のヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。	器面に炭素吸着。破碎後、被熱。
874	第299図 PL.172	土師器 甕	カマド右袖+9 口縁部1/3	口底 24.4	高	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、胴部外面に横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。罅部には直径0.6cmの小孔1孔が上下方向に貫通する。	
875	第299図 PL.172	須恵器 羽釜	カマド煙道部 底部一部欠	口底 24.2 8.3	高 30.4	粗砂粒・赤黒色粘土粒多/酸化焰/橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部貼付後、横ナデ。胴部外面は縦位にヘラ削り。	被熱。
876	第300図 PL.173	鉄製品 刀子	南壁際+9 3/4	長幅 17.8 1.9	厚重 1.4 33.97		棟に鋭角な間を持つ刀子で刃側にもなだらかな間を持つ。刃先はやや厚めで先端は劣化破損する。茎は長く先端は細くなりややとがり気味でシャープな形状をと止めるが木質等は見られない。	
877	第300図 PL.173	鉄製品 刀子	+22 完形	長幅 8.2 1.1	厚重 0.8 6.95		棟側になだらかな間を持つ刀子。刃は2cm程と小さく研ぎ減りと考えられる。茎は細長く端に向かい細くなるが端部は丸みを持つ。	
878	第300図 PL.173	鉄製品 鎌	床直 1/2	長幅 10.8 1.2	厚重 10.1 12.8		先端劣化破損する鉄鎌破片。茎との境で幅を減ずるが棘等は見られない。茎は長く徐々に細くなが端部は僅かに劣化破損する。木質等の痕跡は見られない。	
879	第300図 PL.173	鉄製品 釘	覆土 完形	長幅 6.6 1.1	厚重 0.7 6.34		断面0.5×0.4cmの角釘で頭は端部1cm程を薄く延ばし60°程に折り曲げる。先端に向け徐々に細くなり端部は僅かに劣化破損する。木質等の痕跡は見られない。	
880	第300図 PL.173	鉄製品 釘	床直 完形	長幅 4.5 1.1	厚重 9.0 6.05		断面0.4cm角の角釘で頭は端部を薄く広げたのちに110°程に深く曲げる。頭から4cm程で折り曲げる。	
881	第300図 PL.173	鉄製品 釘	掘り方床直 完形	長幅 7.5 0.7	厚重 0.9 5.94		断面0.5×0.4cm角の角釘で頭は端部0.5cm程を薄く延ばしたのち60°ほどに折り曲げる。先端に向かい徐3.5cmで90°さらに3cm程で40°におり曲る。木質等の痕跡は見られない。	
882	第300図 PL.173	鉄製品 鋤	カマド左袖+15 鋤先・完形	長幅 20.5 14.0	厚重 3.0 554.8		U字形の鋤または鋤先。木柄装着部分断面はほぼ左右対称の狭Y字状で鋤・鎌の区別はつかない。Y字の内側には錯泥が充填され木材の痕跡等は確認できない。	

144住居

No.	挿図 PL.No.	種類	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
883	第300図	須恵器 椀	カマド右袖+36 口縁部片	口底 15.2	高	粗砂粒/酸化焰/浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。	器面やや摩耗。
884	第300図	灰釉 皿	覆土 口縁部片	口底 13.8	高	黒色鉍物粒/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)か。内外面に施釉。	大原2号窯式期。
885	第300図	灰釉 椀	掘り方覆土 口縁下位~高台部片	口底	高台 6.0	精選・黒色鉍物粒/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)か。高台部は断面三角形の付高台。内外面に施釉。漬け掛けか。	光ヶ丘1号~大原2号窯式期。
886	第300図	土師器 甕	カマド左袖+10 口縁~胴部上位	口底 23.8	高	粗砂粒/良好/褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のナデ。内面は横位のヘラナデ。	被熱。炭素吸着。
887	第300図	須恵器 羽釜	南東隅床直 口縁~胴部上位	口底 21.8	高	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形。外面の一部にナデ。	被熱。
888	第300図	須恵器 羽釜	覆土 口縁~胴部上位	口底 23.8	高	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。	被熱。炭素吸着。口縁部外面にヘラ状工具による線刻。

145住居

No.	挿図 PL.No.	種類	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
889	第301図	須恵器 杯	貯蔵穴+16 1/3	口底 9.6 5.0	高 3.0	粗砂粒・軽石/酸化焰/黄灰	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸着。黒色味。
890	第301図	須恵器 椀	床直 底~高台部3/4	口底	高台 7.2	細砂粒/酸化焰/浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面やや摩耗。
891	第301図	灰釉 皿	覆土 口縁部片	口底 10.8	高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。内外面に施釉。	虎渓山1号窯式期。

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
892	第301図	須恵器 羽釜	+25 口縁~胴部上位 片	口 底	20.6 高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。鏝部貼付後、周縁部に横ナデ。	
893	第301図	須恵器 羽釜	覆土 口縁部片	口 底	24.4 高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。鏝部貼付後、周縁部に横ナデ。	
894	第301図	須恵器 甕	床直 胴下位~底部片	口 底	12.0 高	細砂粒/還元焰/灰	紐づくり後、ロクロ整形。外面にナデ調整。内面に横位のナデ調整。	底部外面は摩耗。

#### 146住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
895	第301図	須恵器 杯	貯蔵穴+13 口縁部1/3	口 底	11.0 高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒少/酸化焰/灰 白	ロクロ整形(右回転)。	器面やや摩耗。
896	第301図 PL.173	須恵器 杯	+20 3/4	口 底	15.8 高 6.8	4.4 粗砂粒/酸化焰/明 黄褐	器形は大きく歪んでいる。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	底部内面やや摩耗。
897	第301図 PL.173	灰釉 椀	南東隅-6 1/3	口 底	14.8 高 7.0	4.6 精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。外面は口縁部下位に回転ヘラ削り。内外面に施釉。	内面に黒色の付着物。煤或いは漆か。光ヶ丘1号窯式期。
898	第301図 PL.173	鉄製品 小刀	北壁際+6 完形	長 幅	21.5 厚 2.5 重	1.0 6.2	棟・刃側共に関を持つ小刀、刃先に向かい幅を減じ先端近くでカマス切先形になる。形も端部に向かい急に細くなり端部は尖り気味。木質等の痕跡は見られない。刃先より5cm程で左に緩やかに曲がる。	
899	第301図 PL.173	鉄製品 刀子	北壁際+17 1/2	長 幅	9.2 厚 1.9 重	1.0 16.6	棟・刃側共に緩やかな関を持つ刀子で刃先は丸みを持ち、先端から1cm程で右に緩やかに曲がる。茎は先に向かい細くなり端部より1cmで刃先と逆方向に曲がる。	
900	第301図 PL.173	鉄製品 刀子	+6 1/4	長 幅	(6.2) 厚 105 重	0.6 6.21	棟・刃側共に関を持つ刀子で刃先は劣化破損する。茎は細長く関から2cm程で右にねじれ2.5cmで劣化破損する。木質等の痕跡は見られない。	

#### 148住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
901	第301図	須恵器 椀	北西隅床直 口縁部1/4	口 底	12.8 高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	内面やや摩耗。
902	第301図 PL.173	須恵器 羽釜	南西隅+15 口縁~胴部1/4	口 底	21.0 高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄褐	ロクロ整形(右回転)。鏝部貼付後、周縁部に横ナデ。	外面に煤附着。内面は黒色に変色。

#### 149住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
903	第301図	須恵器 杯	カマド+7 1/4	口 底	8.8 高 5.4	1.9 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	被熱の為か外面の一部に炭素吸着。
904	第301図 PL.173	土師器 甕	カマド燃烧部・ 覆土 口縁~胴部中位 1/2	口 底	25.8 高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒少・軽石少/良 好/赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面はナデ、一部にヘラナデ。部分的に指頭圧痕が見られる。内面は横位のヘラナデ。	

#### 150住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
905	第302図 PL.173	須恵器 杯	掘り方覆土 完形	口 底	9.3 高 4.9	2.8 粗砂粒/酸化焰/浅 黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面の広範囲に炭素吸着。
906	第302図	須恵器 杯	覆土 1/4	口 底	10.2 高 5.2	3.2 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
907	第302図	須恵器 椀	覆土 1/4	口 底	10.3 高 5.9	4.8 粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
908	第302図 PL.173	須恵器 椀	覆土 1/3台部欠	口 底	15.5 高	粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。
909	第302図	須恵器 椀	掘り方覆土 口縁中位~高台 部上位	口 底	7.6 高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/灰黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	被熱の為か器面に炭素吸着。
910	第302図	土師器 羽釜	覆土 破片	口 底	22.0 高	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。鏝部貼付後、胴部外面に縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。

#### 151住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
911	第302図 PL.173	須恵器 杯	覆土 3/4	口 底	8.9 高 4.4	3.0 粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ 橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。底部の切り離しは粗雑。	

## 4区観察表

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
912	第302図	土師器 甕	カマド焼部 口縁～胴部上位	口底 20.6 高	粗砂粒・軽石/良好 /にぶい赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は斜位、斜横位のヘラ削り。ナデの部分を残す。	被熱。内面摩滅。
913	第302図	土師器 甕	カマド焼部 口縁部1/3	口底 26.6 高	粗砂粒・軽石/良好 /明赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位に丁寧なナデ後、縦位のヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。	
914	第302図 PL.173	鉄製品 鎌	北西隅床直 3/4	長幅 12.3 厚重 4.3 72.5		右側端部を斜めに折り曲げ柄を装着する鉄鎌。刃先端は不定形に割れ錆化している。割れ付近では断面が割がれ2枚の板状になっており破損による影響が画が得られる。柄の痕跡等は見られない。	

## 152住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
915	第302図 PL.173	白磁 碗	掘り方覆土 口縁部片	口底 高	精選/還元焰/灰白	太宰府分類:白磁碗IV類。11C後半～12C前半(12C後半まで一定量を占める)。	
916	第302図	須恵器 椀	掘り方覆土 口縁部片	口底 14.3 高	粗砂粒/酸化焰か/ 灰黄褐	ロクロ整形(回転方向不明)。	外面に炭素吸着。黒色味。
917	第302図	須恵器 椀	床直 口縁下位～高台部	口底 高台	粗砂粒・軽石/酸化 焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
918	第302図 PL.173	礫石器 敲石	カマド焚口部 完形	長幅 21.6 厚重 12.4 2408.4	粗粒輝石安山岩	小口部両端・右辺エッジに敲打痕が著しい。表裏両面とも上端側が被熱する。	扁平楕円礫
919	第302図 PL.173	礫石器 敲石	カマド焼部 完形	長幅 26.2 厚重 10.4 2452.1	粗粒輝石安山岩	下端側小口部・右辺エッジに敲打痕が残る。器体中央より下半が被熱して煤ける。	棒状礫
920	第302図 PL.174	礫石器 台石?	カマド焚口部 1/2	長幅 (20.1) 厚重 27.9 11600.9	粗粒輝石安山岩	表裏面とも光沢面が残る。礫面が火バネするほか、ヒビ割れ・ススの付着が目立つ。	大形楕円礫
921	PL.174	礫石器 敲石	カマド焼部 完形	長幅 18.0 厚重 12.2 2792.3	溶結凝灰岩	上端側小口部に敲打痕が残る。礫面全体が煤けているようにみえるが、詳細は明らかでない。	楕円礫
922	PL.174	石製品 砥石?	カマド焼部 +11 1/4	長幅 (14.3) 厚重 (12.8) 1623.6	粗粒輝石安山岩	背面側が研磨され、平滑面が形成されている。被熱して煤ける。	礫砥石?
923	PL.174	土製品 羽口	覆土 破片	長短 4.6 厚重 6.3 65.3		羽口先端近くの破片、先端側は黒色でガラス化。先端部外径80mm、孔径計測不可。	掘方

## 153住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
924	第302図 PL.174	須恵器 杯	カマド-12 3/4	口底 8.9 高 5.6	2.3 粗砂粒/酸化焰/灰 黄褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸着。
925	第302図 PL.174	須恵器 甕	カマド+6 胴下位～底部1/2	口底 25.6 高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形。胴部外面下位に斜縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	胴部内面に黒色の付着物。

## 154住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
926	第303図	須恵器 椀	床直 口縁下位～高台部	口底 高台	粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面の一部に炭素吸着。
927	第303図 PL.174	須恵器 椀	床直 口縁中位～高台部 中位	口底 高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。
928	第303図	土師器 羽釜	床直 口縁～胴部中位 片	口底 23.2 高	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は縦位にヘラ削り。内面は横位にヘラナデ。	被熱、炭素吸着。
929	第303図	土師器 羽釜	床直 口縁～胴部上位 片	口底 24.1 高	粗砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。

## 155住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
930	第303図	須恵器 杯	カマド覆土 1/4	口底 9.2 高 5.4	3.3 粗砂粒・軽石/酸化 焰/淡黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
931	第303図	須恵器 羽釜	覆土 口縁～胴部中位 片	口底 31.8 高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい橙	縦長の破片から形状を復元。ロクロ整形(右回転か)。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。	内面に黒色の付着物。甕の可能性有。
932	第303図 PL.174	土師器 釜	+7 脚部	幅底 2.6 高厚 2.3	粗砂粒/良好/にぶ い褐	棒状の中実品。本体を支える脚の一部と考えられる。横断面はやや横長。端部は薄くなり接地面は扁平になる。	

## 7竪穴

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
933	第303図 PL.174	須恵器 杯	北壁際-6 3/4	口底 10.6 高 4.6	2.4 粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
934	第303図	土師器 小型甕	+8 口縁～胴部中位 1/4	口底 11.8 高	粗砂粒・チャート/ 良好/橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。器面摩滅。
935	第303図	土師器 羽釜	+9 口縁～胴部下位 1/4	口底 19.8 高	粗砂粒・軽石多/良 好/橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。外面は斜縦位のヘラ削り。下位には横位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	



No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
936	第303図 PL.174	土師器か 羽釜	+23 口縁～胴部下位 1/4	口底 26.8	高	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。鋳部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。
937	第303図	土師器 羽釜	+8 口縁～胴部中心 片	口底 28.0	高	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	器形・鋳部の貼付ともに歪む。口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位、斜位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。輪積み痕を多く残す。

10竪穴

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
938	第304図 PL.174	鉄製品 鎌	床直 3/4	長幅 14.2 4.0	厚重 1.6 9397		大型の鉄鎌で先端で下側に大きく湾曲、幅は広いが刃は薄い。柄装着部は劣化破損し不明。

11竪穴

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
939	第304図	須恵器 杯	東壁際掘り方 底部	口底 5.7	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
940	第304図	須恵器 椀	掘り方+12 底部1/2	口底	高台 6.3	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。粗雑な貼付後、周縁部にナデ調整。欠損後、口縁部残存上位は強く摩擦を受け平滑。
941	第304図	灰釉 椀	南壁際+8 底～高台部	口底	高台 5.4	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。低い。
942	第304図	土師器 甕	掘り方南東隅 +13 口縁部片	口底 29.0	高	粗砂粒・軽石・角閃 石/良好/明赤褐	口縁部はナデ。指頭圧痕を残す。胴部外面は斜位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。

12竪穴

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
943	第304図 PL.174	須恵器 杯	南壁際+21 完形	口底 9.1 4.1	高	2.8 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
944	第304図 PL.174	須恵器 杯	南壁際床直 完形	口底 9.9 4.7	高	2.6 粗砂粒・赤黒色粘 土粒少/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
945	第304図 PL.174	須恵器 杯	南壁際床直 口縁一部欠	口底 9.4 5.0	高	3.0 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
946	第304図 PL.174	須恵器 杯	南壁際床直 口縁一部欠	口底 9.6 5.1	高	3.0 粗砂粒・赤黒色粘 土粒多/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
947	第304図 PL.174	須恵器 杯	南壁際+8 口縁一部欠	口底 11.6 5.1	高	4.7 粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい黄橙	器形大きく歪む。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
948	第304図	須恵器 杯	南壁際+17 1/2	口底 11.4 6.0	高	3.2 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄褐	重量あり。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
949	第304図	須恵器 杯	床直 1/3	口底 12.6 6.6	高	2.8 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	器形は大きく歪む。口縁部径は小さくなる可能性あり。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
950	第304図	須恵器 杯	+10 1/3	口底 11.8 7.4	高	3.4 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
951	第304図 PL.174	須恵器 椀	南西隅+12 3/4	口底 11.0	高	4.3 粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。
952	第304図 PL.174	須恵器 椀	南壁際+23・掘 り方 1/2	口底 15.2	高	6.1 粗砂粒/酸化焰/に 8.6 ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。
953	第304図	須恵器 椀	床直 3/4	口底 15.0	高台	6.2 粗砂粒・軽石/酸化 8.4 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。やや足高の高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。
954	第304図	須恵器 椀	+21 1/2	口底 15.0	高台	4.9 粗砂粒/酸化焰/灰 8.2 黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。
955	第304図	須恵器 椀	南壁際+10 3/4	口底 14.4 7.0	高	粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は端部欠損、底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。
956	第304図	須恵器 椀	床直・覆土 口縁中位～高台 部1/3	口底	高台	8.0 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。
957	第305図 PL.174	土師器 小型甕	床直・覆土 口縁一部欠	口底 16.2 8.6	高	16.8 粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/良好/ にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。
958	第305図 PL.174	土師器か 羽釜	南壁際床直・覆 土 口縁～胴部下位	口底 23.1	高	粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/良好/に ぶい赤褐	口縁部は横ナデ。鋳部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。
959	第305図 PL.174	土師器 羽釜	南壁際床直、421 坑 上半部	口底 20.8	高	粗砂粒・軽石/良好 /橙	口縁部は横ナデ。鋳部貼付後、胴部外面にナデに近い縦位のヘラ削り。鋳部との間にナデの部分を残す。内面は横位のヘラナデ。

## 4区観察表

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
960	第305図	土師器 羽釜	覆土・北壁際掘り方 口縁～胴部上位 1/3	口底	22.0	高	粗砂粒・軽石・角閃石/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ。鏝部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は斜位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。炭素吸着。
961	第305図	須恵器 羽釜	+14 口縁～胴部下位片	口底	24.0	高	粗砂粒・軽石/酸化焰/にぶい褐	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。鏝部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は斜縦位にヘラ削り。	被熱。炭素吸着。
962	第305図 PL.174	須恵器 羽釜	南西隅床直、46住、421坑 口縁～胴部中位片	口底	26.0	高	粗砂粒・軽石/酸化焰/にぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。鏝部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面はナデの上に縦位のヘラ削り。	被熱。
963	第305図	土師器 甌	掘り方覆土 胴下位～底部片	口底	13.0	高	粗砂粒・軽石/良好/にぶい橙	平底の底部に複数の焼成前の孔が穿たれている。孔の平面形状は不明。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	

## 13竪穴

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
964	第305図 PL.174	須恵器 杯	床直 口縁一部欠	口底	9.5 4.9	高	2.6 粗砂粒・赤黒色粘土粒少/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
965	第305図	灰釉 段皿	覆土、10竪 1/3	口底	12.8	高台	1.9 7.8 黒色鉱物粒/還元焰/灰黄	ロクロ整形(右回転)。高台部は低く断面三角形。底部回転ヘラ削り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面に釉付着。	内面磨滅。大原2号窯式期。
966	第305図	土師器 小型甕	掘り方覆土 口縁部片	口底	15.2	高	粗砂粒・軽石/良好/明赤褐	口縁部先端はナデ。胴部外面はヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。	被熱。

## 14溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
968	第306図 PL.175	銅製品 銭貨	覆土 1/2	長幅	2.4 2.2	高重	0.1 1.86		非常に平坦で外縁・文字・郭とも不明瞭、僅かに文字部分が高く銭貨と判断できる程度。孔は星形で裏面は外縁・郭不明。

## 16溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
969	第306図 PL.175	須恵器 杯	+8 完形	口底	10.8 4.8	高	4.0 粗砂粒・軽石・角閃石/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
970	第306図 PL.175	須恵器 椀	+6 口縁一部欠	口底	14.9 8.2	高	6.5 粗砂粒・角閃石・軽石/酸化焰/にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
971	第306図	須恵器 椀	覆土 底～高台部	口底		高台	9.1 粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に鉄分凝集。
972	第306図	土師器 小型壺	覆土 胴上位～中位	口底		高	粗砂粒/良好/赤褐	外面上半部はナデの上に斜位のヘラ磨き。下半はナデに近い縦位のヘラ磨き。内面は横位のヘラナデ。	
973	第306図	土師器 台付甕	-6 口縁～胴部上位片	口底	17.0	高	粗砂粒少・雲母/良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面にハケ目(7本/1cm)。内面はナデ。	
974	第306図	埴輪 円筒か	覆土 胴部破片	口底		高	粗砂粒/窖窯焼成/にぶい橙	外面に縦ハケ(5本/1cm)後、断面台形の突帯を2本貼付。内面はナデ後、一部に縦ハケ。	器面に鉄分凝集。

## 21溝 a

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
975	第306図	灰釉 椀	覆土、163坑 口縁下位～高台部 1/2	口底		高台	6.4 精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。施釉は漬け掛け。	内面磨滅。虎溪山1号窯式期。
976	第306図 PL.175	石製品 砥石	覆土 下端側欠損	長幅	(7.0) 3.1	厚重	2.5 85.73 砥沢石	背面側のみ砥面として使用、その他はタガネ状の工具痕を残す。上端側小口部は磨き整形。	切り砥石
977	第306図 PL.175	石製品 火打石	覆土 破片	長幅	(2.8) (2.1)	厚重	(1.2) 7.6 石英	破片が和エッジが敲打され、潰れる。火打石を再生した際の破片を利用したものか。	

## 23溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
978	第306図	須恵器 椀	覆土 底～高台部	口底		高台	9.2 粗砂粒・角閃石/酸化焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。	
979	第306図	緑釉 段皿	覆土 口縁～高台部片	口底	13.7	高台	2.1 7.1 精選・白色粘土/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は付高台。内外面に施釉。	器面磨滅。釉剥落。東海産。10世紀前半。

## 26溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
980	第306図	須恵器 杯	覆土 口縁下半～底部片	口底	4.9	高	粗砂粒/酸化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
981	第306図	須恵器 椀	覆土 3/4	口底	9.5	高台	3.7 6.0 粗砂粒・角閃石/酸化焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	被熱か。

## 27溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
982	第307図	須恵器 耳皿	+37 2/3	口 底	9.5 3.8	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
983	第307図 PL.175	須恵器 杯	+38 3/4	口 底	9.1 3.9	高	2.9粗砂粒少・細砂粒/ 酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩耗。
984	第307図	須恵器 杯	覆土 1/3	口 底	10.6 5.4	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
985	第307図 PL.175	須恵器 椀	覆土 3/4	口 底	10.9 7.5	高台	5.0粗砂粒・赤黒色粘 土粒少/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
986	第307図	須恵器 椀	+17・覆土 3/4	口 底	11.2 7.2	高	5.1粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/浅黄 橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
987	第307図	須恵器 椀	+6 1/2(底部欠)	口 底	14.8	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒少/酸化焰/浅 黄橙	口縁部先端は平坦面を形づくる。ロクロ整形(右回転)。高台部は付高台。	
988	第307図	須恵器 椀	覆土 口縁部1/4	口 底	12.7	高	粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	口縁部先端はシャープな平坦面をつくる。ロクロ整形(右回転)。	
989	第307図	須恵器 椀	+34 口縁下半～高台 部3/4	口 底		高台	6.1粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	高台部周辺に 炭素吸着。
990	第307図	須恵器 椀	+40 口縁下半～高台 部	口 底		高台	8.6粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。足高の高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
991	第307図	灰釉 椀	覆土 口縁下位～高台 部1/2	口 底		高台	8.0精選・黒色鈹物粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形(右回転)。口縁部下位は回転ヘラ削り。高台部は底部回転ヘラ削り後の付高台。内面は重ね焼き痕。内外面に施釉。	大原2号窯式 期。

## 29溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
992	第307図	須恵器 椀	+8 口縁下位～高台 部片	口 底		高台	6.3粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	

## 39溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
993	第307図	灰釉 椀	覆土 口縁下位～高台 部1/4	口 底		高台	8.4精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転か)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	大原2号窯式 期。
994	第307図	須恵器 甕	+20 胴部上位片	口 底		高	黒色鈹物粒/還元 焰/灰白	紐づくり後、叩き整形。外面は2方向から平行叩き目文。内面は青海波文状の当て具痕とナデ。	外面に自然釉 付着。

## 42溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
995	第307図 PL.175	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	7.0 0.8	厚 重	0.7 3.86	錆化が著しい、棒状鉄製品で両端は細くなるが鋭利にとがらない。	

## 45溝

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
996	第307図	須恵器 椀	覆土 底～高台部	口 底		高台	9.4粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸 着。
997	第307図 PL.175	鉄製品 鏝	覆土 1/2	長 幅	9.5 1.7	厚 重	1.0 10.85	先端が劣化破損し欠く鉄鏝。腸削りではなく茎側に向けなだらかに幅を減じ、茎との境近くでわずかに広がり境を一周する形でわずかな段を持つ。茎断面は正方形で端部は劣化破損し矢柄の木質も見られない。	

## 1 製鉄炉

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
998	第308図 PL.175	白磁 碗	覆土 口縁部片	口 底		高	精選・黒色鈹物粒 少/還元焰/灰白	太宰府分類:白磁碗IV類。11C後半～12C前半(12C後半まで一定量出土)。肉厚な玉縁口縁。		
999	第308図	黒色土器 杯	+30 口縁下位～底部 2/3	口 底	6.0	高	粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。内面はヘラ磨き。底部は複数回。	被熱の為か吸 着した炭素は 薄くなってい る。	
1000	第308図 PL.175	須恵器 椀	床直 口縁～底部片	口 底	12.4 7.4	高	6.2粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	鉢状を呈する。ロクロ整形(左回転か)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。内面摩耗	
1001	第308図 PL.175	礫石器 台石?	覆土 完形	長 幅	24.6 19.5	厚 重	9.7 6350.0	粗粒輝石安山岩	背面側に弱い敲打痕が残る。礫面には被熱痕があるほか、裏面側には被熱剥離痕が残る。	大形楕円礫
1002	第308図 PL.175	鉄製品 釘	床直 破片	長 幅	4.7 0.7	厚 重	0.8 2.85		断面正方形で先に向け細くなり端部は尖る。頭側は丸みを持って終わる。	
1003	第308図 PL.175	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	4.0 0.8	厚 重	0.9 5.8		断面長方形の角棒状鉄製品でCの字形に曲がる。一端部は0.5cm程で内側に強く折れ曲がる。両端とも丸みを持って終わりとがらない。	

## 4区観察表

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1004	第308図 PL.175	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	3.8 1.7	厚 重	1.6 22.4	断面長方形の角棒状鉄製品でCの字形に曲がる両端とも丸みを持って終わりとがらない。	
1005	第308図 PL.175	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	4.9 1.8	厚 重	1.6 26.2	断面正方形で一端に向け急激に細くなり端部はややとがる。他端は角形で終わる。	
1006	第308図 PL.175	土製品 羽口	覆土 完形	長 短	17.5 10.1	厚 重	9.5 817.2	ほぼ完形に近い羽口で、基部分はラッパ状に急激に広がる。先端部分には一部酸化土砂が付着。先端より5cmから10cm付近で表面がガラス化する。基部径100mm外径75mm孔径30挿入角度119°。	1面、H-4グリット
1007	第308図 PL.175	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	9.8 12.0	厚 重	6.0 350.1	羽口の半裁破片。基部分はラッパ状に急に広がる。先端部はひび割れ変形した状態で固結する。先端より一部表面に酸化土砂が付着、先端部表面はガラス化する。基部径115mm基部孔径55mm外径85mm孔径28mm挿入角度123°。	7面、G-2グリット
1008	第308図 PL.175	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	10.6 7.8	厚 重	3.9 215.9	羽口破片で、端部破損面を覆うように酸化土砂が付着する。外径78mm孔径28mm挿入角度114°。	2面
1009	第308図 PL.175	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	7.6 5.4	厚 重	2.9 60.9	羽口先端部破片、先端部はガラス化・発泡し表面は褐色で一部に砂鉄焼結が見られる。破片が小さく外径、孔径計測不可。	前庭部
1010	第308図 PL.175	炉壁 上段上半	床直 破片	長 短	15.1 10.6	厚 重	10.0 675.0		
1011	第308図 PL.175	炉壁 中段下半	覆土 破片	長 短	17.6 10.2	厚 重	8.6 684.8	表面一部に酸化土砂付着。表面近くは溶融ガラス化し発泡。内面には植物痕の空洞が多数みられる。	1面、H-3グリット
1012	第309図 PL.175	炉壁 上段	床直 破片	長 短		厚 重	12920		6面下層、G-3グリット
1013	第309図 PL.175	炉壁 上段上半	覆土 破片	長 短	9.3 11.2	厚 重	3.5 150.1	表面は平滑で発泡・ガラス化は見られない。表面の随所に植物痕と見られる溝上の凹みが残る。	1面、G-2グリット
1014	第309図 PL.175	炉壁 中段上半	覆土 破片	長 短	6.3 9.5	厚 重	3.5 92.0	表面に微細な発泡が見られるが範囲は狭くガラス化には至らない。内面には植物痕の微細な空洞が見られる。	1面、H-3グリット
1015	第309図 PL.175	鉄滓 炉内滓(炉壁付き)	覆土 破片	長 短	10.9 8.5	厚 重	6.6 287.8	炉内滓破片で、断面を覆うように酸化土砂が付着する。表面近くではガラス化・発泡し軽量。下面では炉壁が付着、植物痕の空洞が多数みられる。	2面
1016	第309図 PL.175	鉄滓 炉内滓(炉壁付き)	覆土 破片	長 短	5.6 8.2	厚 重	4.6 258.3	炉内滓破片で、断面を覆うように酸化土砂が付着する。表面近くでは溶融・発泡し、重量感が有る。下面では炉壁が付着する。	1面
1017	第309図 PL.175	鉄滓 鉄塊系遺物	覆土 破片	長 短	4.2 4.5	厚 重	3.3 57.5	表面には微小炭化物を含む酸化土砂が厚く付着、一部ブロック状に亀裂が入る。全面磁着。	粘土床内
1018	第309図 PL.175	鉄滓 鉄塊系遺物	覆土 破片	長 短	6.5 4.7	厚 重	4.7 118.7	表面には酸化土砂が付着、全体に不定形ブロック状に深く亀裂が入る。全面磁着。	
1019	第309図 PL.175	鉄滓 鉄塊系遺物	覆土 破片	長 短	8.9 4.5	厚 重	3.1 88.3	表面には酸化土砂が付着、全体に不定形ブロック状に深く亀裂が入る。全面磁着。	6面下層
1020	第309図 PL.175	鉄滓 流動滓	覆土 破片	長 短	22.6 11.4	厚 重	5.5 1581.7	流動滓破片で、破断面を含め薄く酸化土砂が付着する。内面には随所に大きな空洞が見られる。厚重でほぼ全面に磁着有り。	6面下層
1021	第309図 PL.175	鉄滓 流動滓	覆土 破片	長 短	10.5 5.3	厚 重	2.6 185.9	流動滓破片で、破断面を含め薄く酸化土砂が付着する。内面には大きな空洞が見られる。下面は砂質粒子・植物痕を有する粘土塊が付着する。上面一部磁着有り。	6面下層
1022	第309図 PL.175	鉄滓流動滓	前庭覆土 破片	長 短	12.6 15.9	厚 重	3.5 921.25	表：黒褐色～暗紫紅色 地：暗褐色～黒褐色 流動性の良い流動滓。上面と側面のごく一部が生きており、破面は短軸の左側部となる。上面の筋状に重層した流動単位の表皮は平滑である。破面に見られる滓質は緻密で各流動単位の隙間や滓内部には部分的に気孔が散在する。滓の厚みは左側の方が厚く右側に向かい徐々に薄くなるように傾斜している。また、本来の滓の広がり右側の方が広めとなる可能性が高い。色調は表面が黒褐色から暗紫紅色で、地は暗褐色から黒褐色となる。	分析番号：KOM-1、検鏡・学分析、長軸端部1/3直線状に切断、滓部を分析。
1023	第309図 PL.176	鉄滓 流動滓	覆土 破片	長 短	10.5 5.3	厚 重	2.6 185.9	表面は黒色で、一部をに砂質粒子が覆う。下面には砂質・粘土塊が付着する。	6面下層、E-2グリット
1024	第309図 PL.176	鉄滓 炉内流動滓	覆土 破片	長 短	3.8 2.5	厚 重	6.1 28.3	逆きのこ形をした流動滓で、表面には微細な皺が見られる、下面は砂が付着。内部には発泡が見られる。	8面
1025	第309図 PL.176	鉄滓 炉底塊	覆土 破片	長 短	13.2 12.1	厚 重	6.0 936.3	表面一部に酸化土砂が厚く付着。表面近くは溶融ガラス化し発泡。下面は砂質でブロック状に鉱物・滓破片を含む。	7面、C-3グリット
1026		炉壁 上段	覆土 破片	長 短	18.2 12.4	厚 重	10.5 1051.2	炉壁滓塊。	粘土床
1027	PL.176	炉壁 上段	覆土 破片	長 短	4.9 5.8	厚 重	3.2 50.6	表面は赤褐色平滑でガラス化・発泡は見られないが一部植物痕が溝上に見られる。内部には多数の植物痕が見られ、一部には植物体が灰化し残る。	3面、F-3グリット
1028	PL.176	炉壁 上段	覆土 破片	長 短	8.7 5.6	厚 重	2.0 51.9	表面は灰褐色平滑でガラス化・発泡は見られないが一部植物痕が溝上に見られる。内部には多数の植物痕が見られ、一部には植物体が灰化し残る。	3面、G-3グリット
1029	PL.176	炉壁 上段	覆土 破片	長 短	5.5 7.9	厚 重	2.5 60.8	表面は平滑でガラス化・発泡は見られない。内部には多数の植物痕が見られ、一部には植物体自体も残る。	5面、G-1グリット
1030	PL.176	炉壁 中段	覆土 破片	長 短	11.4 10.0	厚 重	5.3 218.8	表面はガラス化・発泡し黒灰から赤黒色で一部表面に酸化土砂付着軽軟。ガラス化した表面直下には2～5mm幅の植物痕が見られ、一部には灰が残る。	1面、H-3グリット
1031	PL.176	炉壁 中段	覆土 破片	長 短	10.9 10.0	厚 重	5.2 142.4	表面はガラス化・発泡し黒灰から赤黒色で軽軟。表面直下には2～4mm幅の植物痕が溝として見られ、溝の一部には灰が残る。	1面、G-3グリット

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1032	PL.176	炉壁 中段	床直 破片	長 短	11.9 12.7	厚 重	4.8 248.5	表面はガラス化・発泡し黒灰色で一部酸化土砂付着軽軟。下面には2～4mm幅の植物痕が溝として見られ、溝の一部には灰が残る。	
1033	PL.176	炉壁 中段	覆土 破片	長 短	13.2 9.3	厚 重	6.9 579.6	表面はガラス化・発泡し黒色で一部酸化土砂付着重厚。下面には2～4mm幅の植物痕が溝として見られる。	1面、G-3グリット
1034	PL.176	鉄滓 炉内滓	覆土 破片	長 短	11.2 9.1	厚 重	6.6 325.0	ガラス化・発泡し表面は黒色から褐色で重厚。	6面 下層、 F-2グリット

2 製鉄炉

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1035	第310図	須恵器 杯	覆土 破片	口 底	8.8 5.0	高	2.0	粗砂粒・軽石/酸化 焰/灰黄褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。
1036	第310図	土師器 杯	覆土 1/4	口 底	13.4	高		粗砂粒/不良・還元 焰/にぶい黄 橙	口縁部は横ナデ。底部は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	
1037	第310図 PL.176	埴輪 形象	覆土 盾・破片	口 底		高		粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/窯燻焼 成/にぶい橙	盾面に向かって右側の円筒部分である。残存長は19.7cm。ヒレ状に張り出す盾面は欠損しているが、円筒部との接合部分に沿って垂下する沈線と盾面を区画し鋸歯文を構成すると考えられる沈線の一部が見られる。器面には縦ハケ(8本/1cm)が施される。	
1038	第310図 PL.176	石製品 砥石	床直 破片	長 幅	(7.1) (4.8)	厚 重	(6.2) 237.5	粗粒輝石安山岩	楕円礫を反転して側縁部を砥面として使用、平坦面が形成されている。このほか、小口部に敲打痕が残る。	楕円礫
1039	第310図 PL.176	鉄製品 鎌	+16 3/4	長 幅	16.0 301	厚 重	1.2 22.95		雁又の鉄鎌で片方の先は破損後錆化、50091(取り上げNo.114)がもう片方の先端に接合する。雁又から茎に向け幅を減じ茎近くで急激に広がり、茎との境を一周する形で0.3cm程の段を有する。茎断面は正方形で端部に向け緩やかに細くなる矢柄の痕跡は見られない。	接合・要修正
1040	第310図 PL.176	土製品 羽口	覆土 3/4	長 短	13.8 7.5	厚 重	7.2 589.7		羽口の破片で、基部を欠き先端は溶融閉塞する。外径70mm孔径26mm挿入角度112°。先端下部に金属反応が見られる。	前庭部下面
1041	第310図 PL.176	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	10.5 8.4	厚 重	5.0 215.2		羽口破片で基部を欠く、先端部はガラス化・発泡し、外面に酸化土砂付着。外径75mm孔径21mm挿入角度111°。	前庭部下面
1042	第310図 PL.176	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	5.3 5.8	厚 重	2.5 61.4		羽口基部の破片と見られるが、残存する基部端から先端側に向かい全体的に発泡が見られる。外径84mm孔径26mm挿入角度計測不可。	前庭部下面 (製鉄炉周辺 鍛冶工房)
1043	PL.176	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	5.9 6.3	厚 重	3.2 79.0		羽口先端部片。先端は黒灰色ガラス化・発泡。外径74mm孔径22mm。	
1044	PL.176	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	7.6 6.9	厚 重	4.2 125.9		羽口先端近くの破片。先端側は灰黒色ガラス化僅かに発泡。外径76mm孔径28mm。	前庭部上面
1045	PL.176	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	9.0 6.1	厚 重	3.1 123.7		羽口先端近くの破片。破片の両端にガラス化・発泡が見られるが中間には見られず再利用された羽口の可能性も有る。破片が小さく外径、孔径計測不可。	
1046	PL.176	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	5.4 7.8	厚 重	4.9 178.2		羽口先端部片。表面灰黒色でガラス化・発泡。外径78mm孔径28mm。	5面
1047	PL.176	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	4.8 6.5	厚 重	3.2 71.0		羽口破片。外径75mm孔径22mm。	前庭部上面
1048	PL.176	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	7.1 8.3	厚 重	4.1 109.9		羽口先端部片。表面灰黒色ガラス化・発泡し、孔内側に僅かに回り込む。外径82mm、孔径計測不可。	前庭部上面
1049	第310図 PL.176	梲形鍛冶滓 (中、含鉄)	E3グリッド覆土 ほぼ完形	長 短	12.1 11.1	厚 重	6.5 722.1	表：黄褐色～濃褐色 地：濃茶褐色～黒褐色	平面、不正円形をした中型の梲形鍛冶滓。ほぼ完形品で右下側部がやや二段ぎみ。上面から肩部にかけての木炭痕は2.0cm大以下のものが目立つ。厚みは6cm強。色調は表面の酸化土砂が黄褐色で、滓部は濃褐色。地は濃褐色から黒褐色となる。	分析番号： KOM-4、検鏡・ 科学分析、短 軸端部1/3直 線状に切断、 滓部中心に分 析。製鉄炉周 辺鍛冶工房の 存在を示唆。
1050	第310図 PL.176	鉄滓 梲形鍛冶滓	覆土 破片	長 短	13.2 10.2	厚 重	5.8 756.9		全体を酸化土砂が覆う。断面には錆化した植物痕が多数みられる。磁着有り。	前庭部上面 (製鉄炉周辺 鍛冶工房)
1051	第310図 PL.176	鉄滓 梲形鍛冶滓 (大)	覆土 破片	長 短	14.8 10.9	厚 重	5.5 634.3		全面磁着、メタル有り。上面に羽口片?付着有。炭またはスサらしき錆化した植物痕跡が多い。	(製鉄炉周辺 鍛冶工房)
1052	第310図 PL.176	鉄滓 梲形鍛冶滓 (中)	覆土 破片	長 短	8.8 9.1	厚 重	4.0 280.2		全体を酸化土砂が覆う。破断面および表面の酸化土砂中に多数の錆化した植物痕が折り重なるように見られる。弱い磁着有り。	前庭部下面 (製鉄炉周辺 鍛冶工房)
1053	第310図 PL.176	鉄滓 鉄塊系遺物	覆土 破片	長 短	2.9 2.6	厚 重	2.1 19.2		表面全体的に酸化土砂が覆う。全面磁着有り。メタル反応有り一部に放射割れが見られる。	前庭部上面
1054	第310図 PL.176	鉄滓 鉄塊系遺物	覆土 破片	長 短	7.3 6.4	厚 重	4.4 176.5		ほぼ全面磁着有り。メタル反応有り。上面、側面の一部酸化土砂に覆われる。	
1055	第310図 PL.176	鉄滓 鉄塊系遺物	覆土 破片	長 短	7.0 5.0	厚 重	4.9 218.3		鉄塊系遺物破片で、破断面含め酸化土砂付着。表面に錆化した植物痕が見られる。全面磁着有り。メタル反応有り。	
1056	第311図 PL.176	炉壁 中段下半	覆土 破片	長 短	11.2 13.9	厚 重	6.9 632.3		炉壁破片で、表面に大きな凹みを有し全体に酸化土砂が付着。表面はガラス化・発泡、内面には植物痕の空洞が見られる。上面に一部磁着有り。	

## 4区観察表

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長	厚	重			
1057	第311図 PL.176	炉壁 中段下半	覆土 破片	長 短	10.2 9.8	厚 重	4.8 241.0		炉壁破片で、表面に大きな凹みを有し全体に酸化土砂が付着。表面はガラス化・発泡、内面には植物痕の空洞が見られる。
1058	第311図 PL.176	炉壁 中段上半	覆土 破片	長 短	7.9 13.8	厚 重	2.4 105.3		上部表面は平滑、下側では表面に細かい発泡が見られる。内面は植物痕の空洞が見られ非常に軽軟。
1059	第311図 PL.176	鉄滓流動滓	D5グリッド覆土 ぼぼ完形	長 短	5.4 8.1	厚 重	4.9 264.8	表：黒褐色～暗紫 紅色 地：暗褐色～黒褐 色	流動性の良い流動滓。上面が生きており、その他は破面。上面の筋状に重層した流動単位の表皮は平滑である。破面に見られる滓質は緻密で各流動単位の隙間や滓内部には部分的に気孔が散在する。色調は表面が黒褐色から暗紫紅色で、地は暗褐色から黒褐色となる。
1060	第311図 PL.176	鉄滓 流動滓(粗)	覆土 破片	長 短	14.1 7.7	厚 重	5.8 338.5		流動滓破片で、表面は微小凹凸が見られ褐色、錆化した微小植物痕が付着する。下面には土砂とともに灰が付着する。
1061	第311図 PL.177	鉄滓 流動滓(単 位流動滓)	覆土 破片	長 短	9.4 11.0	厚 重	3.5 173.0		流動滓破片、断面に大きな空洞および微小発泡が見られる。下面には砂粒が僅かに付着する程度で重厚。
1062	第311図 PL.177	鉄滓 流動滓	覆土 破片	長 短	5.9 7.0	厚 重	3.9 220.5		流動滓破片、断面に大きな空洞および微小発泡が見られる。下面には砂粒が付着重厚。
1063	第311図 PL.177	鉄滓 流動滓(粗)	覆土 破片	長 短	4.6 5.1	厚 重	3.1 29.5		流動滓破片で内部は発泡によりスポンジ状となり軽軟。
1064		炉壁 上段	覆土 破片	長 短	10.5 7.5	厚 重	7.7 353.6		
1065	PL.177	炉壁 上段	覆土 破片	長 短	4.8 5.6	厚 重	2.1 26.8		表面灰黒色で発泡、下面は植物痕が溝状に見られ一部に灰が残る。
1066	PL.177	炉壁 中段	覆土 破片	長 短	6.7 13.1	厚 重	7.5 468.8		表面付近は灰色で発泡、上面大半から破断面が酸化土砂に覆われる。下面には多数の植物痕が溝状に見られる。酸化土砂中に炭化植物体およびメタル反応がある。
1067	PL.177	鉄滓 鉄塊系遺物	覆土 破片	長 短	3.2 2.5	厚 重	1.6 14.9		全体に炭化植物を含む酸化土砂に覆われ、磁着・メタル反応有り。
1068	PL.177	鉄滓 鉄塊系遺物	覆土 破片	長 短	3.7 2.8	厚 重	1.9 28.3		全体に炭化植物を含む酸化土砂に覆われ、磁着・メタル反応有り。
1069	PL.177	鉄滓 流動滓	覆土 破片	長 短	6.5 5.9	厚 重	4.8 254.1		表面黒色で破断面を含め薄く酸化土砂に覆われ重厚。
1070	PL.177	鉄滓 流動滓	覆土 破片	長 短		厚 重	157.1		流動滓小破片一括、多孔質でスポンジ状一部表面を酸化土砂が覆う。重量は一括重量。
1071	PL.177	鉄滓 流動滓(粗)	覆土 破片	長 短	5.6 7.1	厚 重	4.6 72.9		表面黒色で内部は発泡しスポンジ状、一部塊状に酸化土砂が付着し磁着有り。
1072	PL.177	鉄滓 椀形鍛冶滓 (中)	覆土 破片	長 短	10.8 8.7	厚 重	4.9 362.5		全体を酸化土砂が覆い、磁着およびメタル反応有り。
1073	PL.177	鉄滓 椀形鍛冶滓 (中)	覆土 破片	長 短	9.1 8.3	厚 重	5.6 325.9		表面全体を酸化土砂が覆うとともに、錆化した植物痕が何層にも厚く覆う。磁着有り。一部に僅かにメタル反応有り。

## 3製鉄炉

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				長	厚	重			
1074	第311図 PL.177	礫石器 敲石?	覆土 1/4	長 幅	(10.7) (9.7)	厚 重	6.0 623.8	粗粒輝石安山岩	表裏面とも中央付近に敲打痕がある。右辺側縁から破損部に鉄錆が付着する。
1075	第311図 PL.177	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	12.6 11.6	厚 重	6.1 392.0		羽口破片で、基部を欠く。先端は溶融により閉塞その表面に酸化土砂が付着する。先端から10cmにかけて表面はガラス化・発泡する。外径94mm孔径28mm挿入角度119°。
1076	第311図 PL.177	土製品 羽口	覆土 破片	長 短	9.9 4.9	厚 重	4.8 126.1		羽口先端部の破片。先端部はガラス化・発泡しその上を酸化土砂が覆う。外径計測不孔径30mm挿入角度120°。
1077	第311図 PL.177	炉壁 中段上半	覆土 破片	長 短	11.6 12.7	厚 重	6.1 548.7		炉壁破片、表面はガラス化・発泡が見られる。表面・破断面の一部を酸化土砂が覆う。下面には植物痕の空洞が見られとともに一部灰化した植物体が認められる。
1078	第311図 PL.177	炉壁 中段下半	覆土 破片	長 短	8.1 9.3	厚 重	6.2 330.7		炉壁破片、表面はガラス化・発泡が見られる。表面の一部を酸化土砂が覆う。下面には植物痕の空洞が見られとともに一部灰化した植物体が認められる。
1079	第311図 PL.177	鉄滓 炉内滓	覆土 破片	長 短	5.7 5.9	厚 重	5.0 176.2		表面は発泡し全体を薄く酸化土砂が覆い重厚。下面ほぼ全面に炉壁付着その境界に沿って深いクラックが入るがメタル反応は確認できない。
1080	第311図 PL.177	鉄滓 炉内滓	覆土 破片	長 短	6.1 4.1	厚 重	3.4 38.5		全体に発泡し、スポンジ状で軽軟。表面を酸化土砂が覆う。
1081	第311図 PL.177	鉄滓 流動滓(炉 内流動滓)	覆土 破片	長 短	4.3 8.1	厚 重	1.4 62.8		表面黒色で光沢なく皺状。下面には砂粒が付着気泡も見られる。
1082	第311図 PL.177	鉄滓 流動滓	F5グリッド覆土 ぼぼ完形	長 短	6.5 6.2	厚 重	2.5 123.2	表：黒褐色～暗紫 紅色 地：暗褐色～黒褐 色	流動性の良い流動滓が重層しながら流れている流出溝滓破片。上下面が生きており、破面は短軸の両端部となる。上面の筋状に重層した流動単位の表皮は平滑である。破面に見られる滓質は緻密で各流動単位の隙間や滓内部には部分的に気孔が散在する。色調は表面が黒褐色から暗紫紅色で、地は暗褐色から黒褐色となる。
1083	PL.177	炉壁 中段	覆土 破片	長 短	8.3 5.1	厚 重	5.1 98.5		表面黒灰色でガラス化・発泡。下面には2～5mmの植物痕が溝状に見られる。

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1084	PL.177	鉄滓 炉内滓	覆土 破片	長 短	3.7 4.7	厚 重	3.1 79.6	表面黒色で破断面を含め、全体に酸化土砂が薄く覆う。	
1085	PL.177	鉄滓 炉内滓	覆土 破片	長 短	4.5 5.9	厚 重	3.2 50.8	表面黒褐色で多孔質でスポンジ状。下面に磁着有り。	
1086	PL.177	鉄滓 炉内滓	覆土 破片	長 短	4.4 4.6	厚 重	3.3 32.6	表面黒褐色で多孔質でスポンジ状。表面に錆化した広葉樹材の痕跡が付着する。全面に磁着有り。	
1087	PL.177	鉄滓 炉内滓	覆土 破片	長 短	7.2 7.5	厚 重	5.9 157.1	流動滓的な黒色光沢部分と灰黒色ガラス化・発泡部分とが混在する。	
1088	PL.177	鉄滓 単位流動滓	覆土 破片	長 短	4.2 0.5	厚 重	0.7 5.5	表面黒褐色で流動状、裏面は土砂粒子が付着する。	前底部
1089	PL.177	鉄滓 流動滓	覆土 破片	長 短	21.2 14.8	厚 重	5.8 1361.5	表面黒色の流動滓破片に灰黒色で発泡。凹凸ある滓が付着。表面を土が薄く覆う。下面に炉床土が全面に付着。	
1090	PL.177	鉄滓 流動滓	覆土 破片	長 短	9.9 6.1	厚 重	3.6 115.0	表面黒色の流動滓破片に、表面黒褐色で発泡する流動滓が付着する。	

### 1 鍛冶工房

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1091	第312図	黒色土器 椀	覆土 口縁部片	口 底	15.8	高		粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。内面は横位のヘラ磨きの上まばらに放射状のヘラ磨き。	内面黒色処理。外面にも炭素吸着。
1092	第312図	須恵器 杯	土坑1 3/4	口 底	9.0 4.4	高	2.9	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰 /にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1093	第312図	須恵器 杯	土坑1 3/4	口 底	15.1 7.9	高	4.1	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・角閃石/酸化 焰/にぶい橙	底部の切り離しが粗雑で、底面は凹面状をなす。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面の一部に炭素吸着。
1094	第312図	須恵器 椀	+4 口縁下位～高台部	口 底		高台	6.4	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
1095	第312図	須恵器 椀	掘り方覆土 口縁下半～高台部	口 底		高台	7.9	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
1096	第312図	須恵器 羽釜	土坑1、土坑2 口縁～胴部上半 部1/3	口 底	21.4	高		粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰 /灰褐	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。	被熱。器面に炭素吸着。
1097	第312図	礫石器 敲石	土坑1 完形	長 幅	19.0 13.4	厚 重	6.8 2248.2	粗粒輝石安山岩	小口部両端・右辺エッジに敲打痕が著しい。背面側に広く鉄錆が付着する。	扁平楕円礫
1098	第312図	礫石器 敲石	土坑6 完形	長 幅	13.3 8.7	厚 重	4.4 752.1	粗粒輝石安山岩	上端側小口部・右側縁に敲打痕がある。	扁平楕円礫
1099	第312図	礫石器 敲石	覆土 完形	長 幅	13.5 10.7	厚 重	4.0 951.1	粗粒輝石安山岩	小口部・右側縁に弱い敲打痕が残る。側縁に敲打痕が残る。被熱して煤ける。	扁平楕円礫
1100	第312図	礫石器 敲石	覆土 完形	長 幅	15.9 8.1	厚 重	3.9 897.1	ホルンフェルス	小口部・右側縁に弱い敲打痕が残る。	扁平棒状礫
1101	PL.178	礫石器 敲石	床直 完形	長 幅	23.2 11.7	厚 重	9.6 3336.9	溶結凝灰岩	小口部上端に敲打痕が残る。	棒状礫
1102		礫石器 敲石	覆土 完形	長 幅	14.2 9.3	厚 重	4.6 954.2	粗粒輝石安山岩	左側縁に弱い敲打痕が残る。	扁平楕円礫
1103	PL.178	礫石器 砥石	土坑1 破片	長 幅	(16.7) (15.5)	厚 重	(12.3) 3588.1	粗粒輝石安山岩	背面側礫面が研磨され、強い光沢面が形成されている。被熱してヒビ割れる。	礫砥石
1104	PL.178	礫石器 台石?	土坑2 破片	長 幅	(21.5) (15.0)	厚 重	(10.7) 2638.29	粗粒輝石安山岩	背面側礫面に鉄錆が付着する。被熱破損。	大形棒状礫?
1105	第312図	礫石器 台石	覆土 上端部破片	長 幅	(26.6) 17.8	厚 重	(14.4) 10050.0	粗粒輝石安山岩	上端側小口部に近い背面に鉄錆が付着する。裏面側に同種変色部分があり、被熱していることは確実。	棒状礫
1106	第312図	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	2.6 1.0	厚 重	0.3 1.27		薄い板状鉄製品で現形状は柳葉形で一端は劣化破損する。断面は薄い紡錘形で一方の端は棟状にやや角張り刀子に似るが小破片で破損しているため詳細は不明。	
1107		鉄滓 鍛冶滓 (磁着)	覆土 破片	長 短		厚 重	524.88		鉄滓小破片一括資料、破片全体に酸化土砂の付着が見られる、重量は一括重量。	一括写真

### 383土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1108	第312図	須恵器 杯	+6 口縁一部欠	口 底	9.6 6.5	高	2.2	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	口縁部先端の内外面に油煙付着か。

### 73土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1109	第313図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口 底	12.2	高		粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。	

### 77土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1110	第313図	鉄製品 釘	覆土 完形	長 幅	5.7 1.5	厚 重	1.2 11.65		断面長方形で頭は撥状に広く先端に向かい徐々に細い角釘。錆化が進み頭部の折り返し等の詳細構造は不明。	

## 87土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1111	第313図	須恵器 椀	覆土 高台部	口 底	高 台	8.5	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。被熱の為か変色、摩滅。 貼付後、周縁部にナデ調整。	

## 105土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1112	第313図 PL.178	黒色土器 椀	覆土 底~高台部	口 底	高 台	5.1	粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。内面はへら磨き。	

## 127土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1113		土製品 羽口	覆土 破片	長 短	7.1厚 7.5重	3.7 120.0		羽口先端近くの破片、先端側は灰黒色ガラス化・発泡。外径82mm、孔径23mm。	

## 128土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1114	第313図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口 底	9.8高		粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/浅黄 橙	ロクロ整形(右回転か)。	

## 139土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1115	第313図 PL.178	鉄製品 刀子	覆土 完形	長 幅	15.8厚 1.7重	1.6 21.8		棟側には明確な開を持ち刃側はなだらかに茎に移行する刀子で、刃は先端に向かい細くなり先端は破損する。茎は細長くやや曲がり端部では尖り気味。刃先の0.5cm程がやや右に曲がり破損する。	

## 147土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1116	第313図	須恵器 椀	覆土 1/2	口 底	11.2高 6.4	4.5	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。器面に炭素吸着。 貼付後、周縁部にナデ調整。	

## 165土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1117	第313図	須恵器 杯	+7 完形	口 底	8.9高 4.8	2.1	粗砂粒・軽石/酸化 焰/黄灰	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。器面に炭素吸着。	
1118	第313図 PL.178	須恵器 椀	+9 口縁一部欠	口 底	14.7高 8.2	6.5	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。器面に炭素吸着。 貼付後、周縁部にナデ調整。	

## 170土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1119	第313図 PL.178	須恵器 杯	覆土 3/4	口 底	9.9高 5.9	2.6	粗砂粒/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転か)。底部回転糸切り後、無調整。	
1120	第313図 PL.178	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	3.5厚 0.8重	0.7 2.9		断面0.3cm角の角釘で先端部で急に細くなり尖る。頭側は角形のまま終わり特別な形態を持たないが破損の可能性も有る。	

## 171土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1121	第313図	須恵器 杯	+20・覆土 3/4	口 底	14.6高 6.6	4.9	粗砂粒/酸化焰/ 灰黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。器面摩滅。	

## 173土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1122	第313図	灰釉 壺	覆土 胴部片	口 底	高		精選・白色鈹物粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。外面は回転へら削り。	

## 299土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1123	第313図 PL.178	須恵器 杯	+11 完形	口 底	9.5高 4.8	2.9	粗砂粒/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。器面に炭素吸着。	
1124	第313図 PL.178	須恵器 杯	+6 口縁一部欠	口 底	9.0高 4.6	2.6	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。器面に炭素吸着。	
1125	第313図 PL.178	須恵器 杯	+6 3/4	口 底	9.1高 4.0	3.0	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。器面に炭素吸着。	

## 357土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1127	第313図	須恵器 杯	覆土 口縁下位~底部	口 底	高 5.1		粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい橙	ロクロ整形(右回転か)。底部回転糸切り後、無調整。	



## 392土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1128	第313図 PL.178	土師器 甕	覆土 口縁～胴部上位 片	口底 18.8	高	粗砂粒/良好/褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のナデに近いヘラ削り。外面に炭素吸着。

## 394土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1129	第313図 PL.178	須恵器 杯	床直 1/2	口底 10.3 4.6	高	3.1 粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。器面やや摩滅。
1130	第313図	須恵器 椀	覆土 口縁下位～高台 部	口底	高台	9.4 粗砂粒・軽石・角閃 石/酸化焰/にぶい 黄橙	ロクロ整形(右回転)。やや足高の高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。
1131	第313図 PL.178	緑釉 段皿か	覆土 口縁下位～高台 部1/2	口底	高台	7.0 精選・白色鉍物粒 少・灰色粘土/還元 焰/にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部切り離し後、本体と別の胎土で高台部を貼付。内外面施釉。内面磨耗。近江産か(東海産ではない)。10世紀前半。

## 395土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1132	第313図 PL.178	須恵器 杯	+16 完形	口底 8.5 4.5	高	2.7 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
1133	第313図	須恵器 杯	覆土 1/4	口底 11.7 6.2	高	4.1 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
1134	第313図	須恵器 椀	+13 口縁下位～高台 部	口底	高台	9.6 粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。器面の一部に鉄分凝集。

## 399土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1135	第313図	須恵器 椀	+20 口縁下半～底部 1/3	口底	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。器面に炭素吸着。

## 429土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1136	第313図 PL.178	須恵器 杯	床直 口縁一部欠	口底 9.6 4.6	高	2.8 粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。口縁部先端に煤付着。灯明として使用。

## 434土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1137	第313図	須恵器 杯	覆土 口縁下位～底部	口底 4.8	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。

## 438土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1138	第313図	須恵器 椀	+29 口縁下位～高台 部	口底	高台	7.7 粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。被熱。器面に炭素吸着。

## 121ピット

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1139	第313図 PL.179	灰釉 壺	+8 胴3/4.口縁～頸 部欠	口底	高台	7.8 白色鉍物粒/還元 焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。肩部と胴部下半には回転ヘラ削り。高台部は底部回転ヘラナデ後の付高台。胴部上半部に施釉。器面摩滅。

## 400土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1140	第314図	黒色土器 椀	+50 2/3	口底 14.6 7.0	高	6.1 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部に横ナデ。内面は全面に統一性のないヘラ磨き。内面黒色処理。外面にも炭素吸着。
1141	第314図 PL.178	黒色土器 椀	+53 口縁一部欠	口底 14.7 7.9	高	6.1 粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。口縁部外面は横位のヘラ磨き。内面は口縁部が横位の、底部が中心から放射状のヘラ磨き。内面黒色処理。外面も口縁部先端に濃く炭素吸着。
1142	第314図 PL.178	須恵器 杯	+52 完形	口底 8.8 5.9	高	2.1 粗砂粒・赤黒色粘 土粒少/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
1143	第314図 PL.178	須恵器 杯	+41 完形	口底 9.1 5.4	高	2.5 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/浅黄 橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
1144	第314図 PL.178	須恵器 杯	+51 完形	口底 9.2 5.4	高	2.3 粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。

## 4区観察表

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1145	第314図 PL.178	須恵器 杯	+52 完形	口 底	9.1 7.0	高	2.5 粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。
1146	第314図 PL.178	須恵器 杯	+62 口縁一部欠	口 底	8.9 4.9	高	2.3 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/浅黄 橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1147	第314図 PL.178	須恵器 杯	+48 完形	口 底	8.4 5.3	高	2.4 粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1148	第314図 PL.178	須恵器 杯	+52 完形	口 底	9.0 6.0	高	2.5 粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1149	第314図 PL.178	須恵器 杯	+42 完形	口 底	9.0 5.2	高	2.6 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	内面磨耗。
1150	第314図 PL.178	須恵器 椀	+60 完形	口 底	9.7	高台	4.0 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	
1151	第314図 PL.178	須恵器 椀	+72 口縁・台部一部 欠	口 底	9.8	高台	4.5 粗砂粒/酸化焰か/ 灰黄褐	6.6 ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。	器面に鉄分凝 集。
1152	第314図 PL.178	須恵器 椀	+49 高台一部欠	口 底	11.4 5.8	高	5.5 粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰 /にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	一部に炭素吸 着。
1153	第314図 PL.178	須恵器 椀	+61 高台一部欠	口 底	12.0	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰 /灰黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	一部に炭素吸 着。
1154	第314図 PL.178	須恵器 椀	+57 高台一部欠	口 底	12.5	高台	5.5 粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰 /にぶい黄橙	6.1 ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	一部に炭素吸 着。
1155	第314図 PL.178	須恵器 椀	+52 高台一部欠	口 底	14.5	高台	6.0 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い橙	8.0 器形は大きく歪んでいる。ロクロ整形(右回転)。高台部は 底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面やや摩滅。
1156	第314図 PL.178	須恵器 椀	+53 口縁一部欠	口 底	14.3 8.3	高	6.2 粗砂粒/酸化焰/明 黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付け高 台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸 着。口縁部内 面は摩耗。
1157	第314図	須恵器 椀	+51 口縁部1/2	口 底	15.6	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。	
1158	第314図	土師器 羽釜	+51 口縁～胴部上位 片	口 底	22.4	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄褐	口縁部は横ナデ。罅部は他資料と比較して裾部の幅が広い。 貼付は粗雑。胴部外面は斜位のへら削り。内面は横位のへ らナデ。	器面の一部に 炭素吸着。
1159	第314図 PL.178	鉄製品 鏃	+24 3/4	長 幅	14.0 2.6	厚 重	1.0 29.81	大型の柳葉形の鉄鏃で腸削りを持たずならかに細くなり 茎近くで厚さをまし茎との境では一周する形で段を持つ。 茎は断面正方形で徐々に細くなり劣化破損する。	
1160	第314図 PL.178	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	5.1 1.7	厚 重	1.5 15.6	錆化が著しく本体は空洞化する。断面四角で棒状一端は劣 化破損する。	

## 419土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1161	第314図	土師器 甕	+8 口縁～胴部上位 片	口 底	26.4	高	粗砂粒/良好/明赤 褐	外面は口縁部から胴部に一部のへら削りを残し、粗雑なへ らナデ。内面は横位のへらナデ。	

## 422土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1162	第314図	須恵器 椀	床直 底部1/2	口 底	7.8	高	粗砂粒・角閃石・軽 石/酸化焰/灰白	ロクロ整形(右回転)か。高台部は底部回転糸切り後の付高 台。貼付後、周縁部にナデ調整。	内面磨耗。
1163	第314図	須恵器 甕	+16 口縁部片	口 底	21.0	高	粗砂粒・角閃石・雲 母/酸化焰/にぶい 黄橙	ロクロ整形(右回転)。	被熱の為、炭 素吸着。
1164	第314図 PL.179	鉄製品 釘	+13 破片	長 幅	6.3 0.5	厚 重	0.5 7.7	駄面正方形の角棒状で一端はやや細くなるが鋭利にはとが らない、他端は劣化破損で釘破片と見られる。	
1165	第314図 PL.179	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	4.4 1.2	厚 重	0.9 6.9	断面正方形で先端に向かい細くなり端部で破損する。頭側 は劣化破損する。	

## 421土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1166	第315図 PL.179	須恵器 杯	床直 完形	口 底	9.0 4.6	高	2.7 粗砂粒・赤黒色粘 土粒多/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	底面やや摩滅。
1167	第315図	須恵器 杯	+6 1/2	口 底	11.0 6.4	高	2.7 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	外面に黒色の 付着物。
1168	第315図	須恵器 椀	床直 3/4	口 底	12.3	高台	5.3 粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	7.0 器形は大きく歪む。ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切 り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
1169	第315図	須恵器 椀	床直 口縁下位～台部	口 底		高台	7.4 粗砂粒/酸化焰/明 黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	器面摩滅。

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1170	第315図	須恵器 羽釜	床直 口縁部片	口底 25.0	高 胎土/焼成/色調 石材・素材等	粗砂粒・軽石/酸化 焰/橙	ロクロ整形(右回転)。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。輪積み痕を残す。	器面に炭素吸着。

#### 427土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1171	第315図 PL.179	黒色土器 椀	+18 口縁一部欠	口底 12.8 7.7	高 5.4	粗砂粒/酸化焰/黄 橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付け高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面は口縁部には横位の、底部には一定方向のヘラ磨き。	内面黒色処理。
1172	第315図 PL.179	黒色土器 椀	床直 2/3	口底 13.6 6.3	高 5.2	粗砂粒/酸化焰/明 黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付け高台。貼付後、周縁部に強いナデ調整。口縁部外面の先端は横位のヘラ磨き。内面は口縁部に斜位の、底部には複数方向からのヘラ磨き。	内面黒色処理。
1173	第315図 PL.179	須恵器 杯	覆土 完形	口底 8.9 6.4	高 2.5	粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1174	第315図 PL.179	須恵器 椀	+6 完形	口底 14.5	高台 5.8 7.6	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。
1175	第315図 PL.179	須恵器 椀	床直 完形	口底 14.4 7.9	高 5.7	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。口縁部下半にヘラ削り。	
1176	第315図 PL.179	須恵器 椀	床直 高台部欠	口底 14.8	高 粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい橙	8.3	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
1177	第315図	須恵器 椀	+5 底～高台部	口底	高台	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	
1178	第315図	須恵器 羽釜	覆土 口縁～胴部上位 片	口底 23.8	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい褐	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部貼付後、胴部外面に縦位のヘラ削り。	器面に炭素吸着。
1179	第315図 PL.179	埴輪 形象器材	+52 盾破片	口底	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/窯窯焼成/橙	盾面の一部が残存する。横方向に延びる線刻の一部が残存。突出部は円筒部との基部で破損欠落している。背面は縦ハケ(7本/1cm)。内面は縦位のナデ。「切開再接合技法」により製作されている。	
1180	第315図 PL.179	鉄製品 刀子	覆土 1/2	長幅 9.9 2.8	厚重 1.2 29.7		棟・刃側ともに明瞭な関を持つ小刀で、刃先は7.5cm程で劣化破損し先端を欠く。茎も2cm程で劣化破損、側断面及び茎表面の一部に木質が残存する。刃から棟にかけて平織の布が錆化し遺存。刀身は布に包まれていたと考えられる。	
1181	第315図 PL.179	鉄製品 刀子	床直 破片	長幅 6.0 1.3	厚重 0.6 6.14		断面狭三角形の板状で刀子の破片と見られる。関等は確認できないが刃側は劣化破損する。	

#### 436土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1182	第315図	黒色土器 椀	覆土 1/4	口底 14.2	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。内面は口縁部が横位に、底部が一定方向にヘラ磨き。外面も口縁部上位に横位のヘラ磨き。	
1183	第315図	須恵器 羽釜	覆土 口縁～胴部上位 片	口底 22.7	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒多/酸化焰/に ぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。罅部貼付後、胴部外面に縦位のヘラ削り。	被熱。

#### 445土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1184	第315図	黒色土器 椀	覆土、440坑 口縁部下位～高 台部1/3	口底	高台 7.3	粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。底部は切り離し部分をヘラで調整している。内面はヘラ磨き。	内面黒色処理。

#### 451土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1185	第315図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口底 14.0	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	器面に炭素吸着。

#### 444土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1186	第316図 PL.179	須恵器 椀	+15 2/3	口底 15.0 7.8	高 6.5	粗砂粒・角閃石・軽 石/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	

#### 水田

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1187	第316図 PL.179	土師器 杯	1集石南東隅 -24 3/4	口底 14.3	高 5.5	粗砂粒・赤黒色粘 土粒多/良好/橙	口縁部は横ナデ。底部外面は手持ちヘラ削り。内面はナデ。	器面摩擦。

#### 1 河道

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1188	第316図	黒色土器 椀	覆土 3/4	口底 9.2	高台 3.9 4.8	粗砂粒/良好/黒褐	ロクロ整形(左回転か)。高台部は底部切り離し後の付高台。内面は全面にヘラ磨き。	内外面とも炭素吸着。

## 4区観察表

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1189	第316図	黒色土器 椀	覆土 口縁下半～高台 部	口 底	高 台	7.4 粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部に横ナデ。内面の底部中央から放射状にヘラ磨き。	
1190	第316図	須恵器 杯	覆土 口縁下位～底部	口 底	3.9 高	粗砂粒少/酸化焰/ 橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に鉄分凝集。
1191	第316図	土師器 甕	覆土 口縁～胴部上位 片	口 底	20.4 高	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。最上位には口縁部との間にナデの部分を残す。	外面炭素吸着。
1192	第316図	須恵器 羽釜	覆土 口縁～胴部上位 片	口 底	27.2 高	粗砂粒/酸化焰か/ 明赤褐	ロクロ整形。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。	器面に黒色の付着物。鉄分も凝集。土器本体の色調不明。
1193	第316図	土師器か 羽釜か	覆土 胴下位～底部	口 底	10.3 高	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	胴部外面は縦位のヘラ削り。内面はヘラナデ。	器面に炭素吸着。

## 遺構外の出土遺物

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1194	第316図 PL.179	須恵器 杯	2面西部 3/4	口 底	8.6 5.4 高	2.1 粗砂粒・軽石/酸化 焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1195	第316図 PL.179	須恵器 杯	2面西部 3/4	口 底	8.6 5.3 高	2.4 粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	内面やや摩耗。
1196	第316図 PL.179	須恵器 杯	表土 完形	口 底	9.4 6.1 高	2.4 粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	内面やや摩耗。
1197	第316図	須恵器 杯	2面西部 1/3	口 底	9.4 5.6 高	1.9 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に黒色の付着物。
1198	第316図 PL.179	須恵器 杯	2面K-12 完形	口 底	9.4 5.2 高	2.8 粗砂粒・軽石/酸化 焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1199	第316図 PL.179	須恵器 杯	2面K-14 1/2	口 底	10.0 5.0 高	3.0 粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。内面は斜横位のヘラ磨き。	口縁部先端に炭素吸着。灯明として使用されたと考えられる。底部やや摩滅。
1200	第316図	須恵器 杯	表土 破片	口 底	8.2 5.0 高	2.3 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1201	第316図	須恵器 杯	表土 1/3	口 底	10.8 4.6 高	3.1 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	器肉厚い。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	底部外面に炭素吸着。
1202	第316図	須恵器 杯	2面 口縁中位～底部	口 底	5.1 高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	底部の切り離しは粗雑。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1203	第316図 PL.179	須恵器 椀	表採 3/4	口 底	9.7 6.7 高	4.1 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	内面に付着物。
1204	第316図 PL.179	須恵器 椀	表土 3/4	口 底	13.6 高 台	5.6 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	外面の一部に炭素吸着。
1205	第316図	須恵器 椀	表土 1/3	口 底	高 台	酸化焰		
1206	第316図	須恵器 椀	表土 口縁部片	口 底	15.0 高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	
1207	第316図	須恵器 椀	表土 台部のみ	口 底	高 台	7.8 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(回転方向不明)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	内面に黒色の付着物。器面摩滅。
1208	第316図	須恵器 椀	2面T-9 高台部1/2	口 底	高 台	12.3 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/浅黄 橙	ロクロ整形(右回転)。	
1209	第316図 PL.179	須恵器 椀	表土 3/4(高台部下 半欠)	口 底	17.8 高	粗砂粒・軽石多/酸 化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	高台部先端の欠損後も使用か。器面に炭素吸着。
1210	第316図 PL.179	白磁 皿	東壁トレンチ 口縁部片	口 底	11.4 高	精選/還元焰/灰白	古代白磁皿か。平安時代。	
1211	第316図	緑釉 椀	2面P-2 口縁下位～高台 部片	口 底	高 台	4.8 精選・灰色粘土/還 元焰/灰オリーブ	ロクロ整形(右回転)か。内面の細かい沈線が巡る。高台部は付高台。内外面に施釉。	東海産。10世紀前半。
1212	第316図	緑釉 椀	2面 底～高台部片	口 底	高 台	7.0 精選・灰色粘土/還 元焰/オリーブ黄	ロクロ整形(回転方向不明)。高台部は付高台。内外面に施釉。	器面摩滅。釉剥落。東海産。10世紀前半。
1213	第316図	灰釉 皿	2面C-1 1/4	口 底	12.0 6.2 高	2.5 精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は断面三角形。底部回転糸切り後の付高台。内外面に施釉。	内面磨耗。虎溪山1号窯式期。
1214	第316図	灰釉 皿	2面 3/4	口 底	12.7 高 台	2.3 精選・白色鈹物粒 少/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は断面三角形。底部回転ヘラ削り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。施釉は漬け掛け。	内面磨耗。大原2号窯式期。
1215	第316図	灰釉 皿	4・5区表採 口縁部片	口 底	15.5 高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。	大原2号窯式期。

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1216	第316図	灰釉 椀	2面 T-9 口縁部片	口底 14.6	高 黒色鈹物粒/還元 焰/灰白	ロクロ整形(左回転)。内面は口縁部直下に沈線が巡る。	虎溪山1号窯 式期。
1217	第317図	灰釉 椀	2面 T-9 口縁部片				
1218	第317図	灰釉 椀	2面 P-2 口縁下位~高台 部片	口底 高台	8.0 精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。外面は口縁部下位に回転ヘラ削り。内面に重ね焼き痕。内外面に施釉。	光ヶ丘1号窯 式期。
1219	第317図	灰釉 壺	表採 底部片	口底 高台	14.2 精選・黒色鈹物粒 少/還元焰/灰白	紐づくり後、ロクロ整形か(右回転)。高台部は低く断面台形を呈する。底部周縁部に回転ヘラ削り後、貼付。	
1220	第317図	中国磁器 染付皿	2面 A-3 1/10	口底 (12.0)	高 白	外面唐草文。口縁部内面2重圈線。明代染付。	
1221	第317図	龍泉窯系青 磁碗	2面 A-3 1/8	口底 (5.0)	高 灰白	内外面厚い青磁釉。高台端部付近釉掻き取る。太宰府分類碗Ⅲ類。13世紀中頃~14世紀初頭前後。	
1222	第317図 PL.179	土師器 甕	2面 S-1, S-2 口縁~胴部中位 3/4	口底 28.7	高 粗砂粒・軽石/良好 /にぶい赤褐	口縁部は先端に横ナデ。外面は頸部に指頭が強く当たり形状を乱している。胴部外面は縦位のナデに近いヘラ削りの上に一部横位のヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。	被熱。器面に 炭素吸着。
1223	第317図	土師器 羽釜	2面 J-13 口縁~胴部中位 片	口底 27.8	高 粗砂粒・赤色粘土 粒多/良好/にぶい 橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は最上位が横位、上位が斜横位、中位が縦位にヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	内面摩滅。
1224	第317図	埴輪 円筒	2面 A-3 基底部破片	口底 高	高 粗砂粒/窯窯焼成/ 橙	基底部下位の破片。大径。基部粘土板を底面から見て右を上にして重ねている。外面に縦ハケ(6本/1cm)。内面は縦位のナデ。	
1225	第317図 PL.179	埴輪 形象	表土 盾破片	口底 高	高 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/窯窯焼成/ にぶい橙	盾面に向かって左側の円筒部の破片である。外区と内区を区画する縦位のヘラ描き沈線。鋸歯文の一部と見られる斜位のヘラ描き沈線が認められ、赤色塗彩を施す区画もある。地には縦ハケ(9本/1cm)を施し盾面突出部基部にはナデを重ねている。	
1226	第317図 PL.179	土製品 羽口	2面攪乱 3/4	長短 13.6 7.6	厚重 7.6 428.2	羽口破片で基部を欠く。上面は溶融し薄くなり、表面に酸化土砂が付着する。外径70mm孔径30mm挿入角度120°?。先端部の一部に砂鉄焼結が見られ、砂鉄はほぼ溶融したものと正八面体の形状をとどめる部分が有る。	(4区製鉄炉 周辺)
1227	第317図 PL.179	鉄製品 刀子	2面 3/4	長幅 10.3 1.6	厚重 0.6 10.60	棟側に明瞭な関を持つ刀子で、刃側は急に幅を減じ茎につながる。棟側はほぼまっすぐで先端で刃先側に曲がる。茎の上端に僅かに木質らしき痕跡を留めるが不明瞭。	
1228	第317図 PL.179	鉄製品 刀子	2面 破片	長幅 (3.9) 1.2	厚重 0.6 4.99	刀子の関から茎部分破片。茎部分は木質を巻き込み錆化肥大している。関の先で破損錆化する。	
1229	第317図 PL.179	鉄製品 不詳	B-2 破片	長幅 12.5 1.3	厚重 1.0 30.89	断面長方形の平たい棒状鉄製品で、一端に向かいわずかに幅を減じ中ほどで急に細くなり二回捻じりののち断面正方形となり端部は劣化破損する。工具と見られるが先端は劣化破損し側面にも特別な形状は見られず詳細不明。	
1230	第317図 PL.179	鉄製品 釘	南西壁トレンチ 破片	長幅 4.5 1.2	厚重 0.7 5.33	断面長方形の角釘で頭部分は薄く伸ばしたのちくの字に折り曲げている。先端側は劣化破損し欠く。	
1231	第317図 PL.179	鉄製品 釘	2面 破片	長幅 (3.4) 1.3	厚重 0.8 3.51	角釘先端部破片。端の破損部0.5×0.4cmで先端に向かいやや急に細くなり尖る。	
1232	第317図 PL.179	鉄製品 釘	2面 完形	長幅 7.1 1.9	厚重 0.8 4.07	断面0.5×0.4cmの角釘、頭部分でやや平たくなるが折り返し等は見られない。先端に向かいわずかに細くなり尖る。	
1233	第317図 PL.179	金属製品 煙管・雁首	1面 1/2	長幅 5.5 1.6	厚重 1.6 7.77	煙管の雁首でロウの木質が残存する。火皿は大きく丸みを持つが上面から見るとやや潰れている。上面に接合部を持つロウとの境に3条の沈線を持つ。	
1234	第317図 PL.179	鉄製品 不詳	2面 破片	長幅 3.4 1.4	厚重 0.7 4.99	不定形の鉄製品で、硬い錆に覆われ本体は脆弱なため詳細は不明。	
1235	第317図 PL.179	鉄製品 馬具	1面確認面 破片	長幅 7.6 5.2	厚重 3.5 92.00	素環の鏡板とはみの破片からなる馬具破片。はみの両端の輪は90°ずらして製作され、中央側の輪はCの字形に磨滅し中央側が開く。	
1236	第317図 PL.179	銅製品 銭貨	南西壁トレンチ 1/2	長幅 2.4 1.0	高重 0.1 1.07	外縁・文字とも彫深く明瞭だが半存で元と寶の二文字のみが読み取れる。裏面は平坦で外縁は不明瞭。	

5区  
93住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1237	第404図 PL.180	須恵器 椀	床直 口縁部片	口 底	14.8	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄	ロクロ整形(右回転)。	器面に炭素吸着。

## 95住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1238	第404図	須恵器 杯	床直 3/4	口 底	10.2	高 5.4	2.2 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/明黄 褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整と考えられる。	内面に漆付着。底部外面 摩滅。
1239	第404図	須恵器 杯	床直 1/3	口 底	8.8	高 5.4	2.1 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1240	第404図	須恵器 杯	覆土 1/4	口 底	8.7	高 5.6	2.2 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄	ロクロ整形(右回転)か。底部回転糸切り後、無調整。	
1241	第404図	須恵器 椀	覆土 1/3	口 底	15.2	高 8.4	5.5 粗砂粒/酸化焰か/ 明褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面、鉄分凝 集。
1242	第404図	灰釉 椀	覆土 口縁部片	口 底	16.6	高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。外面に回転ヘラ削り。内面の口縁部 先端直下に沈線が巡る。内面に施釉。	虎渓山1号窯 式期。

## 97住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1243	第404図 PL.180	須恵器 椀	南東隅床直 1/2	口 底	12.5	高 台	4.7 粗砂粒少/還元焰 6.7 酸化焰きみ/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	器面摩滅。
1244	第404図 PL.180	灰釉 転用碗	カマド燃焼部 1/3	口 底	13.3	高 台	3.2 精選/還元焰/灰白 7.3	ロクロ整形(左回転)か。口縁部中位にナデの痕跡明瞭。高 台部は断面三日月状。底部切り離し後の付高台。貼付後、 周縁部にナデ調整。端部摩耗。施釉。刷毛塗りか。	内面磨耗顕 著。碗に転用 。大原2号窯 式期。
1245	第404図 PL.180	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	3.6	厚 重	0.6 1.64	断面正方形で一端に向け細くなり端部は尖り気味。他端や や丸みを持ち尖らない。	

## 101住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1246	第404図	須恵器 杯	掘り方覆土 口縁部片	口 底	8.7	高	粗砂粒/酸化焰か/ 黒褐	ロクロ整形(右回転)。	器面に炭素吸着。黒色味。

## 102住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1247	第404図 PL.180	須恵器 杯	+50 完形	口 底	9.4	高 4.4	2.8 粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	口縁部先端に 油煤付着。灯 明に使用され たか。

## 103住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1248	第404図 PL.180	須恵器 杯	カマド覆土 1/4	口 底	9.3	高 5.4	2.1 粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。
1249	第404図 PL.180	灰釉 転用碗	カマド覆土 底部1/3	口 底	高 台	5.4	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は断面三角形の付高台。底部 は回転ヘラ削り。施釉。漬け掛け。	内面と高台部 内面は摩耗顕 著。朱墨痕。 碗に転用。丸 石2号窯式期。
1250	第404図 PL.180	須恵器 羽釜	カマド煙道部 口縁～胴部中位 片	口 底	23.4	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄	紐づくり後、ロクロ整形。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。 胴部外面はナデ後、縦位にヘラ削り。輪積痕を残す。内面 の一部にヘラナデ。	器面に炭素吸 着。黒色味。 内面に黒色の 付着物。
1251	第404図	須恵器 羽釜	カマド煙道部・ 覆土 口縁～胴部中位 片	口 底	25.9	高	粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい黄	ロクロ整形(右回転)。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部 外面は縦位のヘラ削り。	被熱。甑の可 能性ありか。
1252	第404図 PL.180	土製品 羽口	掘り方覆土 破片	長 短	4.2	厚 重	6.8 74.9	羽口先端部破片。先端部は灰黒色でガラス化・発泡する。 外径75mm孔径21mm挿入角度計測不可。	

## 104住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1258	第405図 PL.180	須恵器 杯	カマド燃焼部 3/4	口 底	10.8	高 5.4	3.2 粗砂粒・角閃石/酸 化焰/にぶい黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1259	第405図 PL.180	須恵器 杯	南西隅床直 2/3	口 底	10.6	高 5.4	3.2 粗砂粒・軽石・角閃 石/酸化焰/にぶい 黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1260	第405図	須恵器 杯	貯蔵穴+23 1/3	口 底	9.8	高 4.8	3.5 粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/酸化焰/ にぶい黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1261	第405図	須恵器 椀	+20 口縁部片	口 底	10.9 高	粗砂粒/酸化焰/灰 白	ロクロ整形(右回転)。 被熱。	
1262	第405図 PL.180	須恵器 椀	貯蔵穴1 +13 2/3	口 底	13.8 高 8.0	5.6 粗砂粒・赤黒色粘 土粒少/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。 器面の一部に炭素吸着。	
1263	第405図 PL.180	須恵器 椀	貯蔵穴2 +5 口縁一部欠	口 底	14.6 高 台	7.5 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	9.9 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。足高の高台部は底部切り離し後の付 高台。貼付後、周縁部にナデ調整。
1264	第405図	須恵器 椀	貯蔵穴1 +5 口縁下位～高台 部片	口 底	高 台	8.5 粗砂粒・雲母/酸化 焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。 外面の一部に炭素吸着。	
1265	第405図	灰釉 椀	貯蔵穴1 口縁部片	口 底	13.0 高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(左回転)。内面先端部直下に沈線が巡る。内外 面に施釉。 虎溪山1号窯 式期。	
1266	第405図	灰釉 椀	床直 底部1/2	口 底	高 台	9.1 白色鉍物粒/還元 焰/灰黄	ロクロ整形(右回転)。高台部は高く、底部回転ヘラ削り後 の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内外面に釉が残る。 内面に重ね焼き痕。 虎溪山1号窯 式期。	
1267	第405図	土師器 羽釜	貯蔵穴1・カマ ド掘り方 口縁～胴部上位 片	口 底	26.0 高	粗砂粒・軽石/良好 /橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、胴部外面に縦位のヘラ削り。 内面は横位のヘラナデ。 被熱。ロクロ 整形の可能性 もあるか。	
1268	第405図 PL.180	鉄製品 釘	覆土 完形	長 幅	5.7 厚 1.1 重	1.1 7.66	断面正方形で一端に向け細くなるが端部はややとがる、頭 側はやや斜め角形で終わる。	
1269	第405図 PL.180	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	2.2 厚 1.5 重	0.5 1.4	厚さ0.1cm程の薄い鉄板で湾曲する、一端は劣化破損でそ の周り是不定形で全体形状は不明。	

#### 105住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1253	第404図	須恵器 杯	覆土 口縁部片	口 底	13.7 高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転か)。
1254	第404図	須恵器 杯	覆土 口縁下半～底部 1/3	口 底	5.6 高	粗砂粒/酸化焰/浅 黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。 内面磨耗。

#### 106住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1255	第404図	須恵器 杯	覆土 1/3	口 底	15.0 高 6.6	3.8 粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(外面・右回転、内面・左回転)。底部回転切り離 し後、無調整。 器面磨耗。
1256	第404図	須恵器 杯	覆土 1/3	口 底	14.6 高 6.2	4.5 粗砂粒/酸化焰/灰 黄褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。
1257	第404図	埴輪 形象	覆土、104住、 107住カマド 基部中位1/2	口 底	高	粗砂粒・軽石・雲母 /宮窯焼成/黄橙	形象埴輪の基部である。残存上位に直径約1.5cmの透孔を 一対配す。外面は縦ハケ。内面は縦位のナデ。 被熱の為に器 面著しく磨減。

#### 107住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1270	第405図 PL.180	須恵器 杯	-8 完形	口 底	9.0 高 4.9	2.1 粗砂粒・角閃石/酸 化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(左回転)。底部切り離し後、無調整。 器面磨減。
1271	第405図	須恵器 鉢か	カマド覆土 底～高台部(端 部欠)	口 底	高	粗砂粒・角閃石/酸 化焰/浅黄橙	ロクロ整形(右回転か)。高台部は付高台。 器面磨減。
1272	第405図 PL.180	土師器 甑か	カマド焚口 口縁部片	口 底	29.6 高	粗砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部、胴部とも横ナデ。罅部は外面の整形後に貼付。周 縁部にナデ調整。 器面に炭素吸 着。
1273	第405図 PL.180	鉄製品 釘	床直 完形	長 幅	8.5 厚 1.3 重	1.2 16.4	断面正方形の角釘で、先端部でわずかに細くなるがあまり とがらない。頭側は角形で終わり折り曲げ等は見られない。
1274	第405図 PL.180	鉄製品 鎌	覆土 1/2	長 幅	10.0 厚 1.5 重	41.07	柄装着部を劣化破損により欠く鉄鎌破片。先端は幅狭くな るがとがらず角形。刃先はゆるくカーブする。

#### 109住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1279	第406図 PL.180	黒色土器 杯	1カマド +8 完形	口 底	9.6 高 4.7	3.2 粗砂粒少/酸化焰/ 浅黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。口縁部 外面の上半は横位のヘラ磨き。内面は口縁部に横位の、底 部に一定方向からのヘラ磨き。 内面黒色処理 か。現在は炭 素の吸着は少 ない。
1280	第406図	黒色土器 椀	2カマド煙道部・ 1カマド燃焼部 1/4	口 底	13.7 高 6.3	5.7 粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 外面は斜位にヘラ磨き。内面の底部は一定方向。口縁部は 横位にヘラ磨き。
1281	第406図	黒色土器 椀	覆土 1/4	口 底	17.0 高 8.6	7.7 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転か)。高台部は足高。底部切り離し後 の付高台。内面の底部は一定方向。口縁部は横位を基本とす るヘラ磨き。外面の口縁部上位にも横位のヘラ磨き。
1282	第406図	黒色土器 椀	覆土、136住 口縁下位～高台 部	口 底	高 台	7.9 粗砂粒少/酸化焰/ 橙	ロクロ整形(回転方向不明)。高台部は底部回転糸切り後の 付高台。内面の底部中央に十字。口縁部寄りに螺旋状のヘ ラ磨き。 外面磨減。
1283	第406図 PL.180	土師器 ミニチュア	覆土 完形	口 底	3.0 高 2.1	2.1 精選/良好/にぶ い黄橙	鉢形を呈する。口縁部外面は縦位の磨き。底部外面も磨き。 内面は横位に丁寧なナデ。
1284	第406図	灰釉 皿	覆土 口縁部片	口 底	12.5 高	黒色鉍物粒少/還 元焰/灰白	ロクロ整形(回転方向不明)。内外面に施釉。 大原2号窯式 期。

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1285	第406図	須恵器 杯	床直 1/3	口 底	8.6 4.2	高 2.0	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。摩滅。
1286	第406図	須恵器 杯	覆土 1/4	口 底	9.4 4.5	高 2.1	粗砂粒・細砂粒/酸 化焰/浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1287	第406図	須恵器 杯	床直・覆土 1/3	口 底	9.6 5.0	高 2.4	粗砂粒少・赤黒色 粘土粒少/酸化焰/ 浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1288	第406図 PL.180	須恵器 杯	東壁際床直 完形	口 底	8.5 4.6	高 2.6	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面の一部に 炭素吸着。
1289	第406図 PL.180	須恵器 杯	覆土 3/4	口 底	10.0 4.6	高 2.6	粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1290	第406図	須恵器 椀	+12 口縁部片	口 底	15.9	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(左回転か)。	
1291	第406図 PL.180	土師器 小型甕か	2カマド燃烧部 口縁~胴部1/2	口 底	16.8	高	粗砂粒・軽石多/良 好/橙	口縁部は横ナデ。胴部上位は丁寧なナデ。中位以下は斜縦 位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
1292	第406図	土師器 小型甕	+17 口縁~胴部中位 片	口 底	17.6	高	粗砂粒・軽石/良好 /黒	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位 のヘラナデ。	炭素吸着。
1293	第406図 PL.180	土師器 甕	2カマド左壁際 口縁~胴部下位 1/3	口 底	26.0	高	粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/良好/灰 褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。上位にナデ の部分を残す。内面は横位のヘラナデ。	器面に炭素吸 着。黒色味。
1294	第406図	土師器 甕	床直、3区覆土 口縁~胴部上位 片	口 底	27.0	高	粗砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部外面は指押さえの痕跡が見られる。内面は横ナデ。 胴部外面は丁寧なナデ。内面は横位のヘラナデ。	器面に炭素吸 着。
1295	第406図 PL.180	土師器か 羽釜	カマド燃烧部床 直 口縁~胴部下位 3/4	口 底	21.0	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面 に横位・斜横位にヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。	被熱。

## 110住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1275	第405図 PL.181	須恵器 椀	掘り方覆土 3/4	口 底	10.8 4.7	高 4.8	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/浅黄 橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 粗雑な貼付後、周縁部にナデ調整。	
1276	第405図 PL.181	須恵器 椀	南壁際+29 口縁一部欠	口 底	13.1	高 4.8	粗砂粒/還元焰・酸 化焰/明黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	口縁部先端の 内外面に煤付 着。高台部先 端は全体に摩 耗。
1277	第405図 PL.181	灰釉 椀	覆土 底~高台部3/4	口 底		高 7.2	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。内面に重ね焼き痕。施釉は刷 毛塗りか。	大原2号窯式 期。
1278	第405図	灰釉 椀	南壁際床直 底~高台部	口 底		高 8.4	精選・黒色鋳物粒 少/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。底部外面はナデ調整。高台部は付高 台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面に重ね焼き痕。	内面磨耗。大 原2号窯式期。

## 111住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1296	第406図 PL.181	土師器 ミニチュア	床直 完形	口 底	2.8 2.6	高 2.8	細砂粒/良好/オリ 黒	鉢形を呈する。口縁部外面は底部近くにヘラ削り。これよ り上位は横位のヘラ磨き。底部外面はヘラ削りの上にヘラ 磨き。内面は横位にヘラ磨き。	器面は黒色処 理か。
1297	第406図 PL.181	須恵器 杯	西壁際床直 1/2	口 底	9.4 5.7	高 2.2	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面の一部炭 素吸着。
1298	第406図 PL.181	須恵器 杯	掘り方覆土 1/2	口 底	9.2 5.4	高 2.4	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い橙	底部切り離しは粗雑。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切 り後、無調整。	
1299	第406図 PL.181	須恵器 杯	東壁際床直 3/4	口 底	16.2 7.0	高 5.2	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・雲母/酸化焰 /にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部切り離し後、ヘラ削り、ヘラナデ。	底部を切り損 ねた粘土板を 貼付。補修し たか。
1300	第406図	須恵器 杯	カマド 口縁部1/4	口 底	16.6	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	内面に炭素吸 着。

## 112住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1301	第407図 PL.181	須恵器 杯	覆土 1/2	口 底	8.6 4.8	高 1.9	粗砂粒/酸化焰か/ 黒褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。底部の 切り離しは粗雑。	器面に炭素吸 着。黒色味。
1302	第407図	須恵器 杯	カマド右袖+18 3/4	口 底	8.9 5.0	高 2.3	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。
1303	第407図	須恵器 杯	東壁際+11 1/3	口 底	8.9 5.0	高 1.7	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1304	第407図	須恵器 杯	カマド右袖+14 1/3	口 底	9.7 5.3	高 2.2	粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。



No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1305	第407図 PL.181	須恵器 杯	南壁際+30 完形	口 底	8.6 5.0	高 2.1	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	外面の一部に 炭素吸着。
1306	第407図 PL.181	須恵器 杯	掘り方覆土 3/4	口 底	9.0 4.1	高 2.9	粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。内面は ヘラ状工具によるナデが渦巻き状を呈する。	
1307	第407図 PL.181	須恵器 杯	カマド焚口部+19 完形	口 底	8.8 5.5	高 2.6	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。底部は 切り離しが粗雑なため、器肉は厚くなる。	
1308	第407図	須恵器 杯か	カマド燃焼部+9 口縁部1/3	口 底	14.0	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/橙	器形は深くなる可能性あり。ロクロ整形(右回転)。	
1309	第407図 PL.181	須恵器 杯	カマド燃焼部+7 口縁一部欠	口 底	13.4 7.0	高 3.9	粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ 赤褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面やや炭素 吸着。
1310	第407図	須恵器 椀	カマド燃焼部+8 口縁下位～高台 部	口 底		高台 8.6	粗砂粒・軽石/酸化 焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	
1311	第407図	灰釉 皿か	掘り方覆土 口縁部片	口 底	12.7	高	精選/還元焰/灰黄	ロクロ整形(右回転)。施釉は漬け掛け。	大原2号窯式 期。
1312	第407図	灰釉 椀	カマド覆土 底～高台部片	口 底		高台 6.9	黒色鉍物粒/還元 焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は、底部回転ヘラ削り後の付 高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面に重ね焼き痕。	内面磨耗。大 原2号窯式期。
1313	第407図	須恵器 甕	覆土 胴部片	口 底		高	赤黒色粘土粒多/ 還元焰・軟質/黄灰	紐づくり後、ロクロ整形。	
1314	第407図 PL.181	鉄製品 刀子	覆土 茎破片	長 幅	(5.0 1.3	厚 重 0.6 5.70		刀子の茎と見られる鉄製品破片。錆化が著しく本体は脆弱 なため詳細形状は不明だが、刃側は破損後錆化茎尻は劣化 破損と見られる。	

### 113住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1315	第407図	須恵器 杯	覆土 1/4	口 底	8.4 5.0	高 2.1	粗砂粒・軽石・赤黒 色粘土粒/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸 着。
1316	第407図 PL.181	須恵器 杯	覆土 1/2	口 底	9.1 6.1	高 2.3	粗砂粒・白色鉍物 粒/酸化焰/にぶい 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面の一部に 炭素吸着。
1317	第407図	灰釉 椀	北壁際+20 口縁下位～高台 部1/4	口 底		高台 6.4	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転か)。高台部は低く断面三角形。底部回 転糸切り後の付高台。内面に施釉。	内面磨耗。虎 溪山1号窯式 期。
1318	第407図 PL.181	灰釉 椀	北壁際+7 口縁下位～高台 部片	口 底		高台 7.6	黒色鉍物粒少/還 元焰/灰黄	ロクロ整形(右回転)。高台部は断面三日月形。底部回転ヘ ラ削り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。施釉。内 面に刷毛塗り。	大原2号窯式 期。
1319	第407図	土師器 羽釜	カマド右袖+12 口縁～胴部上位 片	口 底	19.8	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/明赤褐	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、縦位のヘラ削り。ヘラナデ に近い。内面は斜横位のヘラナデ。	
1320	第407図 PL.181	土師器 甕	覆土 胴部片	口 底		高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/良好/にぶい 橙	甕の胴部を切断し、甕として再利用する過程で胴部外面に 線刻状の切断痕が見られる。甕の整形としては外面ヘラ削 り。内面はナデ。	

### 114住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1321	第407図 PL.181	土師器 甕	覆土 口縁～胴部中位 1/4	口 底	20.0	高	粗砂粒/良好/にぶ い黄褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は縦位のヘラ削り。頸部との間 にナデの部分幅を幅広く残す。内面は横位のヘラナデ。	被熱。器面に 炭素吸着。
1322	第407図	土師器 甕	覆土 口縁～胴部上位 片	口 底	24.2	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい赤褐	外面は口縁部上半に横ナデ。頸部にヘラナデ。胴部はナデ の上に斜横位のヘラナデ。内面はヘラナデ。	
1323	第407図 PL.181	土師器 甕か	覆土 口縁～胴部中位 1/3	口 底	27.8	高	粗砂粒・軽石/良好 /灰褐	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。罅部には 直径0.5cmの小孔が貫通する部分がある。胴部外面は縦位 のハケ目の上に上位では縦位のナデを、下位では縦位のヘ ラ削りを施す。内面は上位に横位のナデを。以下は斜横の ハケ目。	器面に炭素吸 着。内面中位 磨減。

### 116住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1324	第407図 PL.181	須恵器 杯	覆土 口縁一部欠	口 底	8.7 5.2	高 2.3	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	外面の一部炭 素吸着。

### 118住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1325	第408図	須恵器 杯	カマド左袖+14 口縁下位～底部 1/3	口 底	7.8	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1326	第408図	須恵器 椀	覆土 口縁下位～高台 部	口 底		高台 6.0	粗砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	
1327	第408図 PL.181	須恵器 椀	床直・覆土 底～高台部1/2	口 底		高台 13.4	粗砂粒/酸化焰/に ぶい褐	ロクロ整形(右回転)。	内面に炭素吸 着。

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1328	第408図 PL.181	灰釉 椀	床直 口縁下半～高台 部	口 底		高	8.2 精選/還元焰/灰黄 釉	ロクロ整形(右回転)。口縁部最下位に回転ヘラ削り。高台 部は高く、底部回転ヘラ削り後の付高台。内面全面に施 釉。	大原2号窯式 期。	
1329	第408図 PL.181	土師器 甑	カマド燃焼部 1/4	口 底	28.6 21.4	高	14.8 粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/良好/ 橙	胴部の途中で切断し、甑としたもの。切断面は丁寧に二次 調整を施し平滑な面が作られている。1ヶ所上方に縷り込 まれた部分が見られ、ここで破断している。甕としての整 形は、口縁部は横ナデ。胴部外面は横位にハケ目状の粗雑 なナデ。内面は斜位のヘラナデ。	器面に炭素吸 着。破砕後、 被熱。内面摩 滅。	
1330	第408図	土師器 羽釜	床直 口縁～胴部上位 片	口 底	20.6	高		粗砂粒・軽石/良好/ 橙	口縁部は横ナデ。鏝部を貼付後、胴部外面に斜縦位のヘラ 削り。内面は横位のヘラナデ。	
1331	第408図	須恵器 羽釜	南西隅+9 口縁～胴部上位 片	口 底	19.4	高		粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形(右回転)。鏝部は外面整形後の貼 付。	
1332	第408図	須恵器 羽釜	掘り方-7 口縁～胴部上位 片	口 底	19.8	高		粗砂粒/酸化焰/灰 黄	紐づくり後、ロクロ整形。鏝部は貼付後、周縁部に横ナデ。	器面の一部に 煤吸着。
1333	第408図 PL.181	鉄製品 刀子	床直 3/4	長 幅	14.6 2.0	厚 重	1.6 28.1		細身で長い刀子で棟・刃側共に明瞭な間を持つ。茎は1.5 cm程で劣化破損するが表面には柄と見られる広葉樹散孔材 の木質が残る。棟は先端近くで刃先側に僅かにうつむく。	

## 119住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1334	第408図 PL.181	土師器 椀	南西隅+7・覆土 底部1/2	口 底		高 台	7.0 粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部外面下位はヘラ削りと考えられる。高台部は付け高 台。外面の砂底の底部に貼付。その後、周縁部にナデ調整。	器面摩滅。	
1335	第408図 PL.181	須恵器 杯	掘り方覆土 1/3	口 底	11.3 5.0	高	3.9 粗砂粒・赤黒色粘 土粒少/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面摩滅。	
1336	第408図	須恵器 椀	+11 底～高台部	口 底		高 台	8.6 粗砂粒・灰黒色粘 土粒/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。		
1337	第408図	土師器 甕	覆土 口縁部片	口 底	19.6	高		粗砂粒・雲母・軽石 /良好/にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。胴部外面は横位のヘラ削り。内面は横位 のヘラナデ。	被熱。摩滅。
1338	第408図	土師器 羽釜か	+13 胴下位～底部	口 底	6.6	高		粗砂粒/角閃石・雲 母/良好/にぶい橙	胴部外面は縦位のヘラ削り。内面はヘラナデ。底部外面は 砂底。	被熱。
1339	第408図 PL.181	石製品 砥石	覆土 完形	長 幅	17.5 5.1	厚 重	6.8 896.0	砥沢石	三面使用?左側面を除く各面を砥面として使用する。背面 側を除く砥面には折断面が部分的に残る。小口部両端・左 側面は粗い磨き整形が施される。	切り砥石

## 120住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1340	第408図	須恵器 椀	+13 底部～高台部	口 底		高 台	6.0 粗砂粒/酸化焰/灰 白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。		
1341	第408図	須恵器 椀	床直 口縁下位～高台 部	口 底		高 台	6.3 粗砂粒・赤黒色粘 土粒・雲母/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。	内面に炭素吸 着。	
1342	第408図	須恵器 椀	床直 底～高台部	口 底		高 台	8.0 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。 貼付後、周縁部にナデ調整。		
1343	第408図 PL.181	金属製品 不詳	掘り方覆土 破片	長 幅	1.7 0.8	厚 重	0.6 1.28		銅錆色で断面楕円形不定形の銅滓状遺物で表面は凹凸多く 詳細不明。	

## 121住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1344	第409図 PL.182	須恵器 杯	カマド燃焼部 1/2	口 底	8.6 4.8	高	1.7 粗砂粒/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1345	第409図	須恵器 杯	床直 1/3	口 底	8.6 5.3	高	2.1 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/浅黄 橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1346	第409図 PL.182	須恵器 杯	掘り方覆土 3/4	口 底	9.5 5.9	高	2.3 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1347	第409図 PL.182	須恵器 杯	床直 口縁一部欠	口 底	9.4 6.4	高	2.5 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	外面やや炭素 吸着。
1348	第409図 PL.182	須恵器 杯	+17 3/4	口 底	9.4 5.3	高	2.1 粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に黒色の 付着物。
1349	第409図	須恵器 杯	+21 1/4	口 底	9.2 5.9	高	2.1 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に黒色の 付着物。
1350	第409図	須恵器 杯	床直 1/2	口 底	9.6 6.1	高	2.1 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1351	第409図 PL.182	須恵器 杯	+28 3/4	口 底	9.9 6.3	高	2.2 粗砂粒・軽石多/酸 化焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1352	第409図	須恵器 杯	覆土 1/3	口 底	9.8 6.0	高	2.5 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考		
1353	第409図	須恵器 杯	+29 1/4	口底 10.4 6.0	高 2.3	粗砂粒/酸化焰/浅黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面やや摩滅。	
1354	第409図	須恵器 杯	+20 1/2	口底 14.0 5.5	高 4.1	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、周縁部にヘラ削り。	器面に炭素吸着。	
1355	第409図	須恵器 杯	貯蔵穴 口縁～底部1/2	口底 5.8	高	粗砂粒・角閃石/酸 化焰/浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。		
1356	第409図 PL.182	須恵器 椀	床直 1/2・台部欠	口底 13.5	高	粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。剥離している。		
1357	第409図 PL.182	須恵器 椀	カマド右袖+11 口縁一部欠	口底 14.7	高台 5.7 7.3	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	口縁部外面に墨書「中」。	
1358	第409図 PL.182	須恵器 椀	カマド左壁+8 口縁一部欠	口底 14.9	高台 5.3 7.1	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	口縁部外面に墨書「上」。器面に炭素吸着。	
1359	第409図 PL.182	須恵器 椀	カマド右壁+7 口縁一部欠	口底 14.4	高台 5.6 6.9	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にやや粗雑なナデ調整。	内面摩耗。口縁部外面に墨書「上」。	
1360	第409図 PL.182	須恵器 椀	+16 完形	口底 11.3 6.5	高 5.1	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/浅黄 橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	焼成時、底部に亀裂が生じたか。	
1361	第409図 PL.182	須恵器 椀	カマド煙道部 完形	口底 11.5	高台 5.0 6.6	粗砂粒/酸化焰/黄 橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。		
1362	第409図	須恵器 椀	+10 1/4	口底 14.7	高台 5.9 7.8	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。		
1363	第409図 PL.182	須恵器 椀	床直 完形	口底 13.6	高台 5.6 7.4	粗砂粒・赤黒色粘 土粒多/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。		
1364	第409図 PL.182	須恵器 椀	掘り方覆土 3/4	口底 14.3	高台 5.2 6.7	粗砂粒/酸化焰/灰 黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。	
1365	第409図	須恵器 椀	+18 1/4	口底 14.9	高台 4.9 8.7	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	外面の一部に炭素吸着。内面摩耗。	
1366	第409図 PL.182	須恵器 椀	貯蔵穴 3/4・台部欠	口底 14.2	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/黒褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。内面摩耗。	
1367	第410図 PL.182	土師器 羽釜	カマド燃焼部 口縁～胴部下位 1/2	口底	19.8	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/良好/ 明赤褐	口縁部は横ナデ。鏝部貼付後、胴部外面にヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。胴部外面摩滅。
1368	第410図 PL.182	土師器か 甑	床直・貯蔵穴 口縁～胴部下位	口底	29.4	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/良好/ 明赤褐	口縁部は横ナデ。鏝部貼付後、周縁部を横ナデ。その後、縦位にヘラ削り。鏝部には鏝を上下に貫通する直径0.8cm余りの小孔が2孔1単位で3ヶ所に配されている。胴部内面は横位のナデ。	
1369	第410図 PL.182	土師器 甑	カマド煙穴 口縁～胴部中位 1/2	口底	24.8	高	粗砂粒・軽石/良好 /にぶい黄褐	口縁部は横ナデ。鏝部貼付後、胴部外面に縦位のヘラ削り。鏝部には直径0.5cmの小孔が貫通する部分がある。内面は横位のヘラナデ。	被熱。器面に炭素吸着。
1370	第410図	土師器 甕	貯蔵穴 口縁～胴部上片	口底	24.0	高	粗砂粒/良好/にぶ い赤褐	胴部はもっと張る可能性あり。口縁部は横ナデ。胴部外面は口縁部との間にナデの部分を残し、以下は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	器面に炭素吸着。
1371	第410図 PL.182	土師器 甑	カマド燃焼部・ 覆土、118・120 住、344坑 胴部下位～端部	口底	23.0	高	粗砂粒・軽石/良好 /褐灰	胴部外面は縦位のヘラ削り。裾部は横ナデ。胴部内面には横位のヘラナデ。裾部は横ナデ。	器面に炭素吸着。裾部の亀裂が入った部分は粘土を貼り修正した痕跡が見られる。
1372	第410図 PL.182	須恵器 台付甕	貯蔵穴 底～台部	口底	高台 17.2	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	紐づくり後、ロクロ整形。胴部外面は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	器面の一部に炭素吸着。	
1373	第410図 PL.182	鉄製品 釘	覆土 3/4	長幅 7.9 1.4	厚重 1.0 16.52		断面正方形の角釘で先端に向け細くなるが端部は劣化破損する。頭部広くなるが角形で折り曲げ等は見られない。		
1374		礫石器 カマド石?	床直 破片	長幅 (22.5) (18.5)	厚重 (11.8) 3412.2		未固結凝灰岩	各面とも平坦に整形されているが、整形工具等については不明。断面三角形を呈す。	

122住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1379	第411図 PL.183	須恵器 椀	床直 完形	口底 9.3	高台 4.3 4.8	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。外面は口縁部が横位のヘラ磨き。内面は口縁部が横位の、底部が一定方向のヘラ磨き。	
1380	第411図 PL.183	黒色土器か 椀	西壁際床直 口縁一部欠	口底 9.3	高台 3.7 4.7	粗砂粒/酸化焰/明 黄褐	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。口縁部外面は横位のヘラ磨き。内面は口縁部が横位の、底部が一定方向のヘラ磨き。	内面を黒色処理後、被熱か。
1381	第411図 PL.183	黒色土器か 椀	東壁際+19 3/4	口底 9.0	高台 3.3 4.5	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。口縁部外面は横位のヘラ磨き。内面は口縁部が横位の、底部が一定方向のヘラ磨き。	内面を黒色処理後、被熱か。
1382	第411図 PL.183	須恵器 耳皿	床直 口縁一部欠	口底 9.8	高台 4.6 5.0	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面摩滅。
1383	第411図 PL.183	須恵器 椀	カマド左袖+8 1/2	口底 16.2	高台 5.9 8.4	粗砂粒・角閃石・雲 母/酸化焰/浅黄	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後周縁部にナデ調整。	器面に炭素吸着。摩耗。

## 5区観察表

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1384	第411図 PL.183	須恵器 椀	床直 口縁部片	口底 14.4	高 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(回転方向不明)。	器面摩滅。	
1385	第411図 PL.183	灰釉 転用硯	+20 口縁部下半~高 台部3/4	口底 高台	6.1 精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は低く断面三日月形。底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面に施釉。	内面磨耗。一部朱墨痕。硯に転用。大原2号窯式期。	
1386	第411図 PL.183	灰釉 転用硯	カマド覆土 口縁部下位~高 台部	口底 高台	5.1 黒色鈹物粒/還元 焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部ナデ調整後の付高台。	内面の摩耗顕著。朱墨痕。硯に転用。虎溪山1号窯式期。	
1387	第411図	土師器 甕	カマド焚口・覆 土 口縁~胴部中位 片	口底 14.0	高 粗砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は丁寧なナデの後、縦位に磨きに近いヘラナデ。内面は横位のヘラナデ。	器面に炭素吸着。	
1388	第411図 PL.183	土師器 釜	覆土 脚部	幅底 3.4	高厚 3.2	粗砂粒/良好/灰褐	中実の棒状品。釜あるいは鍋の支えと考えられる。長さ13.5cmで上端には本体から剥落した痕跡が観察できる。器面には指押え、指ナデが明瞭に残る。	器面に炭素吸着。黒色。1389と同一個体。
1389	第411図 PL.183	土師器 釜	覆土 脚部	幅底 3.6	高厚 2.8	粗砂粒/良好/灰褐	中実の棒状品。釜あるいは鍋の支えと考えられる。長さ13.5cm。器面には指押え、指ナデが明瞭に残る。	器面に炭素吸着。黒色。1388と同一個体。
1390	第411図	埴輪 形象器材	床直・覆土・カ マド 破片	口底 高	小礫・粗砂粒/窖窯 焼成/橙	太刀形埴輪等の本体最下位から基部上位片である。外面は縦ハケ(6本/1cm)後、断面台形の突帯を2条貼付。その後、周縁部に横ナデ。内面は斜横位のナデ。基部に円形の小さな透孔を配す。		
1391	第411図 PL.183	埴輪 円筒	南壁際+23 破片	口底 高	粗砂粒/窖窯焼成 ・やや不良/橙	外面に縦ハケ(4本/1cm)後、断面三角形の突帯貼付。その後、周縁部に横ナデ。内面は縦位のナデ。		
1392	第411図 PL.183	鉄製品 刀子	+18 3/4	長幅 13.3 2.3	厚重 0.8 33.08	棟・刃側ともに明瞭な関を持つ刀子。刃の幅の割に棟は厚めで刃先端側は劣化破損により欠く。茎も厚く長いやや下側に曲がり先端は劣化破損する。		
1393	第411図 PL.183	鉄製品 刀子	床直 3/4	長幅 13.2 1.6	厚重 0.8 11.85	棟・刃側ともに関を持つ刀子で刃は短く端部は角形で破損と見らる。茎は細長く端部はやや丸みを持つ角で終わる。茎の表面には柄と思われる針葉樹材が錆化しのこる。		
1394	第411図 PL.183	鉄製品 釘	覆土 完形	長幅 9.7 1.4	厚重 1.2 18.3	断面正方形の角釘で先端に向かい徐々に細くなり先端ほどがりが気味。頭側は広がるが折り曲げ等は見られない。		

## 124住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1397	第412図	土師器 杯	掘り方・カマド 覆土 破片	口底 11.8 6.4	高 3.6	粗砂粒/良好/黒褐	口縁部上半は横ナデ。下半は斜位のヘラ削り。底部外面はヘラ削り。	器面に炭素吸着。
1398	第412図	須恵器 椀	覆土 口縁下位~高台 部片	口底 高	粗砂粒・軽石少/還 元焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は付高台。		
1399	第412図	土師器 羽釜	南壁際、120・129 住 口縁~胴部上位 片	口底 18.6	高 粗砂粒・軽石/良好 /にぶい橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、胴部外面に斜縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	外面に炭素吸着。	

## 125住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1400	第412図 PL.183	須恵器 杯	南西隅+20 口縁一部欠	口底 8.3 5.8	高 2.6	粗砂粒少/酸化焰/ 浅黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。底部の切り離しが粗雑な為、底部の器肉厚い。	器面の一部炭素吸着。
1401	第412図 PL.183	須恵器 杯	カマド燃焼部+7 3/4	口底 9.3 4.5	高 2.3	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1402	第412図	土師器 羽釜	カマド燃焼部+7 口縁部片	口底 23.3	高 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	口縁部は横ナデ。内面は横位のヘラナデ。	器面摩滅。	
1403	第412図 PL.183	土製品 土錘	覆土 完形	長巾 3.3 0.8	孔重 0.3 2.0	精選/酸化焰か/灰 黄褐	器面はいずれも平滑に仕上げられている。両小口はヘラ状工具で切られている。	
1404	第412図 PL.183	鉄製品 紡錘車	カマド覆土 紡輪完形	長幅 4.1 4.1	厚重 0.5 11.69	直径4.1cm厚さ0.1cm程の円形の紡輪で中央に0.4cmの円孔が有りその周囲はめくれるように片側に反り返る。		

## 126住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1405	第412図 PL.183	須恵器 杯	貯蔵穴+13 2/3	口底 9.8 6.5	高 2.1	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1406	第412図	須恵器 杯	貯蔵穴+14 1/3	口底 8.8 5.0	高 2.0	粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(左回転か)。底部回転糸切り後、無調整。	
1407	第412図	土師器 甕	カマド燃焼部 口縁~胴部上位 片	口底 27.0	高 粗砂粒・石英・軽石 /酸化焰/にぶい橙	口縁部は横ナデ。胴部外面はヘラナデ・ヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。		

## 127住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1395	第411図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口 底	13.7	高	粗砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形(右回転)。	
1396	第411図	須恵器 杯か	覆土 口縁中位～底部 片	口 底	8.0	高	粗砂粒/酸化焰/灰 白	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り。	底部摩滅のため観察不能。高台部が剥落した様にも見える。

## 128住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1408	第412図 PL.183	須恵器 杯	西壁際+29 完形	口 底	8.8 4.5	高	2.1 粗砂粒・軽石/酸化 焰/褐灰	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。底部の切り離しはやや粗雑。	器面に炭素吸着。やや摩耗。
1409	第412図	須恵器 杯	覆土、135住 1/4	口 底	8.7 4.5	高	2.0 粗砂粒/酸化焰/明 褐	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1410	第412図	須恵器 椀	カマド右壁+6 口縁下位～高台 部	口 底		高 台	7.7 粗砂粒/酸化焰/浅 黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。	器面摩滅。外面に黒色の付着物。
1411	第412図	灰釉 甕	カマド+22、119 住 口縁上位～頸部 1/4	口 底		高	白色・黒色鋳物粒 /還元焰/灰白	ロクロ整形(左回転)。内外面に釉付着。	
1412	第412図 PL.183	土師器 羽釜	カマド燃焼部 口縁～胴部中位 片	口 底	27.8	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/良好/ 明赤褐	口縁部先端を始め、器形は歪んでいる。口縁部は横ナデ。鏝部貼付後、胴部外面に縦位のへら削り。内面は横位のへらナデ。	被熱。
1413	第412図	土師器 羽釜	カマド右袖+17 口縁～胴部上片	口 底	25.6	高	粗砂粒・軽石/良好 /にぶい黄橙	口縁部は横ナデ。鏝部の断面は他例の様に尖らず上端に幅を有する。胴部外面はへらナデに近いへら削り。内面は横位のへらナデ。	器面に炭素吸着。
1414	第412図 PL.183	鉄製品 不詳	覆土 破片	長 幅	10.0 4.1	厚 重	1.1 30.27	厚さ0.15～0.2cm程の薄い板状鉄製品で、木の葉形で一端は劣化破損する、断面で刃部の様な状況は確認できず木質等の付着も見られない。	

## 129住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1418	第413図	須恵器 杯	覆土 口縁部片	口 底	9.8 6.2	高	2.4 粗砂粒/酸化焰/灰 黄褐	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸着。
1419	第413図	須恵器 杯	+20 口縁部片	口 底	14.6	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	
1420	第413図 PL.183	須恵器 羽釜	床直、130住 口縁～胴部上位 片	口 底	32.2	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	紐づくり後、ロクロ整形。鏝部は貼付後、周縁部に横ナデ。鏝部には1ヶ所直径0.6cmの孔が貫通する。	被熱。

## 130住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1421	第413図 PL.183	黒色土器 椀	床直 口縁下位～高台 部	口 底		高 台	7.3 粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。内面はへら磨き。	内面は黒色処理。外面の一部にも炭素吸着。
1422	第413図	須恵器 杯	覆土 1/4	口 底	9.2 6.8	高	2.0 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸着。
1423	第413図	須恵器 椀	カマド 口縁部片	口 底	15.9	高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。	被熱。
1424	第413図	須恵器 甕	覆土、131住 頸部片	口 底		高	黒色鋳物粒/還元 焰/灰オリーブ	紐づくり後、口縁部はロクロ整形。胴部は叩き整形後ナデ。	外面に自然釉付着。
1425	第413図 PL.183	鉄製品 紡錘車	+15 1/2	長 幅	7.3 0.5	厚 重	0.5 17.6	直径4cm厚さ0.25cmの円形棒輪と径0.3cmの棒軸破片で、棒軸は両端とも劣化破損し、一方は棒輪から2cm程でくの字に曲がる。糸等の痕跡は認められない。	
1426	第413図	鉄製品 刀子	覆土 破片	長 幅	3.3 1.0	厚 重	0.5 2.3	断面狭三角形の刀子先端部と思われる破片。端部より1.5cm程で急に細くなり先端は尖る。	
1427	第413図 PL.183	金属製品 容器	+12 破片	長 幅	6.00 2.3	厚 重	0.4 5.01	厚さ0.1mm程で端部に高さ0.4cm厚さ0.5cm程の縁を持つ容器と口縁と見られる金属製品破片。錆の状況から銅を含む金属と見られるが未分析のため詳細は不明。縁は緩やかにカーブするが劣化破損するため本来の形状は推定困難。	

## 131住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1428	第413図	灰釉 椀	床直 口縁部片	口 底	16.4	高	精選・黒色鋳物粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。施釉。刷毛塗りか。	大原2号窯式期。
1429	第413図	灰釉 椀	北西隅-11 口縁部片	口 底	14.8	高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。施釉。漬け掛けか。	内面磨耗。大原2号窯式期。
1430	第413図	須恵器 羽釜	覆土 口縁部片	口 底	18.8	高	粗砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。鏝部貼付後、胴部外面に縦位のへら削り。	

## 132住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1431	第413図	土師器 甕	覆土 口縁～胴部上位 片	口 底	27.6 高	粗砂粒・軽石/良好/ にぶい褐	口縁部は横ナデ。胴部外面は口縁部との間にナデの部分を残し、以下は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。炭素吸着。内面摩滅。
1432	第413図	土師器 甕	カマド燃焼部 口縁～胴部片	口 底	21.0 高	粗砂粒・軽石多/良好/ 灰黄褐	細かな凹凸を持つ。整形面に斜横位のヘラ削り。内面最下位にも横位のヘラ削り。これより上位はヘラナデ。	器面に炭素吸着。内面摩滅。

## 133住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1433	第413図 PL.183	須恵器 杯	東壁際床直 完形	口 底	9.4 高 6.3	2.0 粗砂粒少/酸化焰/ にぶい黄橙	器形は大きく歪む。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。底部の切り離しは粗雑。	
1434	第413図	須恵器 杯	南壁際床直 1/4	口 底	13.8 高 7.8	3.6 粗砂粒/酸化焰/暗 灰黄	ロクロ整形(左回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸着。
1435	第413図	須恵器 杯	掘り方覆土 1/4	口 底	12.8 高	粗砂粒/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転か)。	

## 134住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1375	第410図	須恵器 杯	覆土・カマド 1/3	口 底	8.0 高 5.0	1.9 粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/淡黄	器形は大きく歪む。ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1376	第410図	須恵器 椀	覆土 口縁部片	口 底	11.6 高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。	
1377	第410図	須恵器 椀	覆土 底～高台部上位 片	口 底	高	粗砂粒/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は付高台。	
1378	第410図	灰釉 段皿	覆土 口縁部片	口 底	10.8 高	精選/還元焰/灰白	ロクロ整形(左回転か)。	虎溪山1号～ 丸石2号築式 期。

## 135住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1415	第412図	須恵器 杯	覆土 破片	口 底	8.7 高 5.4	2.1 粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1416	第412図	須恵器 杯	覆土・掘り方 口縁部片	口 底	15.4 高	粗砂粒/酸化焰/黄 灰	口径は小さくなる可能性あり。ロクロ整形(右回転か)。	器面に炭素吸着。
1417	第412図 PL.184	土製品 円板	床直 底部一部欠損	口 底	高	粗砂粒・軽石/酸化 焰/褐灰	ロクロ整形(右回転)。杯の底部を二次利用した円板品。横9.1cm。厚さ1.4cm。割れ口は磨って平滑に仕上げている。土器の内面側中央に直径0.2cm、深さ0.1cmの小孔が見られる。	

## 136住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1436	第414図 PL.183	須恵器 杯	+9 3/4	口 底	8.6 高 4.7	2.1 粗砂粒/酸化焰/褐 灰	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	器面に炭素吸着。
1437	第414図 PL.183	須恵器 杯	北西隅+8 完形	口 底	8.7 高 5.8	2.4 粗砂粒/酸化焰/ にぶい黄	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1438	第414図 PL.183	土師器 甕	カマド左壁+10 口縁～胴部中位 片	口 底	23.8 高	粗砂粒・軽石/良好/ 橙	口縁部は横ナデ後、胴部外面上位の一部に縦位のヘラナデ。他は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。
1439	第414図	土師器 甕	カマド左壁+12 口縁～胴部上位 片	口 底	30.6 高	粗砂粒・雲母・角閃 石/良好/にぶい橙	口縁部が波打っており、胴部の形状が正しく想定できない。胴部が張る可能性あり。口縁部は横ナデ。胴部外面は斜縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。
1440	第414図 PL.183	土師器 甕	カマド右壁+8 口縁～胴部上位 片	口 底	27.4 高	粗砂粒・軽石/良好/ 明赤褐	口縁部は横ナデ、胴部外面最上位は縦位のヘラナデ。以下は縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	内面摩滅。
1441	第414図 PL.183	土師器 羽釜	カマド煙道部 口縁～胴部中位 1/3	口 底	19.6 高	粗砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ。突出度の小さい鏝部は貼付後、周縁部に横ナデ。胴部外面は斜位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	被熱。
1442	第414図 PL.183	鉄製品 不詳	掘り方覆土 破片	長 幅	2.5 厚 1.0 重 0.9 2.48		断面輪状で一端部で閉じる、中空キャップ状の鉄製品。	

## 137住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1443	第414図 PL.184	黒色土器 杯	+18 1/2	口 底	9.4 高 4.5	1.9 粗砂粒/酸化焰か/ 黒褐	ロクロ整形(右回転)。内外面とも全面にヘラ磨き。	全面に黒色処理。地の色調不明。
1444	第414図 PL.184	須恵器 杯	東壁際+7 4/5	口 底	9.3 高 5.7	2.7 粗砂粒/酸化焰/ にぶい橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1445	第414図 PL.184	須恵器 杯	カマド焚口部 1/2	口 底	11.0 高 6.2	3.2 粗砂粒・軽石・角閃 石/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転か)。底部回転糸切り後、無調整。	
1446	第414図	須恵器 椀	カマド燃焼部 1/4	口 底	15.2 高	粗砂粒/酸化焰/ にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は欠落。	器面に炭素吸着。黒色味。

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1447	第414図 PL.184	須恵器 鉢か	カマド左袖 2/3	口 底	9.9 5.6	高 6.6	粗砂粒・軽石・角閃 石/酸化焰/にぶい 黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1448	第414図 PL.184	鉄製品 不詳	掘り方北東隅 -37 完形	長 幅	15.8 0.8	厚 重 17.45		断面長方形の角棒状鉄製品で一端に向かい緩やかに細くなるが端部は丸みを持ち尖らない。他端は角形で終わり折り返し等の加工は見られない。	

### 138住居

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1449	第414図 PL.184	土師器 甕	覆土 胴部片	口 底		高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい橙	甕の胴部破片である。外面に胴部を途中で切断し601の様に甕の形状に再加工する為の工具痕が見られる。甕の整形としては外面にヘラ削り。内面にナデ。	
1450	第414図	土師器 羽釜	西壁際+13 口縁～胴部上位 片	口 底	21.0	高	粗砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、胴部外面に縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。	
1451	第414図 PL.184	須恵器 転用碗	西壁際+14 胴部片	口 底		高	粗砂粒・赤黒色粘 土粒・軽石/還元焰/ 灰	甕の胴部破片の割れ口を二次調整。内面全体を磨面としている。残存長は13.8cm。	

### 8 竪穴

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1452	第414図 PL.184	須恵器 椀	床直 口縁部片	口 底	14.8	高	粗砂粒/酸化焰/淡 黄	ロクロ整形(右回転)。	整形後に粘土塊を貼付。ひび割れなどを補修した為か。
1453	第414図 PL.184	土師器か 羽釜	床直 口縁～胴部下位 片	口 底	20.0	高	粗砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部は横ナデ。罅部貼付後、胴部外面に縦位のヘラ削り。内面は横位のヘラナデ。内面に工具の当たった痕跡あり。	
1454	第414図 PL.184	緑釉 皿	南東隅+4 口縁下位～底部 片	口 底		高	精選・灰色粘土/還 元焰/灰オリープ	ロクロ整形。	内外面施釉。東海産。10世紀代。

### 174土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1455	第415図 PL.184	須恵器 杯	+18 口縁一部欠	口 底	8.8 5.4	高 2.6	粗砂粒・赤黒色粘 土粒/酸化焰/にぶ い黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	

### 175土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1456	第415図 PL.184	黒色土器 椀	+18 3/4	口 底	11.6 5.9	高 4.2	粗砂粒/酸化焰/灰 黄	ロクロ整形(右回転か)。高台部は底部切り離し後の付高台。貼付後、周縁部にナデ調整。口縁部外面は横位のヘラ磨き。内面は口縁部は横位、底部は一定方向に丁寧なヘラ磨き。	内外面黒色処理。

### 197土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1457	第415図 PL.184	鉄製品 不詳	+16 破片	長 幅	10.5 1.1	厚 重 11.35		断面長方形の角棒状鉄製品で一端に向かい緩やかに細くなるが端部は丸みを持ち尖らない。他端は劣化破損する。	

### 211土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1458	第415図 PL.184	須恵器 杯	+14、197坑 口縁一部欠	口 底	9.2 5.0	高 2.1	粗砂粒/酸化焰/橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	
1459	第415図 PL.184	鉄製品 不詳	+8 破片	長 幅	11.1 4.7	厚 重 121.7		断面丸みのある三角形の鑄造鉄製品破片。一端に向け広がり丸みを持った端部を形成する。他端は細くなりながら劣化破損する。	

### 212土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1460	第415図	灰釉 段皿	覆土 口縁部片	口 底	12.8	高	黒色鉱物粒少/還 元焰/灰白	ロクロ整形(右回転)。内面に施釉。	虎渓山1号～丸石2号窯式期。

### 237土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1461		礫石器 磨石?	覆土 完形	長 幅	4.7 4.2	厚 重 101.0	粗粒輝石安山岩	表裏面とも摩耗しているようにみえる。形状から見て意図的にも持ち込んだことは確かだが、詳細は不明。	球形礫

### 239土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1462	第415図	須恵器 羽釜	覆土 口縁部片	口 底	19.8	高	粗砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。罅部貼付後、周縁部に横ナデ。	内面に黒色の付着物。煤か。

## 5区観察表

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1463	第415図 PL.184	鉄製品 刀子	覆土 1/2	長 幅	6.4 厚 1.3 重	0.9 7.4		棟側に明瞭な関を持つ刀子で刃は短い、関は40°程に横に曲がり劣化破損する。茎に木質等の痕跡は見られない。	

## 246土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1464	第415図	緑釉 杯か	覆土 口縁部片	口 底		高	精選/還元焰/灰黄褐	ロクロ整形(右回転)。内面は陰刻文か。工具のあたった痕跡か。内外面に施釉。	外面の釉剥落。東海産。10世紀前半。

## 258土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1465	第415図	土師器 羽釜か	覆土 口縁～胴部上位片	口 底	22.6	高	粗砂粒/良好/にぶ い褐	鏝部は剥落と考えられる。口縁部は波を打つか。小破片のため形状は不明。もつと胴部は張るか。口縁部は横ナデ。胴部外面に斜横位のヘラナデ。内面も斜横位のヘラナデ。	

## 263土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1466	第415図 PL.184	土師器 甕	覆土 胴部片	口 底		高	粗砂粒/酸化焰/黄 灰	甕の胴部破片である。外面に胴部を途中で切断し30474の様 に甕の形状に再加工する為の工具痕が見られる。甕の整 形としては外面にヘラ削り。内面にナデ。	器面に炭素吸着。黒色味。

## 269土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1467	第415図 PL.184	土製品 羽口	+8 破片	長 短	6.5 厚 7.0 重	4.1 94.3		基部・先端とも欠く羽口小破片。表面は灰色発泡するが両 端破損のため詳細は不明。外径80mm孔径22mm挿入角度計測 不可。	

## 344土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1468	第415図	須恵器 杯	覆土 口縁下位～底部	口 底	5.4	高	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	

## 345土坑

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1126	第415図 PL.184	鉄製品 釘	覆土 破片	長 幅	(2.6) 0.5 厚 重	0.2 0.64		断面正方形で角釘破片で一端は劣化破損する。	

## 3河道

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1469	第415図	黒色土器 椀	覆土 口縁下位～高台 部	口 底		高 台 7.0	粗砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。高台部は底部回転糸切り後の付け高 台。内面は底部中央から放射状にヘラ磨き。	内面黒色処理。
1470	第415図 PL.184	石製品 五輪塔	覆土 地輪・完形	高 幅	18.2 29.7 重	21250.0	二ツ岳石	裏面側を除き各面ともよく磨き整形されている。正面側に 斜向する刃ならし傷様の線条痕が残る。	

## 遺構外の出土遺物

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm, g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1471	第415図	須恵器 杯	2面 1/2	口 底	8.4 5.0 高	2.2	粗砂粒・軽石/酸化 焰/にぶい黄橙	ロクロ整形(右回転)。底部回転糸切り後、無調整。	外面の一部に 炭素吸着。
1472	第415図 PL.184	土師器 釜	2面 脚部破片	中 底	2.6 厚 1.8		粗砂粒/良好/にぶ い黄褐	横断面は長円形を呈する。931同様、釜の脚部か。	天地不明。
1473	第415図	土製品 土錘	一括 完形	長 幅	3.4 0.9 孔 重	0.3 2.0	粗砂粒少/酸化焰/ 明赤褐	両小口面とも面は作られていない。図示の裏側はへこむ。	鉄分凝集。
1474		石製品 砥石	一括 1/2	長 幅	(7.1) (3.5) 厚 重	(2.3) 49.1	砥沢石	四面使用。表裏面とも激しく研ぎ減る。上端側小口部を粗 く磨き整形。下端側を大きく破損する。	切り砥石
1475		石製品 砥石	1面 1/2	長 幅	(7.0) (2.7) 厚 重	1.6 45.0	砥沢石	四面使用。表裏面とも激しく研ぎ減る。上端側小口部を粗 く磨き整形する。下端側破損部を弱く磨き整形、破損後も 継続使用した可能性がある。	切り砥石
1476	第415図 PL.184	鉄製品 刀子	一括 破片	長 幅	(1.6) 0.8 厚 重	0.4 0.55		断面狭い三角形の刀子刃部破片で切っ先および茎側は劣化 破損する。	
1477	第415図 PL.184	鉄製品 不詳	一括 破片	長 幅	4.2 1.4 厚 重	1.3 7.00		不定形で内部空洞環状の鉄、詳細不明。	
1478	第415図 PL.184	金属製品 耳環	2面 完形	長 幅	3.5 2.8 高 重	0.7 14.05		鉄製の耳管で、現存するのは錆化した鉄芯のみであるが表 面は平滑で、この上に別素材の装飾が施された可能性も有 る。両端とも端部の近くで内側に強く曲がる。	
1480	PL.184	土製品 羽口	2面確認面 破片	長 短	6.3 7.1 厚 重	3.0 67.5		羽口先端部破片。先端は灰黒色～褐色でガラス化・発泡。 小破片のため外径、孔径計測不可。	J-7
1481	PL.184	土製品 羽口	一括 破片	長 短	8.3 6.2 厚 重	6.5 187.0		羽口先端部。先端は破損のためか凹凸が見られるが表面は 全体に灰黒色ガラス化・発泡。先端外径64mm、先端孔径25mm。	J-9 C-5
1482	PL.184	土製品 羽口	一括 破片	長 短	14.9 6.3 厚 重	3.7 224.8		羽口破片。先端側は灰黒色でガラス化・発泡、一部僅かに 酸化土砂が付着するとともに反対側端部にも灰色で発泡が 見られる。外径80mm、孔径23mm。	I-7 E-3



縄文時代

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm、g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
1483	第416図 PL.184	剥片石器 加工痕ある 剥片	包含層 完形	長 幅		厚 重	2.3	赤碧玉	小形幅広剥片を縦位に用い、左右両端に錐状の突出部を作出する。先端角は鈍く石錐としての使用法より、ノッチを利用した削器的な使用法が想定されよう。	
1484	第416図 PL.184	剥片石器 磨製石斧	包含層 完形	長 幅	15.3 6.3	厚 重	1.9 240.7	黒色頁岩	片側に礫面を大きく残す大型幅広剥片を横位に用い、周辺加工して器体を作成する。刃部は表裏面とも研磨され、円刃状を呈する。両側縁とも広く摩耗しているが、刃部同様の線条痕は見られない。頭部側は微細剥離され、部分的に摩耗しているが、顕鏡下では積極的に刃部として認定するだけの光沢痕は確認できていない。	刃部磨製
1485	第416図 PL.184	礫石器 石皿	包含層 破片	長 幅		重	3432.8	粗粒輝石安山岩	体部を弧状に線刻した装飾石皿で、機能部を除いた礫面・裏面に孔多数を穿つ。被熱破損したもので、裏面側が部分的に煤けている。	
1486		剥片石器 打製石斧	包含層 完形	長 幅	13.2 5.5	厚 重	2.6 196.5	黒色頁岩	側縁を裏面側から加工、石器の形状を整える。刃部は円刃状を呈する。全体がローリングを受けて磨滅する。	短冊形
1487		剥片石器 加工痕ある 剥片	包含層 完形	長 幅	3.4 3.9	厚 重	0.8 14.1	黒色頁岩	加工意図：削器？素材は幅広剥片。	

第5章分析

No.	挿図 PL.No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値 (cm、g)			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
1488	骨分析	馬歯	1区27溝覆土 左下顎白歯						獣骨鑑定
1489	骨分析	不明	2区18土坑覆土 微細骨片						獣骨鑑定
1490	骨分析	馬歯	4区26溝 第3前～後白歯						獣骨鑑定
1491	骨分析	馬歯	4区26溝 下顎(10本)						獣骨鑑定
1492	骨分析	馬歯	4区26溝 右下顎第4前白歯						獣骨鑑定
1493	骨分析	ニホンシカ	4区84住居 指骨(中節骨)						獣骨鑑定

# 写真図版

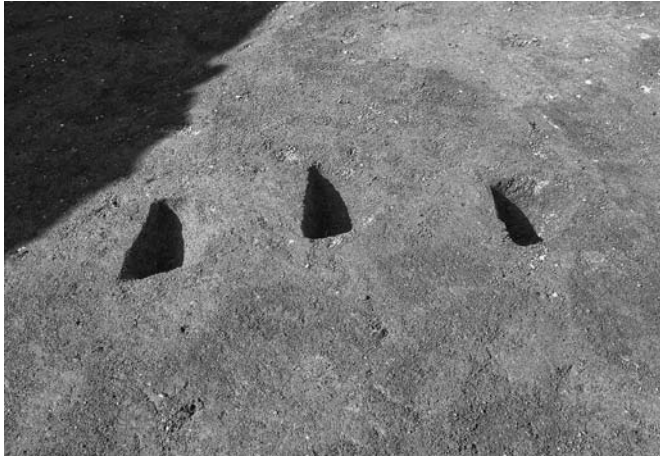




1 1区A s-B軽石下面遺構の検出 西から



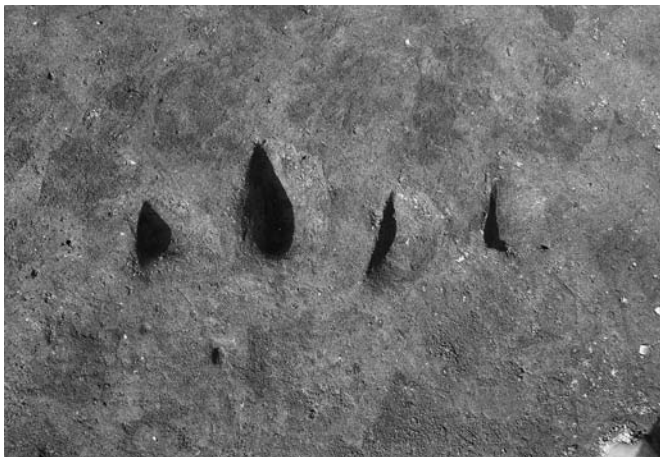
2 1区1面耕具痕 南から



1 1区1面耕具痕A-A' 東から



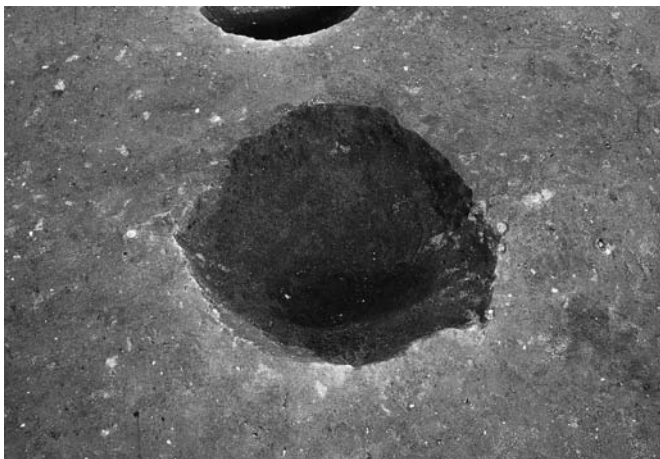
2 1区1面耕具痕B-B' 東から



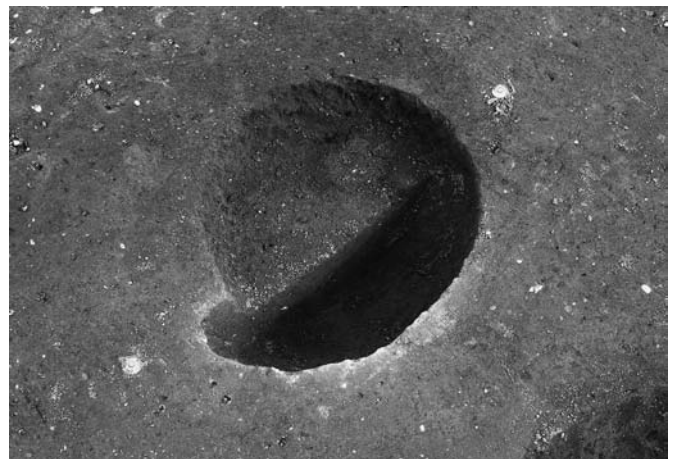
3 1区1面耕具痕C-C' 南東から



4 1区1面21溝全景 西から



5 1区1面202土坑全景 南から



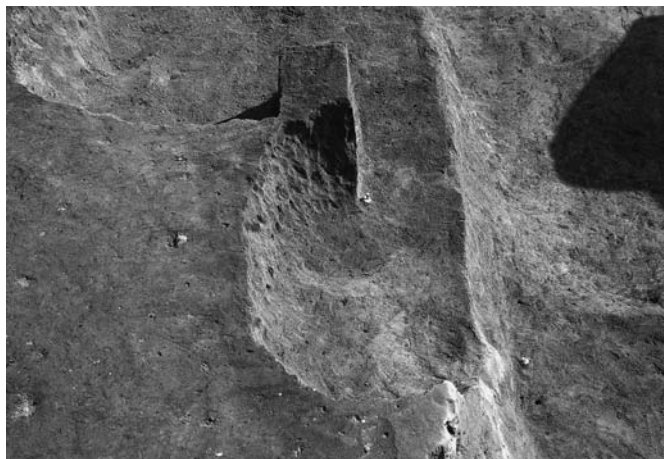
6 1区1面203土坑全景 南西から



7 1区1面274土坑全景 北西から



8 1区1面282土坑全景 北西から



1 1区1面283土坑全景 西から



2 1区2面全景 北から



3 1区2面17~19住居全景 北東から



4 1区2面17~19住居全景 西から

# PL.4



1 1区2面17住居カマド遺物出土状態 西から



2 1区2面17住居掘り方 北西から



3 1区2面18住居全景 北西から



4 1区2面18住居掘り方 西から



5 1区2面19住居全景 西から



6 1区2面19住居掘り方 北西から



7 1区2面20住居土層断面A-A' 南から



8 1区2面20住居全景 西から



1 1区2面20住居鉄製品刀子(25)出土状態 西から



2 1区2面20住居掘り方 西から



3 1区2面22住居全景 西から



4 1区2面22住居掘り方 西から



5 1区2面23住居全景 西から



6 1区2面23住居鉄製品出土状態 南から



7 1区2面23住居須恵器杯(29・30)出土状態 南から



8 1区2面23住居掘り方 南から



# PL.6



1 1区2面24住居全景 西から



2 1区2面24住居掘り方 西から



3 1区2面25住居全景 西から



4 1区2面25住居カマド 西から



5 1区2面25住居遺物出土状態 南西から



6 1区2面25住居掘り方 西から



7 1区2面98住居全景 西から



8 1区2面98住居掘り方 西から



1 1区2面99住居全景 西から



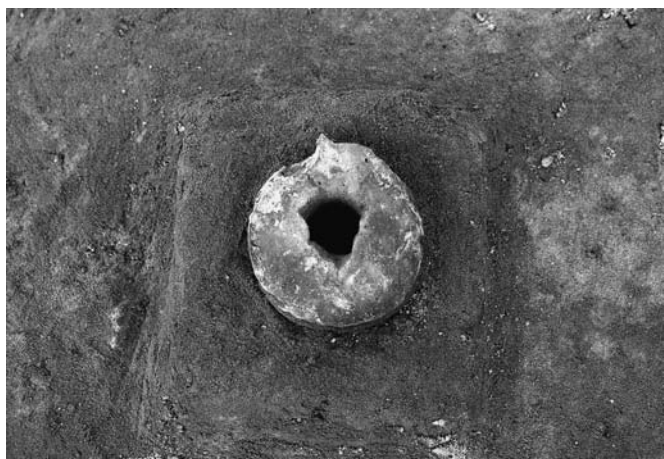
2 1区2面99住居掘り方 西から



3 1区2面100住居全景 西から



4 1区2面100住居カマド 西から



5 1区2面100住居土製品羽口(54)出土状態 南から



6 1区2面100住居掘り方 西から



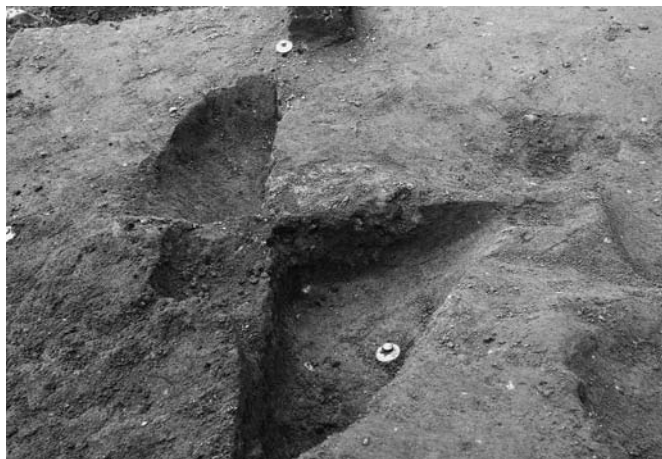
7 1区2面6竪穴全景 北西から



8 1区2面6竪穴掘り方 北西から



1 1区2面1焼土須恵器杯(87)・碗(88)出土状態 北から



2 1区2面1焼土掘り方土層断面A-A' 南から



3 1区2面1焼土掘り方土層断面B-B' 西から



4 1区2面1焼土掘り方 北から



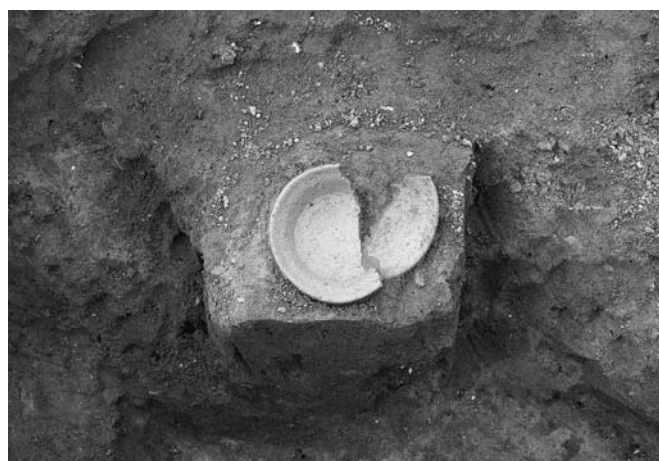
5 1区2面1焼土周辺調査状況 北西から



1 1区2面1墓坑全景 西から



2 1区2面1墓坑骨片出土状態 南から



3 1区2面1墓坑須恵器杯(58)出土状態 南から



4 1区2面26溝全景 西から



5 1区2面26溝砂鉄出土状態 西から



1 1区2面27溝土層断面A-A' 南から



2 1区2面27溝全景 西から



3 1区2面27溝馬歯(1488)出土状態 西から



4 1区2面27溝東部 西から



5 1区2面30溝全景 南東から



6 1区2面35溝土層断面 西から



7 1区2面35溝全景 西から



8 1区2面40溝全景 西から



1 1区2面40溝須恵器杯(85)・椀(86)出土状態 西から



2 1区2面41溝全景 西から



3 1区2面47土坑土層断面D-D' 北西から



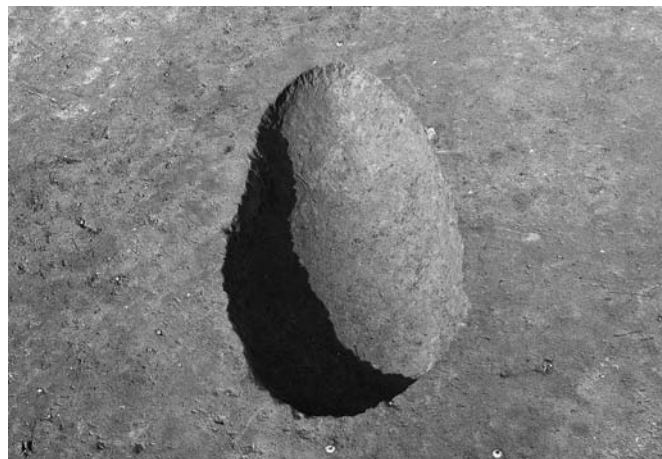
4 1区2面47土坑全景 南東から



5 1区2面47土坑遺物出土状態 北東から



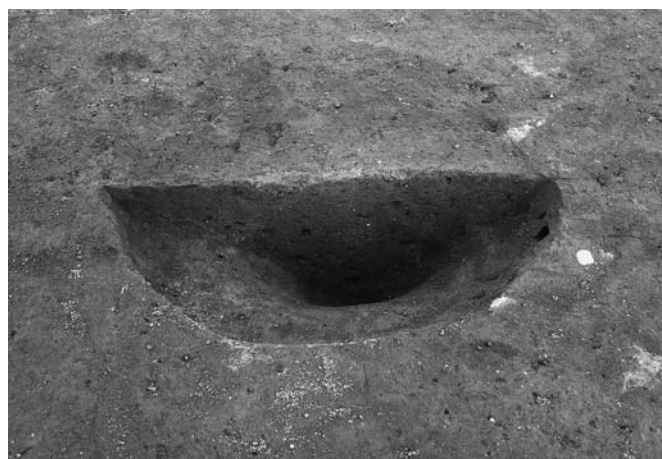
1 1区2面48土坑全景 南西から



2 1区2面49土坑全景 南東から



3 1区2面50土坑全景 南東から



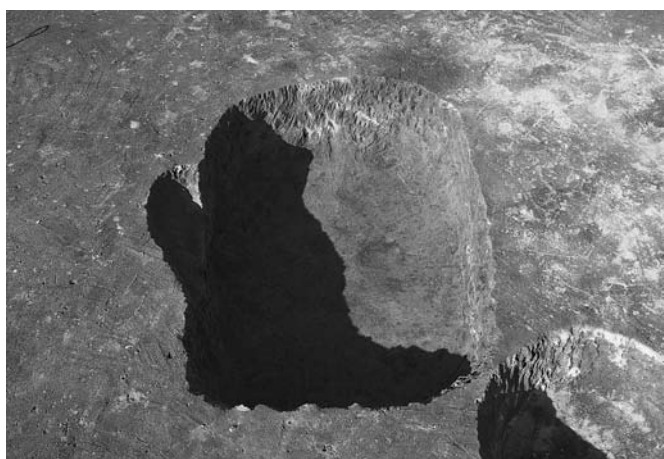
4 1区2面201土坑土層断面 南から



5 1区2面204土坑全景 南から



6 1区2面205土坑全景 東から



7 1区2面206土坑全景 南から



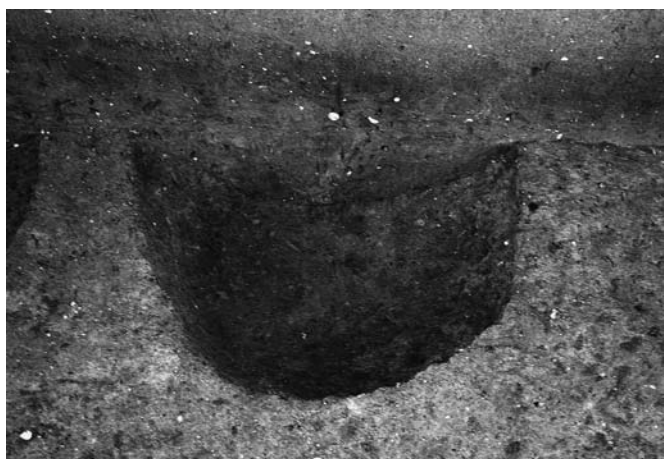
8 1区2面207土坑遺物出土状態 北東から



1 1区2面207土坑全景 南東から



2 1区2面209土坑全景 南西から



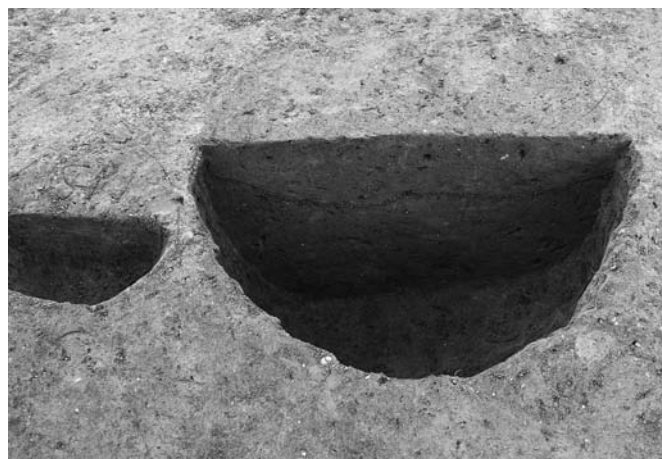
3 1区2面210土坑全景 北東から



4 1区2面271土坑全景 北東から



5 1区2面273土坑全景 南から



6 1区2面273土坑土層断面 南西から

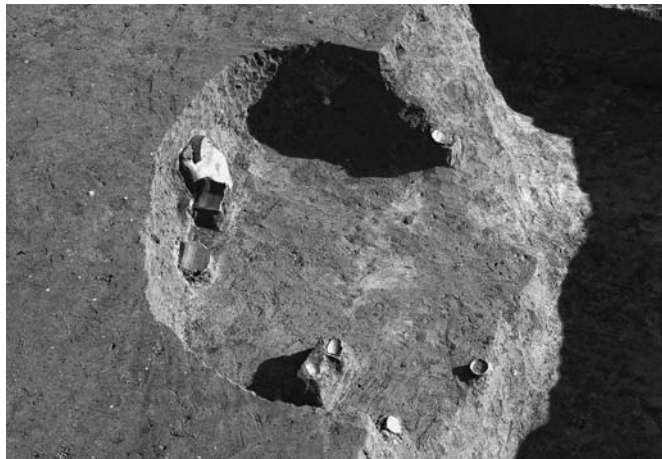


7 1区2面276土坑全景 東から



8 1区2面277土坑全景 南東から





1 1区2面278土坑全景 南西から



2 1区2面279土坑全景 南から



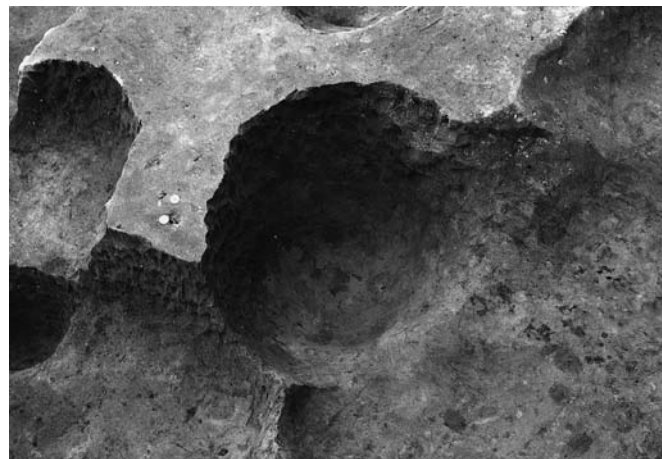
3 1区2面280土坑全景 西から



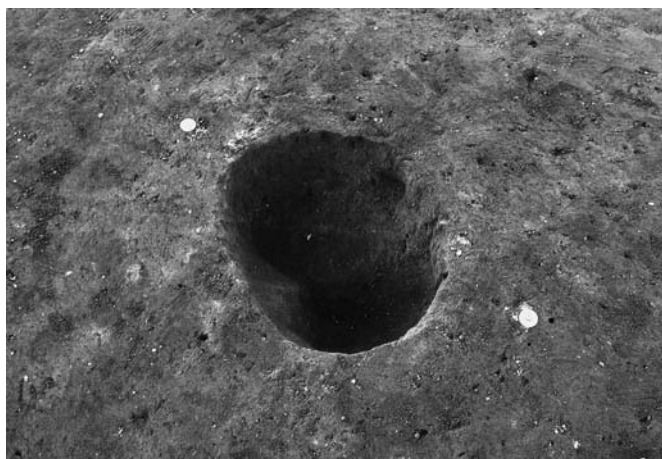
4 1区2面281土坑全景 北西から



5 1区2面284土坑全景 北西から



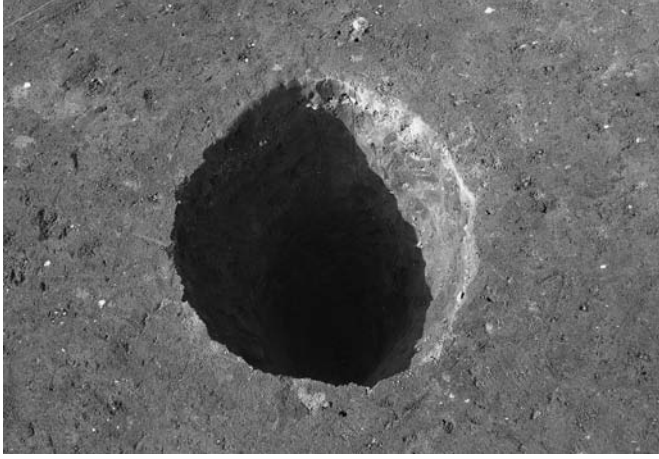
6 1区2面285土坑全景 東から



7 1区2面8ピット全景 南東から



8 1区2面9ピット土層断面 南から



1 1区2面10ピット全景 南東から



2 1区2面71ピット全景 南から



3 1区2面下層調査 As-C軽石混土層検出 南から



4 1区2面下層調査 As-C軽石混土層断面A-A' 東から



1 2区1面全景 南から



2 2区1面1溝全景1 東から



3 2区1面1溝全景2 東から



4 2区1面1溝耕具痕1 東から



5 2区1面1溝耕具痕2 東から



1 2区1面耕具痕全景 南から



2 2区1面2河道土層断面 西から



3 2区1面2河道全景 西から



1 2区2面南側全景 南から



2 2区2面北側全景 南から



1 2区2面1住居全景 西から



2 2区2面1住居掘り方 西から



3 2区2面2住居全景 東から



4 2区2面2住居掘り方 東から



5 2区2面3住居全景1 西から



6 2区2面3住居全景2 西から



7 2区2面3住居カマド遺物出土状態 北西から



8 2区2面3住居掘り方 西から



1 2区2面3住居カマド掘り方 北西から



2 2区2面4住居全景 西から



3 2区2面4住居カマド 西から



4 2区2面4住居掘り方 西から



5 2区2面5住居全景 西から



6 2区2面5住居カマド 西から



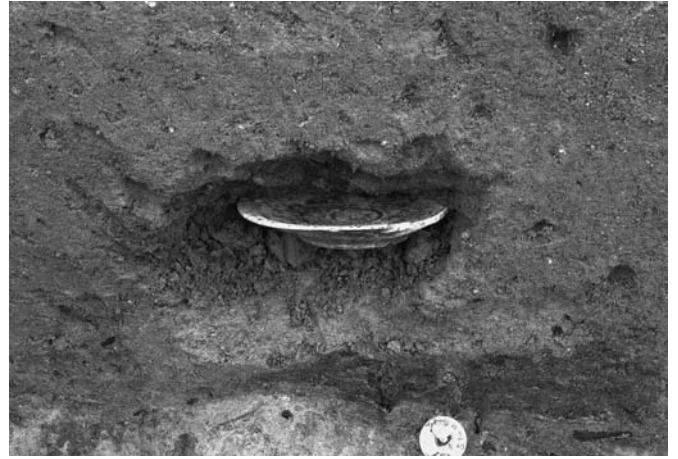
7 2区2面5住居掘り方 西から



8 2区2面6住居全景 西から



1 2区2面6住居鉄滓集中部 北から



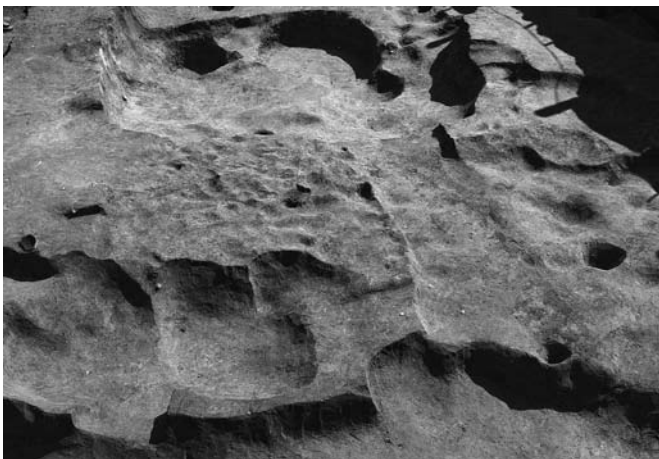
2 2区2面6住居緑釉皿(170)出土状態 西から



3 2区2面6住居掘り方 西から



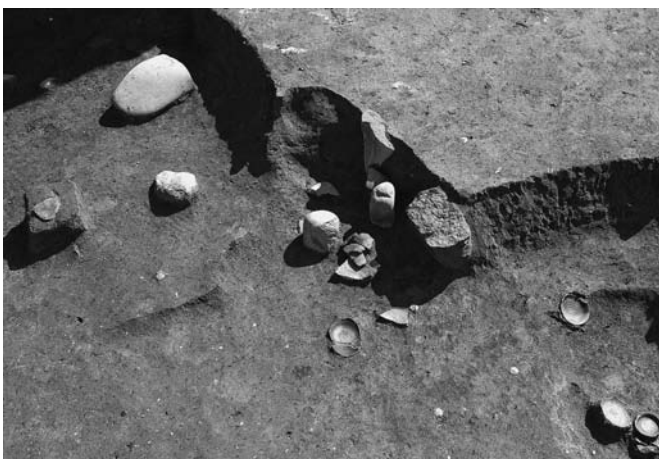
4 2区2面7住居全景 西から



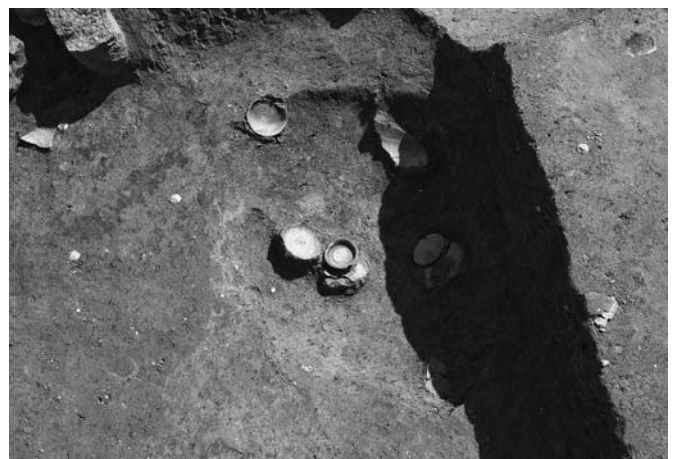
5 2区2面7住居掘り方 西から



6 2区2面8住居全景 西から



7 2区2面8住居カマド 西から



8 2区2面8住居貯蔵穴 西から





1 2区2面8住居掘り方 西から



2 2区2面8住居カマド掘り方 西から



3 2区2面9住居全景 西から



4 2区2面9住居カマド 北西から



5 2区2面9住居掘り方 西から



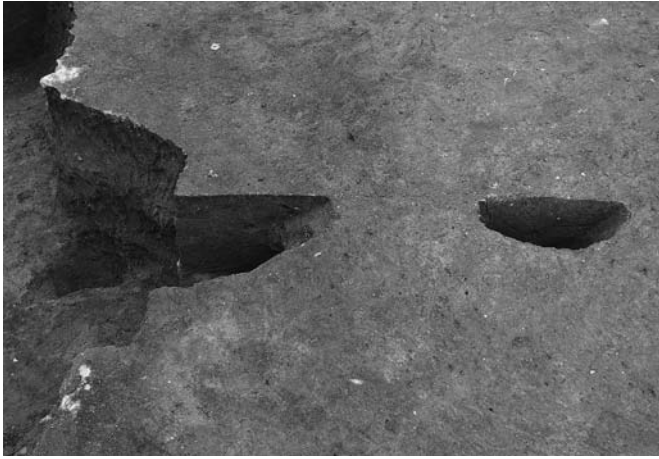
6 2区2面10住居土層断面A-A' 南から



7 2区2面10住居土層断面B-B' 東から



8 2区2面10住居全景 西から



1 2区2面10住居カマド土層断面 南西から



2 2区2面10住居カマド 北西から



3 2区2面10住居掘り方 西から



4 2区2面10住居カマド掘り方 西から



5 2区2面13住居全景 東から



6 2区2面13住居掘り方 東から



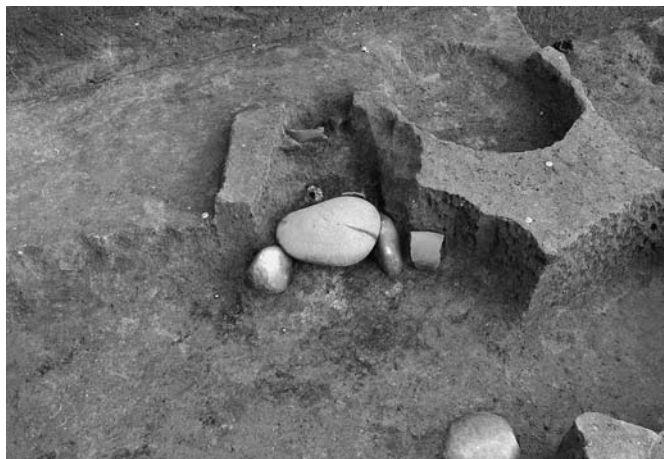
7 2区2面14住居全景 西から



8 2区2面14住居カマド遺物出土状態 西から



1 2区2面14住居カマド遺物出土状態 西から



2 2区2面14住居カマド 西から



3 2区2面14住居掘り方 西から



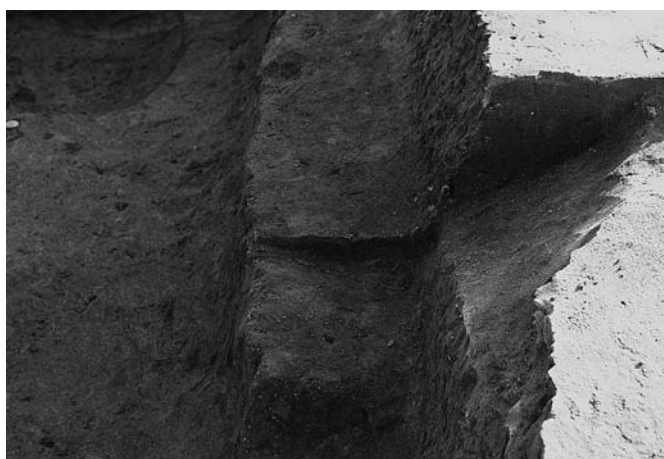
4 2区2面14住居カマド掘り方 西から



5 2区2面15住居遺物出土状態 西から



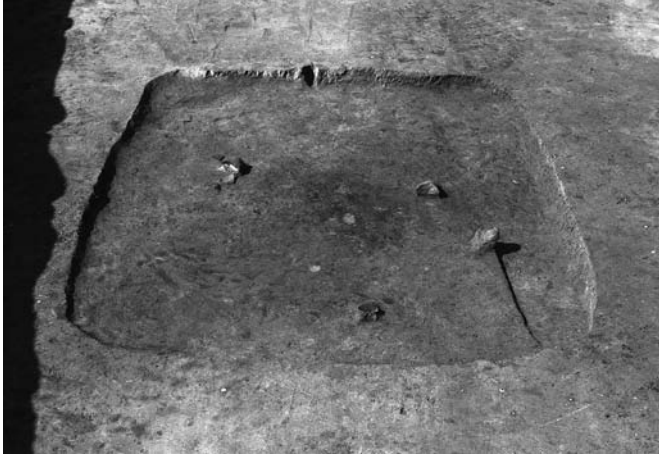
6 2区2面15住居全景 西から



7 2区2面15住居掘り方土層断面 北から



8 2区2面15住居掘り方 西から



1 2区2面1 竪穴遺物出土状態 南から



2 2区2面1 竪穴全景 西から



3 2区2面2 竪穴全景 南西から



4 2区2面3 竪穴全景 南から



5 2区2面3 竪穴掘り方 南から



6 2区2面4 竪穴全景 南から



7 2区2面4 竪穴掘り方 南から



8 2区2面5 竪穴全景 南から



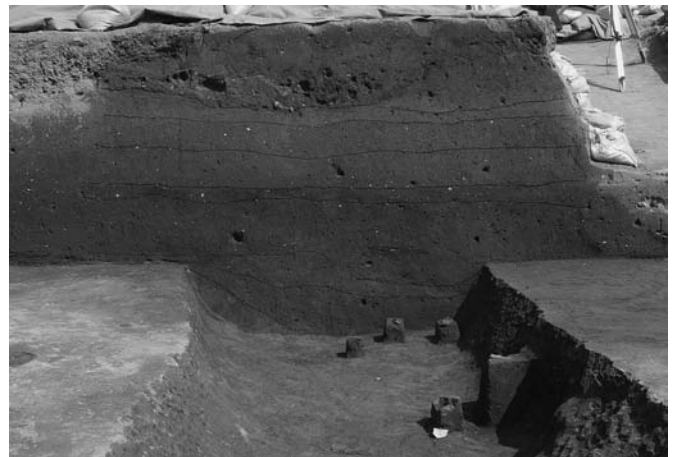
1 2区2面2溝全景 南から



2 2区2面3溝全景1 南から



3 2区2面3溝全景2 南から



4 2区2面3溝土層断面 南から



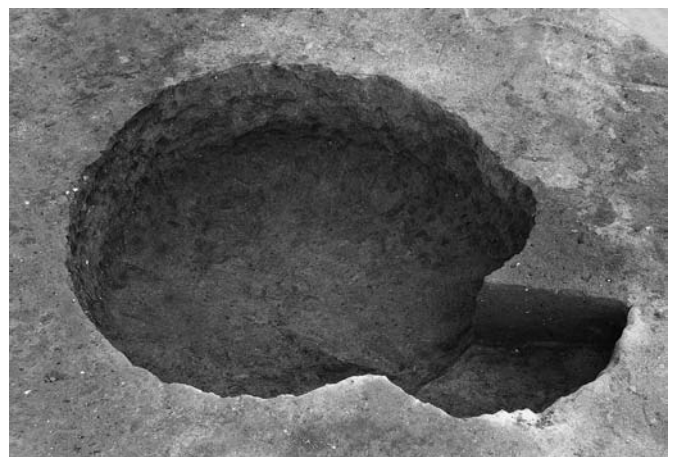
5 2区2面3溝遺物出土状態 南から



6 2区2面10溝全景 南東から



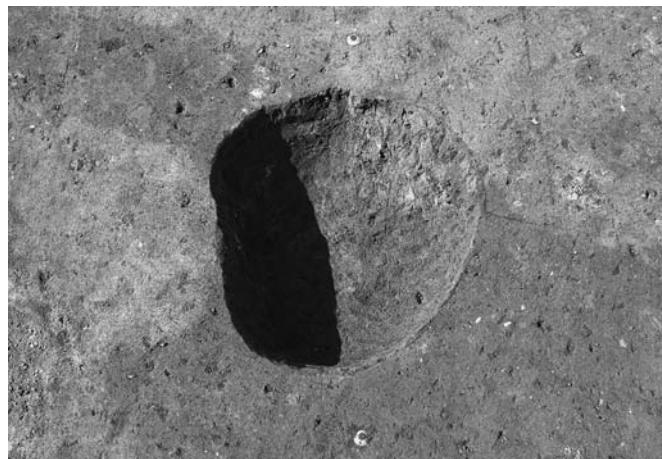
7 2区2面1土坑全景 南から



8 2区2面2土坑全景 北から



1 2区2面3土坑全景 北東から



2 2区2面4土坑全景 南から



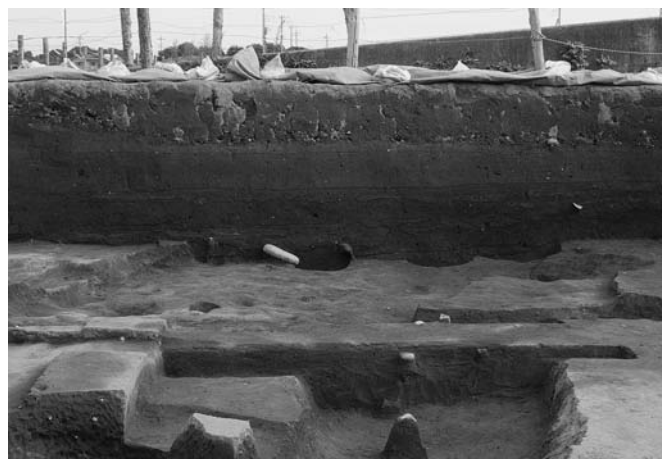
3 2区2面5土坑全景 北から



4 2区2面6土坑全景 南から



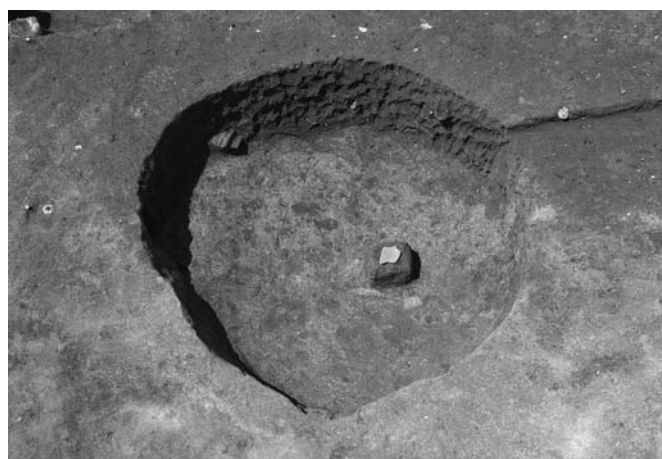
5 2区2面7土坑全景 西から



6 2区2面8・9土坑土層断面 北から



7 2区2面10土坑全景 南東から



8 2区2面15土坑全景 東から



1 2区2面16土坑全景 北西から



2 2区2面17土坑全景 北東から



3 2区2面18土坑土層断面 北から



4 2区2面19土坑全景 南から



5 2区2面20土坑全景 南西から



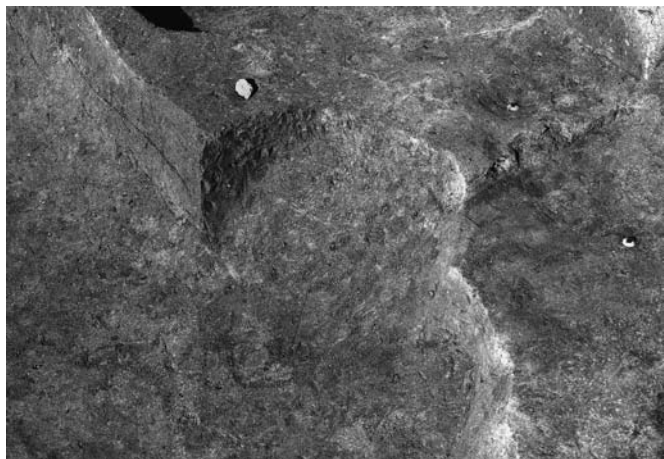
6 2区2面21土坑全景 南西から



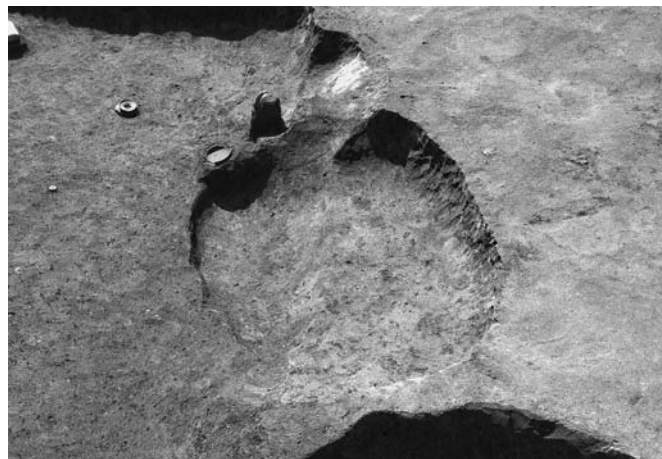
7 2区2面22土坑全景 北西から



8 2区2面23土坑全景 南西から



1 2区2面24土坑全景 南西から



2 2区2面25土坑全景 北から



3 2区2面26土坑全景 南西から



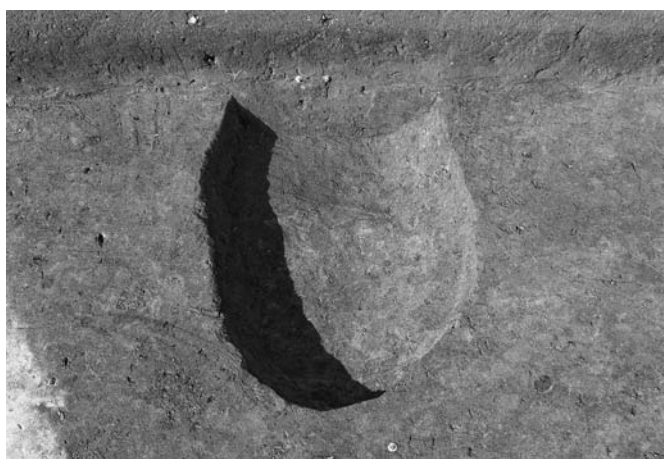
4 2区2面27土坑全景 南から



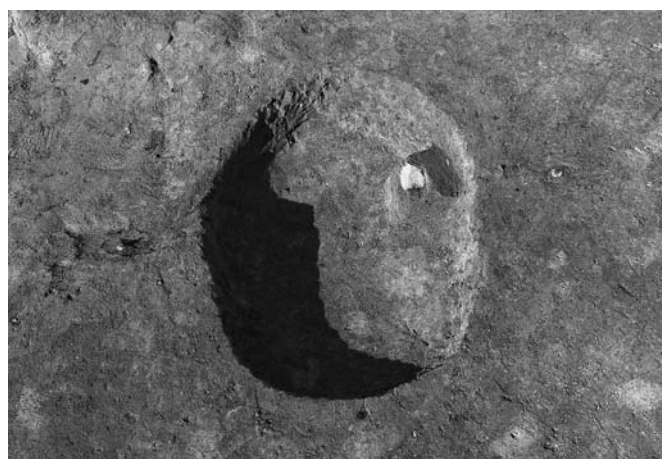
5 2区2面28土坑全景 東から



6 2区2面29土坑全景 西から



7 2区2面30土坑全景 東から



8 2区2面31土坑全景 東から





1 2区2面32土坑全景 南から



2 2区2面33土坑全景 南から



3 2区2面34土坑全景 南から



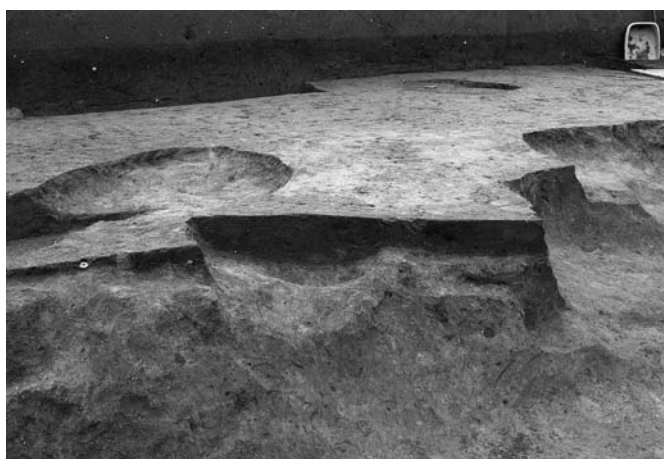
4 2区2面35土坑全景 南から



5 2区2面36土坑全景 南西から



6 2区2面37土坑全景 北西から



7 2区2面38・39土坑土層断面 西から



8 2区2面40土坑全景 南東から



1 2区2面41土坑全景 西から



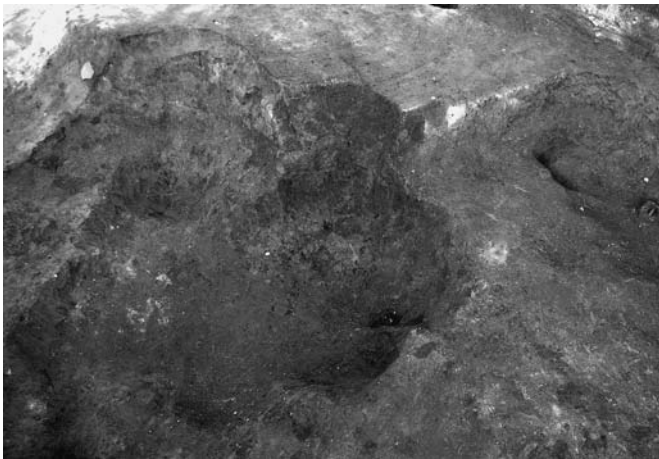
2 2区2面42土坑全景 南から



3 2区2面43土坑遺物出土状態 南西から



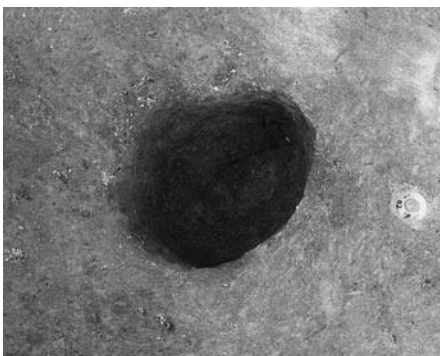
4 2区2面43土坑全景 南から



5 2区2面44土坑全景 南西から



6 2区2面1ピット全景 南から



7 2区2面2ピット全景 南から



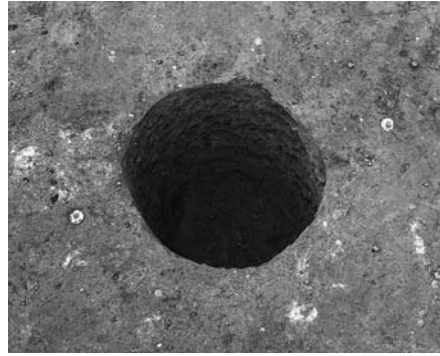
8 2区2面3ピット全景 南から



9 2区2面4ピット全景 南から



1 2区2面5ピット全景 南から



2 2区2面6ピット全景 南から



3 2区2面7ピット全景 東から



4 2区2面下層確認  
トレンチ1 南西から



5 2区2面下層確認  
トレンチ2 南から



1 3区1面遺構確認 北西から



2 3区1面復旧溝確認トレンチ 北から



3 3区2面全景 北から



1 3区2面11住居全景 南から



2 3区2面11住居カマド 南西から



3 3区2面11住居炭化物出土状態 南から



4 3区2面11住居南東隅集石 西から



5 3区2面11・12住居掘り方 南から



6 3区11住居カマド掘り方 南西から



7 3区2面4・5溝全景1 南から



1 3区2面4・5溝全景2 南から



2 3区2面6溝全景 南東から



3 3区2面7溝全景 南東から



4 3区2面8溝全景 南から



5 3区2面8溝遺物出土状態 南から



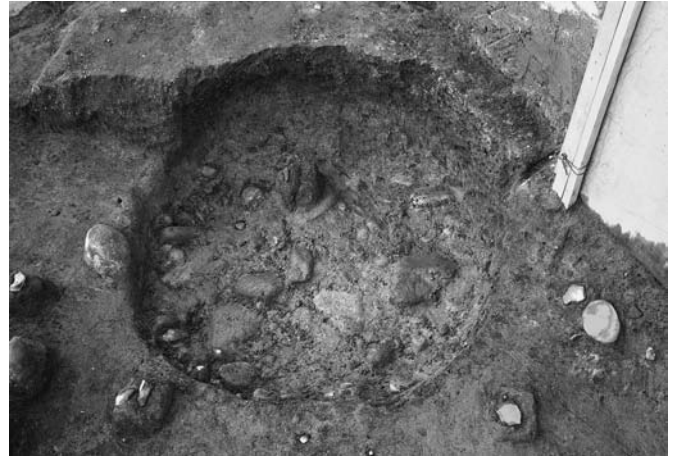
6 3区2面9溝全景 北から



7 3区2面11・12土坑全景 北から



1 3区2面12土坑全景 北から



2 3区2面14土坑全景 南から



3 3区2面11ピット全景 北から



4 3区東壁土層断面南半部 西から



5 3区東壁土層断面北半部 南西から



1 4区1面全景 北から



2 4区1面1河道全景 南東から



3 4区1面1河道北壁土層断面 南東から



4 4区1面1列石全景 北から



5 4区1面1溝全景 南東から

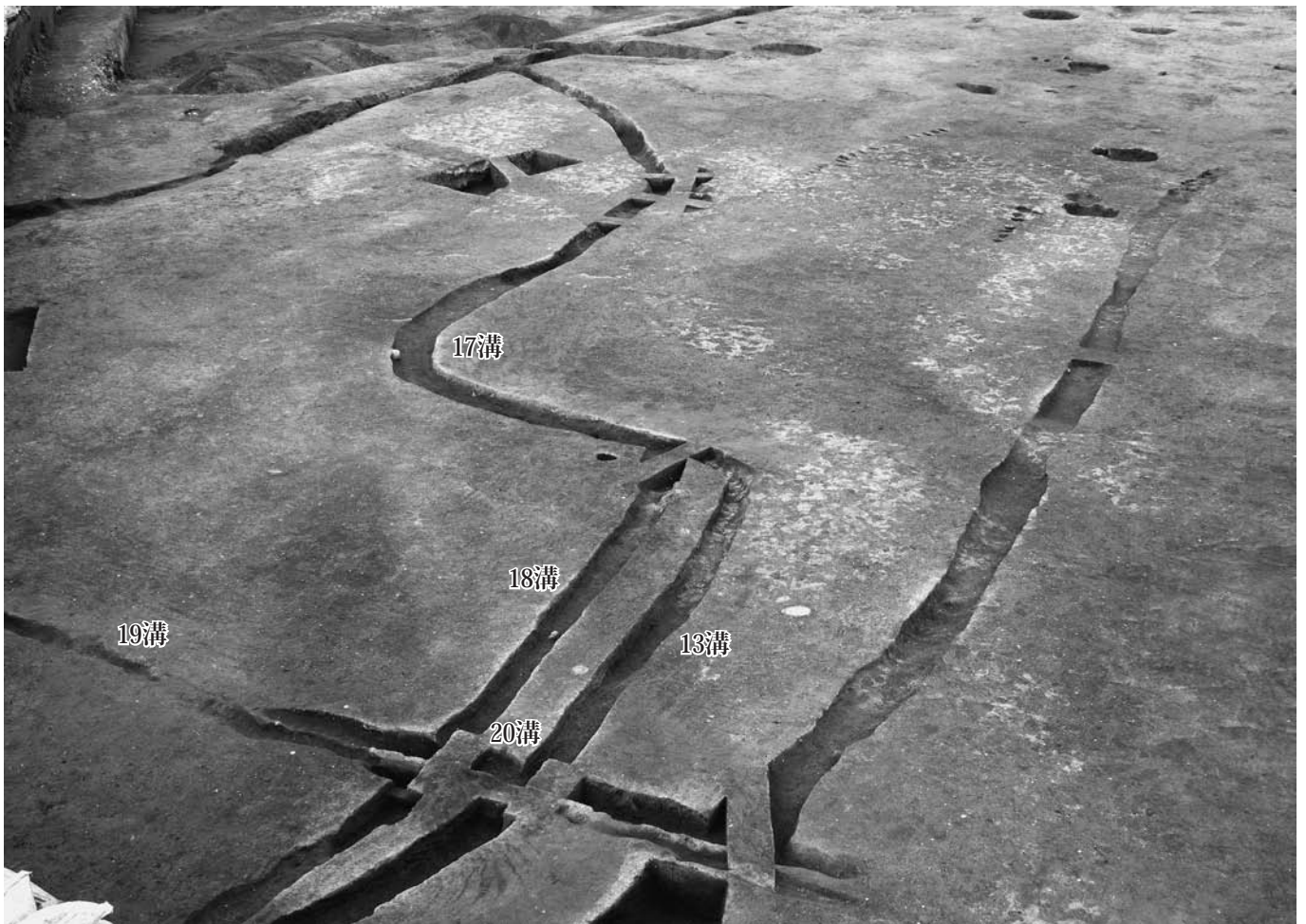




1 4区1面12溝全景 南から



2 4区1面14溝全景 南から



3 4区1面13・17~20溝全景 南から



4 4区1面15溝全景 南東から



5 4区1面21溝a・b全景 西から



1 4区1面22溝全景 西から



2 4区1面37溝全景 南東から



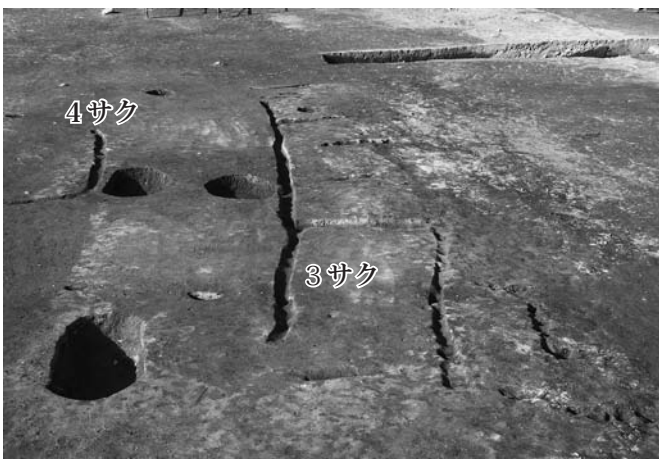
3 4区1面1サク全景 北から



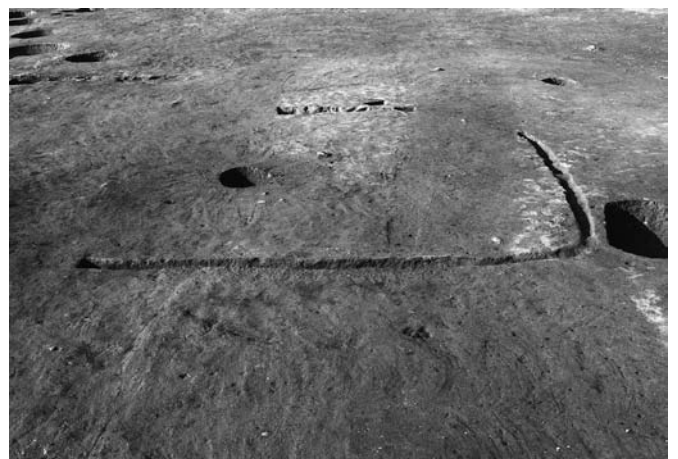
4 4区1面2サク全景 南から



5 4区1面3サク全景 北から



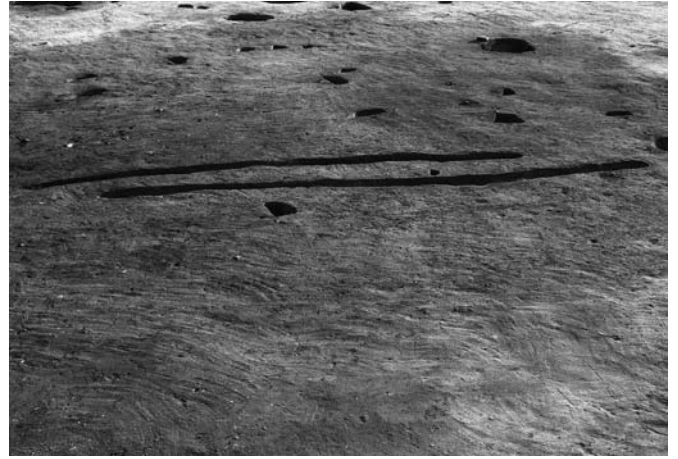
6 4区1面3・4サク全景 南から



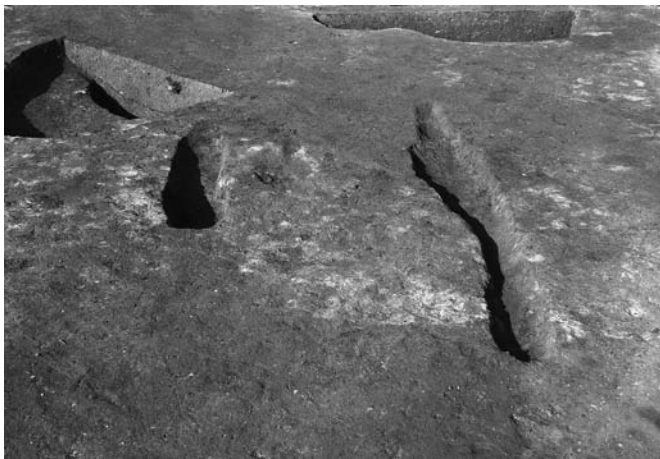
7 4区1面5サク全景 南から



1 4区1面6サク全景 南から



2 4区1面7サク全景 南西から



3 4区1面12サク全景 南から



4 4区1面耕具痕(1サク付近) 北西から



5 4区1面51土坑全景 西から



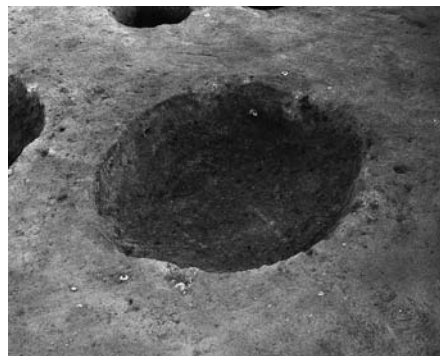
6 4区1面52土坑全景 西から



7 4区1面53土坑全景 南西から



8 4区1面54土坑全景 南西から



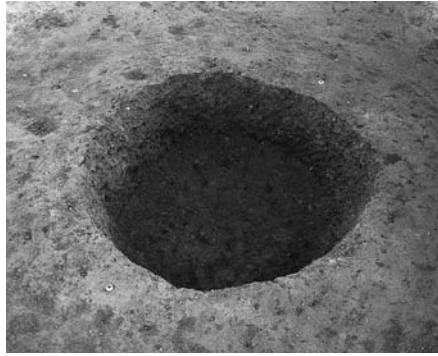
9 4区1面55土坑全景 南西から



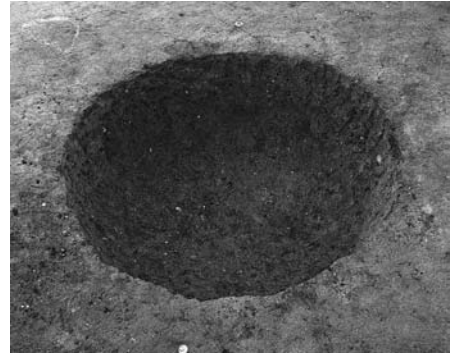
10 4区1面56(左)・57土坑全景 南西から



1 4区1面58土坑全景 西から



2 4区1面59土坑全景 西から



3 4区1面60土坑全景 西から



4 4区1面61土坑全景 西から



5 4区1面62土坑全景 西から



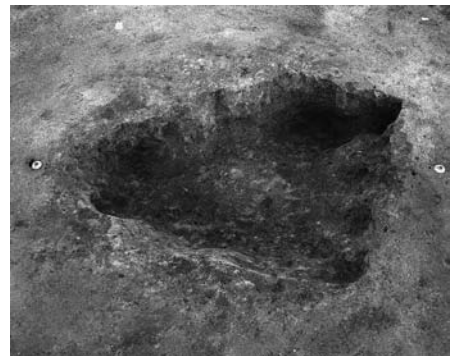
6 4区1面63土坑全景 南西から



7 4区1面64土坑全景 南から



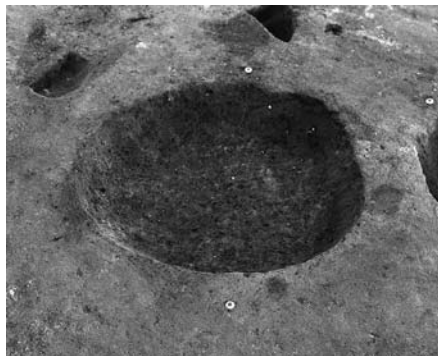
8 4区1面65土坑全景 北から



9 4区1面66土坑全景 南東から



10 4区1面67土坑全景 南西から



11 4区1面68土坑全景 南西から



12 4区1面69土坑全景 南西から



13 4区1面70土坑全景 西から



14 4区1面71土坑全景 南から



15 4区1面72土坑全景 南西から



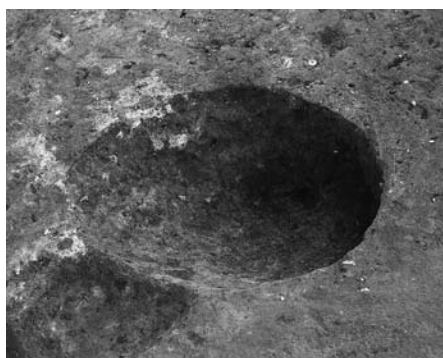
1 4区1面73土坑全景 南西から



2 4区1面74土坑全景 南西から



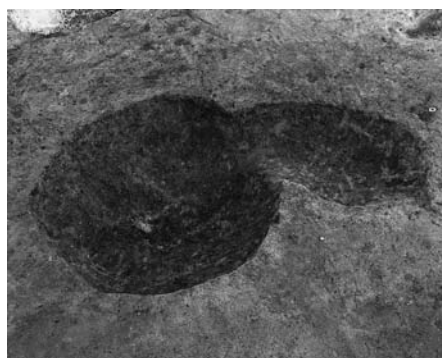
3 4区1面75土坑全景 南から



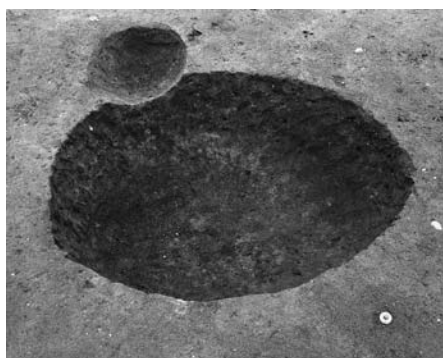
4 4区1面76土坑全景 北西から



5 4区1面77土坑全景 東から



6 4区1面78(左)・79土坑全景 南西から



7 4区1面80土坑全景 南東から



8 4区1面81土坑全景 南西から



9 4区1面82土坑全景 東から



10 4区1面83土坑全景 北西から



11 4区1面84(右)・85土坑全景 北東から



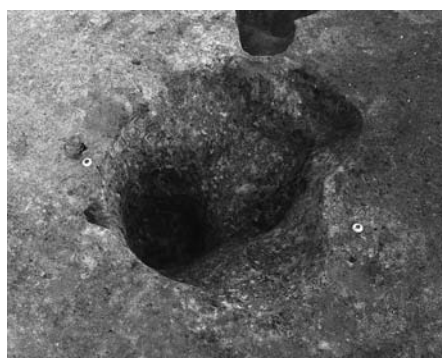
12 4区1面86土坑全景 西から



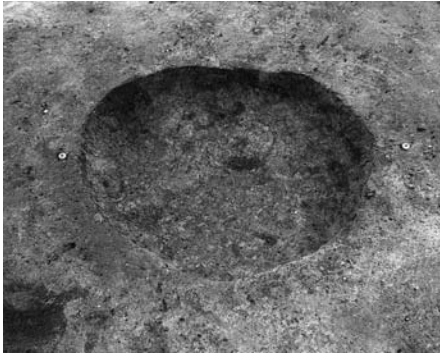
13 4区1面87土坑全景 北から



14 4区1面88土坑全景 北から



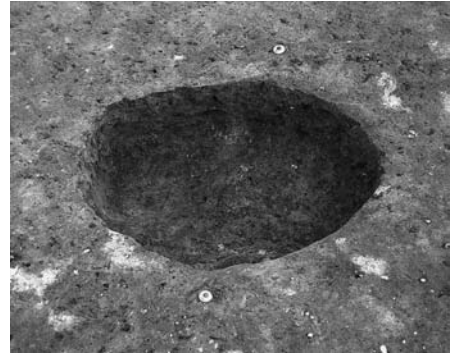
15 4区1面89土坑全景 南西から



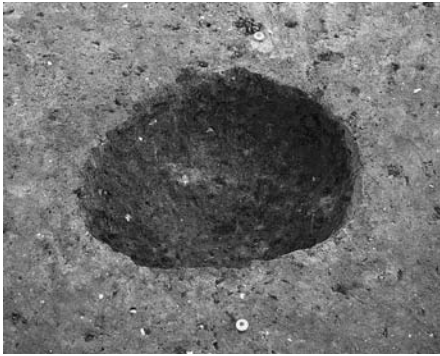
1 4区1面90土坑全景 西から



2 4区1面91土坑全景 北から



3 4区1面92土坑全景 西から



4 4区1面93土坑全景 西から



5 4区1面94土坑全景 西から



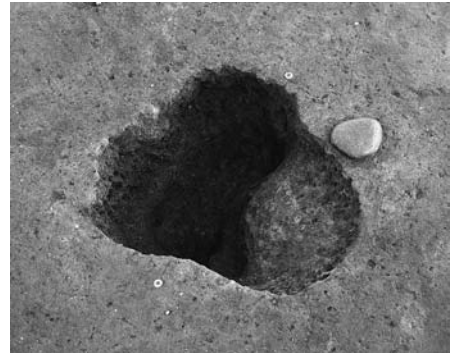
6 4区1面95土坑全景 南西から



7 4区1面96(左)・97(中)・98土坑 南から



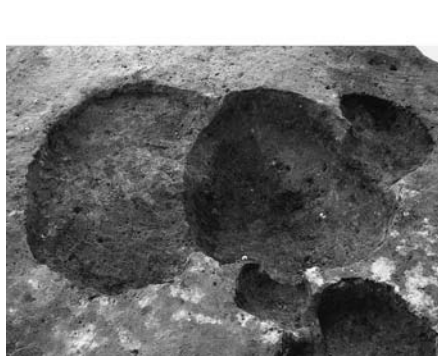
8 4区1面99土坑全景 北から



9 4区1面100土坑全景 南西から



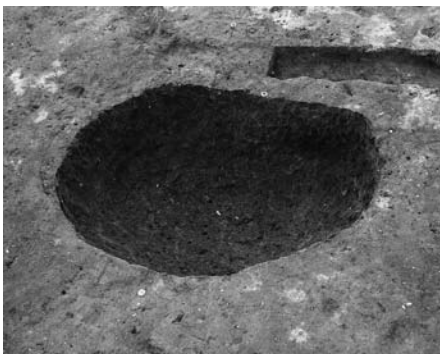
10 4区1面101土坑全景 南から



11 4区1面102(右)・103土坑全景 東から



12 4区1面104土坑全景 東から



13 4区1面105土坑全景 東から



14 4区1面106土坑全景 東から



15 4区1面107土坑全景 北東から



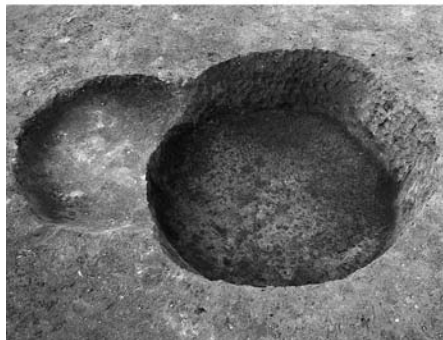
1 4区1面108(左)・71土坑全景 西から



2 4区1面110土坑土層断面 北から



3 4区1面110土坑全景 北西から



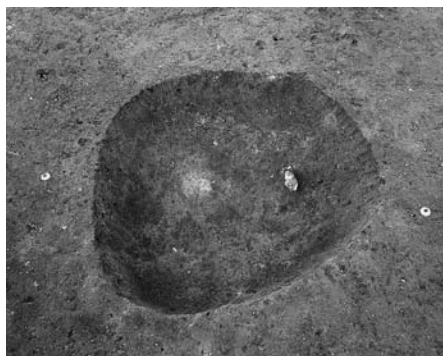
4 4区1面111(右)・112土坑全景 南東から



5 4区1面113土坑全景 南東から



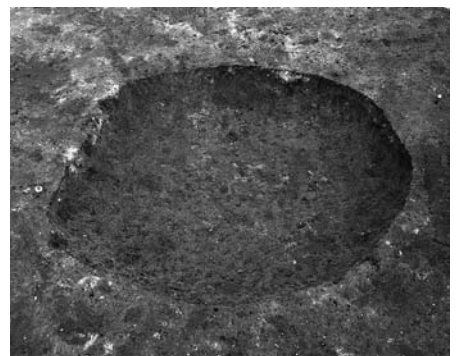
6 4区1面114土坑全景 南から



7 4区1面115土坑全景 南から



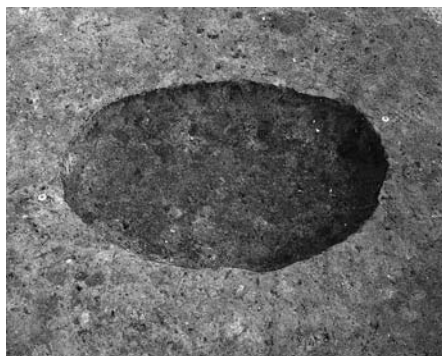
8 4区1面116土坑全景 西から



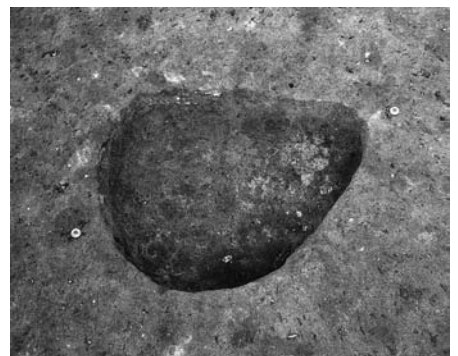
9 4区1面117土坑全景 西から



10 4区1面118土坑全景 南から



11 4区1面119土坑全景 西から



12 4区1面120土坑全景 南から



13 4区1面121土坑全景 西から



14 4区1面122土坑全景 西から



15 4区1面123土坑全景 西から



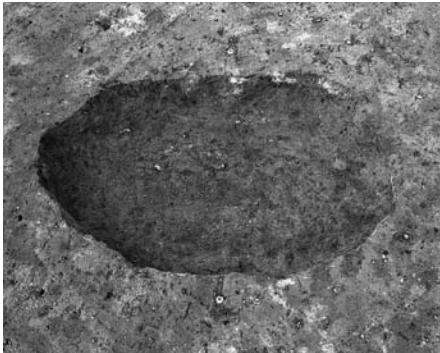
1 4区1面124土坑全景 西から



2 4区1面125土坑全景 西から



3 4区1面126(右)・137土坑全景 南から



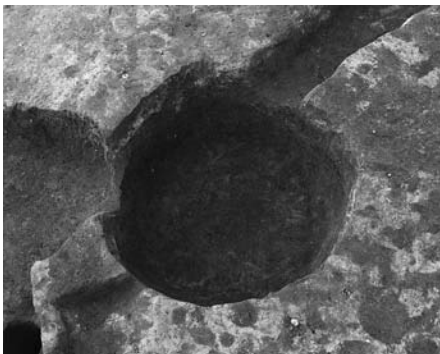
4 4区1面127土坑全景 東から



5 4区1面128(右)・129土坑全景 南東から



6 4区1面130土坑(左)、66ピット 東から



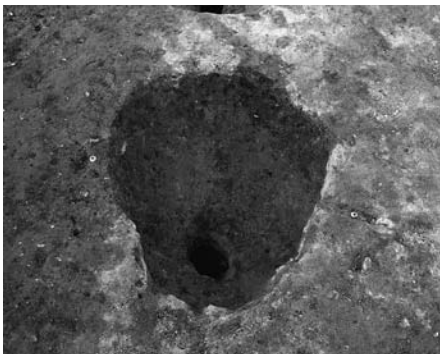
7 4区1面131土坑全景 東から



8 4区1面132(手前)・138土坑全景 西から



9 4区1面133土坑全景 南から



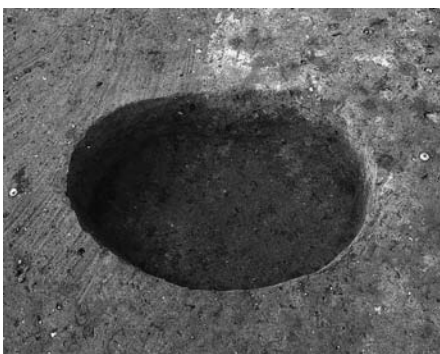
10 4区1面134土坑全景 南から



11 4区1面135土坑全景 南から



12 4区1面136土坑全景 北東から



13 4区1面139土坑全景 東から



14 4区1面140土坑全景 西から



15 4区1面141土坑(左)、67ピット 西から

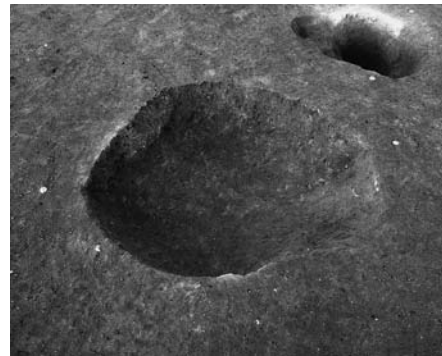




1 4区1面142土坑全景 南から



2 4区1面143土坑全景 南から



3 4区1面144土坑全景 南から



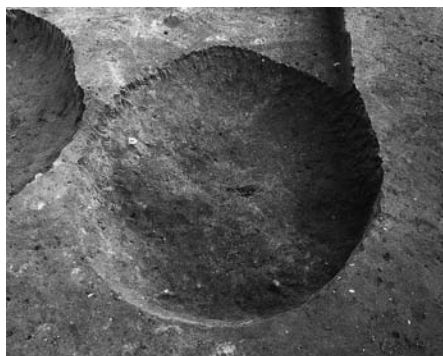
4 4区1面145(右)・146土坑全景 南から



5 4区1面147土坑全景 西から



6 4区1面148土坑全景 南西から



7 4区1面150土坑全景 西から



8 4区1面151土坑全景 東から



9 4区1面152土坑全景 南東から



10 4区1面153土坑全景 西から



11 4区1面154土坑全景 南から



12 4区1面155土坑全景 東から



13 4区1面156土坑全景 東から



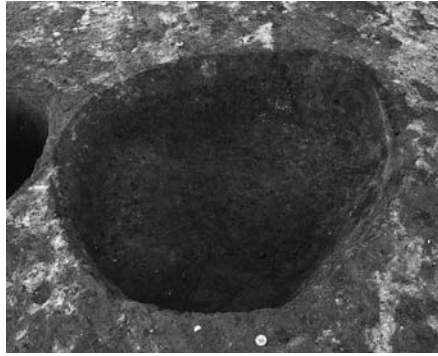
14 4区1面157土坑全景 東から



15 4区1面158土坑全景 東から



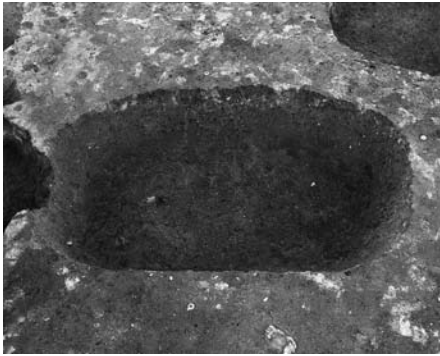
1 4区1面159土坑全景 南から



2 4区1面160土坑全景 南東から



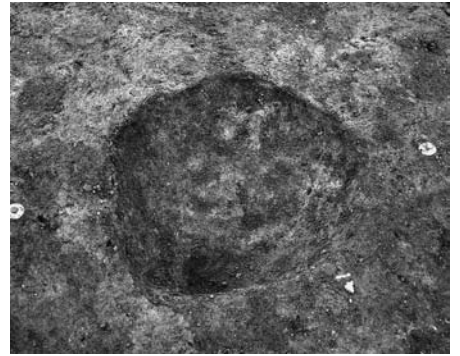
3 4区1面161土坑全景 東から



4 4区1面162土坑全景 南東から



5 4区1面12ピット全景 東から



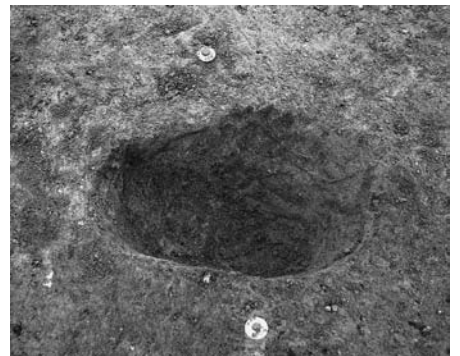
6 4区1面13ピット全景 南から



7 4区1面14ピット全景 南から



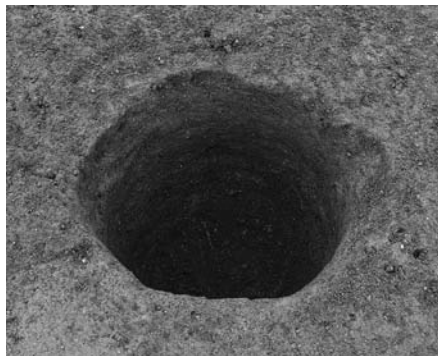
8 4区1面15ピット全景 西から



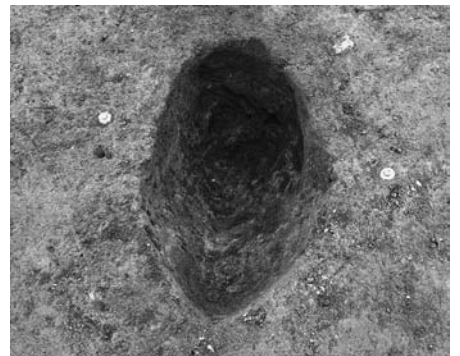
9 4区1面16ピット全景 西から



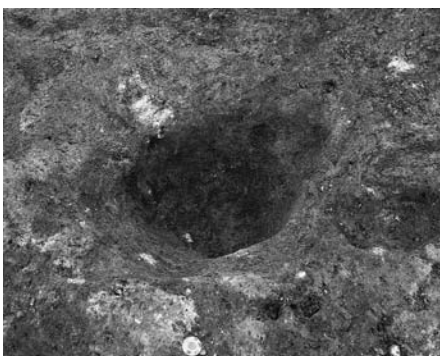
10 4区1面17ピット全景 南から



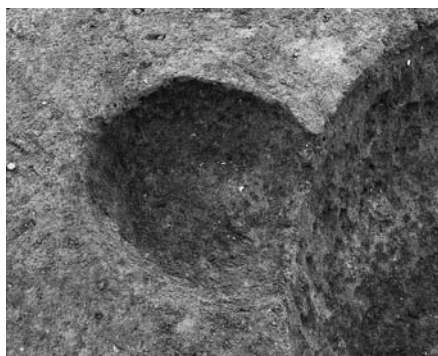
11 4区1面18ピット全景 南から



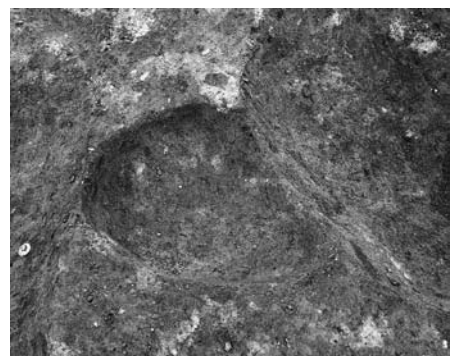
12 4区1面19ピット全景 南西から



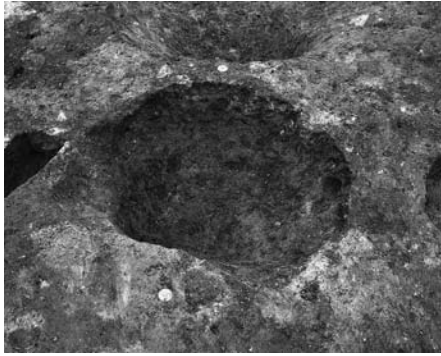
13 4区1面20ピット全景 北西から



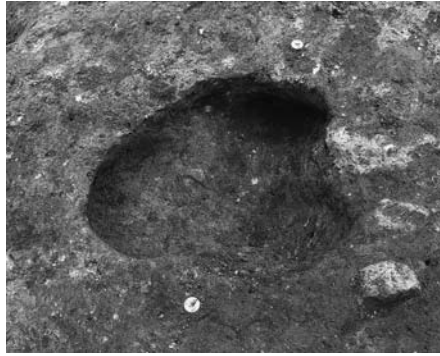
14 4区1面21ピット全景 北東から



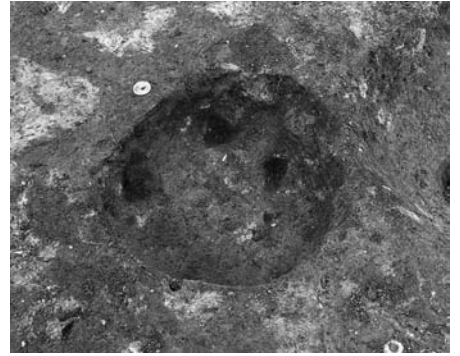
15 4区1面22ピット全景 南西から



1 4区1面23ピット全景 北東から



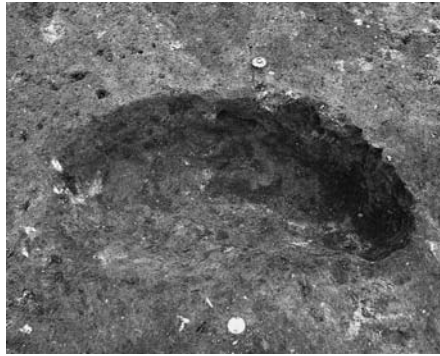
2 4区1面24ピット全景 東から



3 4区1面25ピット全景 西から



4 4区1面26ピット全景 南西から



5 4区1面27ピット全景 北東から



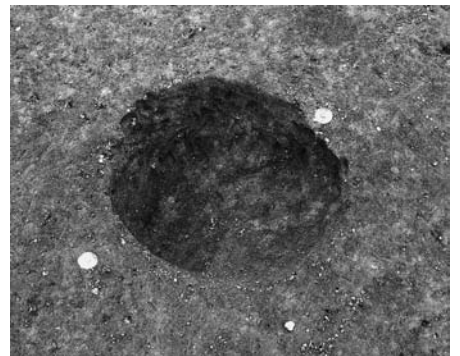
6 4区1面28ピット全景 北東から



7 4区1面29ピット全景 南西から



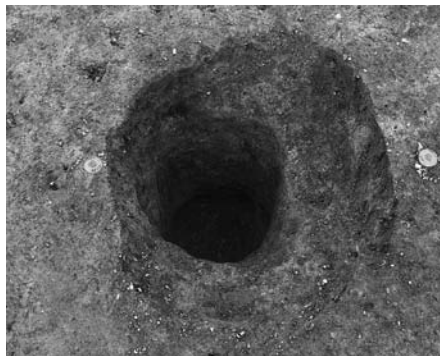
8 4区1面30ピット全景 南西から



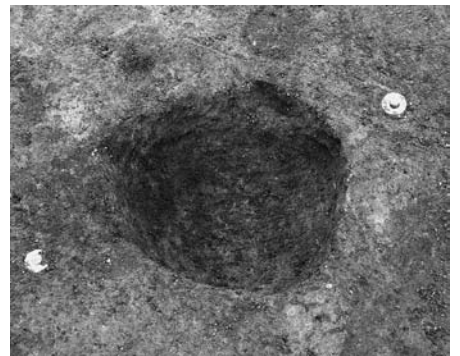
9 4区1面31ピット全景 南から



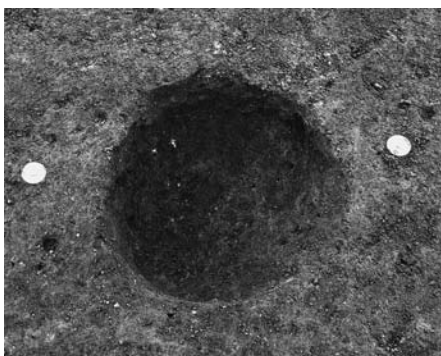
10 4区1面32ピット全景 南東から



11 4区1面33ピット全景 東から



12 4区1面34ピット全景 南から



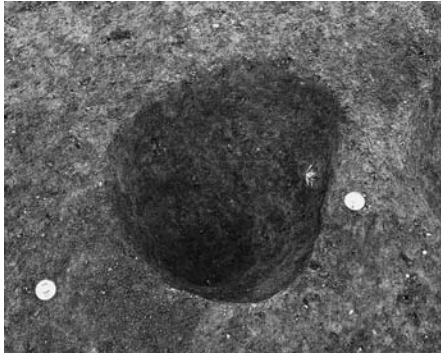
13 4区1面35ピット全景 南東から



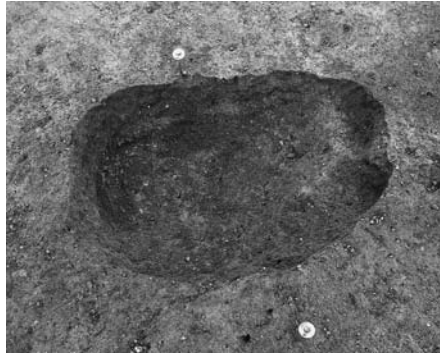
14 4区1面36ピット全景 北東から



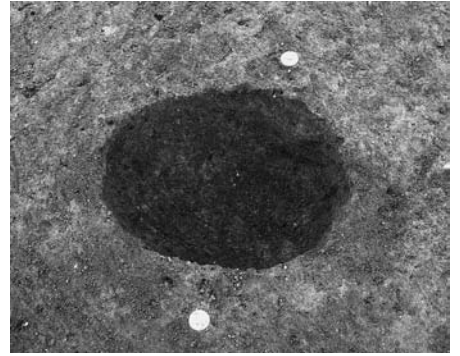
15 4区1面37ピット全景 南東から



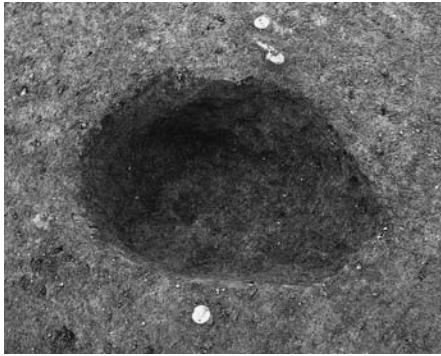
1 4区1面38ピット全景 南東から



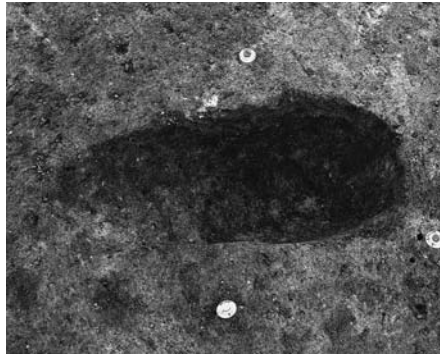
2 4区1面39ピット全景 南から



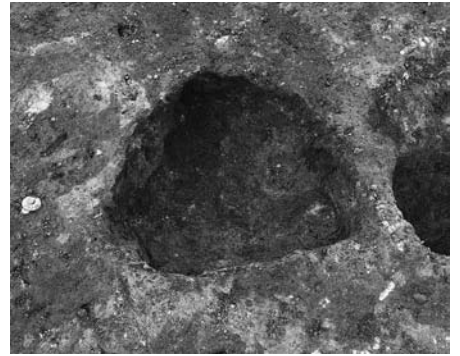
3 4区1面40ピット全景 南東から



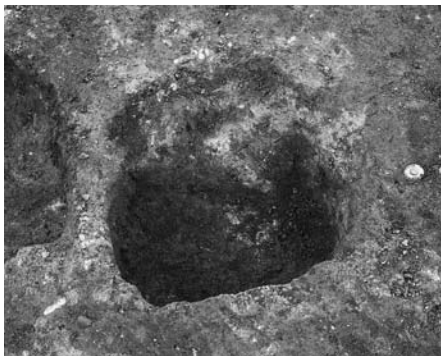
4 4区1面41ピット全景 南東から



5 4区1面42ピット全景 西から



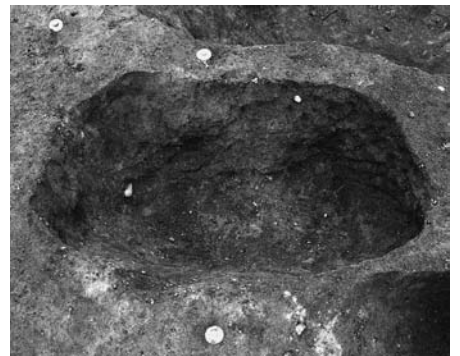
6 4区1面43ピット全景 南から



7 4区1面44ピット全景 南から



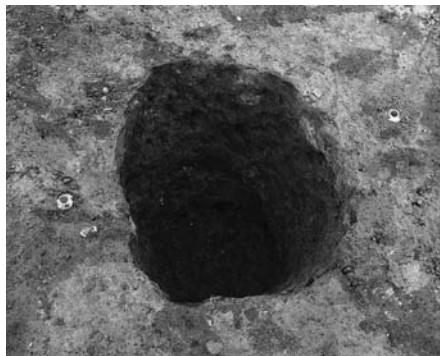
8 4区1面45ピット全景 南から



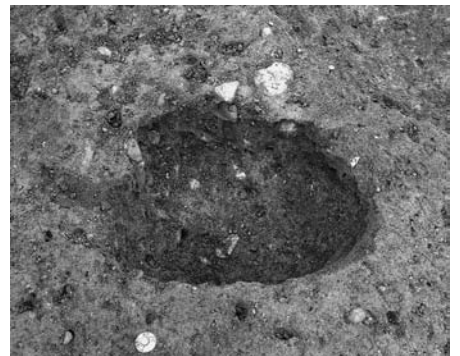
9 4区1面46ピット全景 南から



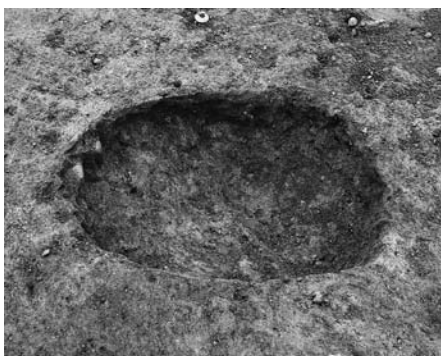
10 4区1面47ピット全景 南から



11 4区1面48ピット全景 南から



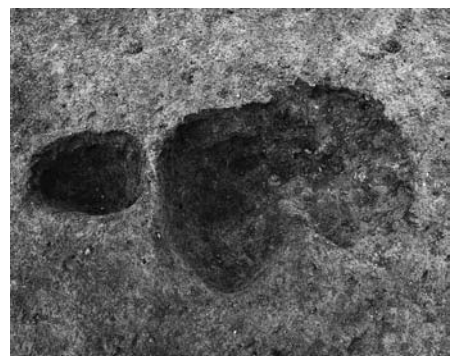
12 4区1面49ピット全景 南から



13 4区1面50ピット全景 西から

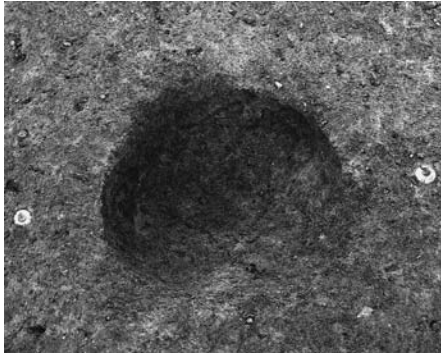


14 4区1面51ピット全景 南から

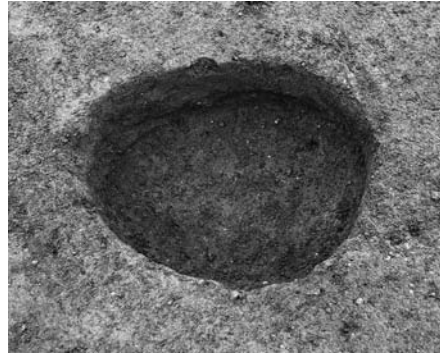


15 4区1面52(左)・53(中)・54ピット 南から

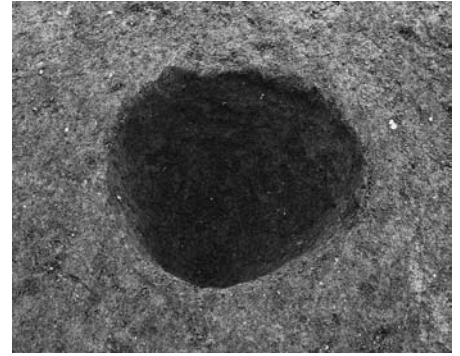
# PL.50



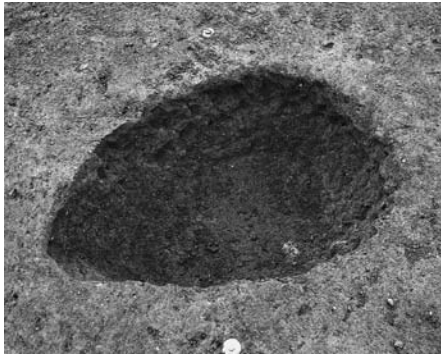
1 4区1面55ピット全景 南東から



2 4区1面56ピット全景 東から



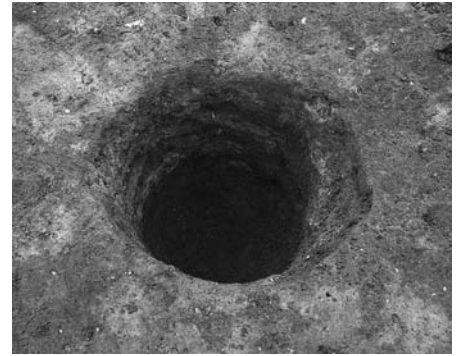
3 4区1面57ピット全景 東から



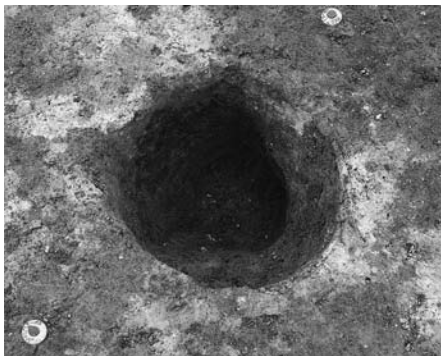
4 4区1面58ピット全景 南から



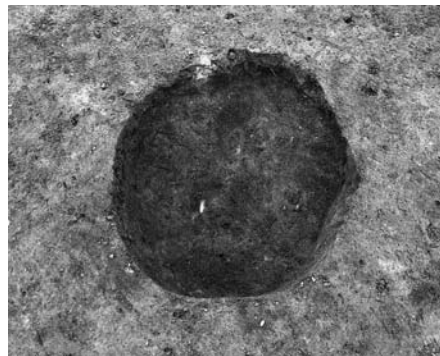
5 4区1面59ピット全景 南から



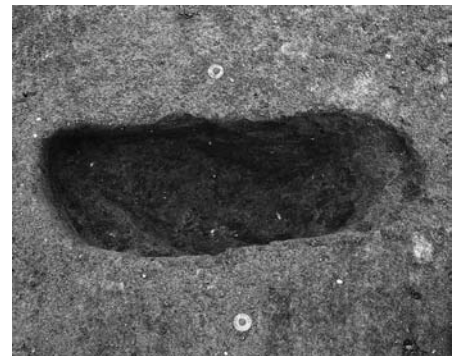
6 4区1面60ピット全景 南から



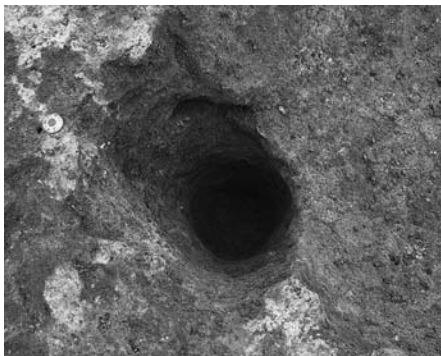
7 4区1面61ピット全景 北東から



8 4区1面62ピット全景 南から



9 4区1面63ピット全景 南から



10 4区1面64ピット全景 南西から



11 4区1面66ピット全景 北西から



12 4区1面67ピット全景 南西から



1 4区2面空撮 北上空から



2 4区2面空撮 西上空から



1 4区2面空撮 南上空から



2 4区2面空撮 垂直方向から



1 4区2面21住居全景 西から



2 4区2面21住居カマド 北西から



3 4区2面21住居カマド掘り方 北西から



4 4区2面21住居掘り方 西から



5 4区2面26住居全景 西から



6 4区2面26住居カマド 西から



7 4区2面27住居全景 西から



8 4区2面27住居カマド 西から





1 4区2面27住居カマド掘り方 西から



2 4区2面27住居掘り方 西から



3 4区2面28住居全景 西から



4 4区2面28住居カマド 西から



5 4区2面28住居掘り方 西から



6 4区2面29住居全景 西から



7 4区2面29住居カマド 西から



8 4区2面29住居カマド掘り方 西から



1 4区2面29住居掘り方 西から



2 4区2面30住居全景 西から



3 4区2面30住居カマド 北から



4 4区2面31住居全景 西から



5 4区2面31住居カマド 西から



6 4区2面31住居カマド掘り方 西から



7 4区2面31住居金属製品(370)出土状態 西から



8 4区2面31住居掘り方 西から



1 4区2面32住居全景 西から



2 4区2面32住居カマド掘り方 北西から



3 4区2面32住居掘り方 西から



4 4区2面33住居全景 西から



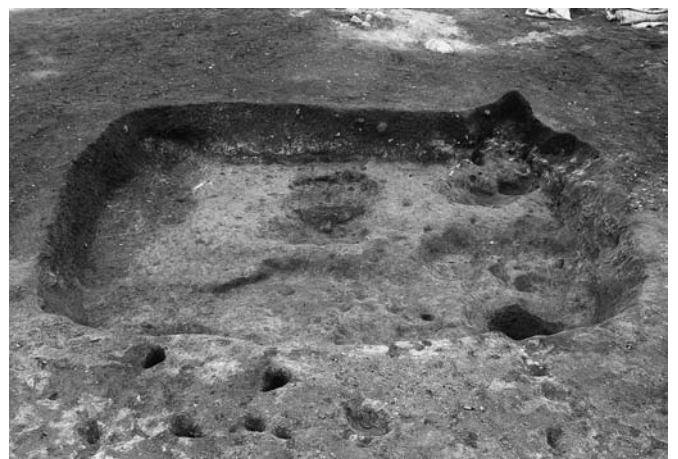
5 4区2面33住居カマド 北西から



6 4区2面33住居カマド掘り方 西から



7 4区2面33住居遺物出土状態 南から



8 4区2面33住居掘り方 西から



1 4区2面34住居全景 南西から



2 4区2面34住居カマド 西から



3 4区2面34住居カマド掘り方 西から



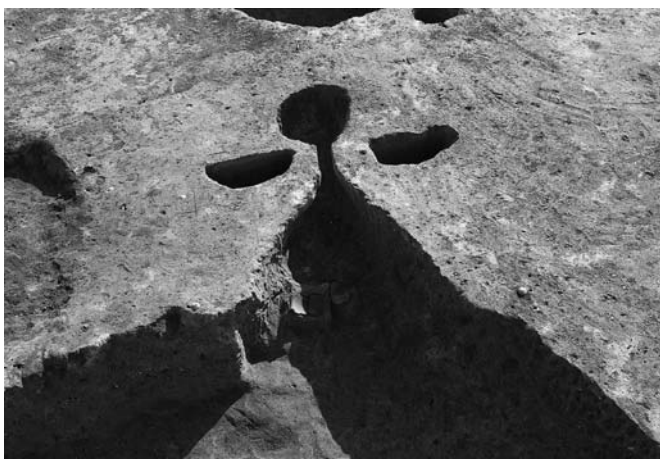
4 4区2面34住居掘り方 南西から



5 4区2面35住居全景 西から



6 4区2面35住居カマド 北西から



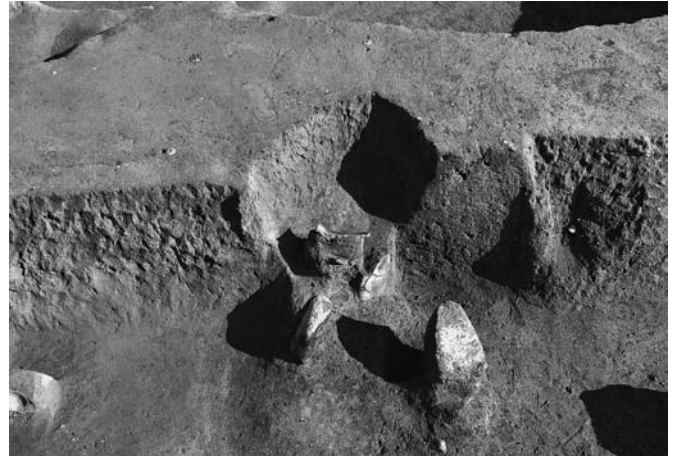
7 4区2面35住居カマド掘り方 北西から



8 4区2面35住居掘り方 西から



1 4区2面36住居全景 西から



2 4区2面36住居カマド 西から



3 4区2面36住居カマド掘り方 西から



4 4区2面36住居掘り方 西から



5 4区2面37住居全景 西から



6 4区2面37住居カマド 北西から



7 4区2面37住居遺物出土状態 北から



8 4区2面37住居掘り方 西から



1 4区2面38住居全景 西から



2 4区2面38住居遺物出土状態 西から



3 4区2面38住居カマド掘り方 西から



4 4区2面38住居掘り方 西から



5 4区2面39住居全景 西から



6 4区2面39住居掘り方 西から



7 4区2面40住居全景 西から



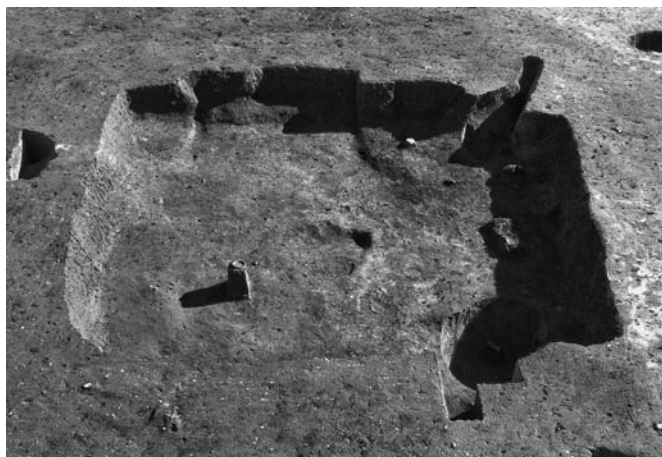
8 4区2面40住居カマド 西から



1 4区2面40住居金属製品観音像(392)出土状態 北東から



2 4区2面40住居掘り方 西から



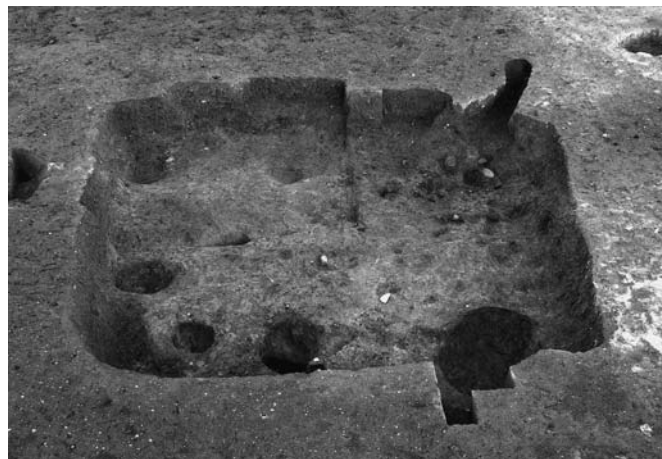
3 4区2面41住居全景 西から



4 4区2面41住居カマド遺物出土状態 北西から



5 4区2面41住居カマド掘り方 北西から



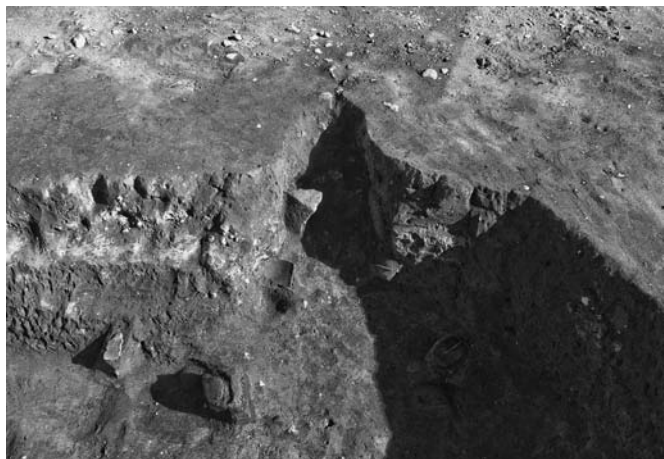
6 4区2面41住居掘り方 西から



7 4区2面42住居全景 西から



8 4区2面42住居カマド 西から



1 4区2面42住居カマド掘り方 西から



2 4区2面42住居掘り方 西から



3 4区2面43住居全景 西から



4 4区2面43住居カマド 西から



5 4区2面43住居カマド掘り方 西から



6 4区2面43住居掘り方 西から



7 4区2面44住居全景 西から



8 4区2面44住居カマド 北西から





1 4区2面44住居掘り方 西から



2 4区2面45住居全景 北西から



3 4区2面45住居カマド 北西から



4 4区2面45住居掘り方 北西から



5 4区2面46住居全景 西から



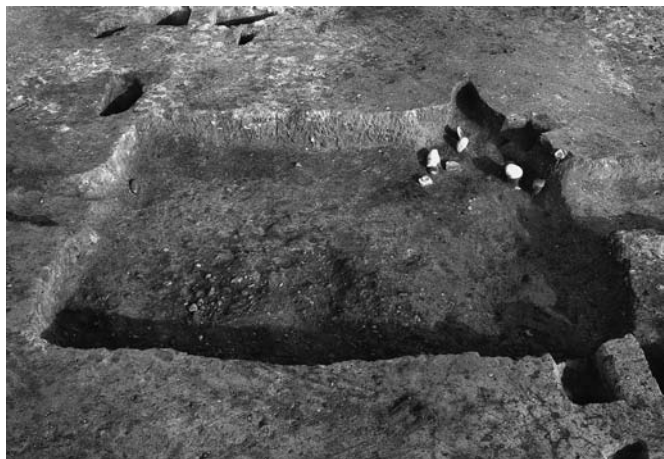
6 4区2面46住居カマド 西から



7 4区2面46住居カマド掘り方 西から



8 4区2面46住居掘り方 西から



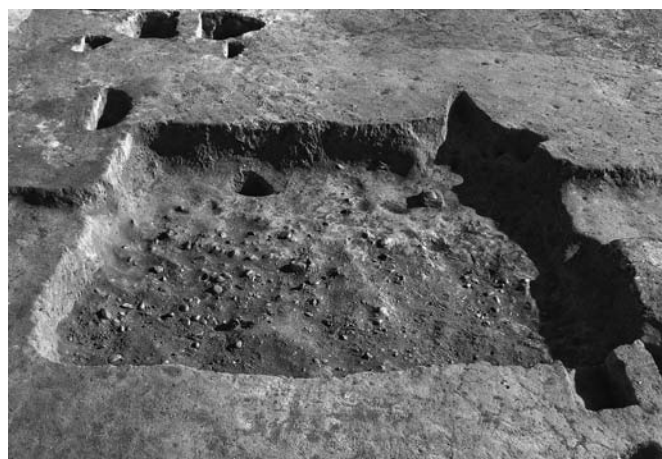
1 4区2面47住居全景 西から



2 4区2面47住居カマド 西から



3 4区2面47住居遺物出土状態 北から



4 4区2面47住居掘り方 西から



5 4区2面48住居全景 西から



6 4区2面48住居掘り方 西から



7 4区2面49住居全景 西から



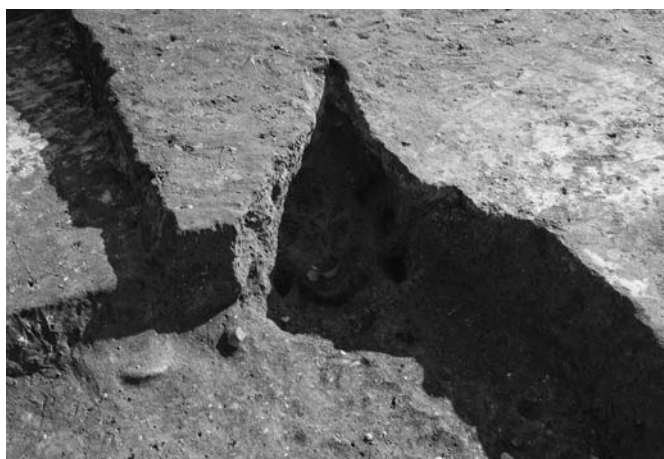
8 4区2面49住居掘り方 西から



1 4区2面50・156住居全景 西から



2 4区2面50住居カマド 西から



3 4区2面50住居カマド掘り方 西から



4 4区2面50・156住居掘り方 西から



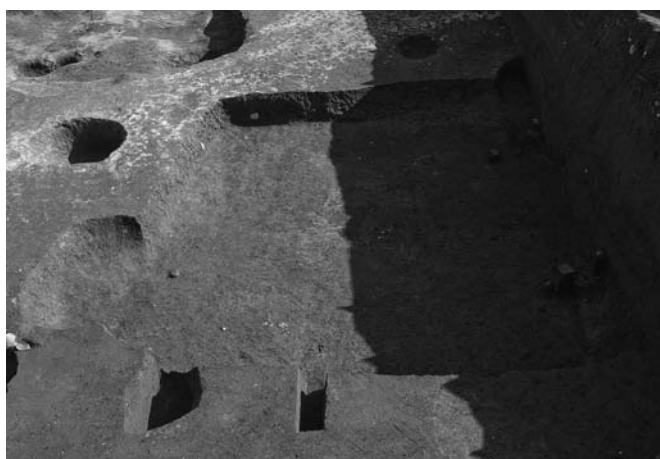
5 4区2面51住居全景 西から



6 4区2面51住居形象埴輪(476・477)出土状態 東から



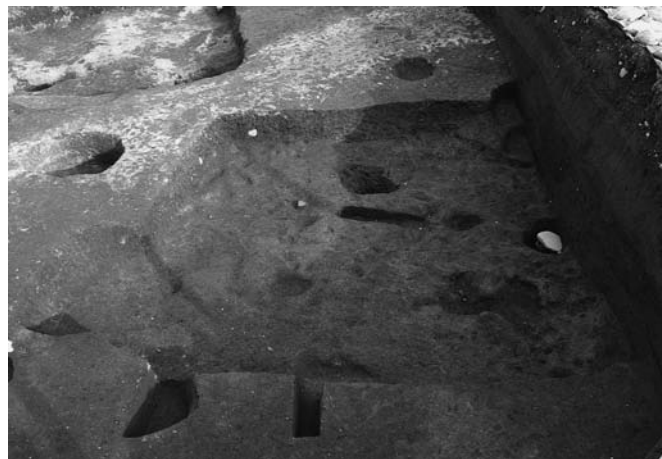
7 4区2面51住居掘り方 西から



8 4区2面52住居全景 西から



1 4区2面52住居カマド 西から



2 4区2面52住居掘り方 西から



3 4区2面53住居全景 南東から



4 4区2面53住居掘り方 北から



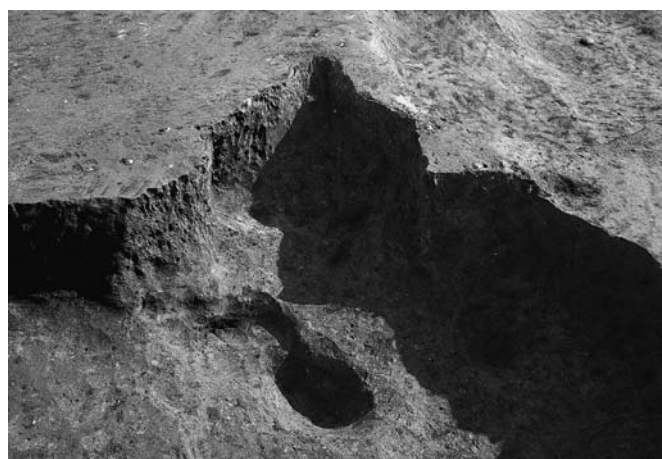
5 4区2面54住居全景 西から



6 4区2面54住居カマド 西から



7 4区2面54住居カマド石組 北西から



8 4区2面54住居カマド掘り方 西から



1 4区2面54住居掘り方 西から



2 4区2面55住居全景 西から



3 4区2面55住居カマド 西から



4 4区2面55住居貯蔵穴 西から



5 4区2面55住居カマド掘り方 西から



6 4区2面55住居掘り方 西から



7 4区2面56住居全景 西から



8 4区2面56住居カマド 北西から



1 4区2面56住居カマド掘り方 北西から



2 4区2面56住居掘り方 西から



3 4区2面57住居全景 西から



4 4区2面57住居カマド土層断面 西から



5 4区2面57住居2カマド 西から



6 4区2面57住居2カマド掘り方 西から



7 4区2面57住居1カマド 西から



8 4区2面57住居掘り方 西から



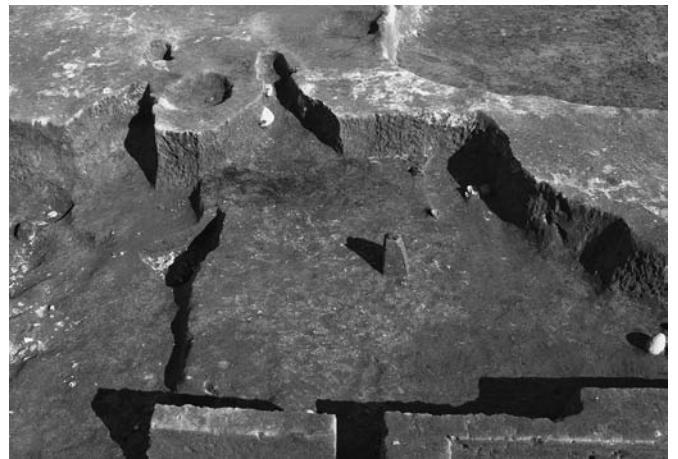
1 4区2面58住居全景 西から



2 4区2面58住居カマド 西から



3 4区2面58住居掘り方 西から



4 4区2面59住居全景 西から



5 4区2面59住居カマド掘り方 西から



6 4区2面59住居掘り方 西から



7 4区2面60住居全景 西から



8 4区2面60住居須恵器碗(535・539・542)出土状態 南東から



1 4区2面60住居カマド 西から



2 4区2面60住居須恵器碗(538)、石製品紡錘車(551)出土状態 東から



3 4区2面60住居カマド掘り方 西から



4 4区2面60住居掘り方 西から



5 4区2面61住居全景 西から



6 4区2面61住居須恵器杯(555)出土状態 北東から



7 4区2面61住居炭化物出土状態 南東から



8 4区2面61住居掘り方 西から





1 4区2面62住居全景 西から



2 4区2面62住居カマド 西から



3 4区2面62住居カマド掘り方 西から



4 4区2面62住居掘り方 西から



5 4区2面63住居全景 西から



6 4区2面63住居カマド 西から



7 4区2面63住居カマド掘り方 西から



8 4区2面63住居掘り方 西から



1 4区2面64住居全景 南西から



2 4区2面64住居掘り方 北から



3 4区2面65住居全景 北西から



4 4区2面65住居カマド 北西から



5 4区2面65住居カマド掘り方 北西から



6 4区2面65住居掘り方 北西から



7 4区2面66住居全景 西から



8 4区2面66住居カマド 西から



1 4区2面66住居掘り方 西から



2 4区2面67住居全景 西から



3 4区2面67住居カマド 西から



4 4区2面67住居カマド掘り方 西から



5 4区2面67住居掘り方 西から



6 4区2面68住居全景 北西から



7 4区2面68住居1カマド 北西から



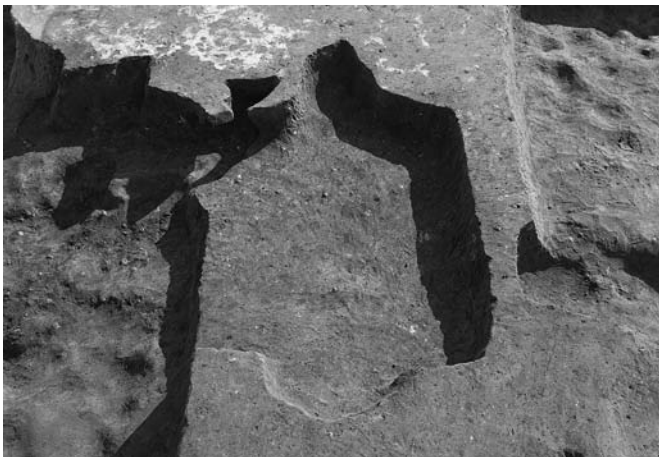
8 4区2面68住居1カマド掘り方 北西から



1 4区2面68住居2カマド 北西から



2 4区2面68住居掘り方 北西から



3 4区2面69住居全景 西から



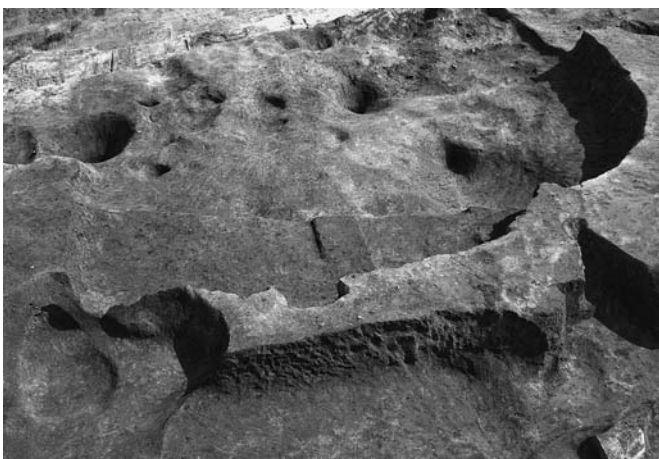
4 4区2面69住居カマド 西から



5 4区2面69住居カマド掘り方 西から



6 4区2面69住居掘り方 西から



7 4区2面70住居全景 西から



8 4区2面70住居掘り方 西から



1 4区2面71・77・78住居全景 北西から



2 4区2面71・77・78住居掘り方 南西から



1 4区2面71住居カマド 西から



2 4区2面77住居2カマド遺物出土状態 西から



3 4区2面77住居2カマド掘り方 北西から



4 4区2面77住居1カマド 北西から



5 4区2面77住居1カマド掘り方 北西から



6 4区2面78住居カマド 西から



7 4区2面78住居カマド掘り方 西から



8 4区2面78住居炭化材出土状態 西から



1 4区2面72住居掘り方 北から



2 4区2面72住居カマド掘り方 西から



3 4区2面73住居全景 西から



4 4区2面73住居カマド 西から



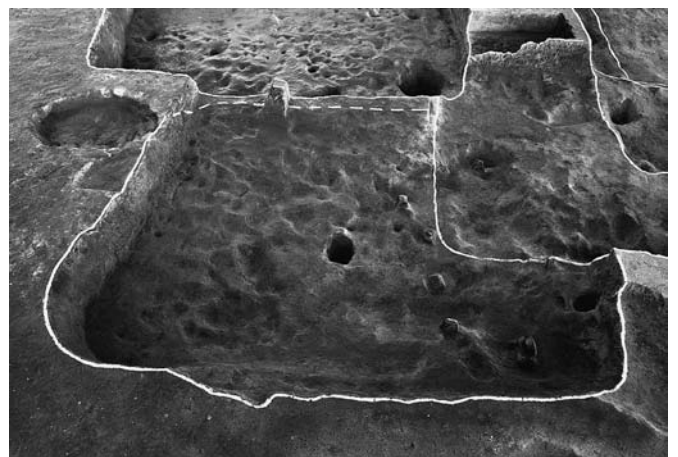
5 4区2面73住居掘り方 西から



6 4区2面74住居全景 西から



7 4区2面74住居カマド 北西から



8 4区2面74住居掘り方 西から



1 4区2面75住居全景 西から



2 4区2面75住居カマド 西から



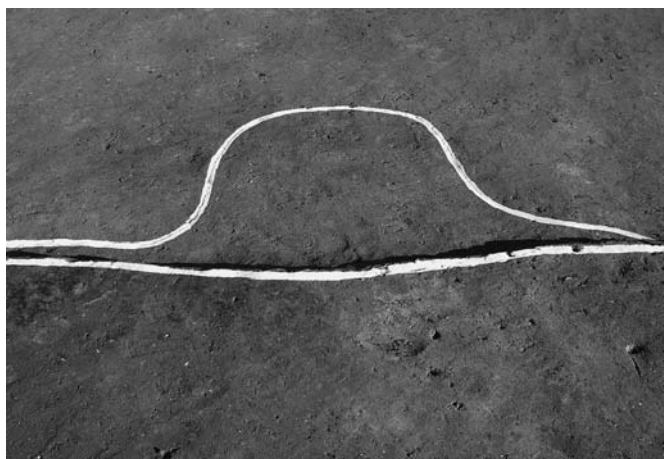
3 4区2面75住居カマド掘り方 西から



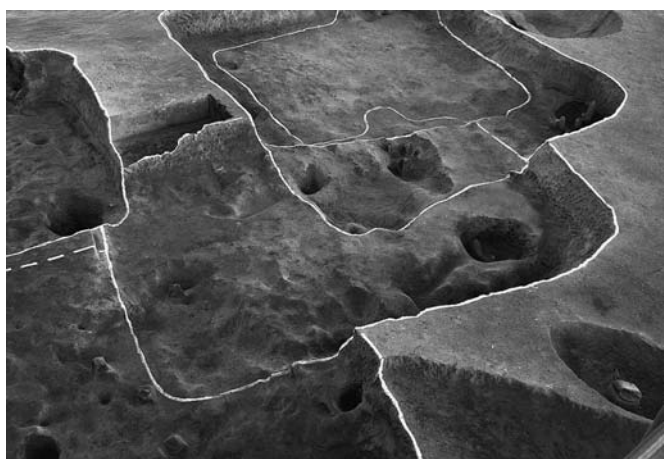
4 4区2面75住居掘り方 西から



5 4区2面76住居全景 西から



6 4区2面76住居カマド 西から



7 4区2面76住居掘り方 北西から



8 4区2面79住居全景 北西から





1 4区2面80住居全景 南西から



2 4区2面81住居掘り方 西から



3 4区2面81住居カマド 南東から



4 4区2面81住居カマド掘り方 北西から



5 4区2面82住居全景 東から



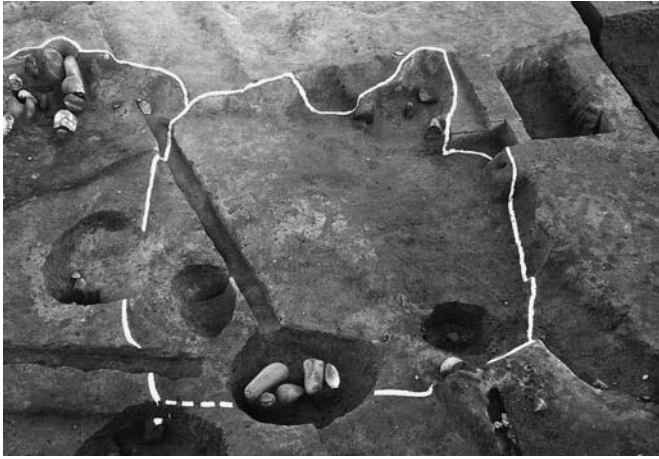
6 4区2面82住居掘り方 東から



7 4区2面83住居カマド遺物出土状態 北東から



8 4区2面83住居カマド 北東から



1 4区2面84住居全景 北西から



2 4区2面84住居カマド付近遺物出土状態 北西から



3 4区2面84住居カマド 北西から



4 4区2面84住居カマド掘り方 北西から



5 4区2面84住居掘り方 西から



6 4区2面85住居全景 北西から



7 4区2面85住居遺物出土状態 東から



8 4区2面85住居 1製鉄炉(左)から続く出土遺物 南西から



1 4区2面87住居炭化材出土状態 東から



2 4区2面87住居炭化材出土状態 南から



3 4区2面87住居全景 東から



4 4区2面87住居掘り方 西から



5 4区2面89住居全景 西から



6 4区2面89住居カマド 西から



7 4区2面89住居カマド掘り方 西から



8 4区2面89住居掘り方 西から



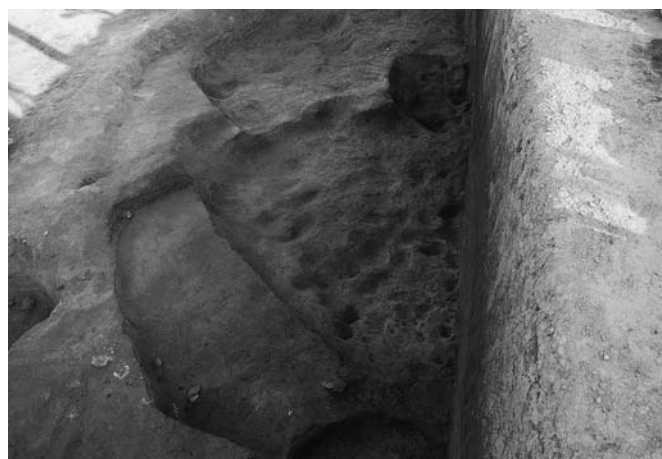
1 4区2面90住居全景 西から



2 4区2面90住居カマド 北西から



3 4区2面90住居カマド掘り方 南西から



4 4区2面90住居掘り方 北西から



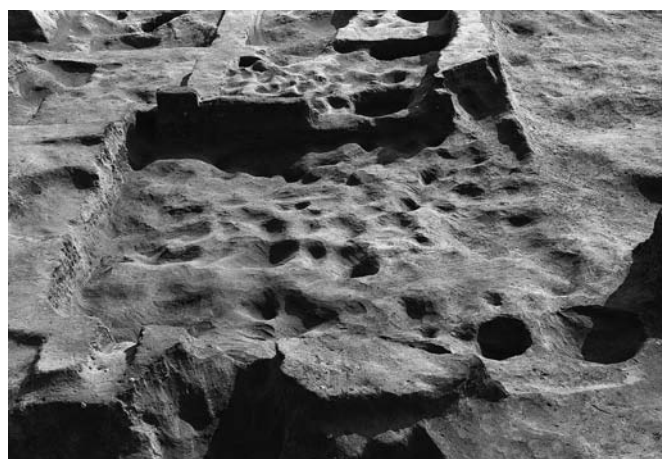
5 4区2面91住居全景 西から



6 4区2面91住居カマド 西から



7 4区2面91住居カマド掘り方 西から



8 4区2面91住居掘り方 西から



1 4区2面139住居全景 西から



2 4区2面139住居カマド 西から



3 4区2面139住居カマド掘り方 西から



4 4区2面139住居掘り方 西から



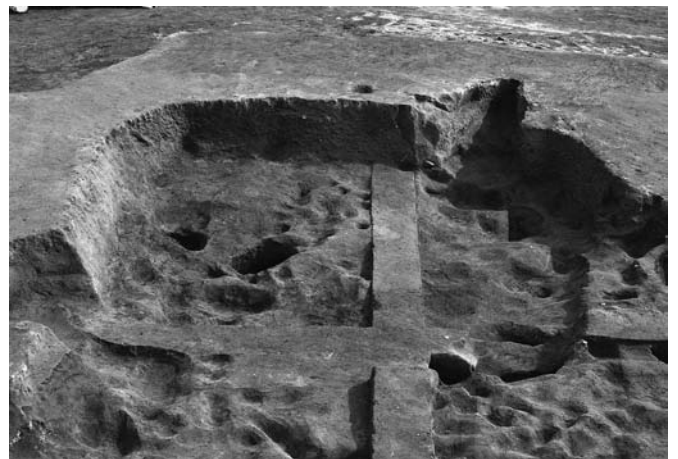
5 4区2面140住居全景 西から



6 4区2面140住居カマド 西から



7 4区2面140住居カマド掘り方 西から



8 4区2面140住居掘り方 西から



1 4区2面141住居(左奥140住居)全景 西から



2 4区2面141住居カマド 西から



3 4区2面141住居カマド掘り方 西から



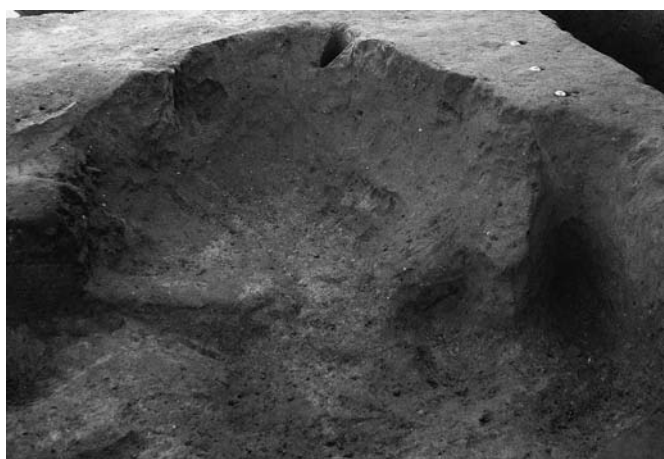
4 4区2面141住居掘り方 西から



5 4区2面142住居全景 北西から



6 4区2面142住居カマド 北西から



7 4区2面142住居カマド掘り方 北西から



8 4区2面142住居掘り方 北西から



1 4区2面143住居遺物出土状態 西から



2 4区2面143住居炭化材出土状態 西から



3 4区2面143住居カマド 西から



4 4区2面143住居カマド掘り方 西から



5 4区2面143住居掘り方 西から



6 4区2面144住居全景 北西から



7 4区2面144住居カマド掘り方 北西から



8 4区2面144住居掘り方 北西から



1 4区2面145住居全景 北西から



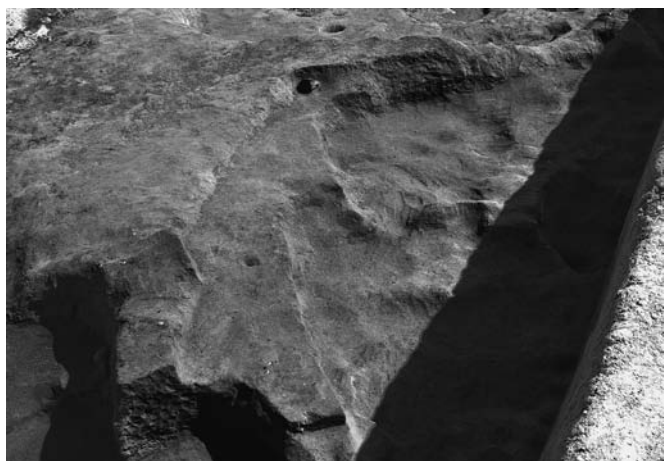
2 4区2面145住居掘り方 北西から



3 4区2面146住居掘り方 西から



4 4区2面146住居貯蔵穴 北から



5 4区2面147住居全景 西から



6 4区2面147住居掘り方 西から



7 4区2面148住居全景 西から

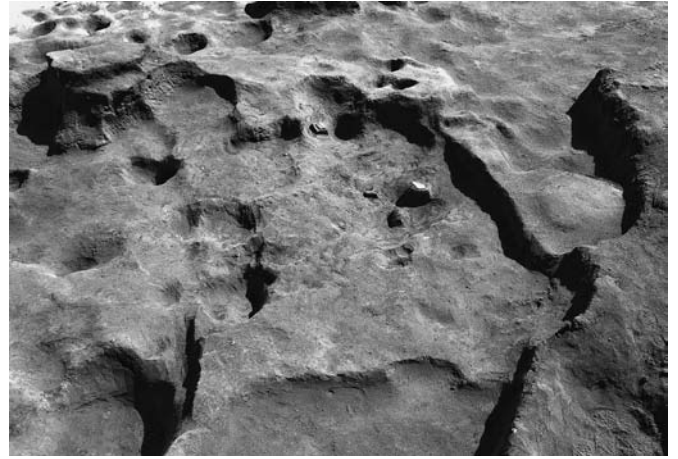


8 4区2面148住居カマド 西から





1 4区2面148住居カマ掘り方 西から



2 4区2面148住居掘り方 西から



3 4区2面149住居全景 北西から



4 4区2面149住居カマド 北西から



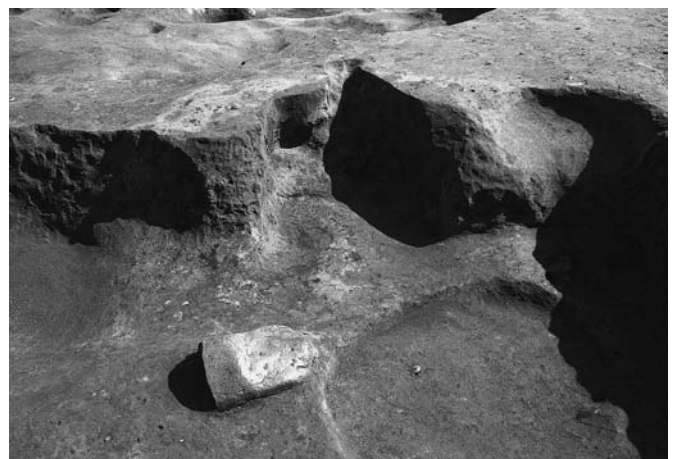
5 4区2面149住居カマド掘り方 南西から



6 4区2面149住居掘り方 北西から



7 4区2面150住居全景 西から



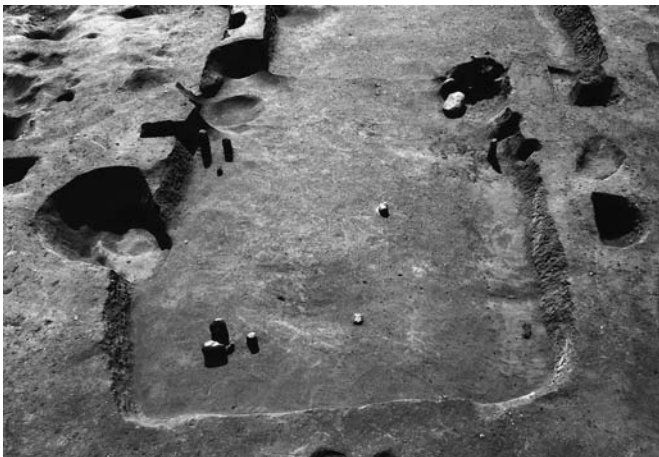
8 4区2面150住居カマド 西から



1 4区2面150住居カマド掘り方 西から



2 4区2面150住居掘り方 西から



3 4区2面151住居全景 北から



4 4区2面151住居カマド 北東から



5 4区2面151住居カマド掘り方 北東から



6 4区2面151住居掘り方 北から



7 4区2面152住居全景 北西から



8 4区2面152住居カマド 北西から



1 4区2面152住居カマド掘り方 北西から



2 4区2面152住居掘り方 北西から



3 4区2面153住居全景 北東から



4 4区2面153住居カマド 北から



5 4区2面153住居カマド掘り方 北から



6 4区2面153住居掘り方 北東から



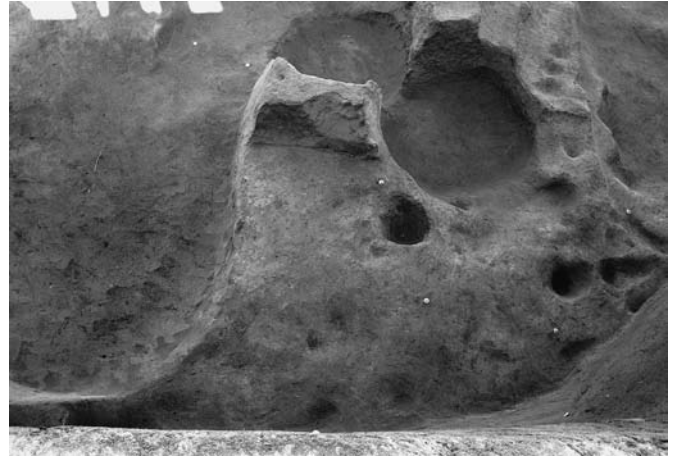
7 4区2面154住居全景 西から



8 4区2面154住居カマド 西から



1 4区2面154住居カマド掘り方 西から



2 4区2面154住居掘り方 西から



3 4区2面155住居全景 西から



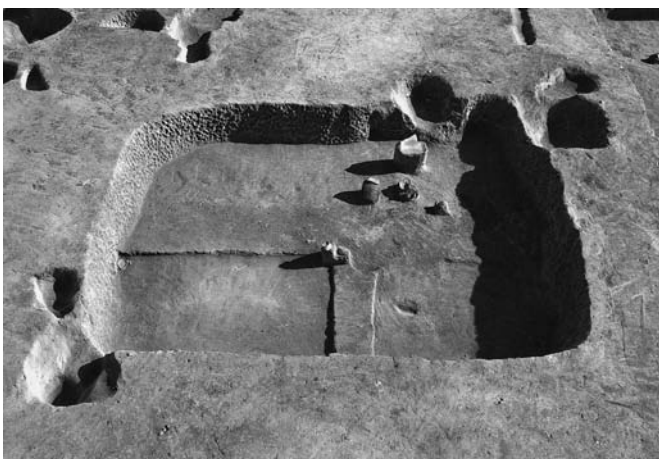
4 4区2面155住居カマド 西から



5 4区2面155住居カマド掘り方 西から



6 4区2面155住居掘り方 西から



7 4区2面7竪穴全景 西から



8 4区2面7竪穴掘り方 西から



1 4区2面9竪穴全景 南西から



2 4区2面10竪穴全景 西から



3 4区2面10竪穴掘り方 西から



4 4区2面11竪穴全景 西から



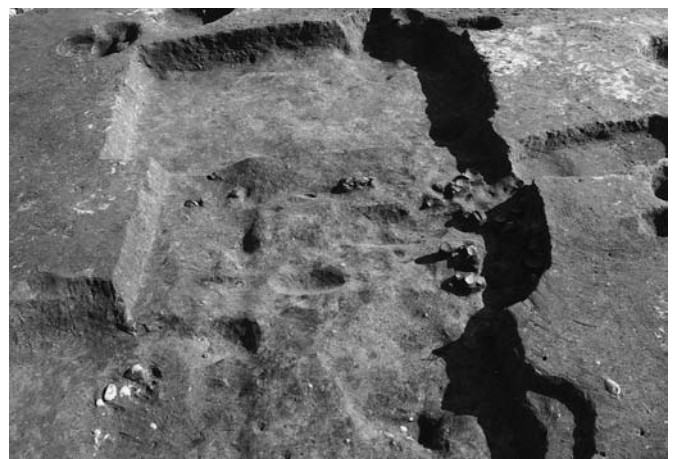
5 4区2面11竪穴掘り方 西から



6 4区2面12竪穴全景(手前46住居、奥43住居) 西から



7 4区2面12竪穴須恵器杯(944・946)、羽釜(955)出土状態 北西から



8 4区2面12竪穴掘り方 西から



1 4区2面13竪穴全景(手前11竪穴、奥10竪穴) 西から



2 4区2面13竪穴掘り方 西から



3 4区2面16溝全景 南西から



4 4区2面23溝土層断面 南から



5 4区2面16・24溝全景 北西から



1 4区2面25溝西部 東から



2 4区2面26溝西部馬歯出土状態 東から



3 4区2面27溝全景 西から



4 4区2面27溝須恵器碗(987)出土状態 東から



5 4区2面27溝須恵器(982・983・989)出土状態 東から



6 4区2面28溝全景 北西から



7 4区2面36溝全景 南東から



1 4区2面29溝全景 南東から



2 4区2面38溝全景 南東から



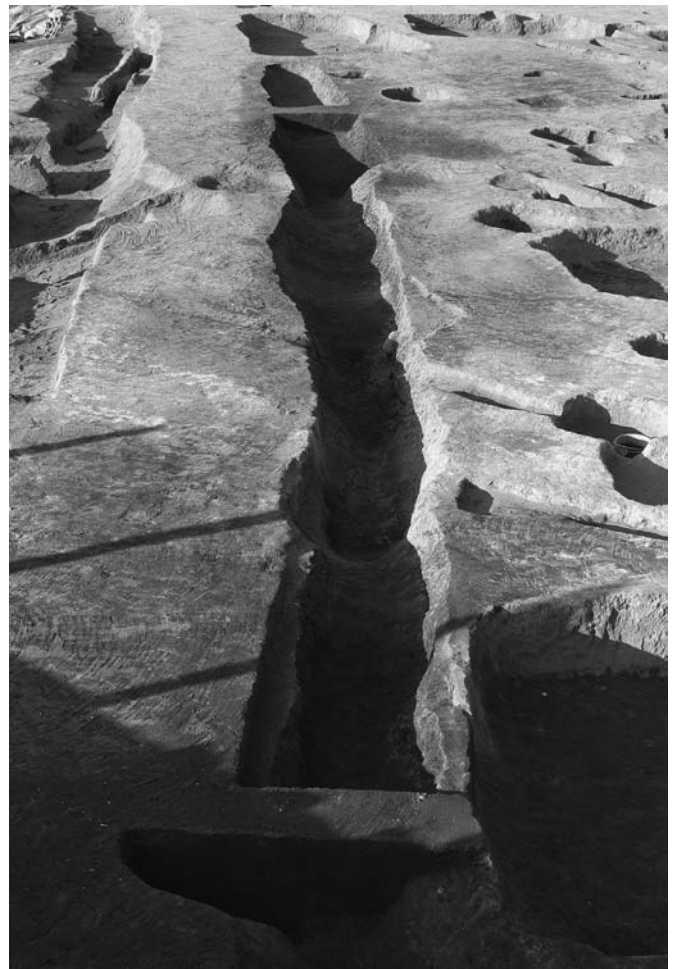
3 4区2面39溝全景 西から



4 4区2面42溝全景 東から



5 4区2面43(左)・44溝全景 南から



6 4区2面45溝全景 南から





1 4区2面1製鉄炉遺物出土状態 東から



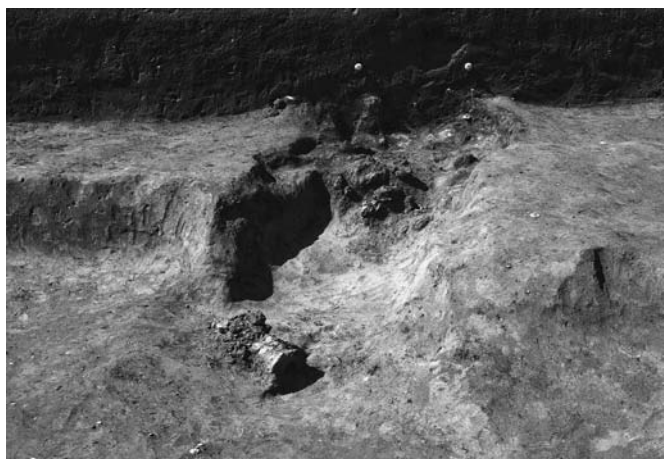
2 4区2面1製鉄炉全景 東から



3 4区2面1製鉄炉近景 東から



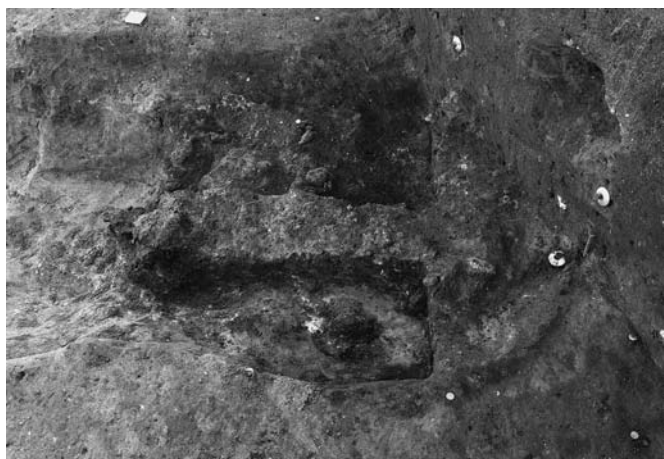
4 4区2面1製鉄炉土層断面 北から



5 4区2面1製鉄炉遺物出土状態 東から



6 4区2面1製鉄炉炉底土層断面 北から



7 4区2面1製鉄炉遺物出土状態 北から



8 4区2面1製鉄炉掘り方 東から



1 4区2面2製鉄炉上位面遺物出土状態 東から



2 4区2面2製鉄炉前庭部遺物出土状態 南東から



3 4区2面2製鉄炉前庭部遺物出土状態 東から



4 4区2面2製鉄炉近景 東から



5 4区2面2製鉄炉全景 北東から



6 4区2面2製鉄炉断ち割り 東から



7 4区2面2製鉄炉断ち割り 南東から



1 4区2面3製鉄炉遺物出土状態 西から



2 4区2面3製鉄炉遺物出土状態 北東から



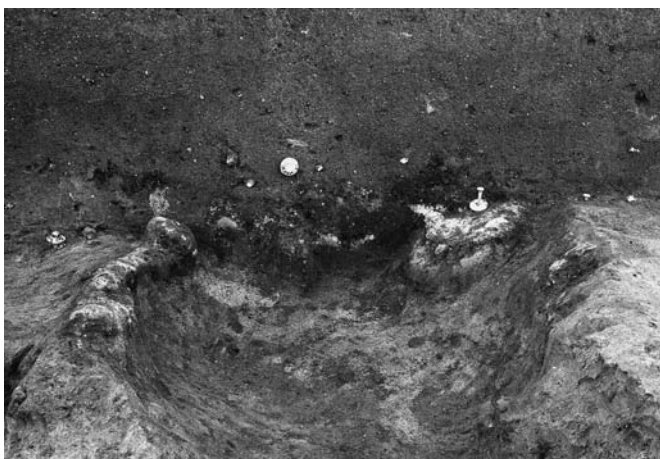
3 4区2面3製鉄炉遺物出土状態 北から



5 4区2面3製鉄炉確認面、底面 西から



4 4区2面3製鉄炉遺物出土状態 北東から



6 4区2面3製鉄炉土層断面 北東から



7 4区2面3製鉄炉全景 東から



1 4区2面1 鍛冶工房遺物出土状態 東から



2 4区2面1 鍛冶工房土層断面中央 南から



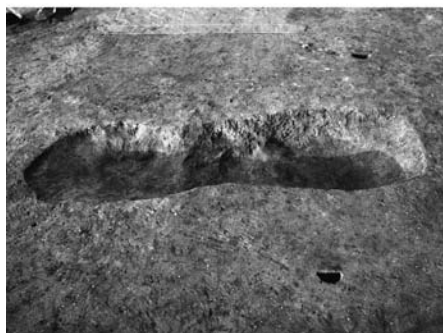
3 4区2面1 鍛冶工房全景 東から



4 4区2面1 鍛冶工房地下坑粘土出土状態 西から



5 4区2面1 鍛冶工房掘り方 東から



1 4区2面149土坑全景 南から



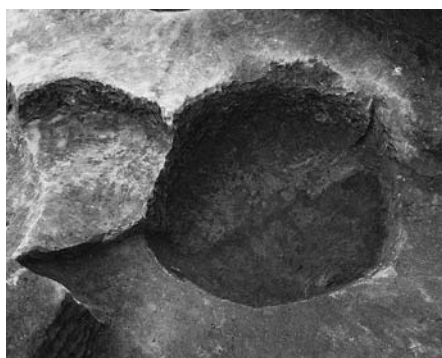
2 4区2面163土坑土層断面 南から



3 4区2面164土坑全景 北から



4 4区2面166土坑全景 東から



5 4区2面168(左)・169土坑全景 北から



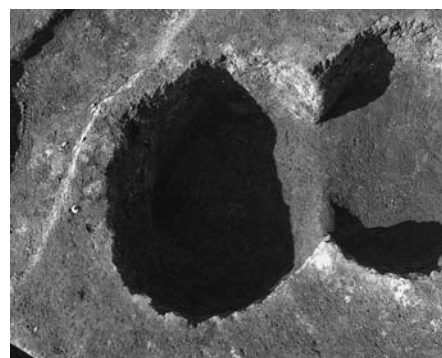
6 4区2面170土坑全景 東から



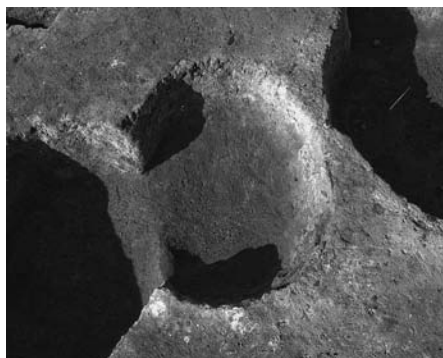
7 4区2面171(右)・172土坑全景 東から



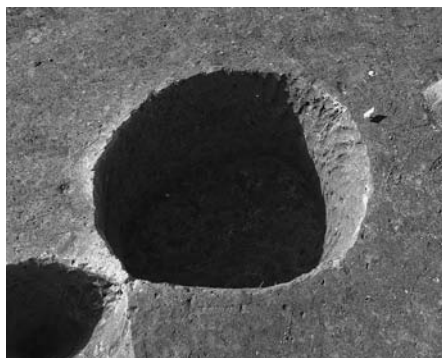
8 4区2面286土坑全景 南東から



9 4区2面287土坑全景 西から



10 4区2面288土坑全景 西から



11 4区2面289土坑全景 北東から



12 4区2面290土坑全景 東から



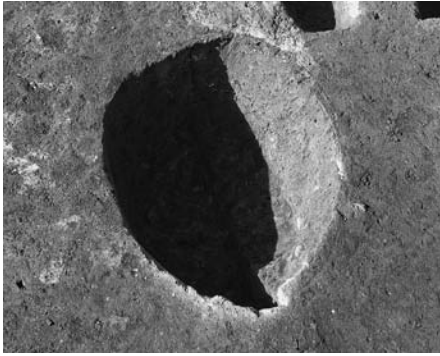
13 4区2面291土坑全景 南から



14 4区2面292土坑全景 南から



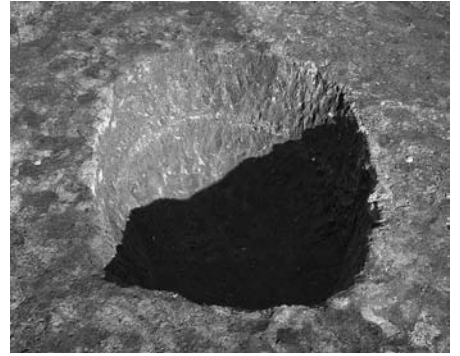
15 4区2面293土坑全景 北東から



1 4区2面294土坑全景 東から



2 4区2面295土坑全景 東から



3 4区2面296土坑全景 南から



4 4区2面297土坑土層断面 南東から



5 4区2面298土坑全景 北から



6 4区2面299土坑全景 西から



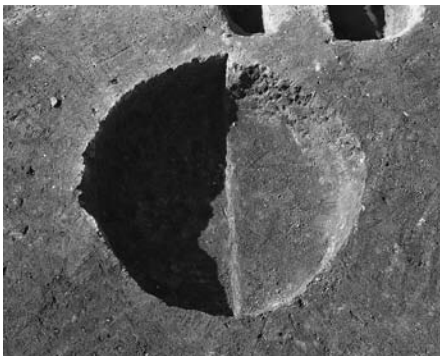
7 4区2面299土坑遺物出土状態 西から



8 4区2面300土坑全景 東から



9 4区2面355土坑全景 東から



10 4区2面356土坑全景 東から



11 4区2面357土坑全景 東から



12 4区2面360土坑全景 南西から



13 4区2面361土坑全景 東から



14 4区2面362土坑 北東から



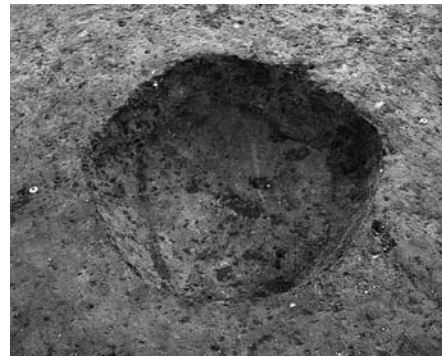
15 4区2面363土坑 南西から



1 4区2面365土坑全景 南から



2 4区2面381土坑全景 東から



3 4区2面382土坑全景 北から



4 4区2面384土坑全景 南東から



5 4区2面385土坑全景 南東から



6 4区2面386土坑全景 北から



7 4区2面387土坑全景 南東から



8 4区2面388土坑全景 南東から



9 4区2面389土坑土層断面 西から



10 4区2面390土坑土層断面 北から



11 4区2面391土坑全景 南から



12 4区2面392土坑全景 南から



13 4区2面393土坑土層断面 南から



14 4区2面395土坑土層断面 東から



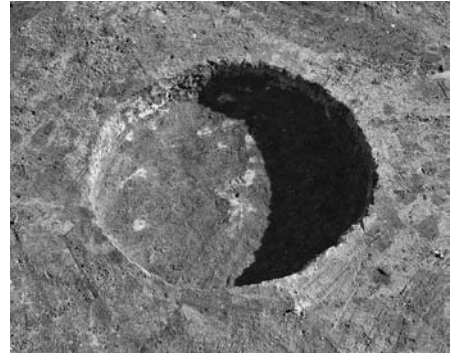
15 4区2面397土坑全景 南から



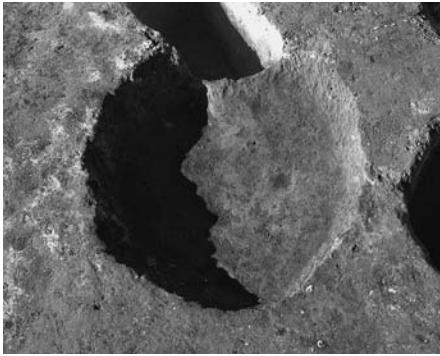
1 4区2面398土坑全景 北東から



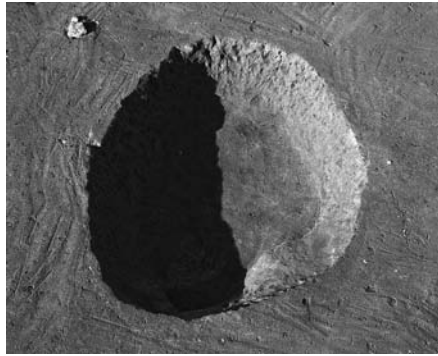
2 4区2面400土坑全景 北東から



3 4区2面401土坑全景 西から



4 4区2面402土坑全景 南東から



5 4区2面403土坑全景 南から



6 4区2面404土坑全景 南東から



7 4区2面405土坑全景 北西から



8 4区2面406土坑全景 南東から



9 4区2面407土坑全景 東から



10 4区2面408土坑全景 南から



11 4区2面409土坑全景 南西から



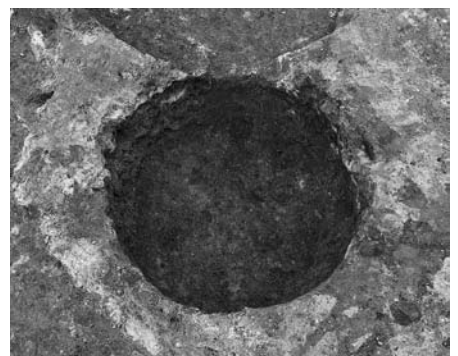
12 4区2面410土坑全景 南から



13 4区2面411土坑全景 東から

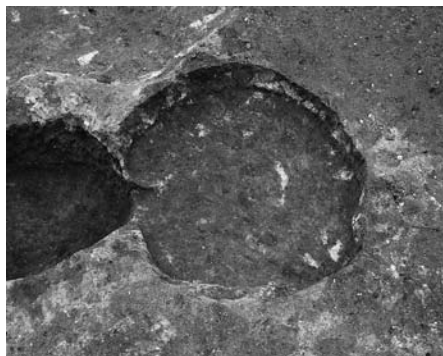


14 4区2面412土坑全景 東から

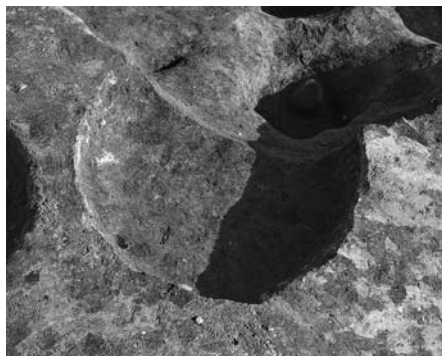


15 4区2面413土坑全景 南から





1 4区2面414土坑全景 東から



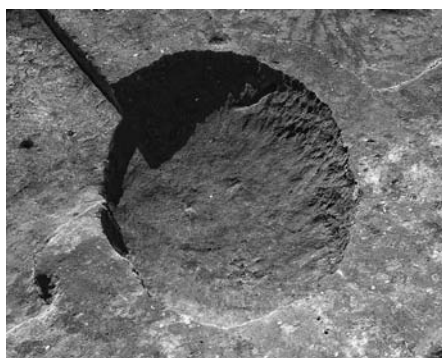
2 4区2面415土坑全景 南西から



3 4区2面416土坑全景 南西から



4 4区2面417土坑全景 西から



5 4区2面418土坑全景 北東から



6 4区2面419土坑全景 南西から



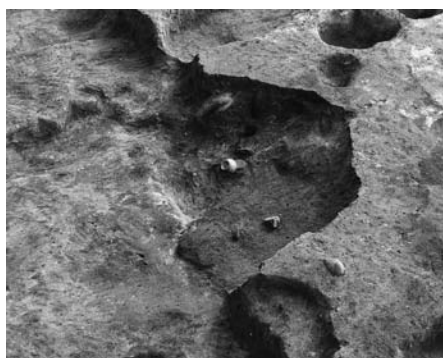
7 4区2面420土坑 南から



8 4区2面421土坑遺物出土状態 西から



9 4区2面421土坑遺物出土状態 東から



10 4区2面421土坑全景 西から



11 4区2面422土坑全景 北西から



12 4区2面422土坑鉄製品釘出土状態 東から



13 4区2面423土坑全景 南から



14 4区2面424土坑全景 南から



15 4区2面425土坑全景 南東から



1 4区2面426土坑全景 南東から



2 4区2面430土坑全景 南から



3 4区2面429土坑全景 南から



4 4区2面427土坑全景 南から



5 4区2面427土坑遺物出土状態 南から



6 4区2面431土坑全景 東から



7 4区2面432土坑全景 北東から



8 4区2面433土坑全景 東から



9 4区2面434土坑全景 東から



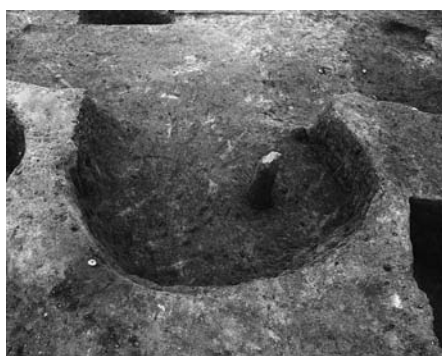
10 4区2面435土坑全景 北東から



11 4区2面436土坑全景 西から



12 4区2面437土坑全景 西から



13 4区2面438土坑全景 西から



14 4区2面440土坑全景 北から



1 4区2面442土坑全景 南西から



2 4区2面445土坑全景 北から



3 4区2面446土坑全景 北から



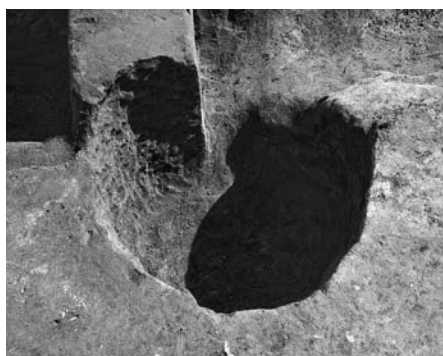
4 4区2面447土坑全景 西から



5 4区2面450土坑全景 北から



6 4区2面451土坑全景 南から



7 4区2面452土坑全景 南から



8 4区2面453土坑全景 南から



9 4区2面72ピット全景 北から



10 4区2面73ピット全景 南から



11 4区2面74ピット全景 南から



12 4区2面75ピット全景 南から



13 4区2面121ピット全景 東から



14 4区2面121ピット灰釉壺(1139) 東上から



15 4区2面121ピット灰釉壺(1139) 東から



1 4区3面空撮(北側) 垂直方向から



2 4区3面空撮(南側) 垂直方向から



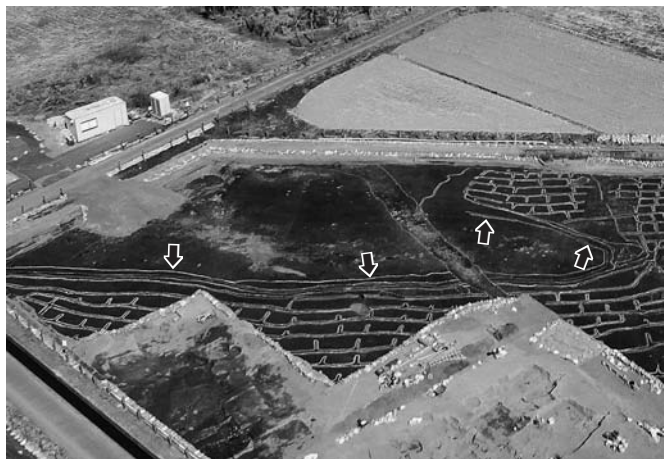
1 4区3面空撮(北側) 南東から



2 4区3面空撮(南側) 北西から



1 4区3面47溝全景 南東から



2 4区3面48溝全景 南西から



3 4区3面48溝全景 南から



4 4区46溝全景 北東から



5 4区46溝全景 南から



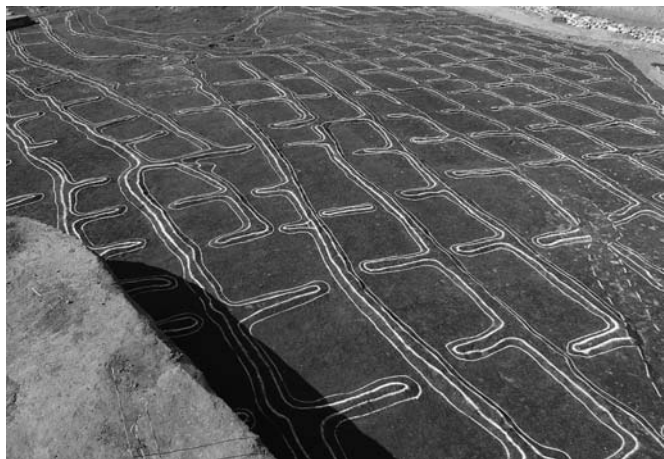
6 4区48溝土層断面 南東から



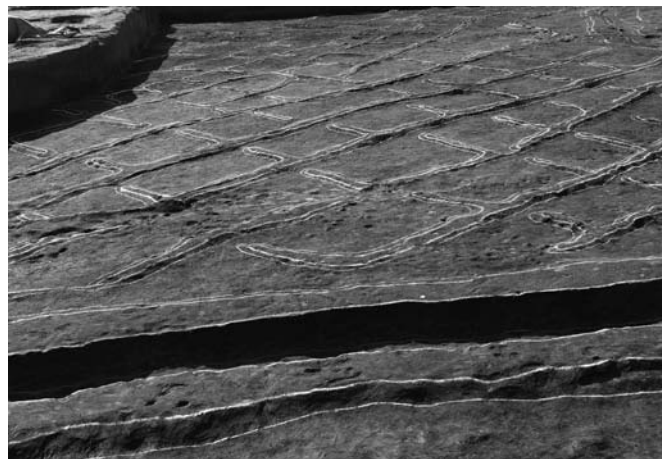
7 4区3面水田近景 南東から



8 4区3面水田近景 西から



1 4区3面水田近景 南から



2 4区3面水田近景 南から



3 4区3面水田近景 北西から



4 4区3面1集石、周辺遺物出土状態 南から



5 4区3面1集石全景 北から



6 4区3面石列全景 南から



1 5区1面As-B上全景 南から



2 5区1面31溝全景 北から



3 5区1面32溝全景 北から





1 5区1面33溝全景 南から



2 5区1面8畠全景 西から



3 5区1面9畠全景 西から



4 5区1面10畠全景 北西から



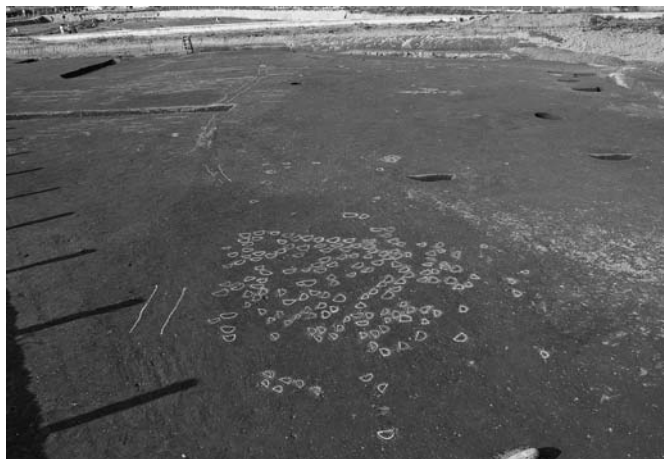
5 5区1面10畠全景、耕具痕 南から



6 5区1面11畠全景 南東から



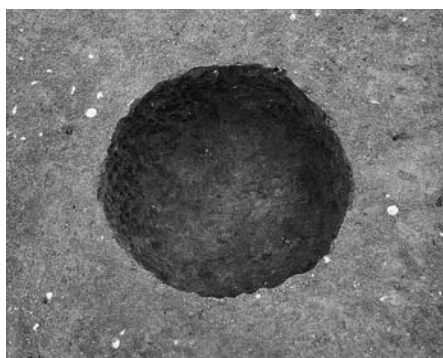
7 5区1面耕具痕全景、10畠 南から



1 5区1面耕具痕 南から



2 5区1面耕具痕中央西 南から



3 5区1面181土坑全景 南から



4 5区1面182土坑土層断面 南から



5 5区1面183土坑全景 南西から



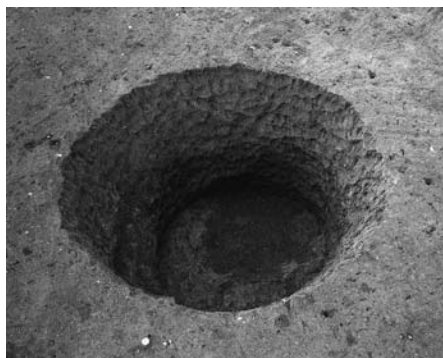
6 5区1面184土坑全景 南から



7 5区1面185土坑全景 西から



8 5区1面186土坑全景 西から



9 5区1面187土坑全景 東から



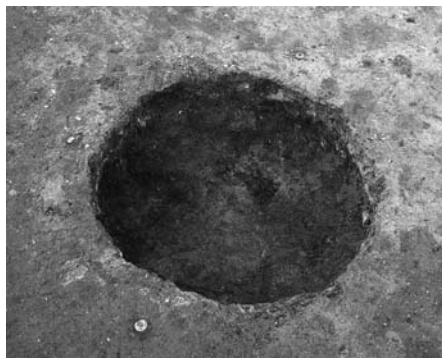
10 5区1面188土坑全景 東から



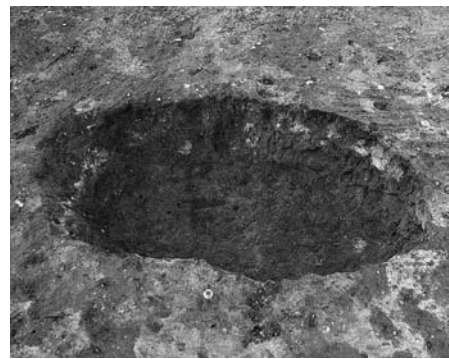
11 5区1面189土坑全景 東から



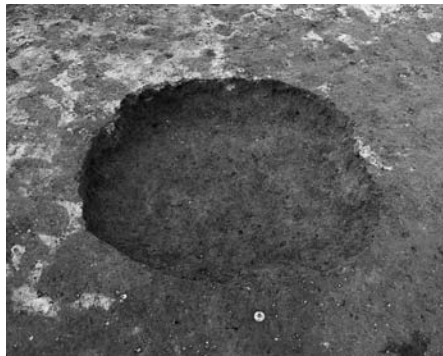
12 5区1面190土坑全景 南東から



13 5区1面191土坑全景 北東から



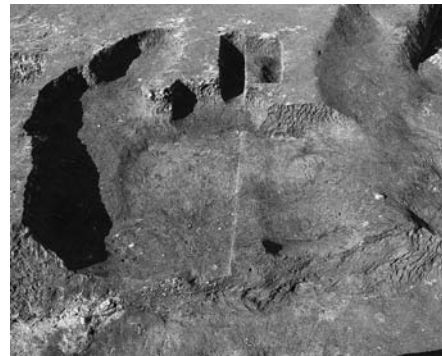
14 5区1面192土坑全景 東から



1 5区1面193土坑全景 東から



2 5区1面194土坑全景 東から



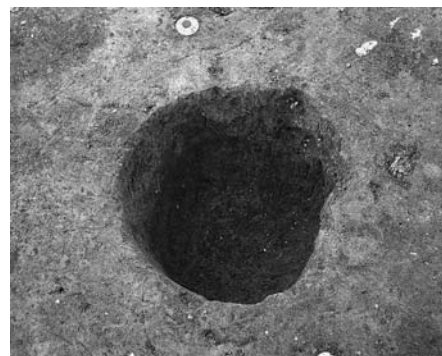
3 5区1面195土坑全景 東から



4 5区1面196土坑全景 東から



5 5区1面101ピット全景 南から



6 5区1面102ピット全景 東から



7 5区1面3河道全景 南から



1 5区2面空撮 北上空から



2 5区2面空撮 南上空から



1 5区2面空撮 東上空から



2 5区2面空撮 西上空から



1 5区2面93住居全景 西から



2 5区2面93住居カマド 西から



3 5区2面93住居掘り方 西から



4 5区2面94住居全景 西から



5 5区2面94住居掘り方 西から



6 5区2面94・95住居掘り方 西から



7 5区2面95住居全景 西から



8 5区2面97住居全景 西から



1 5区2面97住居掘り方 西から



2 5区2面101住居全景 南から



3 5区2面101住居掘り方 西から



4 5区2面102住居全景 東から



5 5区2面102住居須恵器椀(1237)出土状態 北東から



6 5区2面103住居全景 西から



7 5区2面103住居カマド 西から



8 5区2面103住居掘り方 西から



1 5区2面103住居ピット 南から



2 5区2面104住居全景 西から



3 5区2面104住居カマド遺物出土状態 西から



4 5区2面104住居カマド 西から



5 5区2面104住居貯蔵穴 北西から



6 5区2面104住居掘り方 西から



7 5区2面104住居カマド掘り方 西から

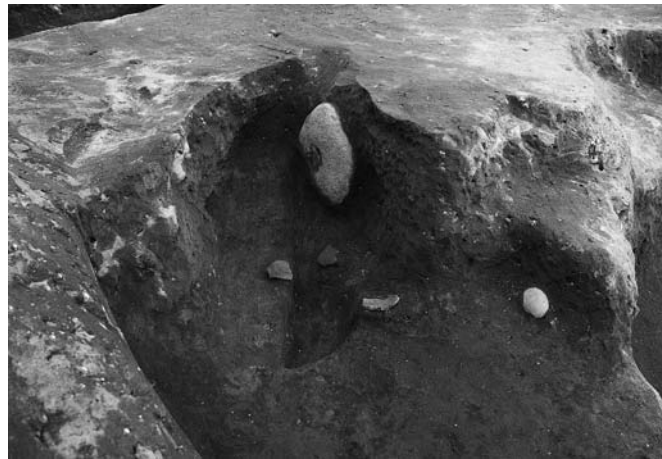


8 5区2面105住居土層断面B-B' 西から





1 5区2面105住居掘り方 西から



2 5区2面106住居カマド燃烧部 西から



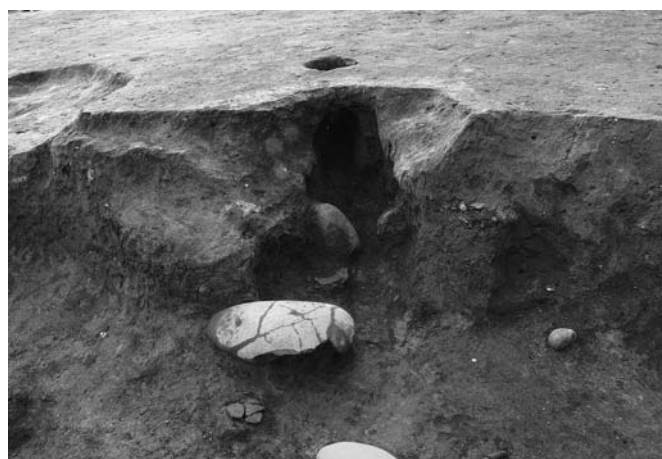
3 5区2面106住居全景 西から



4 5区2面106住居掘り方 西から



5 5区2面107住居全景 東から



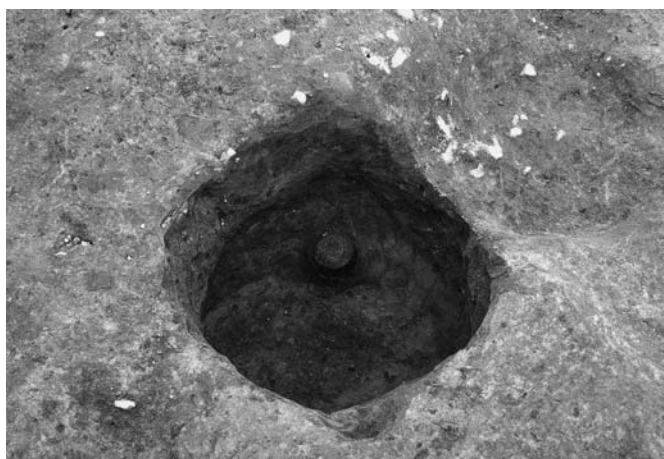
6 5区2面107住居カマド 北東から



1 5区2面107住居掘り方 東から



2 5区2面107住居2カマド掘り方 北東から



3 5区2面107住居土坑1 西から



4 5区2面107住居土坑3 東から



5 5区2面107住居1カマド 西から



6 5区2面107住居1カマド掘り方 西から



7 5区2面109住居全景 西から



8 5区2面109住居遺物出土状態 西から



1 5区2面109住居2カマド 西から



2 5区2面109住居1カマド 北西から



3 5区2面109住居掘り方 西から



4 5区2面110住居全景 北から



5 5区2面110住居遺物出土状態 西から



6 5区2面110住居掘り方 北から



7 5区2面111住居全景 西から



8 5区2面111住居カマド 北西から



1 5区2面111住居掘り方 西から



2 5区2面111住居カマド掘り方 西から



3 5区2面111住居土師器ミニチュア(1296)出土状態 南から



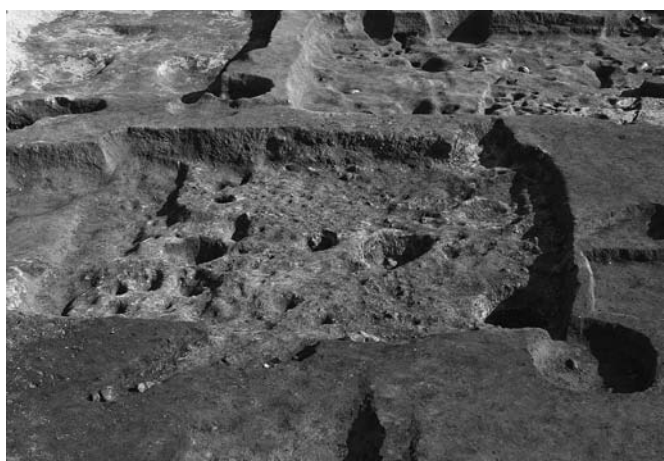
4 5区2面112住居全景 西から



5 5区2面112住居カマド 西から



6 5区2面112住居須恵器杯(1305)出土状態 西から



7 5区2面112住居掘り方 西から



8 5区2面112住居カマド掘り方 西から



1 5区2面112住居土坑1 西から



2 5区2面113住居全景 西から



3 5区2面113住居遺物出土状態 西から



4 5区2面113住居カマド 西から



5 5区2面113住居掘り方 西から



6 5区2面113住居カマド掘り方 西から



7 5区2面114住居全景 西から



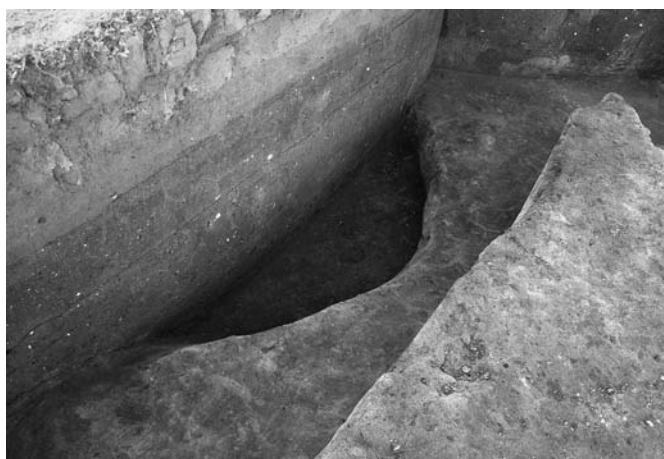
8 5区2面114住居カマド 西から



1 5区2面114住居掘り方 西から



2 5区2面115住居掘り方 西から



3 5区2面116住居全景 南東から



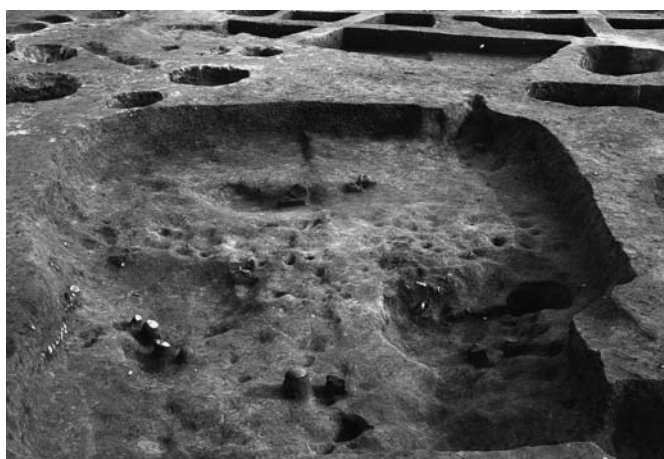
4 5区2面117住居全景 北から



5 5区2面118住居全景 西から



6 5区2面118住居カマド 西から



7 5区2面118住居掘り方 西から



8 5区2面118住居カマド掘り方 西から



1 5区2面119住居全景 西から



2 5区2面119住居カマド 西から



3 5区2面119住居掘り方 西から



4 5区2面120住居全景 西から



5 5区2面120住居カマド 北西から



6 5区2面120住居掘り方 西から



7 5区2面120住居カマド掘り方 北西から



8 5区2面121住居全景 西から



1 5区2面121住居カマド煙道部 西から



2 5区2面121住居カマド煙道部遺物出土状態 北から



3 5区2面121住居カマド燃焼部 北西から



4 5区2面121住居南半部 西から



5 5区2面121住居貯蔵穴掘り方 西から



6 5区2面121住居掘り方 西から



7 5区2面121住居カマド煙道部掘り方 西から



8 5区2面121住居カマド燃焼部掘り方 西から





1 5区2面122住居全景 西から



2 5区2面122住居遺物出土状態1 西から



3 5区2面122住居遺物出土状態2 西から



4 5区2面122住居遺物出土状態3 西から



5 5区2面122住居2カマド1 北西から



6 5区2面122住居2カマド2 北西から



7 5区2面122住居2カマド3 西から



8 5区2面122住居2カマド4 北西から



1 5区2面122住居2カマド5 北西から



2 5区2面122住居掘り方 西から



3 5区2面122住居2カマド掘り方 北西から



4 5区2面122住居1カマド掘り方 西から



5 5区2面124住居全景 西から



6 5区2面124住居カマド 北西から



7 5区2面124住居掘り方 西から



8 5区2面124住居カマド掘り方 北西から



1 5区2面124住居貯蔵穴 南から



2 5区2面125住居全景(右124住居) 西から



3 5区2面125住居カマド 西から



4 5区2面125住居掘り方 西から



5 5区2面125住居カマド掘り方 西から



6 5区2面126住居土層断面A-A' 南から



7 5区2面126住居全景 西から



8 5区2面126住居カマド 西から



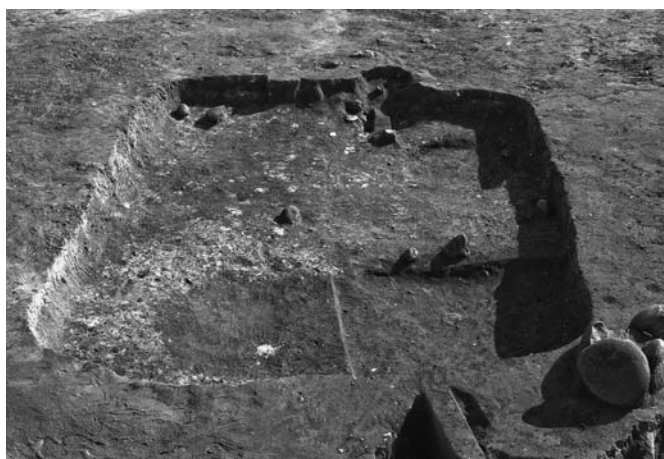
1 5区2面126住居掘り方 西から



2 5区2面126住居カマド掘り方 西から



3 5区2面126住居貯蔵穴遺物出土状態 東から



4 5区2面127住居全景 北西から



5 5区2面127住居カマド 北西から



6 5区2面127住居遺物出土状態 南西から



7 5区2面127住居掘り方 北西から



8 5区2面127住居カマド掘り方土層断面C-C' 南から



1 5区2面127住居カマド掘り方 北西から



2 5区2面128住居全景 西から



3 5区2面128住居カマド 北西から



4 5区2面128住居掘り方 北から



5 5区2面129住居全景 西から



6 5区2面129住居遺物出土状態 南から



7 5区2面129住居カマド燃焼部 西から



8 5区2面129住居掘り方 北から



1 5区2面129住居土坑1 西から



2 5区2面130住居全景 西から



3 5区2面130住居遺物出土状態1 西から



4 5区2面130住居遺物出土状態2 西から



5 5区2面130住居カマド 西から



6 5区2面130住居掘り方 北から



7 5区2面131住居掘り方 北から



8 5区2面131住居土坑1 北から



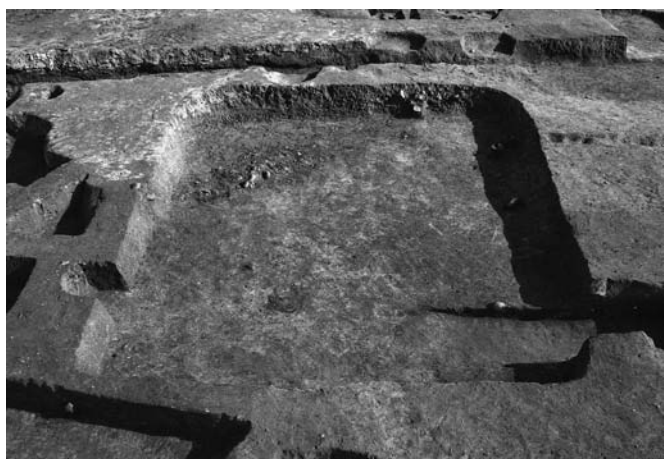
1 5区2面132住居全景 西から



2 5区2面132住居カマド 西から



3 5区2面132住居掘り方 北から



4 5区2面133住居全景 西から



5 5区2面133住居遺物出土状態 北から



6 5区2面133住居掘り方 西から



7 5区2面133住居掘り方西壁前溝 北から



8 5区2面133住居土坑1 北西から



1 5区2面134住居全景(右奥133住居) 北西から



2 5区2面134住居カマド炭化物出土状態 西から



3 5区2面134住居掘り方 北西から



4 5区2面135住居全景 西から



5 5区2面135住居カマド 西から



6 5区2面135住居掘り方 北から



7 5区2面136・137住居土層断面A-A' 北東から



8 5区2面136住居全景 北から





1 5区2面136住居須恵器杯(1437)出土状態 南東から



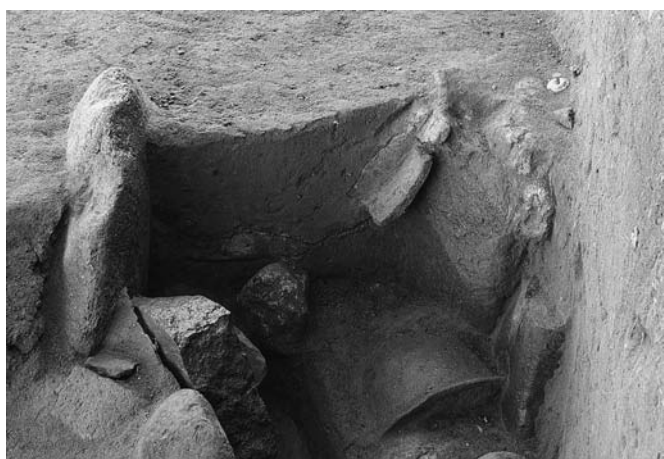
2 5区2面136住居遺物出土状態 西から



3 5区2面136住居カマド 北西から



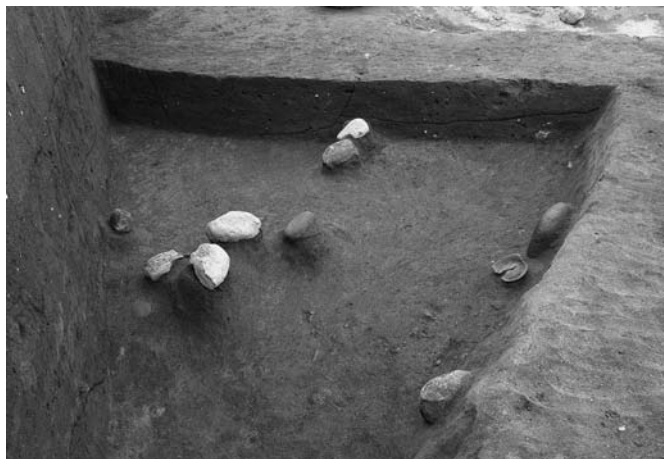
4 5区2面136住居カマド掘り方 北西から



5 5区2面136住居カマド土層断面E-E' 北西から



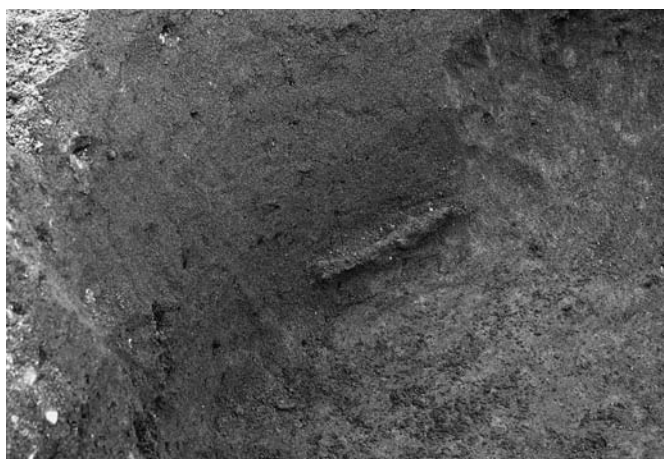
6 5区2面136住居掘り方 北から



1 5区2面137住居土層断面B-B' 南から



2 5区2面137住居全景 北から



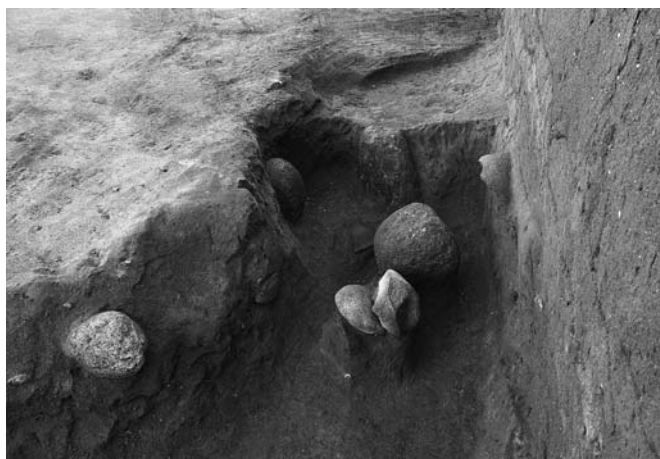
3 5区2面137住居鉄製品(1448)出土状態 北西から



4 5区2面137住居須恵器杯(1444)出土状態 西から



5 5区2面137住居掘り方 北から



6 5区2面137住居カマド掘り方 北西から



7 5区2面138住居全景 西から



8 5区2面138住居遺物出土状態 東から



1 5区2面138住居カマド 北西から



2 5区2面138住居掘り方 西から



3 5区2面138住居カマド掘り方 北西から



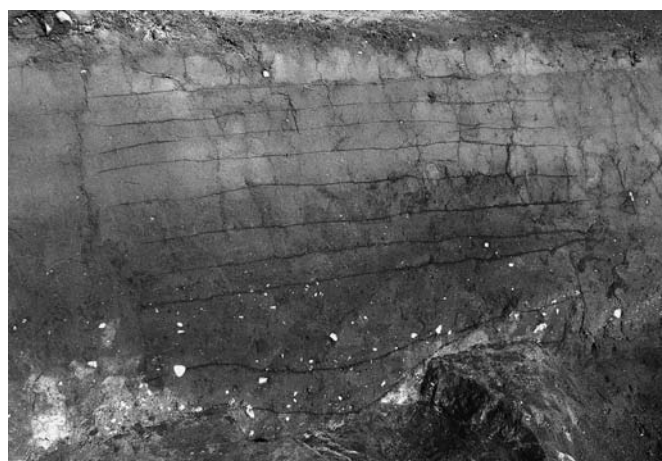
4 5区2面8竪穴全景 南から



5 5区2面8竪穴遺物出土状態 南東から



6 5区2面34溝全景 南西から



7 5区2面36溝a土層断面 南から



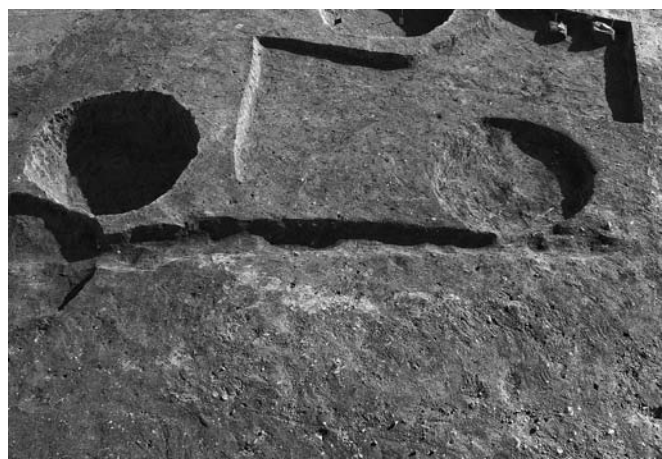
1 5区2面34溝・36溝 a 全景 北東から



2 5区2面36溝 a 全景 北西から



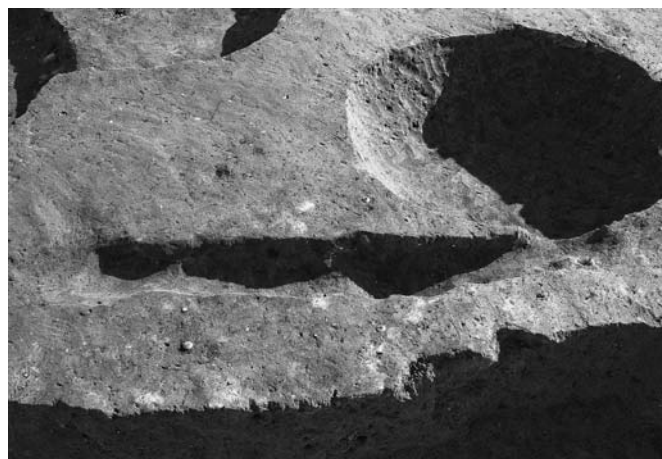
3 5区2面36溝 b 全景 西から



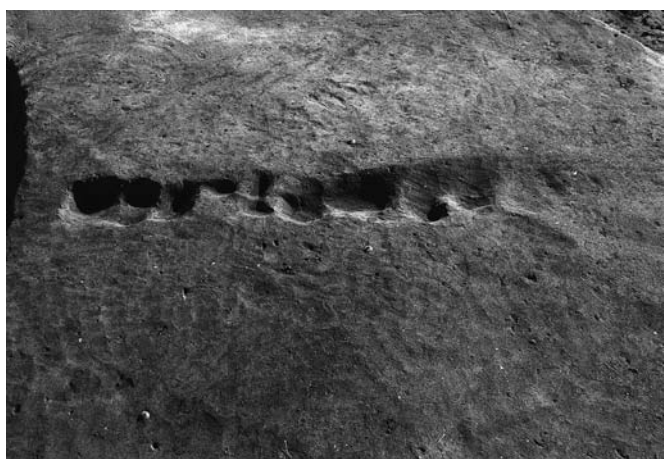
4 5区2面13畠 全景 西から



5 5区2面14畠 全景 南西から



6 5区2面15畠 全景 西から



7 5区2面16畠 全景 西から



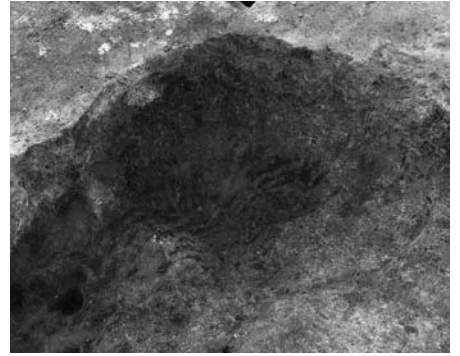
8 5区2面17畠 全景 南から



1 5区2面174土坑全景 北から



2 5区2面174土坑遺物出土状態 北から



3 5区2面175土坑全景 北から



4 5区2面177土坑全景 東から



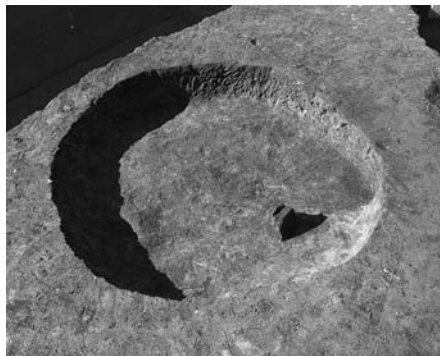
5 5区2面177土坑土層断面 東から



6 5区2面178土坑全景 南から



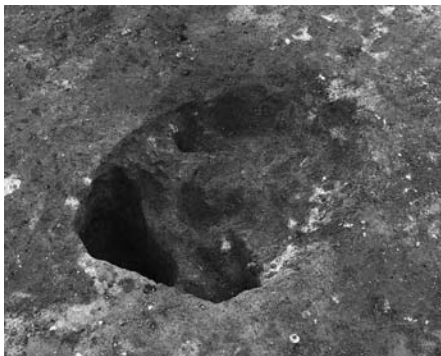
7 5区2面179土坑全景 西から



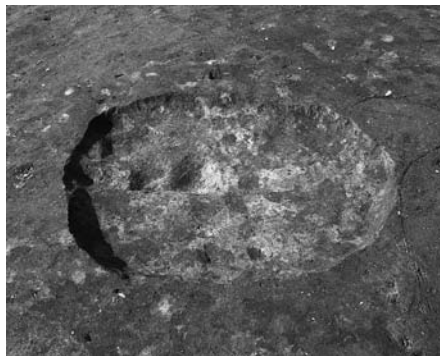
8 5区2面197土坑全景 東から



9 5区2面198土坑全景 西から



10 5区2面199土坑全景 北東から



11 5区2面200土坑全景 東から



12 5区2面211土坑全景 東から



13 5区2面212土坑全景 東から



14 5区2面213土坑全景 西から



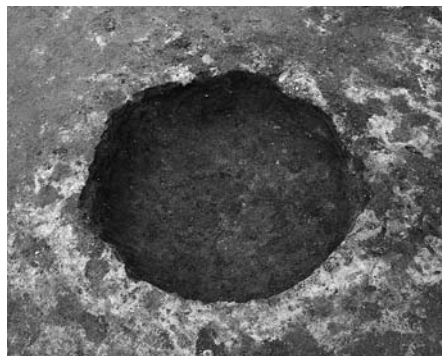
15 5区2面214土坑全景 北東から



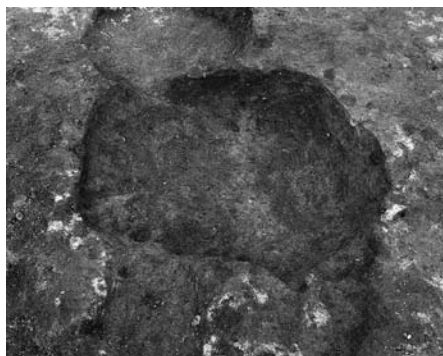
1 5区2面215土坑全景 北東から



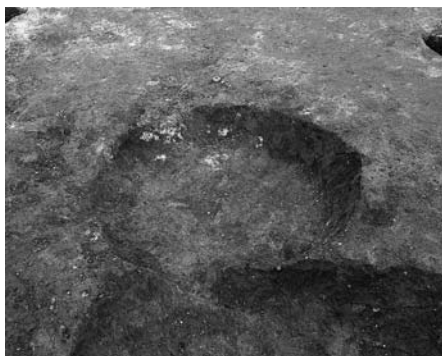
2 5区2面216土坑全景 北から



3 5区2面217土坑全景 東から



4 5区2面218土坑全景 南から



5 5区2面219土坑全景 南から



6 5区2面220土坑全景 東から



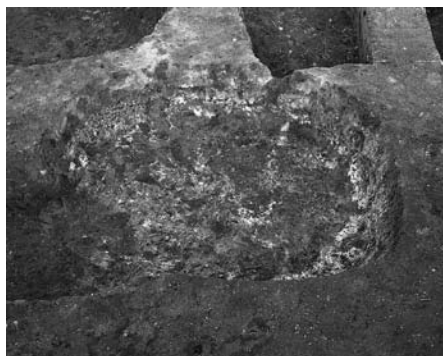
7 5区2面221土坑全景 南から



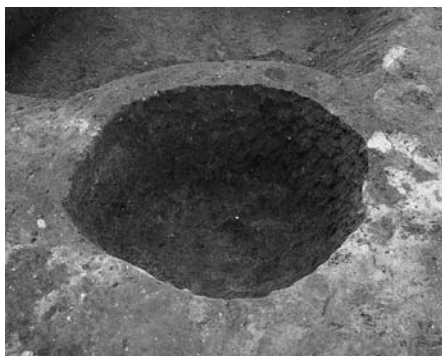
8 5区2面222土坑全景 南から



9 5区2面223土坑全景 西から



10 5区2面224土坑全景 西から



11 5区2面225土坑全景 東から



12 5区2面226土坑全景 東から



13 5区2面227土坑全景 南から



14 5区2面228土坑全景 南東から



15 5区2面229土坑全景 南から



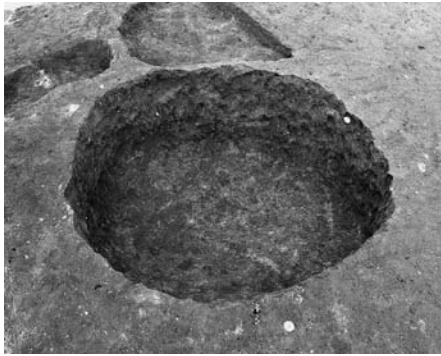
1 5区2面230土坑全景 南から



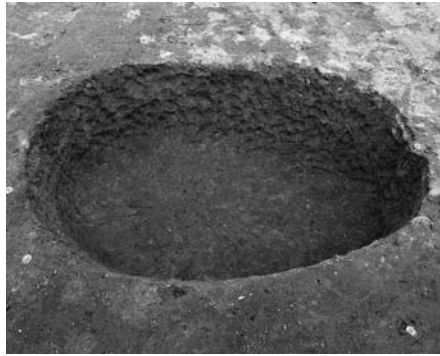
2 5区2面231土坑全景 東から



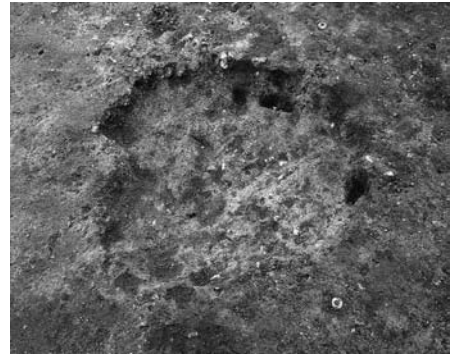
3 5区2面232土坑全景 東から



4 5区2面233土坑全景 南東から



5 5区2面234土坑全景 南から



6 5区2面235土坑全景 西から



7 5区2面236土坑全景 西から



8 5区2面237土坑全景 北から



9 5区2面238土坑全景 南から



10 5区2面239土坑全景 南西から



11 5区2面240土坑全景 南西から



12 5区2面241土坑全景 南西から



13 5区2面242土坑全景 南西から



14 5区2面243土坑全景 東から



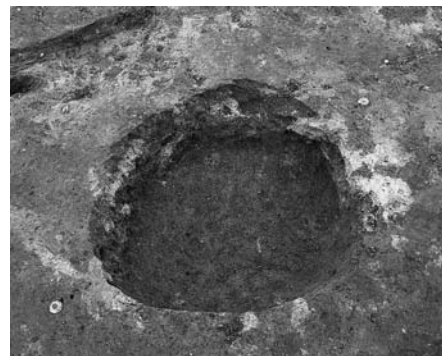
15 5区2面244土坑全景 南東から



1 5区2面245土坑全景 南から



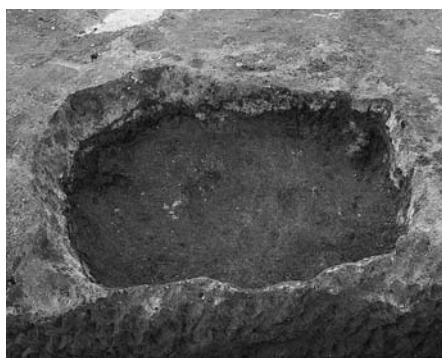
2 5区2面246(右)・317土坑全景 西から



3 5区2面247土坑全景 南西から



4 5区2面248土坑全景 北東から



5 5区2面249土坑全景 東から



6 5区2面250土坑全景 東から



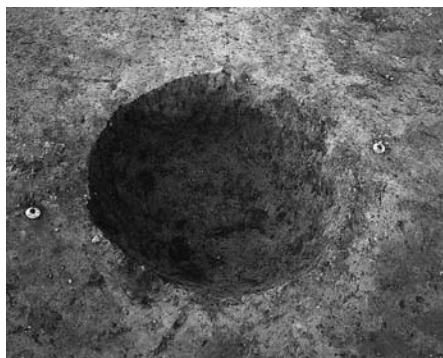
7 5区2面251土坑全景 東から



8 5区2面252土坑全景 南から



9 5区2面253土坑全景 南から



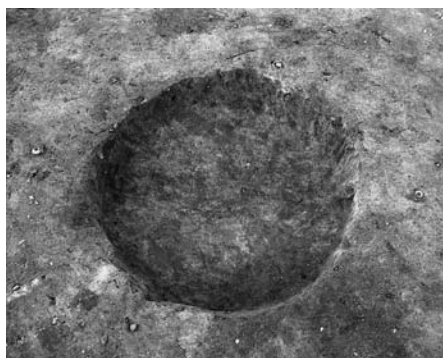
10 5区2面254土坑全景 南から



11 5区2面255土坑全景 南から



12 5区2面256土坑全景 東から



13 5区2面257土坑全景 南から



14 5区2面258土坑全景 南東から



15 5区2面259土坑全景 南から

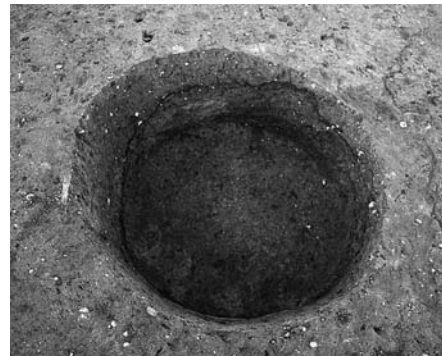




1 5区2面260土坑全景 北東から



2 5区2面261土坑全景 東から



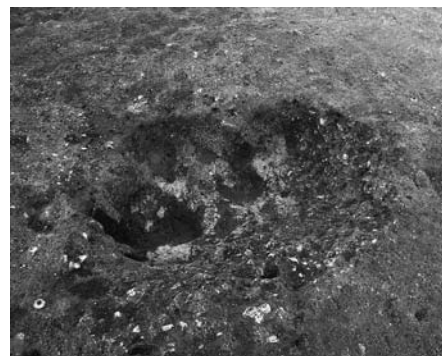
3 5区2面262土坑全景 南から



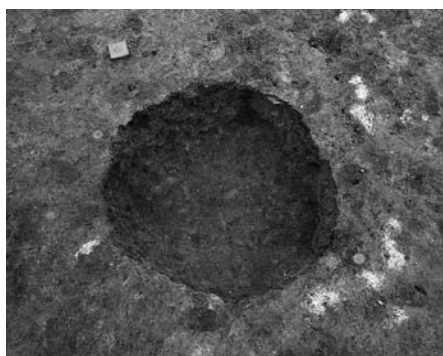
4 5区2面263土坑全景 南東から



5 5区2面264土坑全景 北から



6 5区2面265土坑全景 東から



7 5区2面266土坑全景 南から



8 5区2面267土坑全景 東から



9 5区2面268(右)~270(左)土坑全景 西から



10 5区2面269土坑全景 北から



11 5区2面270土坑全景 西から



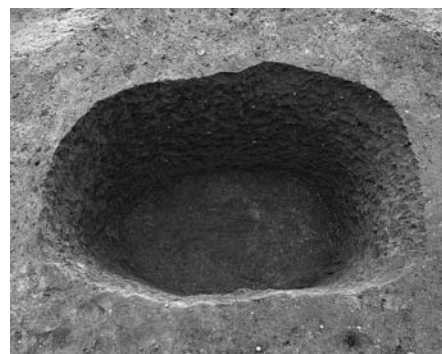
12 5区2面301土坑全景 南東から



13 5区2面302土坑全景 東から



14 5区2面303土坑全景 南西から



15 5区2面304土坑全景 北東から



1 5区2面305土坑全景 東から



2 5区2面306土坑全景 北から



3 5区2面307土坑全景 南東から



4 5区2面308土坑全景 南から



5 5区2面309土坑全景 西から



6 5区2面310土坑全景 西から



7 5区2面311土坑全景 南から



8 5区2面312土坑全景 南から



9 5区2面313土坑遺物出土状態 南東から



10 5区2面313土坑全景 南東から



11 5区2面314土坑全景 南から



12 5区2面315土坑全景 東から



13 5区2面316土坑全景 南東から



14 5区2面317土坑全景 西から



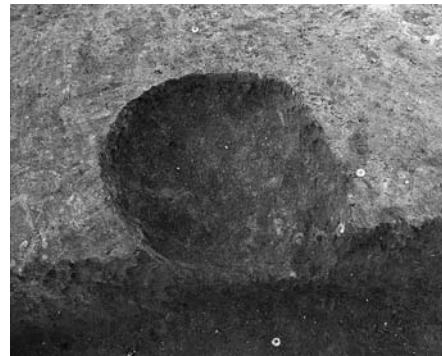
15 5区2面318土坑全景 北から



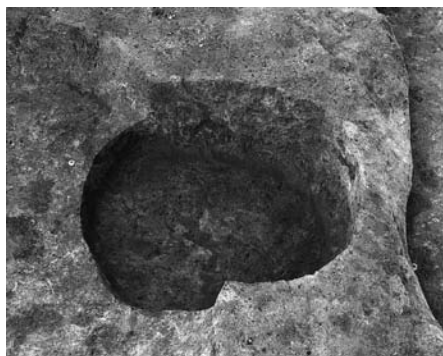
1 5区2面319土坑全景 東から



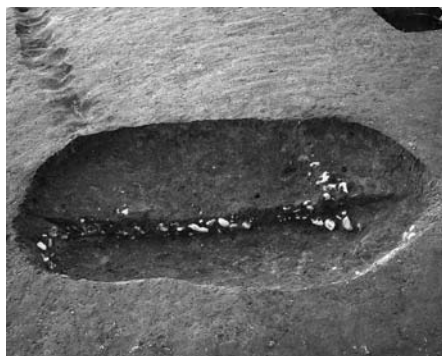
2 5区2面320土坑全景 東から



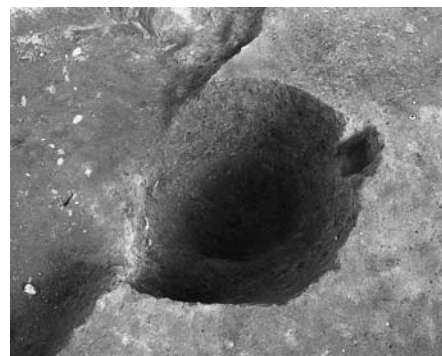
3 5区2面321土坑全景 南から



4 5区2面322土坑全景 東から



5 5区2面323土坑全景 東から



6 5区2面324土坑全景 南西から



7 5区2面325土坑全景 東から



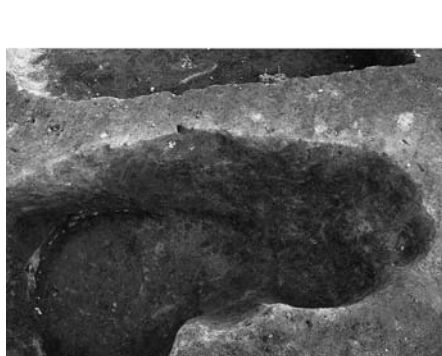
8 5区2面326土坑全景 東から



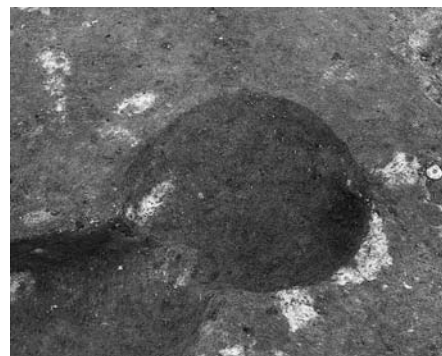
9 5区2面327土坑全景 西から



10 5区2面328土坑全景 南東から



11 5区2面329土坑全景 西から



12 5区2面330土坑全景 南から



13 5区2面331土坑全景 南から



14 5区2面332土坑全景 北西から



15 5区2面333土坑全景 南から



1 5区2面334土坑全景 北から



2 5区2面335土坑全景 東から



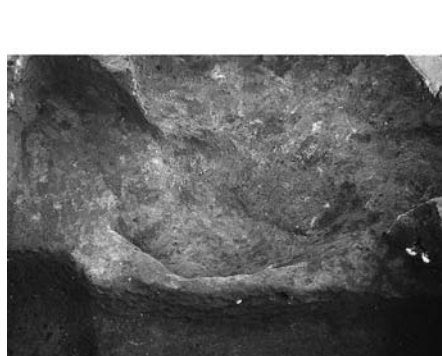
3 5区2面336土坑全景 北西から



4 5区2面337土坑全景 東から



5 5区2面338土坑全景 南東から



6 5区2面339土坑全景 南から



7 5区2面340土坑全景 南から



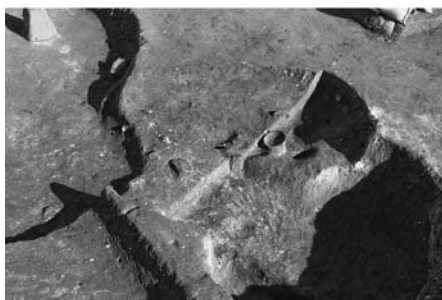
8 5区2面341土坑全景 南から



9 5区2面342土坑全景 南東から



10 5区2面343土坑全景 南から



11 5区2面344土坑全景 南西から



12 5区2面345土坑全景 西から



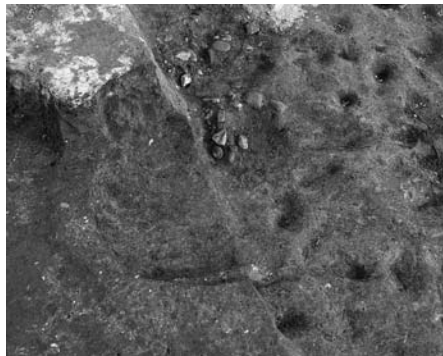
13 5区2面346(右)・347土坑全景 西から



14 5区2面348土坑全景 東から



15 5区2面349土坑全景 西から



1 5区2面350土坑全景 北西から



2 5区2面103ピット全景 南から



3 5区2面104ピット土層断面 南東から



4 5区2面105ピット全景 西から



5 5区3面空撮 ほぼ垂直方向から



1 5区3面北部落ち込み土層断面A-A' 南から



2 5区3面46溝北部 北から



1 5区3面47溝a北部 北から



2 5区3面47溝a北部 南から



1 5区3面南西部谷地南東部空撮 東上空から



2 5区3面水田空撮 北上空から





1 5区3面水田空撮 南上空から



2 5区3面水田空撮 東上空から



1 5区3面水田空撮 西上空から



2 5区3面北部落ち込み空撮 ほぼ垂直方向から



1 5区3面水田空撮 北上空から



2 5区3面水田空撮 南上空から



1 5区3面水田空撮 西上空から



2 5区3面水田空撮 東上空から

1区

17住居



1



3



4



2



7



8



6

18住居



11



14

19住居



12

20住居



21



25



20



24

22住居



26



28

23住居



29



30

25住居



32



35



38



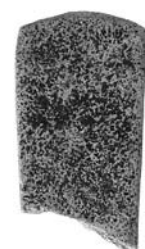
40



41



42



43

1区 出土遺物

98住居



44

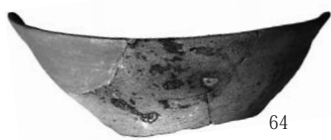


45

26溝



60



64



67

27溝



75



76



78

40溝



85

99住居



47

100住居



49



52



54



55

1 墓坑



58



61



68



71



73



80



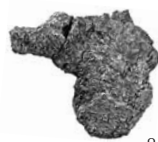
82



83



87



84

1 焼土



87



88



89

# PL.156

1区・2区 出土遺物

47土坑



91



92



93



94



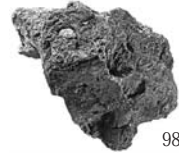
95



96



97



98



99

207土坑



104

278土坑



109



112



113

遺構外



111



115



117



118



119



120



121



122



123



124

2区

1住居



127



129



130



131

2住居



133

3住居



134



135



136

2区 出土遺物

3住居



138



139



142



143



140



141



144

4住居



145



148



149

6住居



156



159



160



161



162



163



165



166



167



170



171



172

8住居



176



180



181



183



# PL.158

2区 出土遺物

8住居



184



189



190



192



198



193



196

10住居



204



211

13住居



212

14住居



216



221



222



226

15住居



227



228



229



233



234

1 豎穴



235



237

3 豎穴



238

4 豎穴



243

2区・3区 出土遺物

3溝



248



249



253



261



266



267

7土坑



269

16土坑



270



271

19土坑



272

36土坑



276

43土坑



278

44土坑



280

7ピット



281

遺構外



282



283



284



285



286



287

3区

11住居



290

12住居



291



295

8溝



302

11土坑



303



297

14土坑



304



305

11ピット



306

遺構外



307

4区

21住居



308



309



310



314

26住居



315



318



319



320



321



322

28住居



329



330



332

27住居



323



324



334



326



335



336



337



338

30住居



353

34住居



358



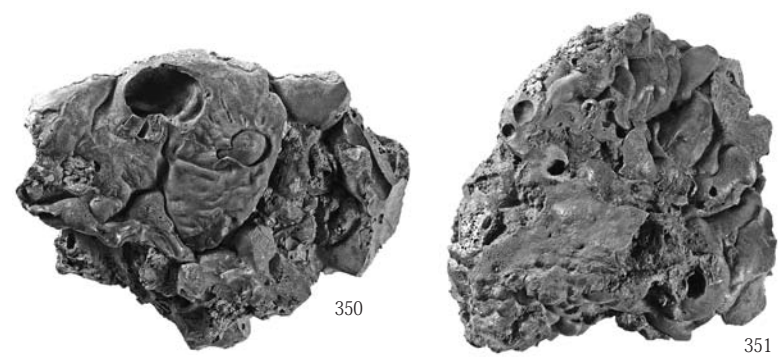
327



328

4区 出土遺物

29住居



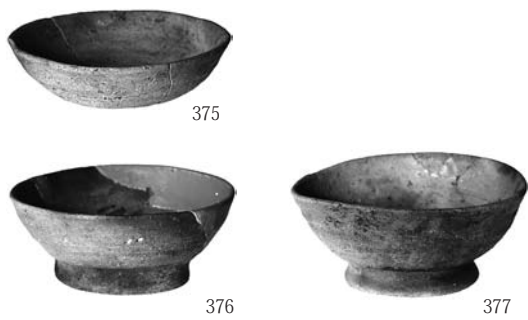
37住居



31住居



36住居



38住居



395



396



397



400



401



407



402

40住居



387



388



390



391



392



393

4区 出土遺物

41住居



408



409



411



412



413

42住居



418

44住居

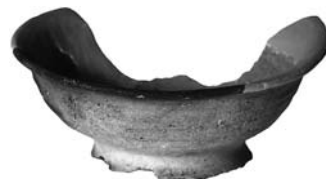


421



422

45住居



426

46住居



430



432



442



443



433



435



444



447



438



448

48住居



457



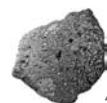
460



461



462



463

49住居

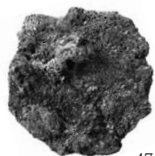


464



466

50住居



471

51住居



472



478



476



477

52住居



482

53住居



483



487



490

54住居



494



495



496



497



501



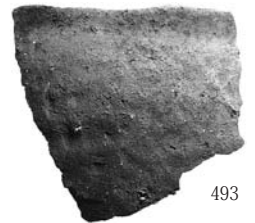
56住居



502



491



493

55住居



503



504



506

57住居



515



516



507

58住居



517

61住居



553

59住居



519



523



524



520



525



554



555

4区 出土遺物

60住居



531



535



536



537



538



540



541



542



543



551



546



547



549

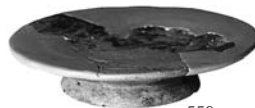
62住居



569



574



559



564



570



573



568

63住居



64住居



576

65住居



578



579



580



582



583

66住居



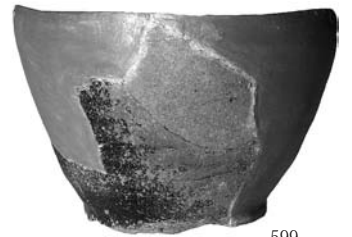
584



585



598



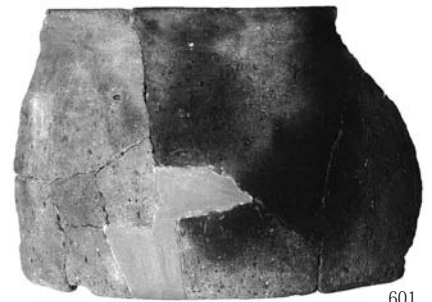
599



587



600



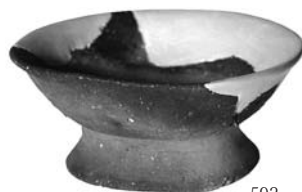
601

71住居

67住居



589



592



593



602

4区 出土遺物

72住居



604



605



607

74住居



633



634

75住居



611



612



613



614



615

73住居



624



626



627



629



630



619



631



632

76住居



641



643



620

77住居



650



652



653



654

79住居



669



670

83住居

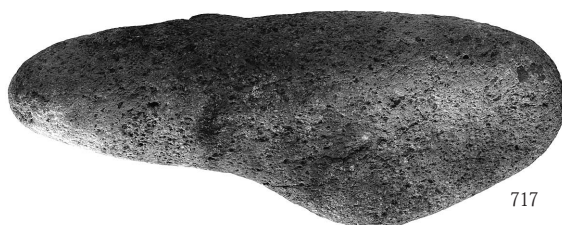


685

85住居



716



717

78住居



662

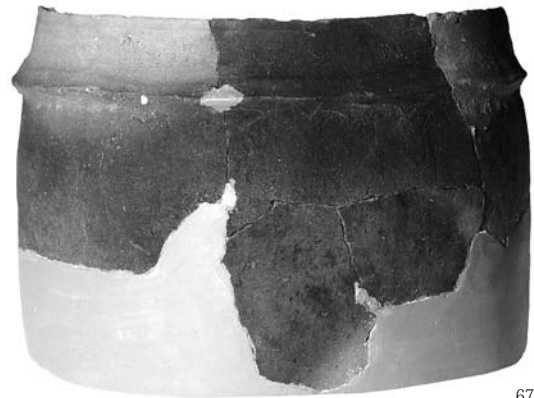


663

81住居



671



675



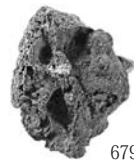
676



677



678



679



680



718



719



720



721



722



723

4区 出土遺物

84住居



686



687



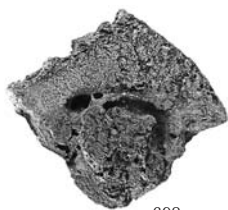
689



693



692



698



699



700



701



702



694



703



704



705



706



707



708



709

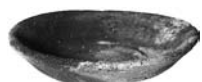


710

87住居



724



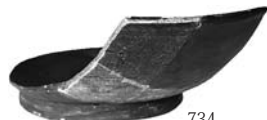
725



726



730



734



735



739



741



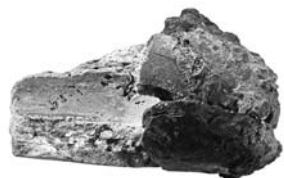
742



743



746



740



744

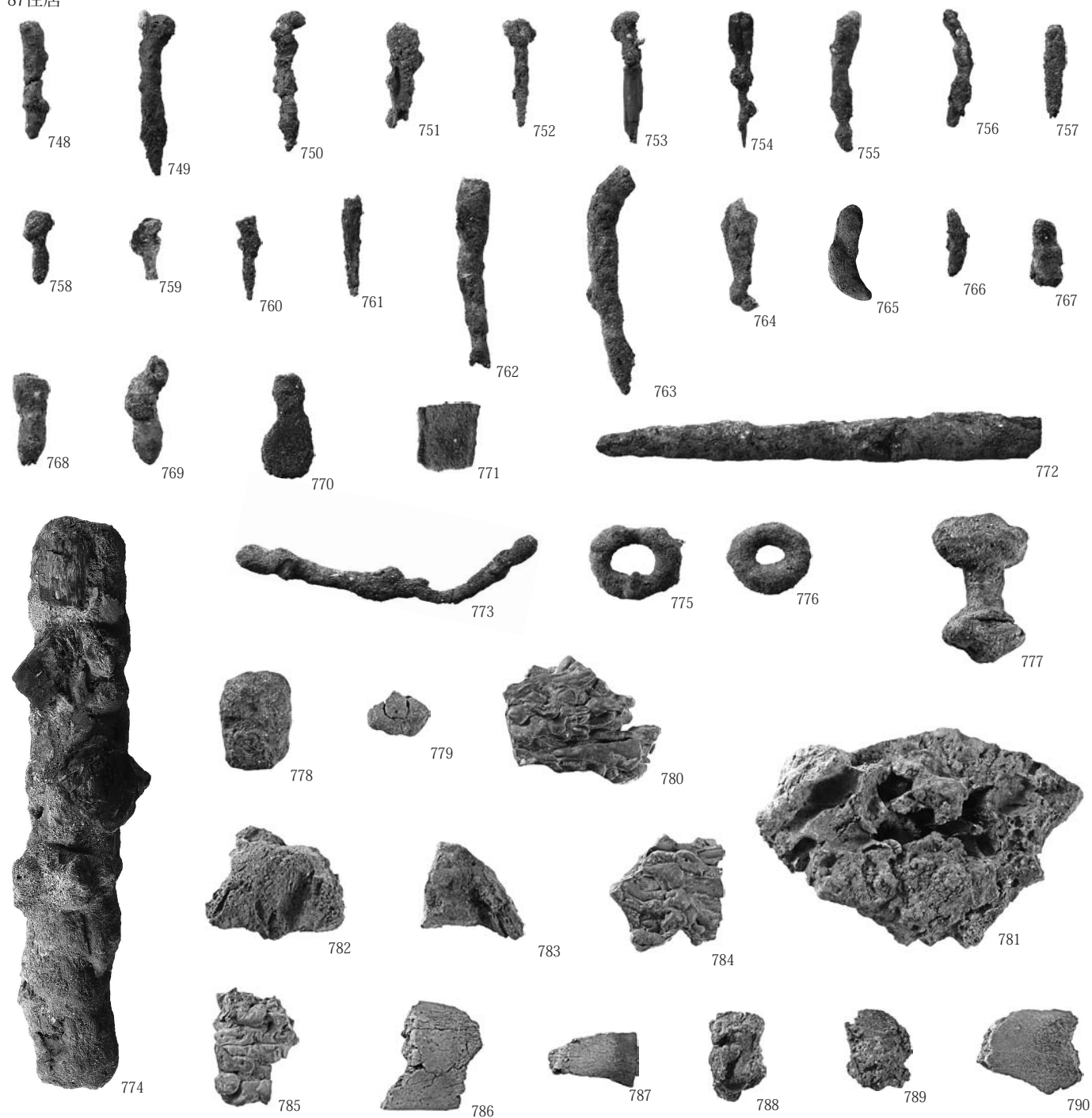


745



747

87住居



91住居



4区 出土遺物

89住居



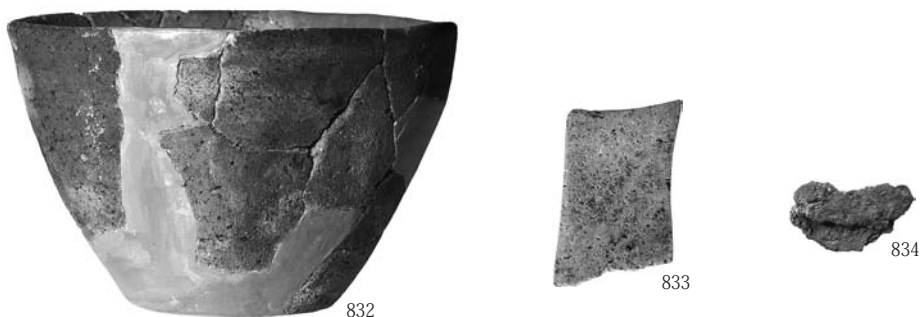
139住居



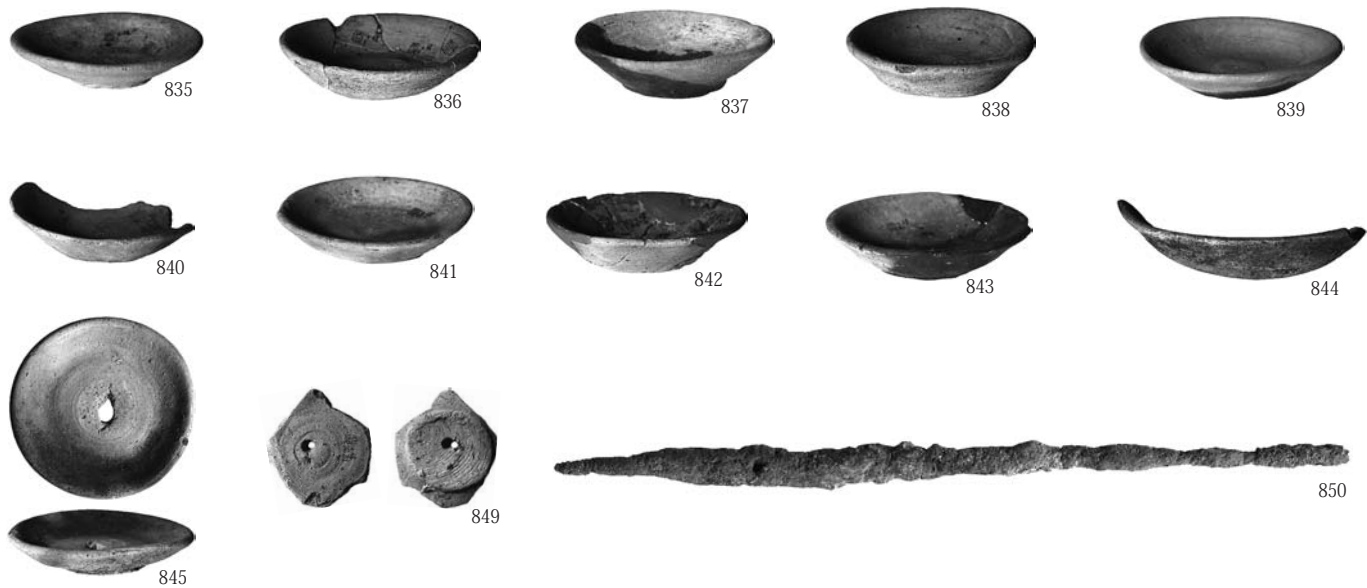
140住居



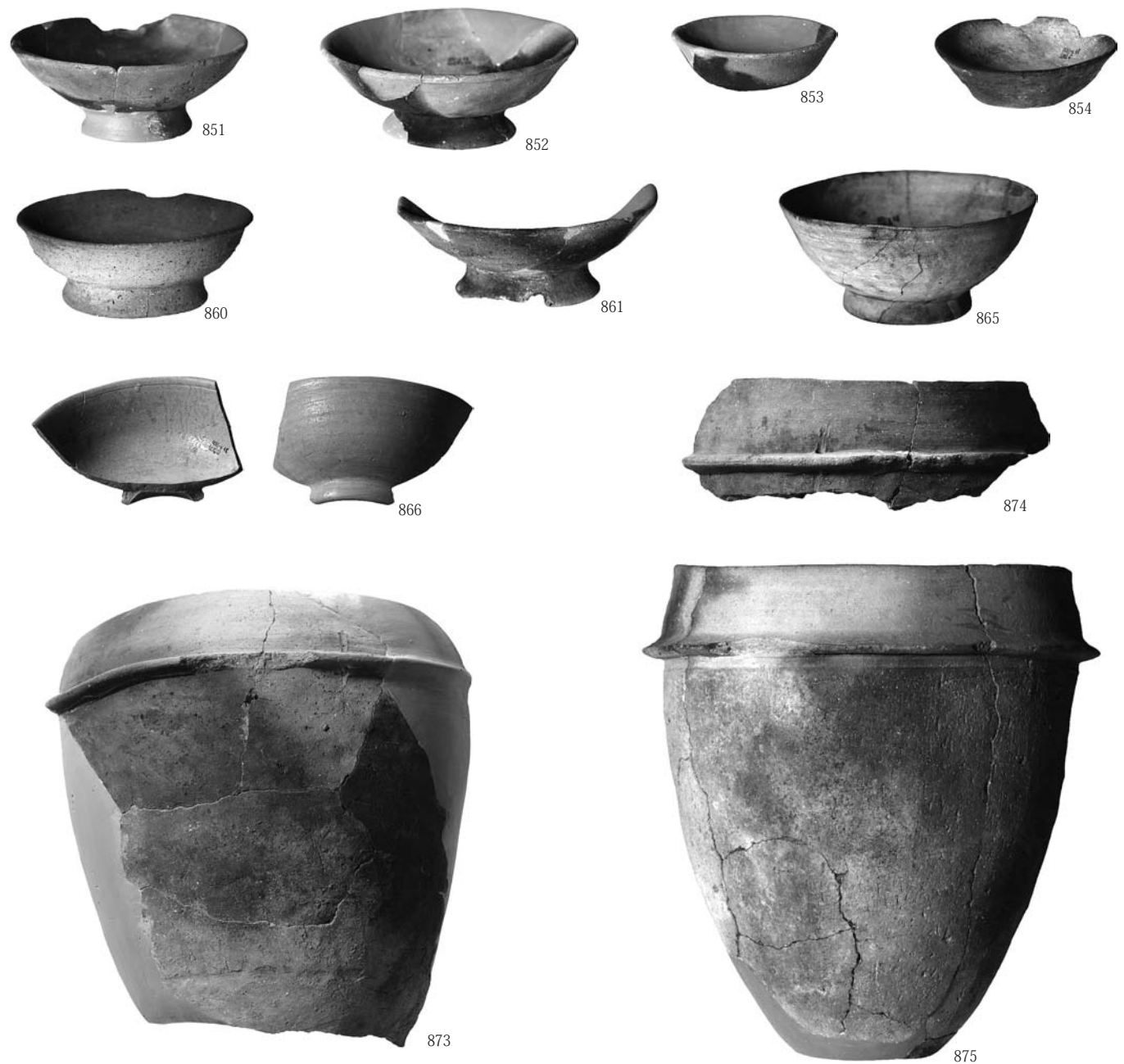
141住居



142住居

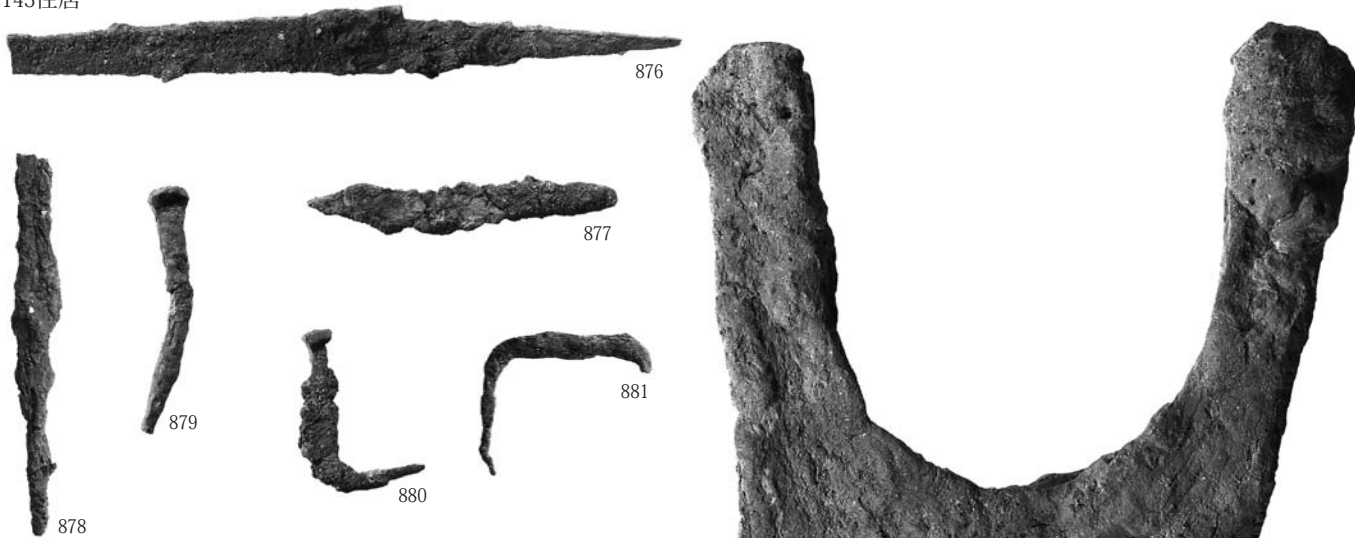


143住居

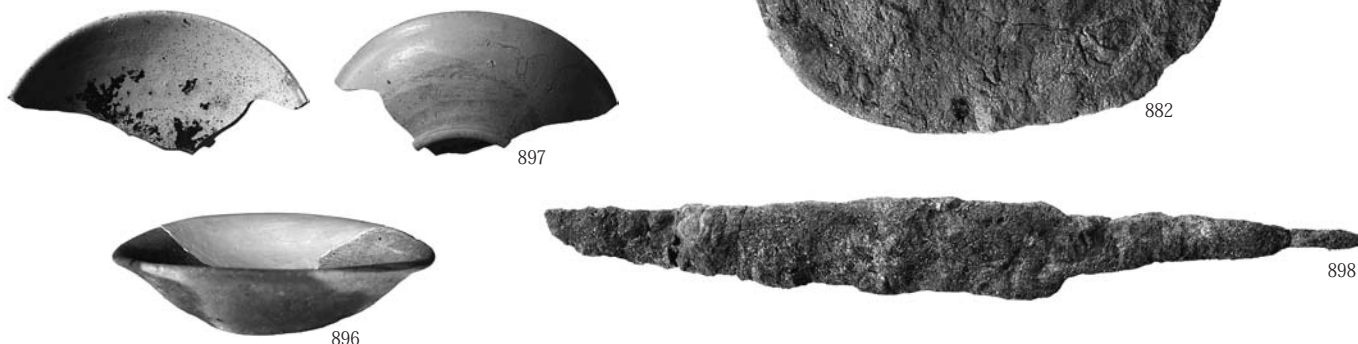


4区 出土遺物

143住居



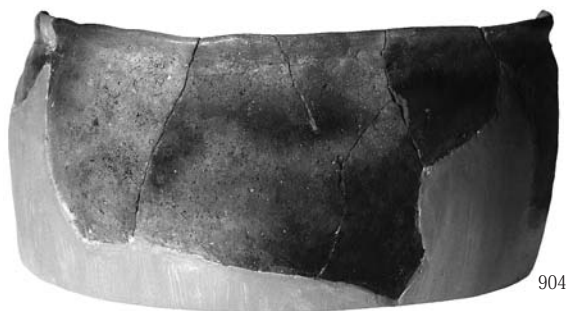
146住居



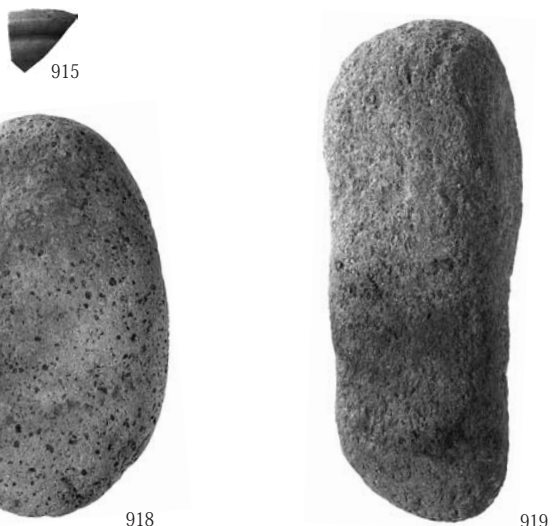
148住居



149住居



152住居



150住居





152住居



920



921



922

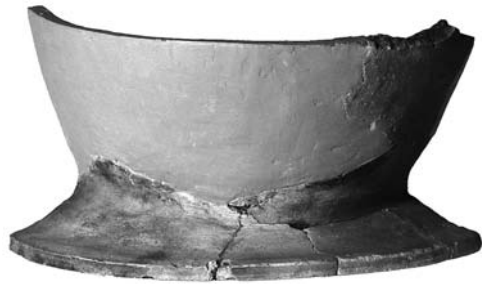


923

153住居



924



925

154住居



927

7 豎穴



933

155住居



932



936

10 豎穴



938

12 豎穴



943



944



945



946



947



951



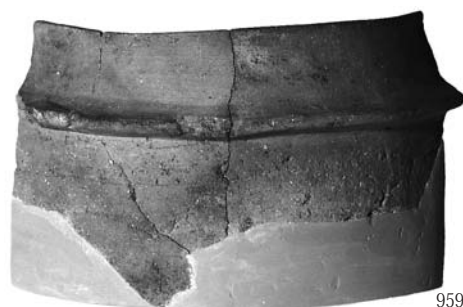
952



957



958

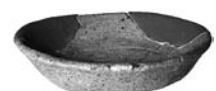


959



962

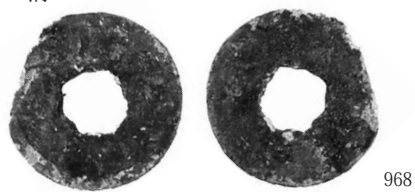
13 豎穴



964

4区 出土遺物

14溝



968

16溝



969



970

45溝



997

21溝 a



976



977

27溝



983



985

42溝



995

1 製鉄炉



998



1000



1001



1002



1003



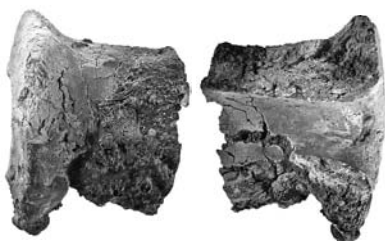
1004



1005



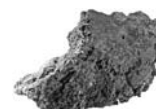
1006



1007



1008



1009



1010



1011



1013



1014



1015



1016



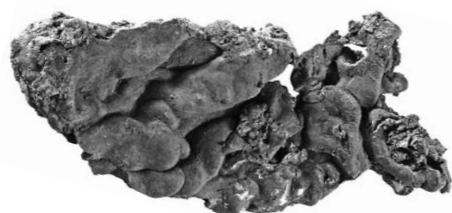
1017



1018



1019



1020

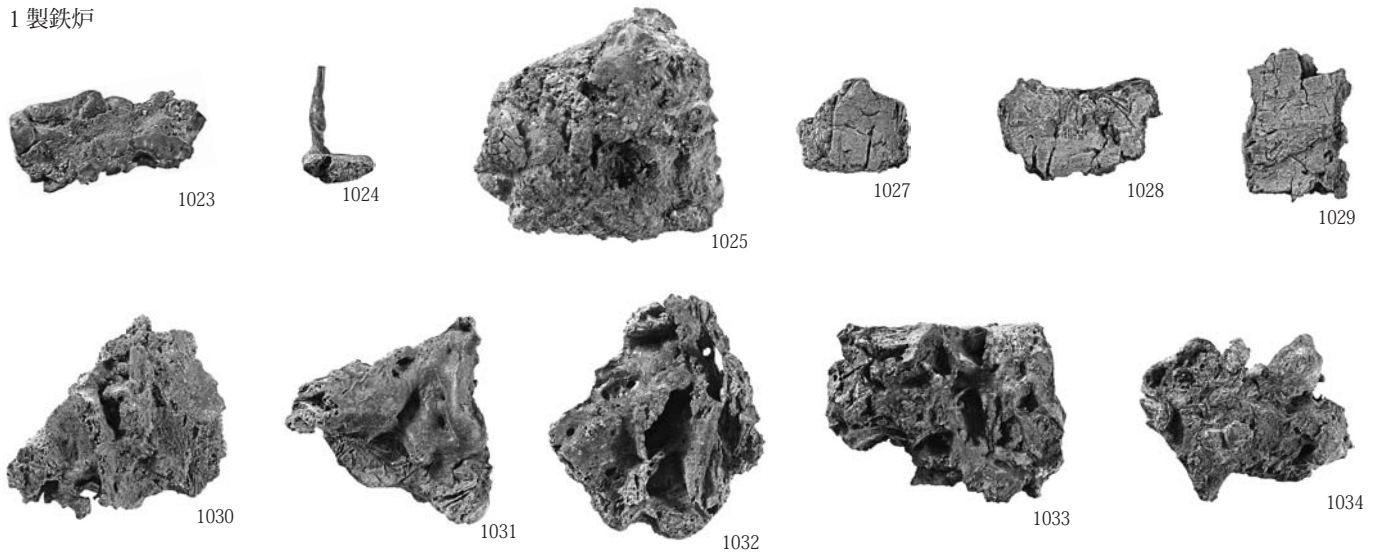


1021

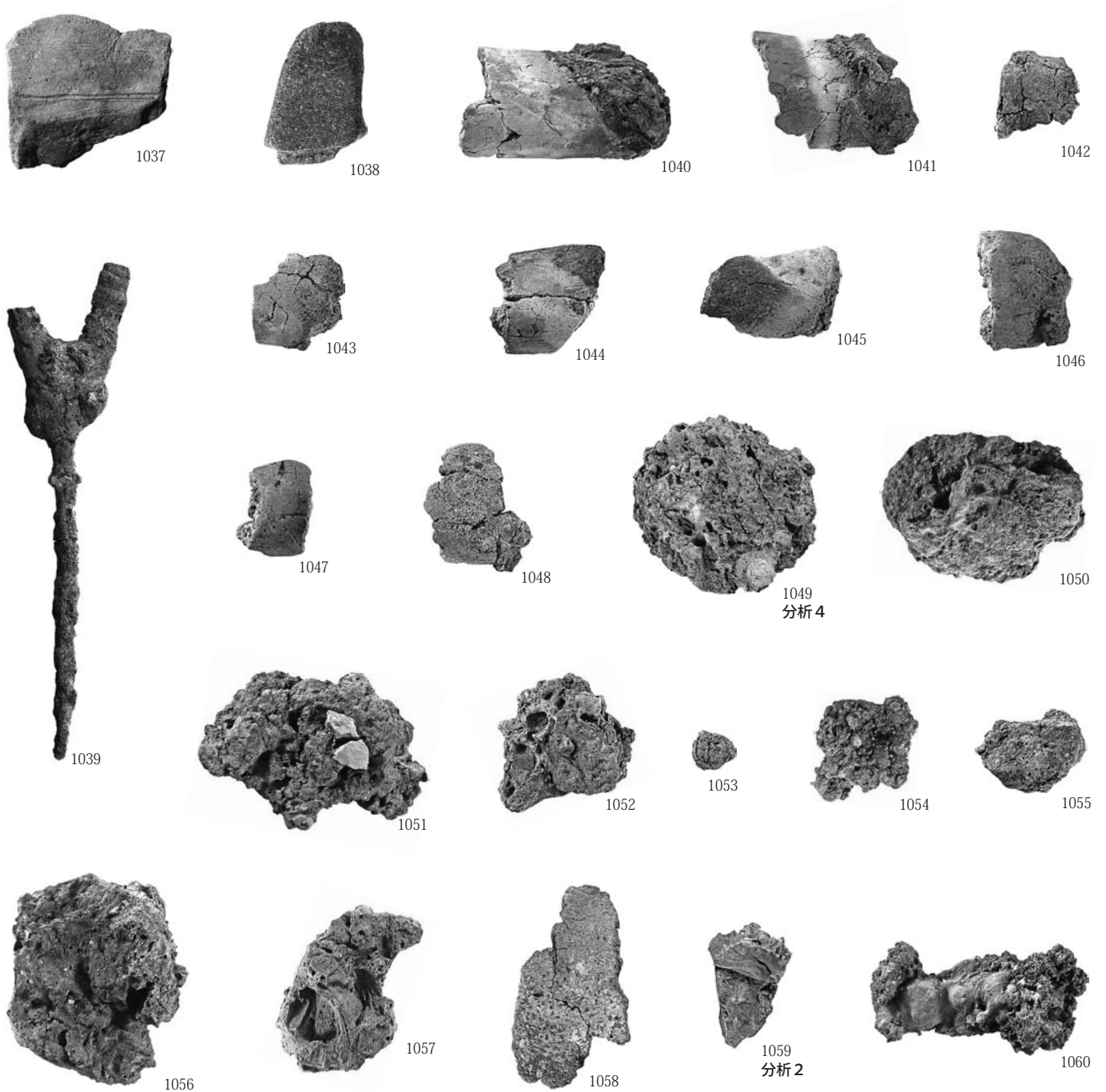


1022  
分析 1

1 製鉄炉

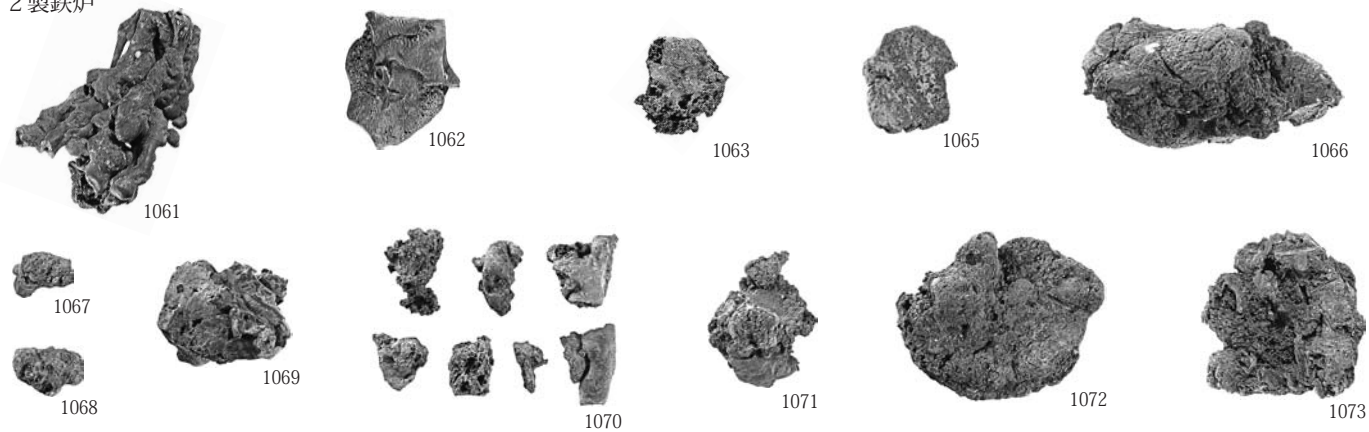


2 製鉄炉

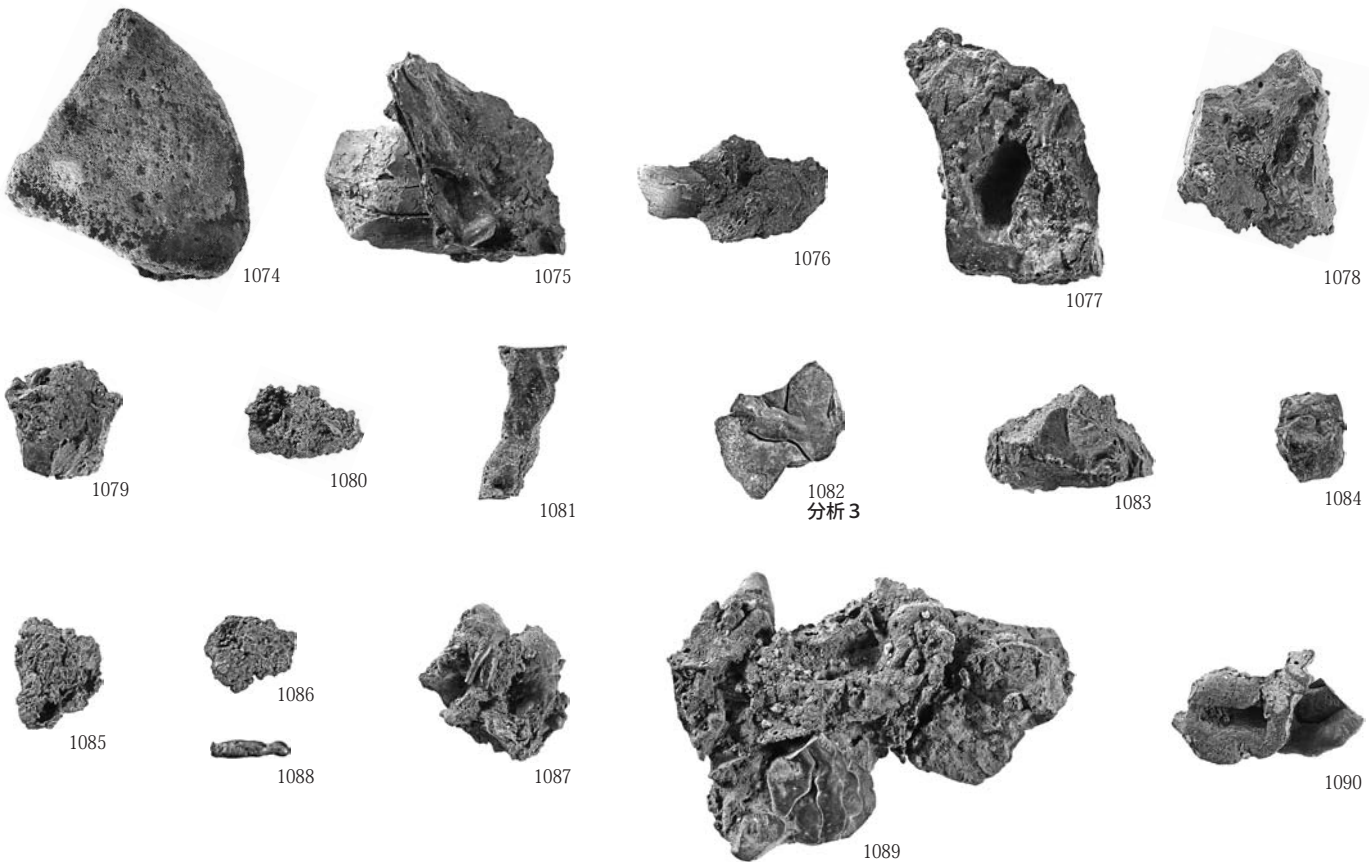


4区 出土遺物

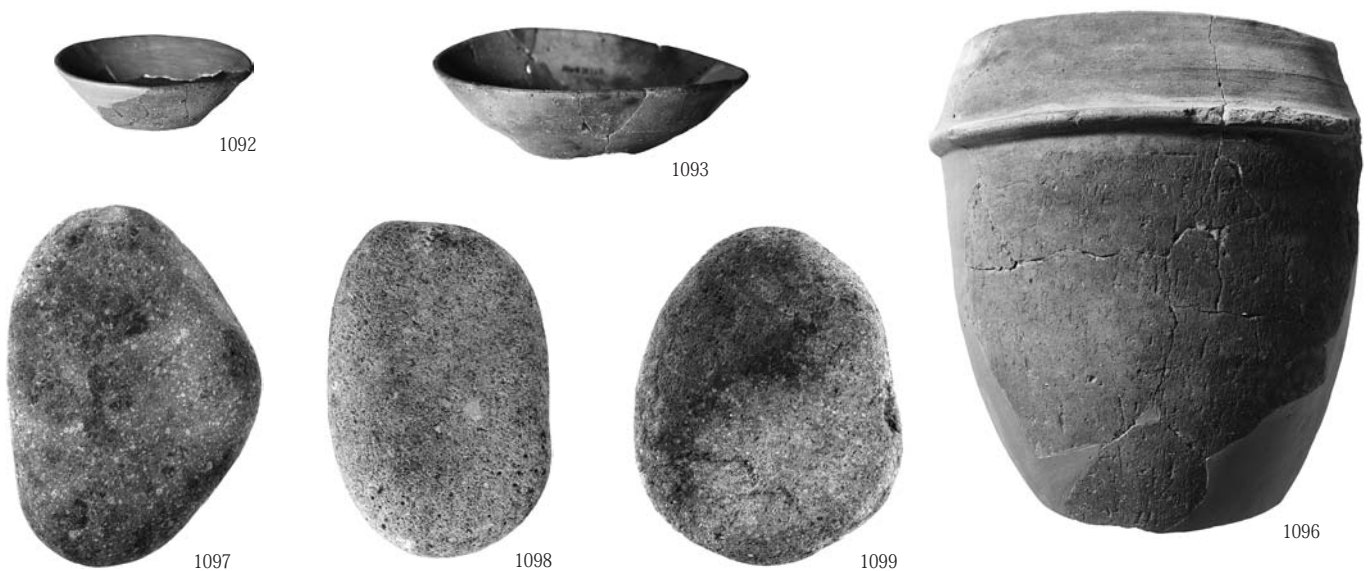
2 製鉄炉



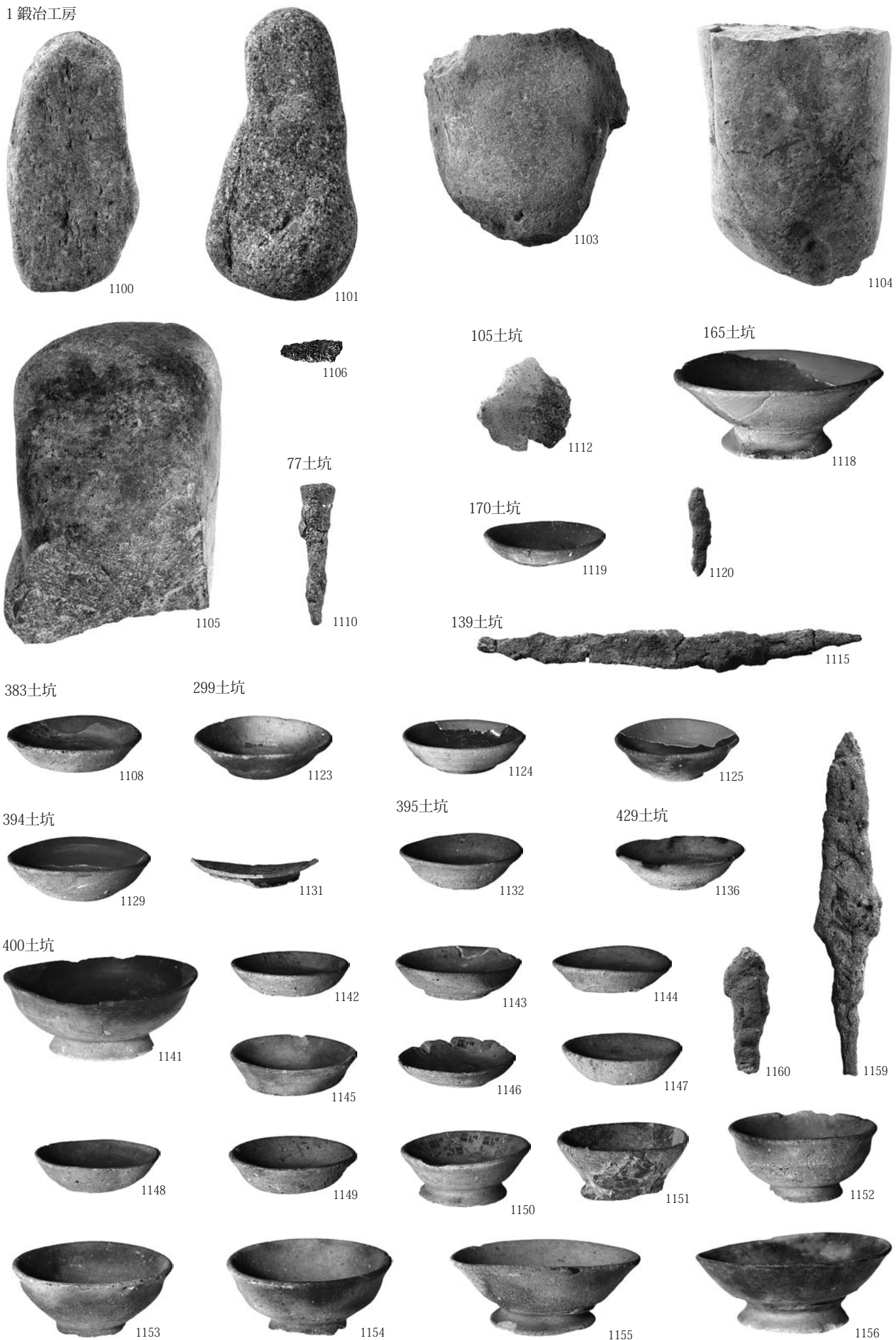
3 製鉄炉



1 鍛冶工房



1 鍛冶工房



383土坑

299土坑

105土坑

165土坑

77土坑

170土坑

139土坑

394土坑

395土坑

429土坑

400土坑

4区 出土遺物

427土坑

422土坑

421土坑

121ピット



1171



1172



1173



1174



1175



1176



1164

1165



1166



1179



1180



1181



1139



1186



1187

遺構外



1194



1195



1196



1198



1199



1203



1204



1209



1210



1222



1225



1226



1227



1228



1229



1231



1230



1232



1233



1234



1235



1236

水田

444土坑

5区  
93住居



1237

97住居



1243



1244



1245

102住居



1247

103住居



1248



1249

104住居



1258



1259



1268



1250



1252



1262



1263

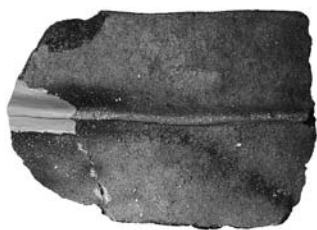


1269

107住居



1270



1272



1273



1274

109住居



1279



1283



1288



1289



1291



1293



1295

5区 出土遺物

110住居



1275



1276



1277

111住居



1296



1297



1298



1299

112住居



1301



1305



1306



1307



1309



1314

113住居



1316



1318



1320

114住居



1321



1323

118住居



1327



1328



1329



1333

116住居



1324

120住居



1343

119住居



1334



1335



1339



121住居



5区 出土遺物

122住居



1379



1380



1381



1383



1385



1382



1394



1386



1388



1389



1391



1392

126住居



1405



1393

128住居

125住居



1400



1408

129住居



1401



1412



1414



1420



1403



1404

133住居

136住居

130住居



1433



1436



1437



1421



1440



1425



1438



1441



1442



1427

# PL.184

5区 出土遺物

135住居



1417

137住居



1443



1444



1447



1445

138住居



1449



1451



1448

174土坑



1455

8 竪穴



1452



1453

211土坑



1458

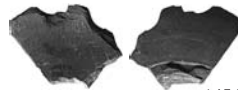


1459

175土坑



1456



1454

197土坑



1457

3 河道



1470

239土坑



1463

263土坑



1466

269土坑



1467

345土坑



1126

遺構外



1472



1476



1477



1478



1480



1481



1482

縄文時代



1483



1485



1484

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第601集

## 関根細ヶ沢遺跡 - 第2分冊-

一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う埋蔵文化財調査(その3)報告書

---

平成27(2015)年3月3日 印刷

平成27(2015)年3月13日 発行

編集・発行／公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2

電話(0279)52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／朝日印刷工業株式会社

---

